

基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジンムコガワガクイン 学校法人 武庫川学院								
フリガナ大学の名称	ムコガワジョンダイガク 武庫川女子大学								
大学本部の位置	兵庫県西宮市池開町6番46号								
大学の目的	武庫川学院立学の精神に基づき、女子に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、高い知性と善美な情操と高雅な徳性を兼ね備えた有為な日本女性を育成して、平和的世界文化の向上に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	成長分野を担う理工系人材の育成強化のため、環境分野で専門性を備えた課題解決力で社会貢献できる人材を育成する「環境共生学部」を新設するとともに、工学分野を有する既設の「生活環境学部」の収容定員を増員する。同時に、健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の3年次編入学を募集停止、教育学部教育学科の3年次編入学定員を減員する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部	年	人	年次人	人			年月 第 年次	
	日本語日文学科	4	150	3年次 25	650	学士（日本語 日本文学）	文学関係	昭和33年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開 町6番46号
	歴史文化学科	4	80	—	320	学士（歴史文 化学）	文学関係	令和6年4月 第1年次	同上
	英語グローバル学科	4	200	3年次 25	850	学士（英語グ ローバル学）	文学関係	昭和33年4月 第1年次	同上
	教育学部								
	教育学科	4	240	3年次 25 (40)	1,010 (1,040)	学士(教育学)	教育学・保育学関 係	平成31年4月 第1年次 令和7年4月 第3年次	同上
	心理・社会福祉学部								
	心理学科	4	150	—	600	学士(心理学)	文学関係	令和5年4月 第1年次	同上
	社会福祉学科	4	70	—	280	学士(社会福 祉学)	社会学・社会福祉 学関係	令和5年4月 第1年次	同上
	健康・スポーツ科学部								
	健康・スポーツ科学科	4	180	3年次 0 (20)	720 (760)	学士(健康・ス ポーツ科学)	体育関係	平成23年4月 第1年次 令和7年4月 第3年次	同上
	スポーツマネジメント学科	4	100	—	400	学士(スポーツマ ネジメント学)	体育関係	令和5年4月 第1年次	同上
	生活環境学部								
生活環境学科	4	195 (165)	3年次 20	820 (700)	学士(生活環 境学)	家政関係、工学関 係	令和7年4月 第1年次	同上	
社会情報学部									
社会情報学科	4	180	—	720	学士(社会情 報学)	工学関係	令和5年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	食物栄養科学部												
	食物栄養学科	4	200	3年次 10	820	学士(食物栄養学)	家政関係	令和2年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開 町6番46号				
	食創造科学科	4	80	3年次 5	330	学士(食創造科学)	家政関係	令和2年4月 第1年次	同上				
	建築学部												
	建築学科	4	45	—	180	学士(建築学)	工学関係	令和2年4月 第1年次	兵庫県西宮市戸崎 町1番13号				
	景観建築学科	4	40	—	160	学士(景観建築学)	工学関係	令和2年4月 第1年次	同上				
	音楽学部												
	演奏学科	4	30	—	120	学士(音楽)	音楽関係	平成21年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開 町6番46号				
	応用音楽学科	4	20	—	80	学士(応用音楽)	音楽関係	平成21年4月 第1年次	同上				
	薬学部												
	薬学科	6	105	—	630	学士(薬学)	薬学関係	平成18年4月 第1年次	兵庫県西宮市甲子 園九番町11番68号				
	健康生命薬科学科	4	60	—	240	学士(薬科学)	薬学関係	平成18年4月 第1年次	同上				
	環境共生学部												
	環境共生学科	4	120 (0)	—	480 (0)	学士(環境共生学)	工学関係	令和7年4月 第1年次	同上	※令和6年4月設置届出予定			
	看護学部												
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成27年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開 町6番46号					
経営学部													
経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	経済学関係	令和2年4月 第1年次	同上					
	計		2,525 (2,375)	3年次 110 (145)	10,530 (10,000)								
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	生活環境学部 生活環境学科〔定員増〕 ( 30) (令和7年4月) 環境共生学部 環境共生学科 ( 120) (令和6年4月届出予定) 教育学部 教育学科 (3年次編入学定員)〔定員減〕 ( △15) (令和7年4月) 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科 (3年次編入学定員) (廃止) ( △20) ※3年次編入学定員は令和7年4月学生募集停止  武庫川女子大学短期大学部 (廃止) 幼児教育学科 ( △50) 食生活学科 ( △40) 生活造形学科 ( △60) ※令和7年4月学生募集停止												
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数					
	—	講義	演習	実験・実習	計	—	—	—	—				
		一科目	一科目	一科目	一科目				一単位				

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新設分	文学部 日本語日文学科	11 (9)	4 (3)	3 (1)	1 (1)	19 (14)	0 (0)	107 (100)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (9)	4 (3)	3 (1)	1 (1)	19 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a～b)	11 (9)	4 (3)	3 (1)	1 (1)	19 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a～d)	11 (9)	4 (3)	3 (1)	1 (1)	19 (14)			
	文学部 歴史文化学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	118 (111)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a～b)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a～d)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)			
	文学部 英語グローバル学科	10 (7)	8 (6)	4 (4)	0 (0)	22 (17)	0 (0)	108 (101)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (7)	8 (6)	4 (4)	0 (0)	22 (17)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a～b)	10 (7)	8 (6)	4 (4)	0 (0)	22 (17)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a～d)	10 (7)	8 (6)	4 (4)	0 (0)	22 (17)				
教育学部 教育学科	18 (15)	16 (12)	4 (1)	0 (0)	38 (28)	1 (1)	119 (112)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 11人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	18 (15)	16 (12)	4 (1)	0 (0)	38 (28)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	18 (15)	16 (12)	4 (1)	0 (0)	38 (28)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	18 (15)	16 (12)	4 (1)	0 (0)	38 (28)				



新	生活環境学部 生活環境学科	10 (8)	13 (11)	1 (0)	0 (0)	24 (19)	4 (4)	129 (122)	大学設置基準別表第一に定める基幹 教員数の四分の三の数 12人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (8)	13 (11)	1 (0)	0 (0)	24 (19)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a~b)	10 (8)	13 (11)	1 (0)	0 (0)	24 (19)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a~d)	10 (8)	13 (11)	1 (0)	0 (0)	24 (19)			
	社会情報学部 社会情報学科	11 (11)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	21 (21)	1 (1)	65 (58)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	21 (21)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a~b)	11 (11)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	21 (21)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a~d)	11 (11)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	21 (21)			
	食物栄養科学部 食物栄養学科	17 (14)	7 (6)	3 (2)	0 (0)	27 (22)	10 (7)	72 (65)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	17 (14)	7 (6)	3 (2)	0 (0)	27 (22)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a~b)	17 (14)	7 (6)	3 (2)	0 (0)	27 (22)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a~d)	17 (14)	7 (6)	3 (2)	0 (0)	27 (22)				
食物栄養科学部 食創造科学科	9 (9)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	14 (14)	6 (6)	70 (63)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	14 (14)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a~b)	9 (9)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	14 (14)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a~d)	9 (9)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	14 (14)				
設									
分									

新	建築学部 建築学科	7 (7)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	1 (1)	93 (86)	大学設置基準別表第一に定める基幹 教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	97 (90)	
	建築学部 景観建築学科	7 (7)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	85 (78)	
	音楽学部 演奏学科	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)			
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	77 (70)		
音楽学部 応用音楽学科	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	77 (70)		
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)				



新 設 分	経営学部 経営学科	9 (9)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	81 (74)	大学設置基準別表第一に定める基幹 教員数の四分の三の数 11人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	16 (16)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	9 (9)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	16 (16)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	9 (9)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	16 (16)			
計	211 (198)	99 (87)	51 (43)	34 (34)	395 (362)	53 (50)			— (—)
既 設 分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			— (—)
合 計		211 (198)	99 (87)	51 (43)	34 (34)	395 (362)	53 (50)	— (—)	
職 種		専 属		そ の 他		計			
事 務 職 員		190 (180)		117 (107)		307 (287)		人	
技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
図 書 館 職 員		2 (1)		0 (0)		2 (1)			
そ の 他 の 職 員		0 (0)		1 (1)		1 (1)			
指 導 補 助 者		10 (10)		0 (0)		10 (10)			
計		202 (191)		118 (108)		320 (299)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	68,373.48 m <sup>2</sup>	168,941.93 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		237,315.41 m <sup>2</sup>		武庫川女子大学短期大学部 の廃止認可後、共用部分を 大学専用に変更予定	
	そ の 他	400.00 m <sup>2</sup>	10,640.27 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		11,040.27 m <sup>2</sup>		借用面積：1,129.19m <sup>2</sup> 借 用期間：平成30年12月1日 から令和30年11月30日まで	
	合 計	68,773.48 m <sup>2</sup>	179,582.20 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		248,355.68 m <sup>2</sup>			
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	73,414.99 m <sup>2</sup> ( 72,155.83 m <sup>2</sup> )	119,601.86 m <sup>2</sup> ( 119,601.86 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )		193,016.85 m <sup>2</sup> ( 191,757.69 m <sup>2</sup> )		武庫川女子大学短期大学部 の廃止認可後、共用部分を 大学専用に変更予定		
教 室 ・ 教 員 研 究 室	教 室	829室	教 員 研 究 室		558室		大学全体		

図書・設備	新設学部等の名称	図書 (うち外国書)		学術雑誌 (うち外国書)		機械・器具 点	標本 点		
		冊	電子図書	種	電子ジャーナル				
			(うち外国書)		(うち外国書)				
	大学全体	583,324 (103,041) (583,324 (103,041))	1,226 (384) (1,226 (384))	9,195 (1,796) (9,195 (1,796))	2,630 (2,503) (2,630 (2,503))	14,522 (14,522)	131 (131)		
	計	583,324 (103,041) (583,324 (103,041))	1,226 (384) (1,226 (384))	9,195 (1,796) (9,195 (1,796))	2,630 (2,503) (2,630 (2,503))	14,522 (14,522)	131 (131)		
スポーツ施設等		スポーツ施設 17,535.74㎡		講堂 6,630.10㎡		厚生補導施設 11,274.47㎡		大学全体	
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書購入費には、電子ジャーナル、データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。  文学部日本語日本文学科 文学部歴史文化学科 文学部英語グローバル学科 教育学部教育学科 心理・社会福祉学部心理学科 心理・社会福祉学部社会福祉学科 健康・スポーツ学部健康・スポーツ学科 健康・スポーツ学部スポーツマネジメント学科 生活環境学部生活環境学科 社会情報学部社会情報学科 食物栄養学部食物栄養学科 食物栄養学部食創科学科 建築学部建築学科 建築学部景観建築学科 音楽学部演奏学科 音楽学部応用音楽学科 薬学部薬学科 薬学部健康生命薬科学科 環境共生学部環境共生学科 看護学部看護学科 経営学部経営学科
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	320千円	320千円	320千円	—千円	
	共同研究費等	30,388千円	30,388千円	30,388千円	30,388千円	30,388千円	—千円	—千円	
	図書購入費	23,044千円	23,044千円	23,044千円	23,044千円	23,044千円	—千円	—千円	
	設備購入費	1,227,047千円	1,227,047千円	727,047千円	727,047千円	727,047千円	—千円	—千円	
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
			1,295千円	1,164千円	1,164千円	1,164千円	—千円	—千円	
			1,295千円	1,164千円	1,164千円	1,164千円	—千円	—千円	
			1,295千円	1,204千円	1,204千円	1,204千円	—千円	—千円	
			1,425千円	1,304千円	1,304千円	1,304千円	—千円	—千円	
			1,425千円	1,294千円	1,294千円	1,294千円	—千円	—千円	
			1,425千円	1,294千円	1,294千円	1,294千円	—千円	—千円	
			1,451千円	1,360千円	1,334千円	1,334千円	—千円	—千円	
			1,451千円	1,360千円	1,334千円	1,334千円	—千円	—千円	
			1,445千円	1,345千円	1,345千円	1,345千円	—千円	—千円	
			1,370千円	1,339千円	1,339千円	1,339千円	—千円	—千円	
			1,500千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	—千円	—千円	
			1,498千円	1,518千円	1,518千円	1,518千円	—千円	—千円	
			1,700千円	1,669千円	1,669千円	1,669千円	—千円	—千円	
			1,700千円	1,669千円	1,669千円	1,669千円	—千円	—千円	
1,900千円			1,850千円	1,850千円	1,850千円	—千円	—千円		
1,920千円			1,850千円	1,850千円	1,850千円	—千円	—千円		
2,064千円			2,051千円	2,051千円	2,051千円	2,051千円	2,051千円		
1,700千円			1,729千円	1,729千円	1,729千円	—千円	—千円		
1,600千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	—千円	—千円				
1,875千円	1,724千円	1,724千円	1,724千円	—千円	—千円				
1,200千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							
大学等の名称	武庫川女子大学								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	取容定員	学位又は称号	取容定員充足率	開設年度	所在地	
文学部	年	人	年次 人	人		倍			
日本語日本文学科	4	150	3年次 25	650	学士(日本語日本文学)	1.01	昭和33年度	兵庫県西宮市池開町6番46号	
歴史文化学科	4	80	—	80	学士(歴史文化学)	—	令和6年度	同上	
英語グローバル学科	4	200	3年次 25	850	学士(英語グローバル学)	0.80	昭和33年度	同上	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	昭和38年度	同上	※平成31年度より学生募集停止
心理・社会福祉学科	4	—	—	—	学士(心理学) 学士(社会福祉学)	—	平成12年度	同上	※令和5年度より学生募集停止
教育学部						1.02			
教育学科	4	240	3年次 40	1,025	学士(教育学)	1.02	平成31年度	同上	※令和6年度3年次編入学入学定員増(15人)
心理・社会福祉学部						0.99			
心理学科	4	150	—	300	学士(心理学)	0.96	令和5年度	同上	
社会福祉学科	4	70	—	140	学士(社会福祉学)	1.04	令和5年度	同上	

既 設 大 学 等 の 状 况	健康・スポーツ科学部								0.96				
	健康・スポーツ科学科	4	180	3年次	20	760	学士（健康・スポーツ科学）	1.01	平成23年度	兵庫県西宮市池開町6番46号			
	スポーツマネジメント学科	4	100		—	200	学士（スポーツマネジメント学）	0.57	令和5年度	同上			
	生活環境学部								1.06				
	生活環境学科	4	165	3年次	20	700	学士（生活環境学）	1.06	平成6年度	同上			
	食物栄養学科	4	—		—	—	学士（食物栄養学）	—	平成6年度	同上		※令和2年度より学生募集停止	
	情報メディア学科	4	—		—	—	学士（情報メディア学）	—	平成6年度	同上		※令和5年度より学生募集停止	
	建築学科	4	—		—	—	学士（建築学）	—	平成18年度	兵庫県西宮市戸崎町1番13号		※令和2年度より学生募集停止	
	社会情報学部								1.02				
	社会情報学科	4	180		—	360	学士（社会情報学）	1.02	令和5年度	兵庫県西宮市池開町6番46号			
	食物栄養科学部								0.94				
	食物栄養学科	4	200	3年次	10	820	学士（食物栄養学）	0.97	令和2年度	同上			
	食創造科学科	4	80	3年次	5	330	学士（食創造科学）	0.85	令和2年度	同上			
	建築学部								1.05				
	建築学科	4	45		—	180	学士（建築学）	1.15	令和2年度	兵庫県西宮市戸崎町1番13号			
	景観建築学科	4	40		—	160	学士（景観建築学）	0.95	令和2年度	同上			
	音楽学部								0.70				
	演奏学科	4	30		—	120	学士（音楽）	0.52	平成21年度	兵庫県西宮市池開町6番46号			
	応用音楽学科	4	20		—	80	学士（応用音楽）	0.97	平成21年度	同上			
	薬学部（6年制）								0.76				
	薬学科	6	105		—	1,155	学士（薬学）	0.76	平成18年度	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号		※令和6年度入学生定員減（△105人）	
	薬学部（4年制）								1.08				
	健康生命薬科学科	4	60		—	180	学士（薬科学）	1.08	平成18年度	同上		※令和6年度入学生定員増（20人）	
	看護学部								1.09				
	看護学科	4	80		—	320	学士（看護学）	1.09	平成27年度	兵庫県西宮市池開町6番46号			
	経営学部								1.03				
	経営学科	4	200		—	800	学士（経営学）	1.03	令和2年度	同上			
	文学研究科												
	日本語日本文学専攻（M）	2	12		—	24	修士（文学）	0.25	昭和46年度	同上			
	日本語日本文学専攻（D）	3	3		—	9	博士（文学）	0.22	平成3年度	同上			
英語英米文学専攻（M）	2	12		—	24	修士（文学）	0.12	昭和46年度	同上				
英語英米文学専攻（D）	3	3		—	9	博士（文学）	0.22	平成12年度	同上				
教育学専攻（M）	2	6		—	12	修士（教育学）	0.33	平成17年度	同上				
臨床心理学専攻（M）	2	20		—	40	修士（臨床心理学）	0.72	平成11年度	同上				
臨床教育学研究科													
臨床教育学専攻（M）	2	16		—	32	修士（臨床教育学）	0.68	平成6年度	同上				
臨床教育学専攻（D）	3	6		—	18	博士（臨床教育学）	0.77	平成9年度	同上				



学校法人武庫川学院 設置認可等に関わる組織の移行表

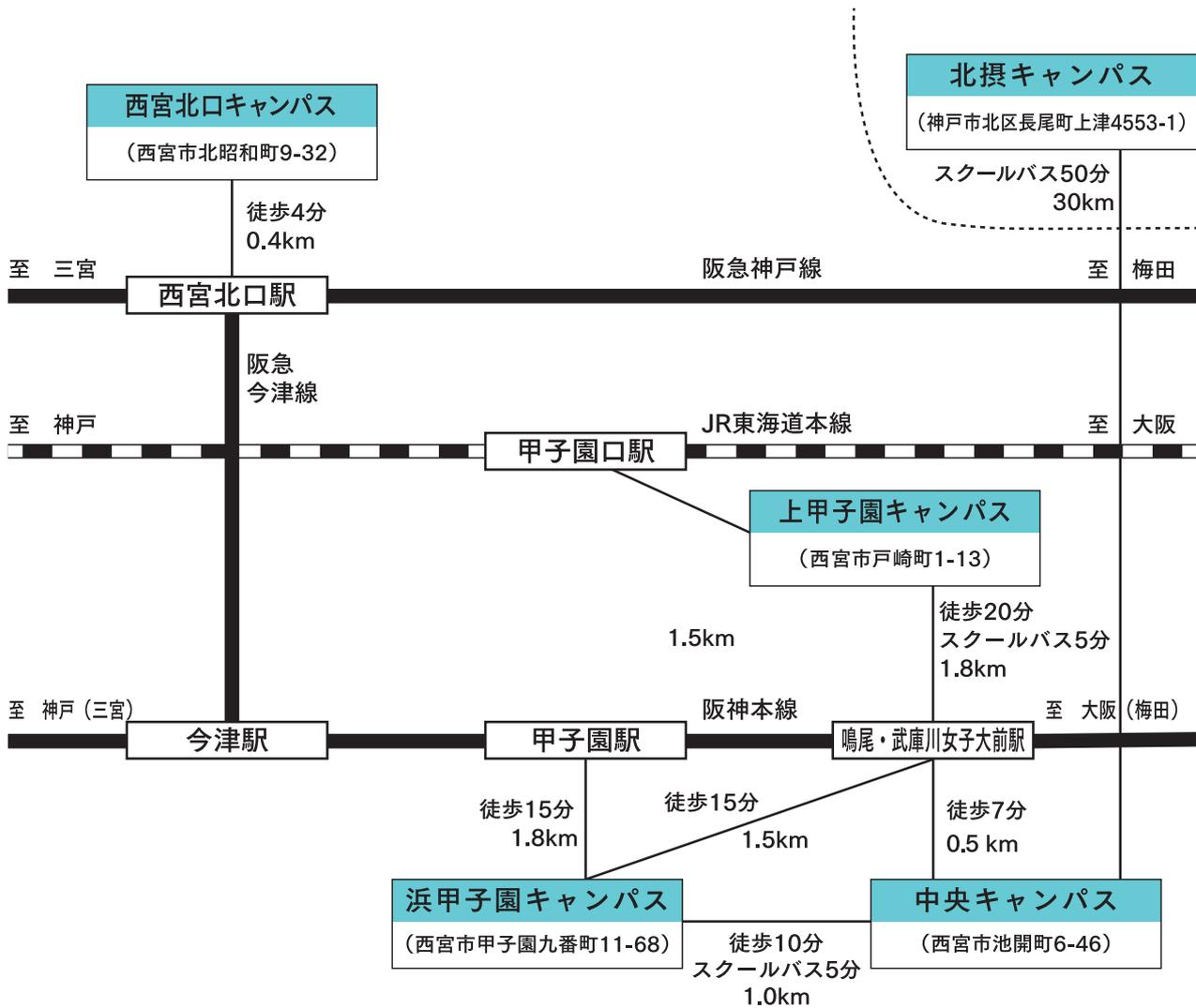
令和6年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
<b>武庫川女子大学</b>				<b>武庫川女子大学</b>				
文学部				文学部				
日本語日本文学科	150	3年次 25	650	日本語日本文学科	150	3年次 25	650	
歴史文化学科	80	—	320	歴史文化学科	80	—	320	
英語グローバル学科	200	3年次 25	850	英語グローバル学科	200	3年次 25	850	
教育学部				教育学部				
教育学科	240	3年次 40	1,040	教育学科	240	3年次 <u>25</u>	<u>1,010</u>	3年次編入学 定員変更(△15)
心理・社会福祉学部				心理・社会福祉学部				
心理学科	150	—	600	心理学科	150	—	600	
社会福祉学科	70	—	280	社会福祉学科	70	—	280	
健康・スポーツ科学部				健康・スポーツ科学部				
健康・スポーツ科学科	180	3年次 20	760	健康・スポーツ科学科	180	3年次 <u>0</u>	<u>720</u>	令和7年4月 3年次編入学学生募集停止
スポーツマネジメント学科	100	—	400	スポーツマネジメント学科	100	—	400	
生活環境学部				生活環境学部				
生活環境学科	165	3年次 20	700	生活環境学科	<u>195</u>	3年次 20	<u>820</u>	定員変更(30)
社会情報学部				社会情報学部				
社会情報学科	180	—	720	社会情報学科	180	—	720	
食物栄養科学部				食物栄養科学部				
食物栄養学科	200	3年次 10	820	食物栄養学科	200	3年次 10	820	
食創造科学科	80	3年次 5	330	食創造科学科	80	3年次 5	330	
建築学部				建築学部				
建築学科	45	—	180	建築学科	45	—	180	
景観建築学科	40	—	160	景観建築学科	40	—	160	
音楽学部				音楽学部				
演奏学科	30	—	120	演奏学科	30	—	120	
応用音楽学科	20	—	80	応用音楽学科	20	—	80	
薬学部				薬学部				
薬学科(6年制)	105	—	630	薬学科(6年制)	105	—	630	
健康生命薬科学科	60	—	240	健康生命薬科学科	60	—	240	
看護学部				環境共生学部				学部の設置(届出)
看護学科	80	—	320	環境共生学科	<u>120</u>	—	<u>480</u>	
経営学部				看護学部				
経営学科	200	—	800	看護学科	80	—	320	
計	<b>2,375</b>	3年次 <b>145</b>	<b>10,000</b>	経営学部				
				経営学科	200	—	800	
				計	<b>2,525</b>	3年次 <b>110</b>	<b>10,530</b>	
<b>武庫川女子大学大学院</b>				<b>武庫川女子大学大学院</b>				
文学研究科				文学研究科				
日本語日本文学専攻(M)	12	—	24	日本語日本文学専攻(M)	12	—	24	
日本語日本文学専攻(D)	3	—	9	日本語日本文学専攻(D)	3	—	9	
英語英米文学専攻(M)	12	—	24	英語英米文学専攻(M)	12	—	24	
英語英米文学専攻(D)	3	—	9	英語英米文学専攻(D)	3	—	9	
教育学専攻(M)	6	—	12	教育学専攻(M)	6	—	12	
臨床心理学専攻(M)	20	—	40	臨床心理学専攻(M)	20	—	40	
臨床教育学研究科				臨床心理学専攻(D)	6	—	12	
臨床教育学専攻(M)	16	—	32	臨床心理学専攻(M)	20	—	40	
臨床教育学専攻(D)	6	—	18	臨床教育学専攻(M)	16	—	32	
健康・スポーツ科学研究科				臨床教育学専攻(D)	6	—	18	
健康・スポーツ科学専攻(M)	20	—	40	健康・スポーツ科学研究科				
生活環境学研究科				健康・スポーツ科学専攻(M)	20	—	40	
生活環境学専攻(M)	6	—	12	生活環境学研究科				
生活環境学専攻(D)	2	—	6	生活環境学専攻(M)	6	—	12	
食物栄養科学研究科				生活環境学専攻(D)	2	—	6	
食物栄養学専攻(M)	8	—	16	食物栄養科学研究科				
食物栄養学専攻(D)	2	—	6	食物栄養学専攻(M)	8	—	16	
食創造科学専攻(M)	4	—	8	食物栄養学専攻(D)	2	—	6	
食創造科学専攻(D)	2	—	6	食創造科学専攻(M)	4	—	8	
建築学研究科				食創造科学専攻(D)	2	—	6	
建築学専攻(M)	22	—	44	建築学研究科				
建築学専攻(D)	2	—	6	建築学専攻(M)	22	—	44	
景観建築学専攻(M)	15	—	30	建築学専攻(D)	2	—	6	
景観建築学専攻(D)	1	—	3	景観建築学専攻(M)	15	—	30	
薬学研究科				景観建築学専攻(D)	1	—	3	
薬学専攻(4年制D)	2	—	8	薬学研究科				
薬科学専攻(M)	30	—	60	薬学専攻(4年制D)	2	—	8	
薬科学専攻(D)	2	—	6	薬科学専攻(M)	30	—	60	
看護学研究科				薬科学専攻(D)	2	—	6	
看護学専攻(M)	15	—	30	看護学研究科				
看護学専攻(D)	5	—	15	看護学専攻(M)	15	—	30	
計	<b>216</b>	—	<b>464</b>	看護学専攻(D)	5	—	15	
				計	<b>216</b>	—	<b>464</b>	
<b>武庫川女子大学短期大学部</b>				<b>武庫川女子大学短期大学部</b>				
幼児教育学科	50	—	100	幼児教育学科	<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和7年4月学生募集停止
食生活学科	40	—	80	食生活学科	<u>0</u>	—	<u>0</u>	
生活造形学科	60	—	120	生活造形学科	<u>0</u>	—	<u>0</u>	
計	<b>150</b>	—	<b>300</b>	計	<b>0</b>	—	<b>0</b>	

# (1) 都道府県（兵庫県）内における位置関係の図面



## (2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面 武庫川女子大学キャンパス関係図

(注：本図は、校地面積不算入施設用地を除く。)



### (3) 校舎、運動場等の配置図

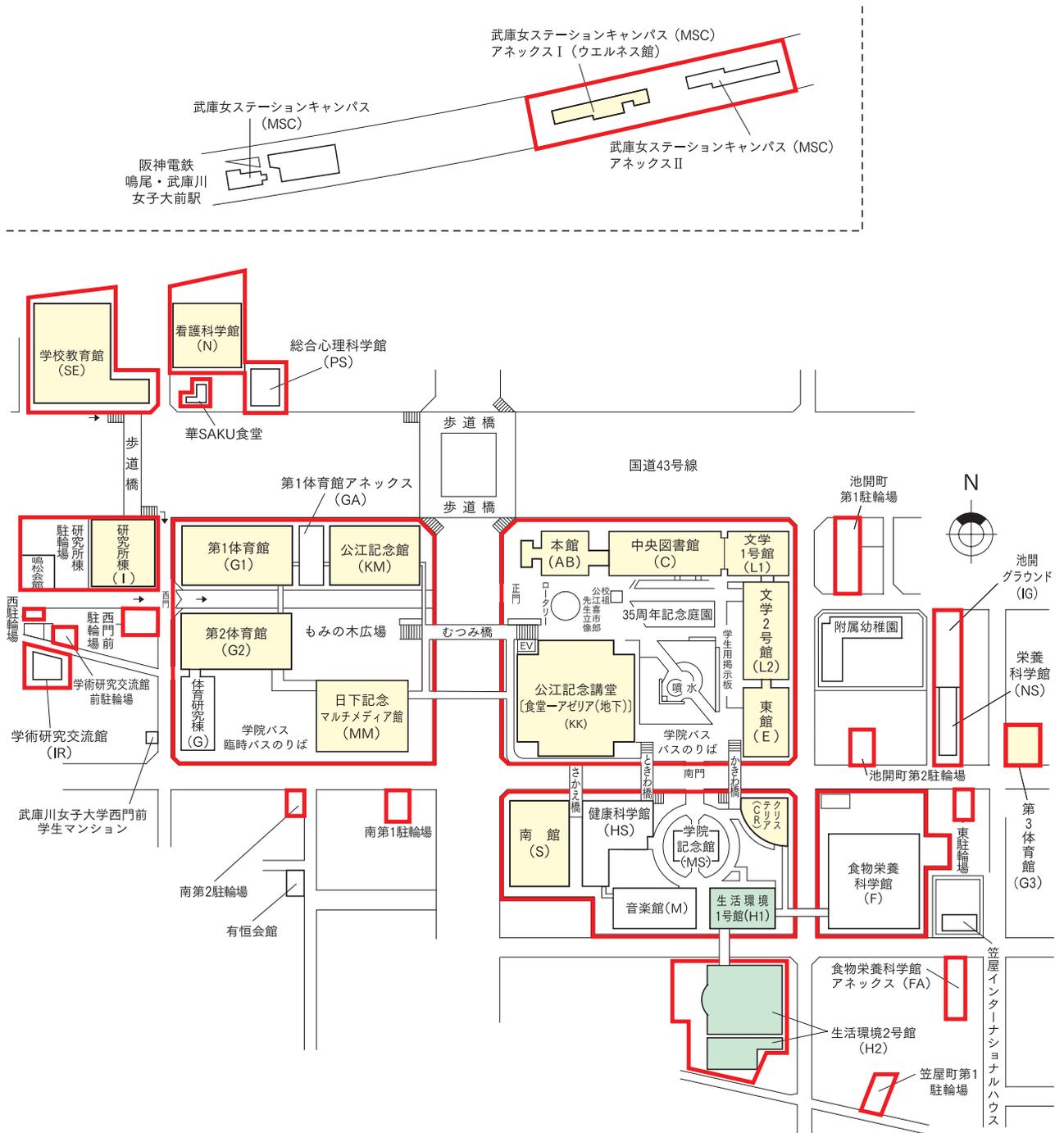
## 中央キャンパス

(西宮市池開町他)

	校地面積	校舎面積
専用	2,316.11m <sup>2</sup>	20,490.22m <sup>2</sup>
共用*	113,936.14m <sup>2</sup>	109,287.34m <sup>2</sup>
	(うち借用1,129.19m <sup>2</sup> )	
合計	116,252.25m <sup>2</sup>	129,777.56m <sup>2</sup>

※武庫川女子大学短期大学部との共用

- 校地面積算入部分
- 主として生活環境学部が使用する校舎
- 他学部等と共用する校舎

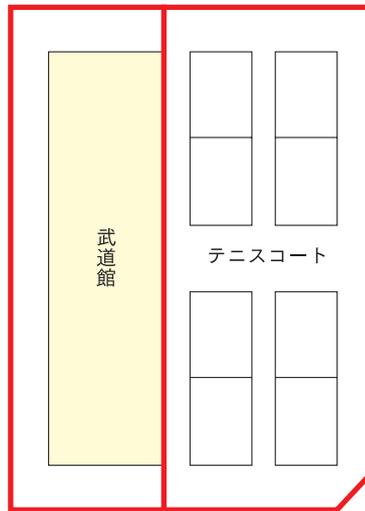


# (中央キャンパス) 上田テニスコート

(西宮市上田西町)

大学・短大共用

 校地面積算入部分  
 他学部等と共用する校舎

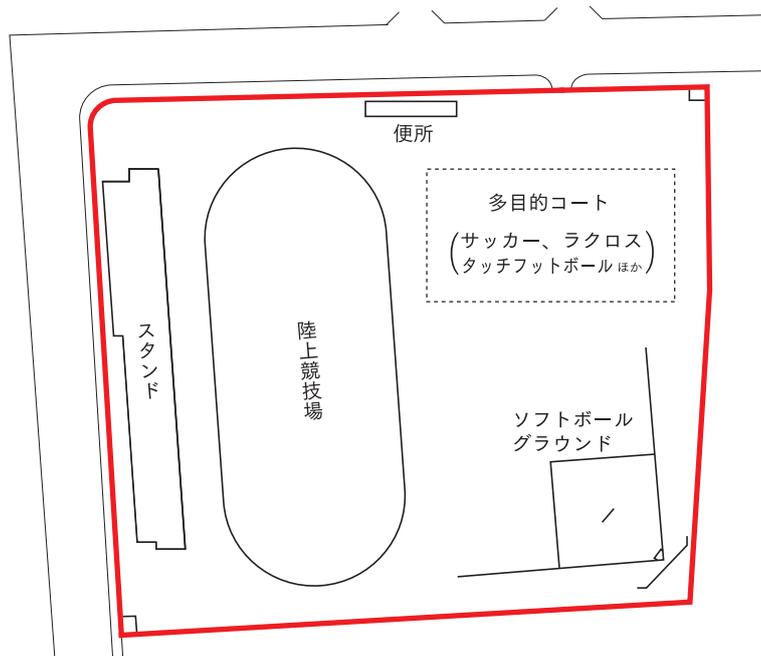


〈中央キャンパスから徒歩5分〉

# (中央キャンパス) 総合スタジアム

(西宮市鳴尾浜)

大学・短大共用



〈中央キャンパスからスクールバス10分〉

# 浜甲子園キャンパス

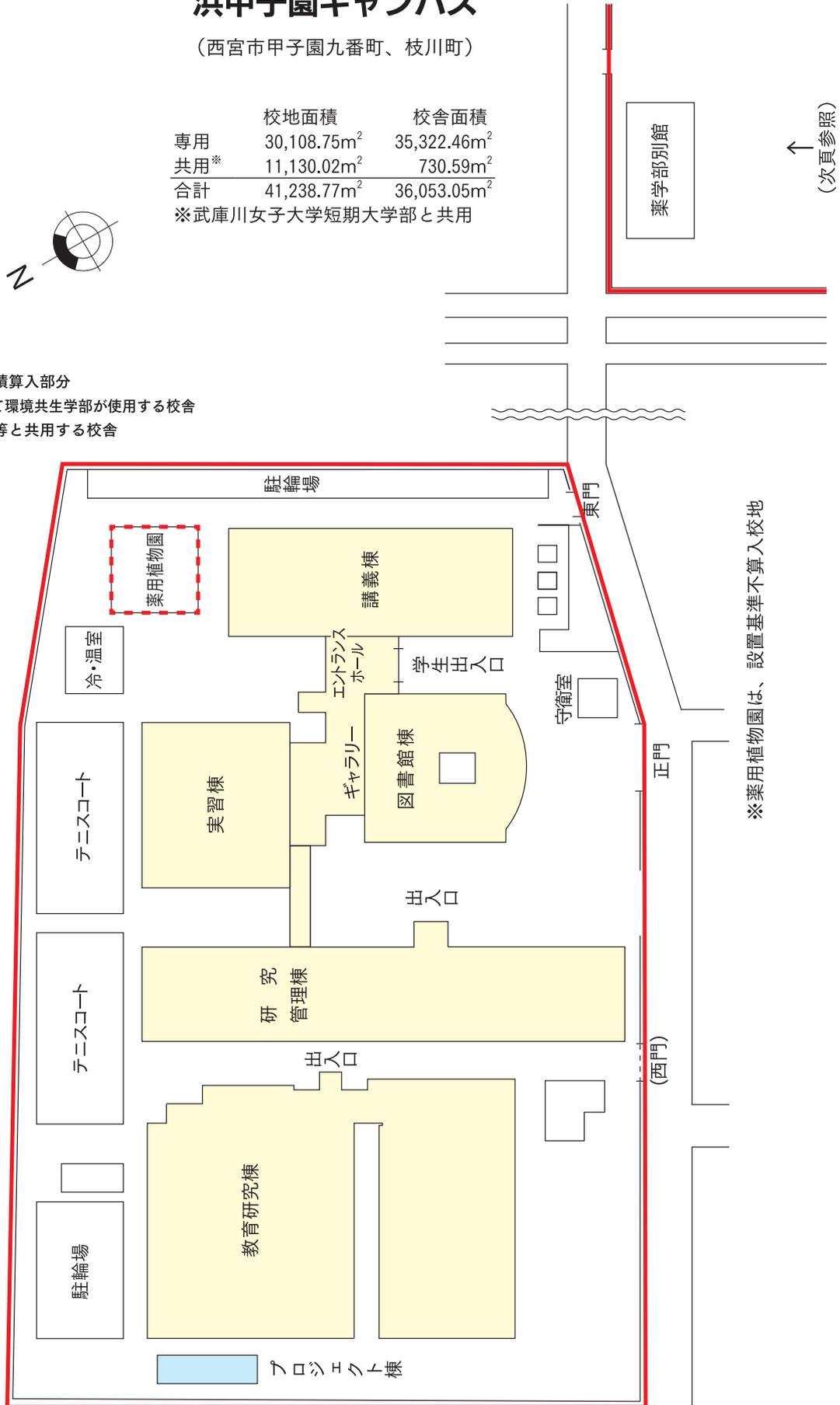
(西宮市甲子園九番町、枝川町)

	校地面積	校舎面積
専用	30,108.75m <sup>2</sup>	35,322.46m <sup>2</sup>
共用 <sup>※</sup>	11,130.02m <sup>2</sup>	730.59m <sup>2</sup>
合計	41,238.77m <sup>2</sup>	36,053.05m <sup>2</sup>

※武庫川女子大学短期大学部と共用



- 校地面積算入部分
- 主として環境共生学部が使用する校舎
- 他学部等と共用する校舎

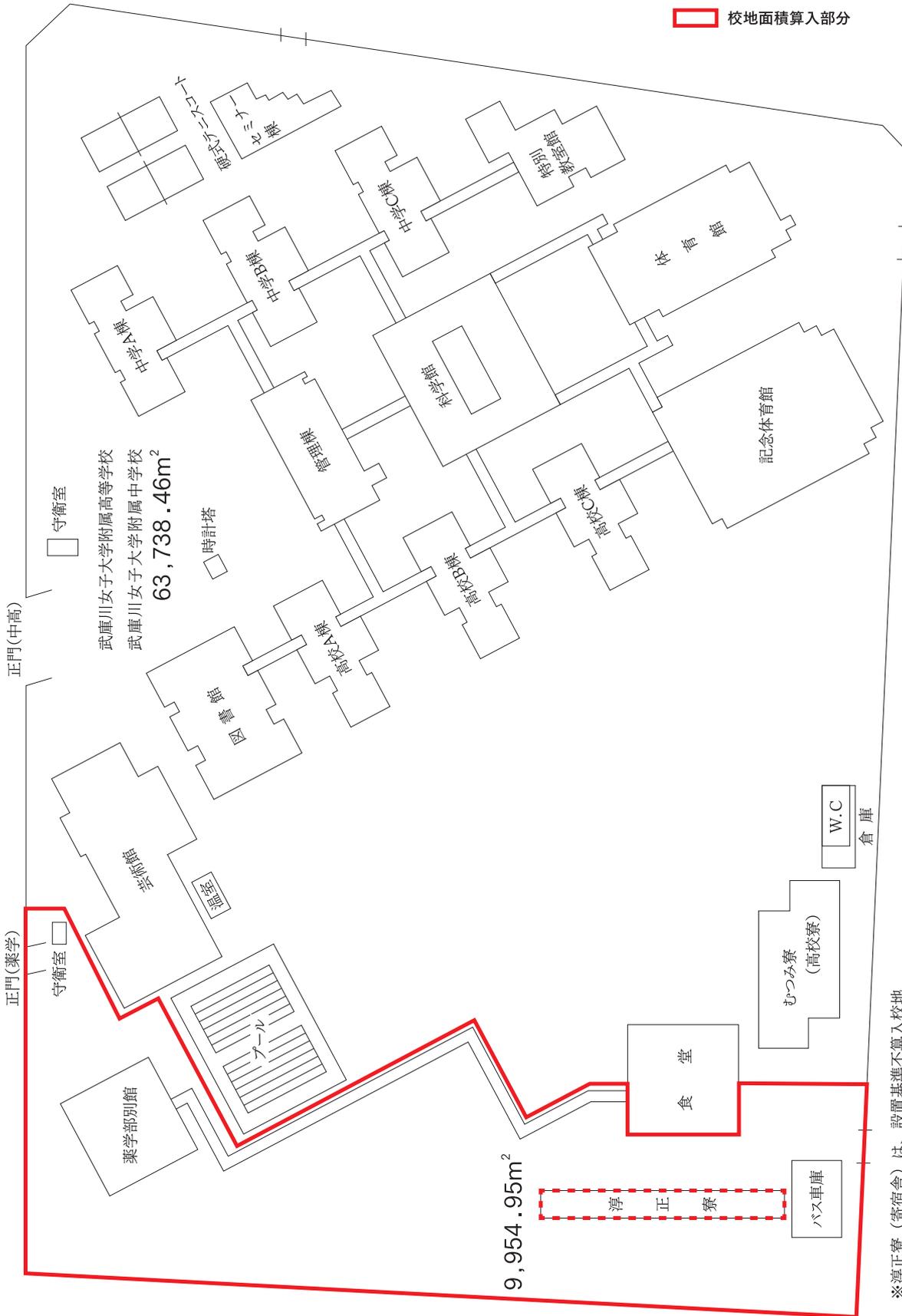


※薬用植物園は、設置基準不算入校地

↑  
(次頁参照)

# (浜甲子園キャンパス)

(西宮市枝川町)

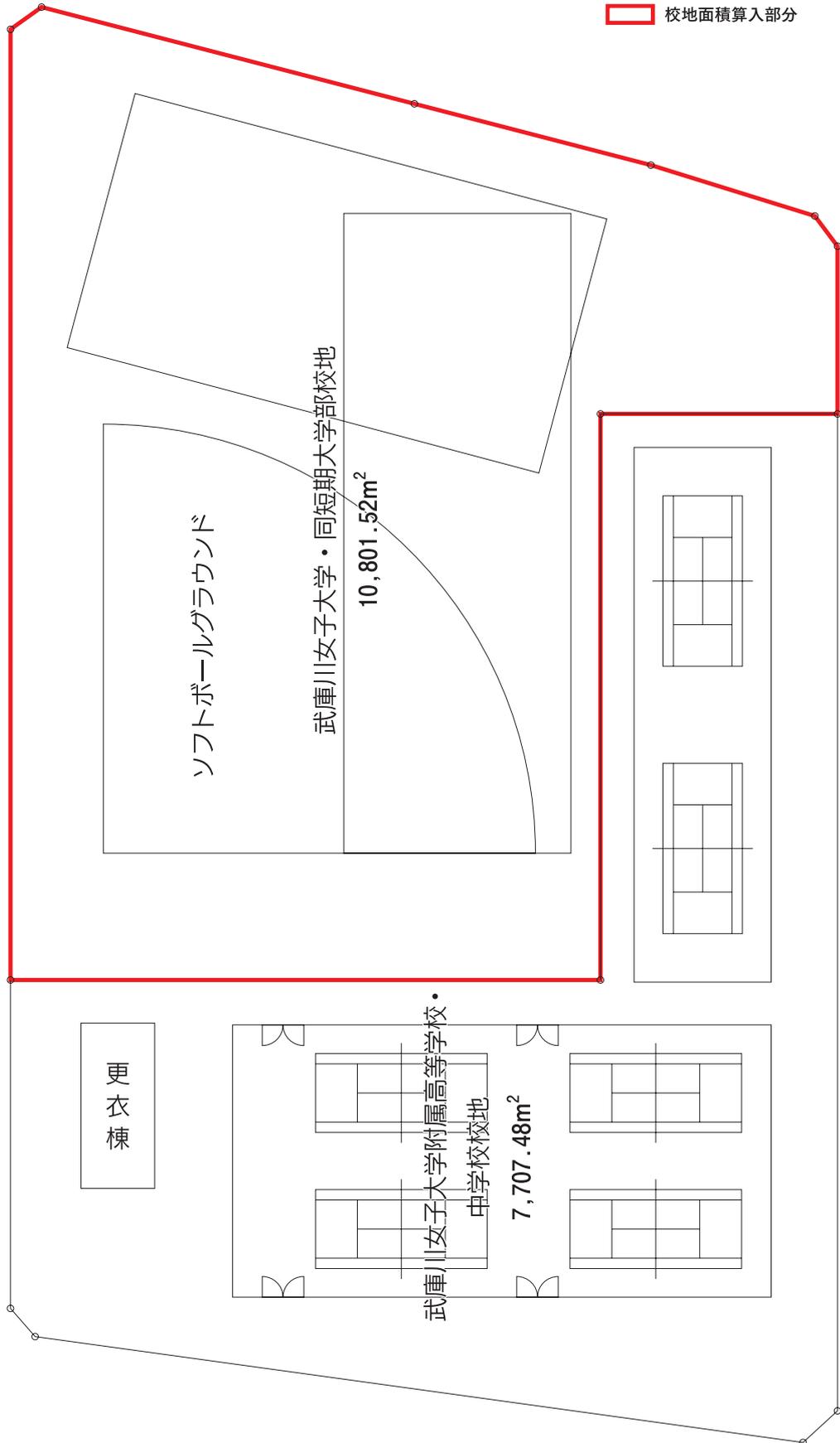


※浮正寮(寄宿舎)は、設置基準不算入校地

# (浜甲子園キャンパス) 浜甲子園グラウンド

(西宮市枝川町)

 校地面積算入部分



校地面積算入部分

# 上甲子園キャンパス

(西宮市戸崎町)

校地面積 校舎面積  
専用 35,948.62m<sup>2</sup> 17,602.31m<sup>2</sup>



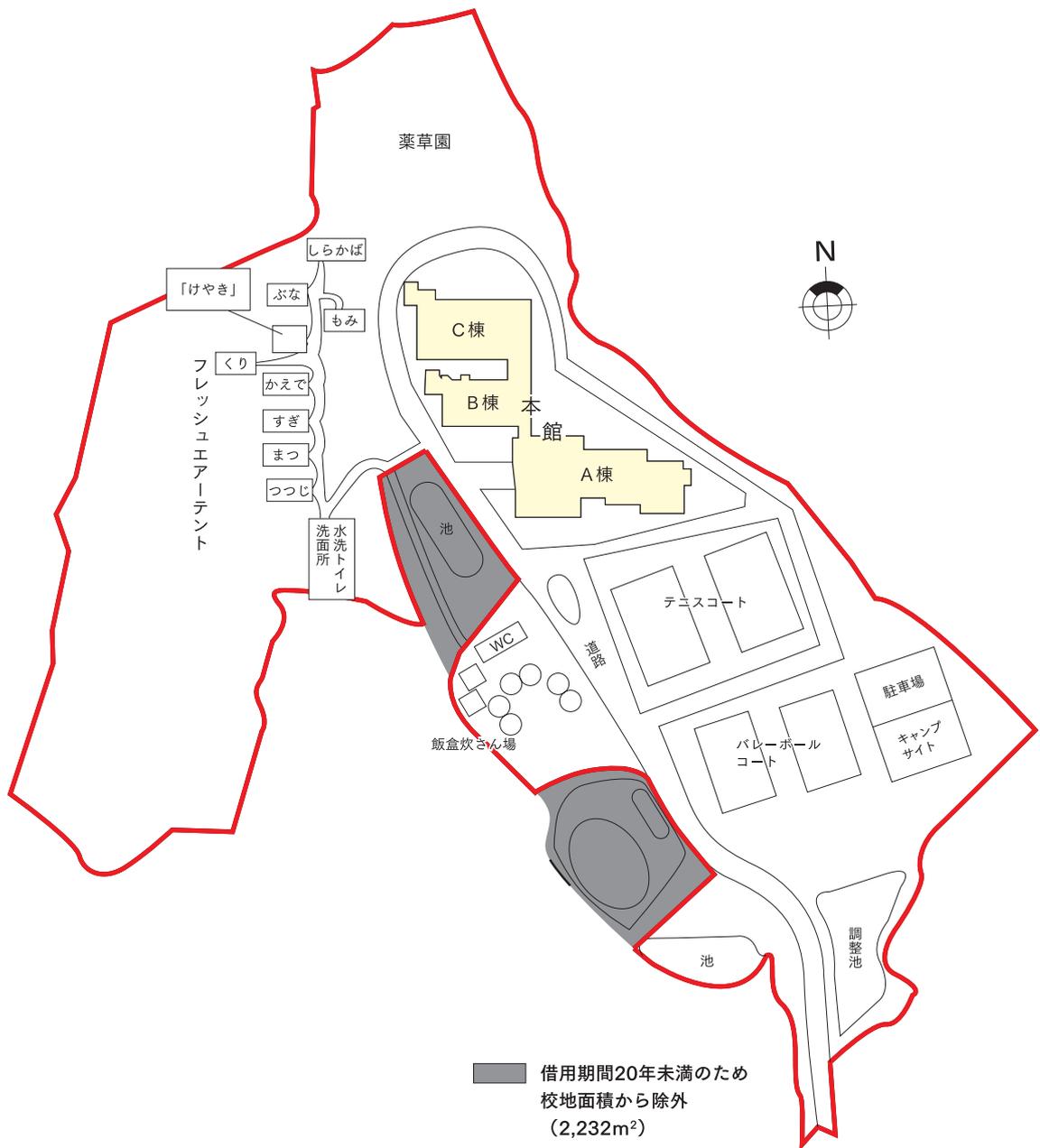
# 北摂キャンパス

(神戸市北区長尾町)

- 校地面積算入部分
- 他学部等と共用する校舎

	校地面積	校舎面積
共用*	40,220.00m <sup>2</sup>	4,243.68m <sup>2</sup>

※武庫川女子大学短期大学部と共用



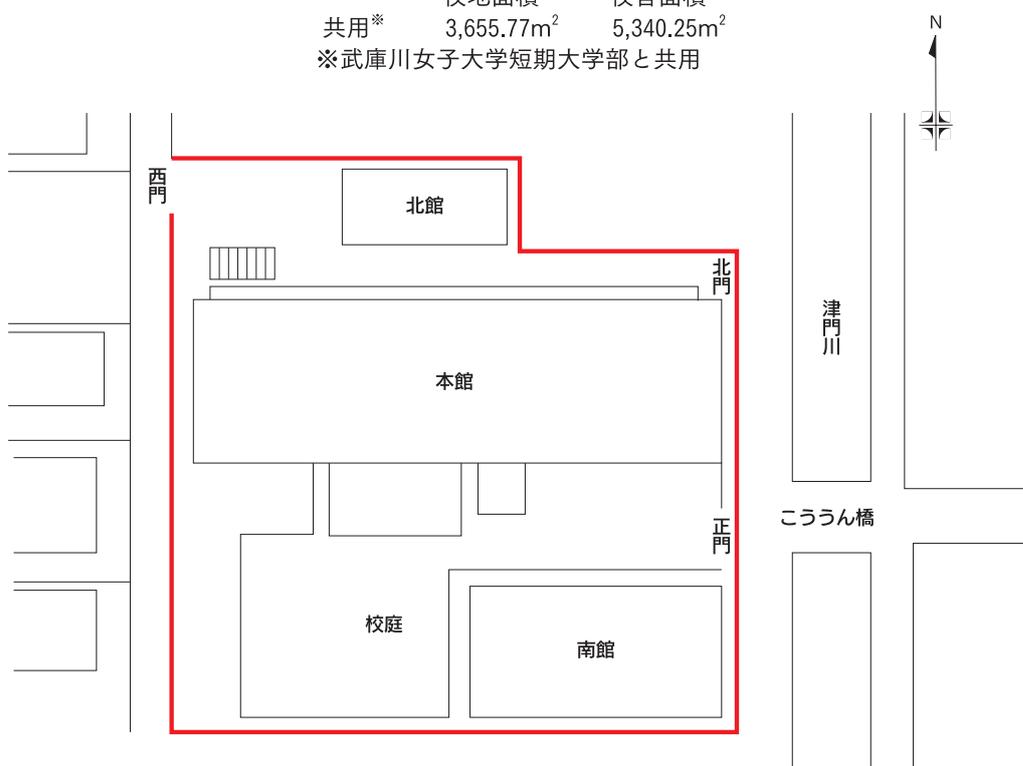
■ 借用期間20年未満のため  
校地面積から除外  
(2,232m<sup>2</sup>)

 校地面積算入部分

## 西宮北口キャンパス

(西宮市北昭和町)

校地面積 校舎面積  
共用※ 3,655.77m<sup>2</sup> 5,340.25m<sup>2</sup>  
※武庫川女子大学短期大学部と共用



#### (4) 校舎平面図

記載省略

令和7年4月1日 改正

# 学 則 (案)

武庫川女子大学

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 本学は、武庫川学院立学の精神に基づき、女子に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、高い知性と善美な情操と高雅な徳性を兼ね具えた有為な日本女性を育成して、平和的世界文化の向上に貢献することを目的とする。

### (名称)

第2条 本学は、武庫川女子大学と称する。

### (所在地)

第3条 本学は、兵庫県西宮市池開町6番46号に設置する。

### (自己点検及び評価)

第4条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、教育研究の改善に努める。

2 前項の点検及び評価の実施に関して必要な事項は、別に定める。

### (教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第4条の2 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、本学における研修及び研究を組織的に実施するものとする。

2 前項の教育内容等の改善のための組織的な研修等の実施に関して必要な事項は、別に定める。

## 第2章 学部・学科・収容定員・目的及び修業年限

### (学部・学科及び収容定員)

第5条 本学に置く学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科	150	3年次 25	650
	歴 史 文 化 学 科	80	—	320
	英 語 グ ロ ー バ ル 学 科	200	3年次 25	850
教 育 学 部	教 育 学 科	240	3年次 25	1,010
心 理 ・ 社会福祉学部	心 理 学 科	150	—	600
	社 会 福 祉 学 科	70	—	280
健康・スポーツ 科学部	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 科	180	—	720
	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト 学 科	100	—	400
生活環境学部	生 活 環 境 学 科	195	3年次 20	820
社会情報学部	社 会 情 報 学 科	180	—	720
食物栄養科学部	食 物 栄 養 学 科	200	3年次 10	820
	食 創 造 科 学 科	80	3年次 5	330
建 築 学 部	建 築 学 科	45	—	180
	景 観 建 築 学 科	40	—	160
音 楽 学 部	演 奏 学 科	30	—	120
	応 用 音 楽 学 科	20	—	80
薬 学 部	薬 学 科	105	—	630
	健 康 生 命 薬 科 学 科	60	—	240
環境共生学部	環 境 共 生 学 科	120	—	480
看護学部	看 護 学 科	80	—	320
経営学部	経 営 学 科	200	—	800

(目的)

第5条の2 各学部・学科の目的は次のとおりとする。

2 文学部は、人間の本質と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じうる有為な女性を育成することを目的とする。

(1) 日本語日本文学科は、日本語日本文学の教育研究を通じて、健全な社会の構築と発展に寄与することのできる、有為な女性を養成することを目的とする。

(2) 歴史文化学科は、現代日本の社会が歴史的に形成されてきたことを理解した上で、多元的な歴史認識に立って未来社会を創造する有為な女性を養成することを目的とする。

(3) 英語グローバル学科は、英語英米文化文学の教育研究を通して、言語や文化、文学を深く理解し、自文化のみならず異文化の優れた理解者として、実践的に英語を使って国際社会で活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。

3 教育学部教育学科は、立学の精神と教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、時代と社会の要請に応えつつ高度化していく教育・保育を担える有為な女性の育成を目的とする。

この目的を実現するために、教育学・保育学の優れた知見を広く学び、その応用と研究により学びを深めることを通じて、国内・国外の様々な教育・保育の場において必要とされる優れた実践的指導力、高い意欲及び創造性を養う。

4 心理・社会福祉学部は、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、来るべき人間中心社会の担い手として、「誰一人取り残さない (leave no one behind) 世界」の実現に向けて、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に向けて、自ら考え行動する力、他者と共に生きる社会の共同的な価値を創造する力、社会の多様性や異質性を理解し社会的な課題に立ち向かうことができる力を備えた人材の育成を目的とする。

(1) 心理学科は、自身の理想を探求・追求し、社会の一員としての自覚を持ち、人びとの幸福に貢献することを目指して、心理学の諸領域における専門的知識と方法論を習得するとともに、個人・社会的問題および学術的課題を主体的に発見し、その解決過程を他者と協働しながら実践的に学ぶことによって、課題発見力と実践力を身につけ、多様な課題に想像力と柔軟性をもって取り組むことができる人材を養成することを目的とする。

(2) 社会福祉学科は、一人ひとりの個性とその人らしく生きる権利を尊重し、支援を必要としている人たちと共に自らも、さらには地域や社会もエンパワメントしていけるよう、グローバルな社会の一員としてさまざまな領域で活躍することを目指し、人間中心社会の理念を理解し、持続可能な包摂的社会の実現に向け地域市民として、また福祉専門職として、他者と共に生きる社会における共同的な価値の創造を希求し、社会の多様性、異質性に謙虚に向き合い、社会的な課題の解決に向けて実践することができる人材を養成することを目的とする。

5 健康・スポーツ科学部は、幅広い専門知識並びに豊かな人間性と倫理観を養い、学校や企業、地域社会で活躍できる優れた健康・スポーツの実践者・指導者・管理者となる有為な女性を育成

することを目的とする。

(1) 健康・スポーツ科学科は、科学的知識に裏づけられた体育・スポーツの研究とその実践を通して、心身の健康並びに体力の保持増進について指導者的役割を担う、幅広い分野の健康・スポーツに関わる指導者、保健体育に関わる教育者を養成することを目的とする。

(2) スポーツマネジメント学科は、健康スポーツ科学の優れた知見と実践を広く学び、多角的な視点からスポーツマネジメントやビジネスに対する理解を深め、多様な社会的課題の解決やダイバーシティの推進に資するマネジメント力と創造性を有する女性を育成することを目的とする。

6 生活環境学部生活環境学科は、衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境としてとらえ、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成することを目的とする。

7 社会情報学部社会情報学科は、情報化社会を超えるデータ駆動の新しい世界に向けて、社会科学と情報科学を両翼とし、これをデータサイエンスで結合する実践的教育研究体系によって、コンピュータネットワークがもたらす仮想空間においても、人間性をいかに発揮できる知恵と技術をそなえた人材を育成することを目的とする。

8 食物栄養科学部は、栄養士・管理栄養士の基礎資格の基礎から応用までの科目を修得させ、実践力と応用力を有する人材育成を実施する。さらに食物栄養学科では、あらゆる人々に対して食による予防・医療栄養を遂行できる指導力のある人材、また食創造科学科では国内外の食産業界で第六次産業をグローバルな発想力で企画運営できる人材の育成を目的とする。

(1) 食物栄養学科は、食物栄養の分野にとどまらず、公衆衛生学、臨床医学、栄養学、栄養教育、臨床栄養学、公衆栄養学分野等の専門的な知識と技術を広く学び、その応用と研究により学びを深めることを通じて、管理栄養士として必要とされる実践的指導力、高い意欲と創造性を身につけることを目的とする。

(2) 食創造科学科は、初年次よりキャリア意識を育みながら、栄養士関連科目を修得して専門性を高め3年次後期には全員に食産業界へのインターンシップ参加を義務づける。在学中の就業体験を通じて、実践的な知識を深め、人間形成・キャリア形成を図り、次世代の食産業界を牽引する女性人材の輩出を目的とする。

9 建築学部は、「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培うことを目的とする。

(1) 建築学科は、「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、UNESCO-UIA 建築教育憲章に対応した世界基準の学びを通して培うことを目的とする。

(2) 景観建築学科は、「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎

的能力を、自然との共生や景観映像情報技術の幅広い学びを通して培うことを目的とする。

- 10 音楽学部は、理論と実践を通じて、音楽知識・技術及び東西文化の普遍的な美的価値観を追求するとともに、音楽応用を探究し、文化・社会の発展に寄与する音楽家をはじめ、音楽の指導者、音楽応用の専門家を育成することを目的とする。
  - (1) 演奏学科は、音楽演奏を通して、豊かな人間性と幅広い教養、高い専門知識・技術を養い、演奏家、指導者として文化・社会の発展に寄与する有為な女性を養成することを目的とする。
  - (2) 応用音楽学科は、豊かな人間性と幅広い教養、音楽専門知識・技術に基づく音楽の応用によって、地域・社会の活性化及び人間の心身の健康の維持・安定に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。
- 11 薬学部は、幅広い教養と人間性豊かな専門知識を基盤として、医療と薬並びに健康に関する多様な分野で、医療人としての薬剤師をはじめ、薬の創製・管理、衛生薬学、薬事行政などの諸活動を通して、薬学に課せられた社会的使命を遂行し得る有為な女性を養成することを目的とする。
  - (1) 薬学科は、薬剤師として高度な臨床能力と実践力を有し、医療人としての使命感を持ち、病院・薬局などの医療機関をはじめ、薬の専門家としてあらゆる場面で活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。
  - (2) 健康生命薬科学科は、健康科学、生命科学を重視した薬科学教育によって、研究機関、医薬品関連業界、環境衛生行政など、薬と健康に関連した多彩な分野で社会に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。
- 12 環境共生学部環境共生学科は、幅広い視野・教養・科学的知見に支えられた分析思考力・豊かな経験知・多様な他者との共感力を活用して、地球環境・自然環境問題に関わる諸課題を解決する計画を立案し実践できる人材の養成を目的とする。
- 13 看護学部看護学科は、豊かな人間性に裏づけられた感性を生かし、様々な健康レベルの人々（患者）を生活者としてとらえ、豊かな人間性と高い倫理観、科学的根拠に裏づけられた行動力をもって、心身両面にわたってトータルケアのできる未来志向の看護実践者を育成することを目的とする。
- 14 経営学部経営学科は、本学院が掲げる立学の精神、教育目標、教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養とグローバル化する社会への理解を有し、地域社会で生きる人々を尊重し、相互に助け合うことができる豊かな人間性を備えるとともに、経営全般に関する専門的知識と実践力を有し、どのような時代にあっても、世界のどこにいても、何歳であっても、たとえ逆境にいたとしても、自らの暮らしをその環境にあわせて構築し、そのために必要となる知識や技能を獲得し、協力してくれる人との良好な関係を築ける能力と意欲を持ち続け、国内外のビジネス社会で活躍できる人材を養成することで、“しなやかな女性キャリア”の実現に貢献することを目的とする。

(大学院及び専攻科)

第6条 本学に大学院及び専攻科を置く。

2 大学院の学則並びに専攻科に関する必要な事項は、別に定める。

(修業年限及び在学年限)

第7条 本学の修業年限は4年とする。ただし、薬学部薬学科については6年とする。

2 第16条の規定により編入学した者、再入学及び転入学した者の修業年限の取扱いについては、別に定める。

3 在学年限は、修業年限の2倍を超えることができない。

4 本条第3項のほか、薬学部薬学科においては、同一学年に在学することができる年数は2年を限度とする。

### 第3章 学年・学期及び休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日より8月31日まで

後学期 9月1日より3月31日まで

(休業日)

第10条 休業日は次のとおりとする。

(1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(2) 創立記念日 2月25日

(3) 日曜日

(4) 夏季休業 8月5日より9月14日まで

(5) 冬季休業 12月25日より翌年1月7日まで

(6) 春季休業 3月20日より4月2日まで

2 学長は、必要がある場合、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 学長は、第1項に規定するもののほか、臨時の休業日を定めることができる。

### 第4章 入学・編入学・再入学・留学・転学部・転学科・退学・休学・復学及び除籍

(入学の時期)

第11条 入学期日は学年の始めとする。ただし、後学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第12条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 大学入学資格検定規程により、文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (6) 文部科学大臣が高等学校若しくは中等教育学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学において、相当の年齢に達し高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第13条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選抜)

第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選抜を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第15条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の入学金を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
- 3 入学を許可された者は、所定の期日までに、入学誓書兼同意書・保証書・その他本学所定の書類を提出しなければならない。
- 4 前項の保証書の保証人は、独立の生計を営む満25歳以上の者で、確実に保証人の責務を履行し得るものでなければならない。若し、本学において不相当と認められたときは、保証人の変更を命ずることがある。
- 5 保証人が死亡又はその他の理由で、その責をつくし得ないときは、新たに保証人を選定して、直ちに届け出なければならない。
- 6 保証人が転居した場合は、直ちにその旨を届け出なければならない。

(編入学)

第16条 本学に、編入学を志願する者があるときは、編入学定員を定める学科等のほかは、欠員のある場合に限り、選抜の上、入学を許可することがある。

- 2 編入学の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。
  - (1) 短期大学を卒業した者
  - (2) 大学に2年以上在学し、本学が定める所定の単位を修得した者
  - (3) 高等専門学校を卒業した者
  - (4) 学校教育法第132条の規定により、大学に編入学することができる者
- 3 第1項の規定により、入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。
- 4 編入学について必要な事項は、別に定める。

(再入学)

第16条の2 本学に、再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により、入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

3 再入学について必要な事項は、別に定める。

(留学)

第16条の3 本学と交換留学協定又は派遣留学に関する協定を締結している外国の大学に留学を志願する者があるときは、選考の上、留学を許可する。

2 前項により留学した期間は、第7条に規定する修業年限及び在学年限に算入する。

3 留学に関する規定は、別に定める。

(転学部・転学科)

第17条 本学学生が、同一学部に属する他の学科へ転学科を志願したときは、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

2 本学学生が、他学部に属する学科へ転学部を志願したときは、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

3 転学部又は転学科した者の在学年数には、転学部又は転学科前の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

(他大学等からの転学)

第18条 他の大学等の学生が、正当な理由により、本学に転学を志願したときは、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

2 前項の転学生については、第16条第3項の規定を準用する。

(他大学等への転学)

第19条 他の大学等に転学を志望する者があるときは、やむを得ない事情のある場合にのみ許可することがある。

(退学)

第20条 退学しようとする者は、所定の用紙にその理由を記入し、保証人連署の上、願い出て、許可を受けなければならない。

2 第7条第4項の規定に基づき、在学することができない者は退学とする。

(休学)

第21条 疾病その他やむを得ない事情により、2か月以上修学することのできない者は、所定の用紙にその理由を記入し、保証人連署の上、願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

2 疾病のため、修学することが適当でないと認められる者については、休学を命ずることがある。

(休学の期間)

第22条 休学の期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の理由がある場合は、引き続

き更に1年まで延長することができる。

- 2 休学の期間は、通算して2年を超えることができない。
- 3 休学の期間は、第7条第3項及び第4項の在学年限に算入しない。

(復学)

第23条 休学期間中に、その理由が消滅した場合は、所定の用紙にその理由を記入し、保証人連署の上、願い出て、復学することができる。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(除籍)

第24条 次の各号の一に該当する者は除籍する。

- (1) 第7条第3項に規定する在学年限を超えた者
- (2) 第22条第2項に規定する休学の期間を超えて、なお修学できない者
- (3) 休学期間満了後正当な理由なくして、復学、休学の継続、退学のいずれかの願い出がない者
- (4) 学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (5) 長期間にわたり所在不明の者
- (6) 法に定める在留資格が得られない者
- (7) 死亡した者

第25条 入学・編入学・再入学・留学・転学部・転学科・退学・休学・復学及び除籍する者は、教授会の意見を聴いて、学長が定める。

## 第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第26条 授業科目を分けて、共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目とする。

- 2 前項の授業科目のほか、特別教育科目を置く。
- 3 共通教育科目の授業科目並びにその単位数は、別表第1のとおりとする。
- 4 基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数は、別表第2のとおりとする。
- 5 特別教育科目の授業科目並びにその授業時間数は、別表第3のとおりとする。

第27条 前条に規定するもののほか、教職、司書、司書教諭及び学芸員に関する専門教育科目を置く。

- 2 前項の各授業科目並びにその単位数は、別表第4から第7のとおりとする。

(教育職員免許状)

第27条の2 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を、別表第1、第2及び履修方法(別表第1、第2の備考)、並びに別表第4に従い修得しなければならない。

- 2 本学で開設する教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「各教科の指導法」、「大学が独自に設定する科目」の授業科目並びにその単位数は、別表第4のとおりとする。ただし、教育学部教育学科においては別表第2のとおりとする。

る。健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科における教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」は別表第4のとおり、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「各教科の指導法」、「大学が独自に設定する科目」は別表第2のとおりとする。スポーツマネジメント学科における教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」は別表第4のとおり、「各教科の指導法」は別表第2のとおりとする。

3 食物栄養科学部食物栄養学科の学生で栄養教諭一種免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第1項によるほか、栄養士法、同法施行規則及び管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

4 本学において当該所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域を次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科又は領域
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科	中学校教諭一種免許状	国 語
		高等学校教諭一種免許状	国語・書道
	歴 史 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	社 会
		高等学校教諭一種免許状	地 理 歴 史
	英 語 グ ロ ー バ ル 学 科	中学校教諭一種免許状	英 語
		高等学校教諭一種免許状	英 語
教 育 学 部	教 育 学 科	幼稚園教諭一種免許状	—
		小学校教諭一種免許状	—
		中学校教諭一種免許状	国語・英語
		特別支援学校教諭一種免許状	知的障害者 肢体不自由者 病弱者
健康・スポーツ 科 学 部	健康・スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科	中学校教諭一種免許状	保 健 体 育
		高等学校教諭一種免許状	保 健 体 育
生活環境学部	生 活 環 境 学 科	中学校教諭一種免許状	家 庭
		高等学校教諭一種免許状	家 庭
社会情報学部	社 会 情 報 学 科	高等学校教諭一種免許状	情 報
食物栄養科学部	食 物 栄 養 学 科	栄養教諭一種免許状	—
音 楽 学 部	演 奏 学 科 応 用 音 楽 学 科	中学校教諭一種免許状	音 楽
		高等学校教諭一種免許状	音 楽
薬 学 部	健 康 生 命 薬 科 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
		高等学校教諭一種免許状	理 科
環境共生学部	環 境 共 生 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
		高等学校教諭一種免許状	理 科

(図書館司書、学校図書館司書教諭)

第27条の3 図書館司書課程履修可能な学科において図書館司書の資格を得ようとする者は、第35

条の規定によるほか、図書館法及び同法施行規則に定める単位を別表第5に従い修得しなければならない。

- 2 学校図書館司書教諭講習修了証書授与の資格要件取得可能な学科において学校図書館司書教諭講習修了証書授与の資格要件を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める小学校、中学校又は高等学校の教育職員免許状授与の所要資格を得るために必要な単位を修得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に定める単位を別表第6に従い修得しなければならない。

(博物館学芸員)

第27条の4 博物館学芸員課程履修可能な学科において博物館学芸員の資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、博物館法及び同法施行規則に定める単位を別表第7に従い修得しなければならない。

(保育士)

第27条の5 教育学部教育学科の学生で保育士証交付の資格要件を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 教育学部教育学科の指定養成施設としての定員は100名である。
- 3 履修方法は別に定める。

(栄養士、管理栄養士)

第27条の6 食物栄養科学部食物栄養学科及び食創造科学科の学生で栄養士免許証交付の資格要件を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 食物栄養科学部食物栄養学科の学生で管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、前項の規定により栄養士免許証交付の資格要件を得るとともに、管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。
- 3 履修方法は別に定める。

(建築士)

第27条の7 生活環境学部生活環境学科及び建築学科、建築学部建築学科及び景観建築学科の学生で本学を卒業後2年以上の実務の経験を経て一級建築士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、建築士法第14条第1号に基づき、国土交通大臣の指定する建築に関する科目の単位を修得しなければならない。

- 2 履修方法は別に定める。

(社会福祉士、精神保健福祉士)

第27条の8 心理・社会福祉学部社会福祉学科の学生で、社会福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 心理・社会福祉学部社会福祉学科の学生で、精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、精神保健福祉士法に定める所定の単位を修得しなければならない。

い。

- 3 心理・社会福祉学部社会福祉学科の定員は70名である。
- 4 心理・社会福祉学部社会福祉学科の、社会福祉士の指定養成施設としての定員は70名である。
- 5 心理・社会福祉学部社会福祉学科の、精神保健福祉士の指定養成施設としての定員は40名である。
- 6 履修方法は別に定める。

(看護師)

第27条の9 看護学部看護学科の学生で、看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 履修方法は別に定める。

(単位の計算方法)

第28条 第26条第1項並びに第27条第1項に規定する各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要がある場合には、授業科目の内容及び授業の方法に応じ、教育効果を考慮して、30時間の授業をもって1単位とすることができる。音楽の個人指導による実技の授業については、特に授業時間外に必要な学修を考慮して、5時間又は10時間の授業をもって1単位とすることができる。なお、社会福祉士国家試験受験資格に係る「ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅱ」、精神保健福祉士国家試験受験資格に係る「ソーシャルワーク実習Ⅲ、ソーシャルワーク実習Ⅳ」、保育士資格に係る「保育実習、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ」、及び公認心理師国家試験受験資格に係る「心理実習」として開設の授業科目のうち実習施設における授業時間数については、厚生労働省がそれぞれの指定基準に定める実習時間数に基づき、40時間又は45時間の授業をもって1単位とする。
  - (3) 1の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法により行なう場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
  - 3 特別教育科目である、ボランティア活動及びインターンシップ活動による単位認定は30時間の活動をもって1単位とする。対象となる活動については、別に定める。

(多様なメディアを高度に利用した学修)

第28条の2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前条に規定する講義、演習、実験、実習及び実技による授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(1年間の授業期間)

第29条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(単位の授与)

第30条 特別教育科目を除く授業科目にあっては、その授業科目を履修し、成績評価の結果、合格した者には所定の単位を与える。ただし、第28条第2項の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与えることができる。

2 第28条第3項の基準に従って認定された者には所定の特別単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第31条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学の協定した他の大学又は短期大学の授業科目を履修し修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が第16条の3の規定により外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第32条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 第1項に規定する学修に対する単位の認定等について必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第33条 本学の第1年次に入学した学生が、入学する前に大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について、修得した単位(科目等履修生により修得した単位を含む。)を、本学が教育上有益と認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学の第1年次に入学した学生が、入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学が教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第31条第1項及び第2項並びに前

条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績の評価)

第34条 試験等成績の評価は、S、A、B、C、不合格、E、F、認をもって表わし、S、A、B、C、認を合格とする。

2 この学則に定めるもののほか、成績の評価に関する必要な事項は、別に定める。

## 第6章 卒業及び学位の授与

(卒業の要件)

第35条 本学の卒業要件は、第7条に規定する修業年限以上在学し、別表第1、第2に掲げる授業科目の中から、同表に定める履修方法に従い、124単位以上を修得しなければならない。ただし、生活環境学部建築学科及び建築学部の学生は128単位以上を、薬学部薬学科の学生は190単位以上を、看護学部看護学科の学生は127単位以上を修得しなければならない。

2 前項に規定するもののほか、別表第4から第7に掲げる授業科目を履修し、単位を修得した場合、20単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に含めることができる。

(卒業)

第36条 本学に第7条に規定する修業年限以上在学し、前条に規定する所定の単位数を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

(学位の授与)

第37条 学長は、卒業を認定した者に対して、武庫川女子大学学位規程の定めるところにより、学士の学位を授与する。

第38条 削除

## 第7章 入学検定料・入学金・学費

(入学検定料等の金額)

第39条 本学の入学検定料・入学金及び学費は、別表第8のとおりとする。

(学費の納入期)

第40条 学費は年2回に分けて納入しなければならない。

2 学費の納入時期については、別に定める。

第41条 納入した入学検定料及び入学金は、事情の如何にかかわらず返還しない。

2 納入した授業料・教育充実費及び学生研修費等の取扱いについては、別に定める。

(退学・停学・休学・復学の場合の学費)

第42条 退学・停学・休学・復学の場合の学費の納入方法については、別に定める。

2 休学中は、学費の納入は免除する。ただし、休学中は、休学在籍料を納入しなければならない。休学在籍料に関する必要な事項は、別に定める。

(留年・卒業延期の場合の学費)

第42条の2 留年・卒業延期の場合の学費に関する必要な事項は、別に定める。

## 第8章 教職員組織

(教職員組織)

第43条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、副手、事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

(学長)

第44条 学長は本学の学務を掌理し、所属職員を統督する。

(副学長)

第45条 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

2 学長に事故あるときは、その職務を代行する。

(学部長)

第46条 本学に学部長を置く。

2 学部長は、当該学部の学務を掌理し、所属職員を統督する。

(共通教育部長)

第46条の2 本学に共通教育部長を置く。

2 共通教育部長は、共通教育部の学務を掌理し、所属職員を統督する。

(学科長)

第47条 本学に学科長を置く。

2 学科長は、当該学科の学務を掌理し、所属職員を統督する。

(共通教育科長)

第47条の2 本学に共通教育科長を置く。

2 共通教育科長は、共通教育の学務を掌理し、所属職員を統督する。

(幹事教授)

第48条 本学に幹事教授を置く。

2 幹事教授は、学科長を補佐する。

## 第9章 学部教授会、共通教育部教授会及び評議会

(学部教授会)

第49条 本学に学部教授会（以下「教授会」という。）を置く。

(共通教育部教授会)

第49条の2 本学に共通教育部教授会を置く。

(教授会の構成)

第50条 教授会は、当該学部の専任教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは、当該学部の専任の准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 教授会は、学部長が招集し、その議長となる。

(共通教育部教授会の構成)

第50条の2 共通教育部教授会は、当該部の専任教授をもって構成する。ただし、共通教育部長が必要と認めたときは、当該部の専任の准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 共通教育部教授会は、共通教育部長が招集し、その議長となる。

(教授会の審議事項)

第51条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(共通教育部教授会の審議事項)

第51条の2 共通教育部教授会は、学長が、共通教育に係る教育研究に関する重要な事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

2 共通教育部教授会は、学長及び共通教育部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる共通教育に係る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(評議会)

第52条 本学に大学評議会（以下「評議会」という。）を置き、全学部を横断する事項について審議する。

(評議会の構成)

第53条 評議会は、開設する学部・学科を代表する者を含む学長の申請に基づき理事長が任命した次に掲げる評議員をもって構成する。

(1) 学 長

(2) 副 学 長

(3) 各学部長

(4) 共通教育部長

(5) 各学科長

(6) 教育研究所長

(7) 附属図書館長

(8) その他、学長が必要と認めた者

2 評議会は、学長が招集し、その議長となる。

(評議会の審議事項)

第54条 評議会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学則に基づく規程の制定改廃に関する事項
- (2) 学務に関する全般的事項
- (3) 学生の入学及び卒業の基準に関する事項
- (4) 教育課程の編成に関する全学的な方針の策定、検証、評価等に関する事項
- (5) 教育、研究に関する全般的事項
- (6) その他学長が評議会の意見を聴くことが必要と定める事項

(その他)

第55条 本章に定めるもののほか、教授会、共通教育部教授会及び評議会に関し必要な事項は、別に定める。

## 第10章 科目等履修生・特別聴講生・研究生・研修員及び外国人留学生

(科目等履修生・特別聴講生)

第56条 本学において、特定の授業科目の履修を志望する者がいるときは、本学の教育に支障がない限り、選考の上、科目等履修生として在籍を許可することがある。科目等履修生が受講した授業科目について試験を受け、これに合格した場合は、所定の単位を与える。

2 他の大学又は短期大学(外国の大学・短期大学を含む。)との協議に基づき、当該他の大学又は短期大学の学生が、本学の授業科目について履修を願い出たときは、選考の上、これを特別聴講生として履修を許可することができる。特別聴講生が受講した授業科目について試験を受け、これに合格した場合は、所定の単位を与える。

3 科目等履修生の履修料等は、別表第9のとおりとし、特別聴講生の聴講料等は、別に定める。

(研究生)

第57条 本学において、特に研究を志望する者がいるときは、その願い出により、研究生として許可することがある。

2 研究生の研究料は、別表第10のとおりとする。

(研修員)

第58条 本学以外の機関に所属する者で、その所属機関の長の委託により、大学において特定事項について研修しようとするときは、願い出により、研修員として許可することがある。

2 研修員の研修料は、別に定める。

(外国人留学生)

第59条 外国人で、本学に入学を志願する者がいるときは、選抜の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

(その他)

第60条 科目等履修生・特別聴講生・研究生・研修員及び外国人留学生の許可については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

- 2 科目等履修生・特別聴講生・研究生及び外国人留学生の本学則の適用については、修学上必要な事項のほか第62条並びに第63条の規定を準用する。
- 3 この学則に定めるもののほか、科目等履修生・特別聴講生・研究生・研修員及び外国人留学生に関する必要な事項は、別に定める。

## 第61条 削除

### 第11章 賞罰

#### (表彰)

第62条 学生として全学生の模範となる善行のあった者は、教授会の意見を聴いて、学長が表彰する。

#### (懲戒)

第63条 本学の規則、命令に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした学生は、教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学・停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。
  - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
  - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 前2項により停学となった期間は、第7条に規定する修業年限に含めることはできない。
- 5 この学則に定めるもののほか、懲戒に関する必要な事項は、別に定める。

### 第12章 附属図書館

#### (附属図書館)

第64条 本学に附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関する規定は、別に定める。

### 第13章 スポーツセンター

#### (スポーツセンター)

第65条 本学にスポーツセンターを置く。

- 2 スポーツセンターに関する規定は、別に定める。

### 第14章 研究所

#### (研究所)

第66条 本学に教育研究所、発達臨床心理学研究所、言語文化研究所、生活美学研究所、情報教育研究センター、バイオサイエンス研究所、国際健康開発研究所、トルコ文化研究センター、健康

運動科学研究所、栄養科学研究所、学校教育センター、女性活躍総合研究所及び附属総合ミュージアムを置く。

2 研究所に関する規定は、別に定める。

## 第15章 公開講座

(オープン・カレッジ)

第67条 本学にオープン・カレッジを置く。

2 オープン・カレッジに関する規定は、別に定める。

## 第16章 学寮

(学寮)

第68条 本学に学寮を置く。

2 学寮に関する規定は、別に定める。

## 第17章 改廃

(改廃)

第69条 本学則の改廃は、評議会の意見を聴いて、理事会において決定する。

### 附 則

この学則は、昭和24年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和27年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和33年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和34年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和37年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和38年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和39年8月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和40年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和62年1月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年9月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成11年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年1月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成24年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第35条の規定にかかわらず、平成24年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成25年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。

- 3 第35条の規定にかかわらず、平成25年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

この学則は、平成26年9月1日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 第7条第4項、第20条第2項及び第22条第3項の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の在学年限、退学及び休学の期間については、なお従前のとおりとする。
- 3 第26条第4項の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。
- 4 第27条の2第2項の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の授業科目並びにその単位数（別表第4）については、なお従前のとおりとする。
- 5 第35条の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成27年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

この学則は、平成28年11月1日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。
- 3 第27条の3第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。
- 3 第27条の2の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生の中学校・高等学校教諭「教職に関する科目」の授業科目及びその単位数（別表第4）、並びに教育職員免許状授与の所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域については、なお従前のとおりとする。
- 4 第28条第1項第3号の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。

- 5 第35条の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 文学部教育学科は、平成31年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第26条第4項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。
- 4 第27条の2、第27条の5及び第27条の8の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 生活環境学部食物栄養学科は、令和2年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 生活環境学部建築学科は、令和2年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 第5条の2第6項、第7項及び第11項の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。
- 5 第26条第4項の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお、従前のとおりとする。
- 6 第27条の2第3項及び第4項の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。
- 7 第27条の6の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、令和2年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。
- 3 第27条の2（別表第4）の規定にかかわらず、令和2年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。
- 4 第35条の規定にかかわらず、令和2年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のとおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、令和3年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のとおりとする。

- 3 第27条の2の規定にかかわらず、令和3年度以前の入学生の各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等、大学が独自に設定する科目の授業科目並びにその単位数（別表第4）については、なお従前のおりとする。
- 4 第35条の規定にかかわらず、令和3年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第5条に規定する心理・社会福祉学部心理学科及び社会福祉学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		収容定員	収容定員	収容定員
心理・社会福祉学部 心理学科		150	300	450
心理・社会福祉学部 社会福祉学科		70	140	210

- 3 文学部心理・社会福祉学科は、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 第27条の8の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの、精神保健福祉士の指定養成施設としての定員は30名である。
- 5 第5条に規定する健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		収容定員	収容定員	収容定員
健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科		100	200	300

- 6 第5条に規定する社会情報学部社会情報学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		収容定員	収容定員	収容定員
社会情報学部 社会情報学科		180	360	540

- 7 生活環境学部情報メディア学科は、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 8 第5条の2第4項、第5項及び第7項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 9 第26条第4項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお、従前のおりとする。
- 10 第27条の2第4項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 11 第27条の8の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。

る。

- 12 第35条の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第5条に規定する文学部歴史文化学科の収容定員は、令和6年度から令和8年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		収容定員	収容定員	収容定員
文学部 歴史文化学科		80	160	240

- 3 第5条に規定する教育学部教育学科の収容定員は、令和6年度は次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和6年度
		収容定員
教育学部 教育学科		1,025

- 4 第5条に規定する薬学部薬学科の収容定員は、令和6年度から令和10年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
薬学部 薬学科		1,155	1,050	945	840	735

- 5 第5条に規定する薬学部健康生命薬科学科の収容定員は、令和6年度から令和8年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		収容定員	収容定員	収容定員
薬学部 健康生命薬科学科		180	200	220

- 6 第26条第4項の規定にかかわらず、令和5年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 第5条に規定する教育学部教育学科の収容定員は、令和7年度は次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和7年度
		収容定員
教育学部 教育学科		1,025

- 3 第5条に規定する健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の収容定員は、令和7年度は次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和7年度
		収容定員
健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科		740

- 4 第5条に規定する生活環境学部生活環境学科の収容定員は令和7年度から令和9年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		収容定員	収容定員	収容定員
生活環境学部 生活環境学科		730	760	790

- 5 第5条に規定する環境共生学部環境共生学科の収容定員は令和7年度から令和9年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		収容定員	収容定員	収容定員
環境共生学部 環境共生学科		120	240	360

- 6 第26条第4項の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお、従前のおりとする。
- 7 第27条の2第4項の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 8 第35条の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

## 別表第1

## 共通教育科目

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
基礎教養科目群 人文科学科目				現代社会と憲法		2	
神話・伝説の世界から		2		教養としての法律		2	
平安朝文学の世界		2		暮らしと法律		2	
日常生活からの哲学入門		2		女性と子どものヘルスケア		2	
現代フランスの音楽事情		2		建築と社会		2	
ミュージカル歌唱法		1		消費者生活論		2	
音楽の科学		2		英語で学ぶやさしい経済学		2	
フランスの音楽と芸術文化		2		英語で学ぶお金の知識		2	
ヨーロッパの名歌歌唱法		1		メディア技術と文字デザイン		2	
自己発見アート		1		基礎教養科目群 自然科学科目			
未来造形		1		生命科学入門		2	
日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1		生活の中の物理学		2	
歌舞伎鑑賞入門		2		最先端物理学が描く宇宙		2	
日本の文化Ⅰ		2		色彩情報		2	
日本の文化Ⅱ		2		科学から考える衣服と生活		2	
遊びの人類学		2		薬とからだ		2	
SNSから日本語を見る		2		健康生活とライフステージ		2	
英語圏の文学・文化		2		薬の歴史と未来		2	
日本語の世界		2		基礎教養科目群 国際理解科目			
基礎教養科目群 社会科学科目				音楽から見る人と世界		2	
現代の教育・保育事情		2		韓国文化の理解		2	
カウンセリングの実際		2		International Perspectives I		2	
実践カウンセリング		2		International Perspectives II		2	
生涯福祉論		2		中国文化論		2	
社会福祉とボランティア		2		世界の中の日本人		2	
福祉レクリエーションの実際		2		基礎教養科目群 現代トピック科目			
子育てと家族関係		2		Current Affairs in Japan I		2	
子育てと母性の気づき		2		Current Affairs in Japan II		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
心理学トピックス		2		Successful English Discussion		1	
現代社会と保健医療		2		英語コミュニケーションⅠ		2	
社会福祉の学び		2		英語コミュニケーションⅡ		2	
女性のためのマーケティング		2		英語リーディングⅠ		1	
スポーツツーリズムと地域創生		2		英語リーディングⅡ		1	
ジェンダー科目群				英語ライティングⅠ		1	
セクシュアリティ入門Ⅰ		2		英語ライティングⅡ		1	
セクシュアリティ入門Ⅱ		2		T O E I C 演 習 Ⅰ		1	
女性と教育		2		T O E I C 演 習 Ⅱ		1	
ジェンダーとアイデンティティー		2		T O E I C 演 習 Ⅲ		1	
ジェンダーと社会		2		W r i t i n g Ⅰ		1	
女性の身体とセクシュアリティ		2		W r i t i n g Ⅱ		1	
メディアに見るジェンダー		2		P r e s e n t a t i o n		1	
キャリアデザイン科目群				C u r r e n t E v e n t s		1	
女性のためのライフプランニング		2		Leadership Development		1	
自己アピールトレーニング		2		Global Issues Ⅰ		1	
キャリアビジョンと人物評価		2		Global Issues Ⅱ		1	
ビジネスプラン構築概論		2		留 学 準 備 演 習		1	
言語・情報科目群 言語リテラシー科目				ド イ ツ 語 Ⅰ		2	
English for Studying Abroad		1		ド イ ツ 語 Ⅱ		2	
Reading & Critical Thinking		1		フ ラ ン ス 語 Ⅰ		2	
English for Careers		1		フ ラ ン ス 語 Ⅱ		2	
Reading & Discussion		1		フ ラ ン ス 語 Ⅰ A		1	
Trends in Society		1		フ ラ ン ス 語 Ⅰ B		1	
Career Workshop		1		中 国 語 Ⅰ		2	
Speaking & Listening Ⅰ		1		中 国 語 Ⅱ		2	
Speaking & Listening Ⅱ		1		イ タ リ ア 語 Ⅰ A		1	
Basics for Presentation Ⅰ		1		イ タ リ ア 語 Ⅰ B		1	
Basics for Presentation Ⅱ		1		ス ペ イ ン 語 Ⅰ		2	
Speaking & Listening Ⅲ		1		ス ペ イ ン 語 Ⅱ		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
ハンゲル I		2		スポーツ実技(エアロビクス)		1	
ハンゲル検定演習		1		スポーツ実技(水泳)		1	
ハンゲル II		2		スポーツ実技(軽スポーツ)		1	
特別英語演習 I		4		スポーツ実技(ヨガ)		1	
特別英語演習 II		4		からだと気づきと姿勢法		1	
特別中国語演習 I		2		スポーツ実技(スリムエアロ)		1	
特別中国語演習 II		2		スポーツ実技(バンジーエクササイズ)		1	
特別ハンゲル演習 I		4		スポーツ実技(エアリアルワーク)		1	
特別ハンゲル演習 II		4		スポーツ実技(スタイルジャズ)		1	
海外演習 I		1		スポーツ実技(フットサル)		1	
海外演習 II		2		スポーツ実技(ジャズダンス)		1	
言語・情報科目群 情報リテラシー科目				マ ッ サ ー ジ 実 習		1	
Webデザイン基礎		2					
Webデザイン応用		2					
グラフィックデザイン基礎		2					
フォトタッチ基礎		2					
データサイエンスの基礎と Excel		2					
データサイエンスの応用と Excel		2					
データリテラシー・AIの基礎	2						
データサイエンスのための Python		2					
実用的 IT リテラシー		2					
健康・スポーツ科目群 健康・スポーツ科学科目							
生涯スポーツ論		2					
スポーツと現代社会		2					
知っておきたい応急処置		2					
健康・スポーツ科目群 スポーツ実技科目							
スポーツ実技(テニス)		1					
スポーツ実技(ゴルフ)		1					
スポーツ実技(バレーボール)		1					
スポーツ実技(バドミントン)		1					

## 別表第2

## 基礎教育科目及び専門教育科目

文学部 日本語日本文学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				日 本 語 学 特 講 I		2	
初 期 演 習 I	1			日 本 語 学 特 講 II		2	
初期演習Ⅱ(日本語日本文学)	1			社 会 言 語 学		2	
古 文 入 門	2			言 語 学 I		2	
漢 文 入 門	2			言 語 学 II		2	
日 本 語 表 現 入 門		2		日 本 語 教 育 学 入 門		2	
日 本 語 表 現 演 習 I	1			日 本 語 教 授 法		2	
日 本 語 表 現 演 習 II	1			日 本 語 教 材 研 究 I		2	
情 報 リ テ ラ シ ー I	2			日 本 語 教 材 研 究 II		2	
情 報 リ テ ラ シ ー II	2			日 本 語 教 授 法 実 習		1	
Oral Communication		2		日 本 語 教 育 史		2	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		日 本 語 教 育 特 講		2	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		言 語 発 達 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		言 語 と 心 理		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		異文化間コミュニケーション		2	
<b>専門教育科目</b>				多 文 化 共 生 論		2	
日 本 語 学 概 論 I	2			日 本 語 教 育 イ ン タ ー ナ ー シ ッ プ		2	
日 本 語 学 概 論 II	2			日 本 古 典 文 学 概 論	2		
音 声 ・ 音 韻 論		2		日 本 近 代 文 学 概 論	2		
語 彙 ・ 意 味 論		2		日 本 古 典 文 学 史		2	
文 法 ・ 文 体 論		2		日 本 近 代 文 学 史		2	
文 字 ・ 表 記 論		2		上 代 文 学 講 読 I		2	
談 話 研 究		2		上 代 文 学 講 読 II		2	
日 本 語 学 文 献 講 読 I		2		中 古 文 学 講 読 I		2	
日 本 語 学 文 献 講 読 II		2		中 古 文 学 講 読 II		2	
日 本 語 史 I		2		中 世 文 学 講 読 I		2	
日 本 語 史 II		2		中 世 文 学 講 読 II		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
近世文学講読Ⅰ		2		日本の芸能		2	
近世文学講読Ⅱ		2		日本の伝統文化		2	
近代文学講読Ⅰ		2		日本の現代文化		2	
近代文学講読Ⅱ		2		知的財産論		2	
上代文学研究Ⅰ		2		書道Ⅰ		2	
上代文学研究Ⅱ		2		書道Ⅱ		2	
中古文学研究Ⅰ		2		書道Ⅲ		2	
中古文学研究Ⅱ		2		書道Ⅳ		2	
中世文学研究Ⅰ		2		書道史Ⅰ		2	
中世文学研究Ⅱ		2		書道史Ⅱ		2	
近世文学研究Ⅰ		2		書論・鑑賞学		2	
近世文学研究Ⅱ		2		身体表現法		2	
近代文学研究Ⅰ		2		プレゼンテーション技法		2	
近代文学研究Ⅱ		2		情報デザイン		2	
児童文学論		2		文芸創作		2	
現代文学論Ⅰ		2		コンピュータ概論		2	
現代文学論Ⅱ		2		言語データ処理		1	
日本文学特講Ⅰ		2		情報検索法		2	
日本文学特講Ⅱ		2		情報処理特論Ⅰ		2	
漢文学講読Ⅰ		2		情報処理特論Ⅱ		2	
漢文学講読Ⅱ		2		言語情報・文献管理特論Ⅰ		2	
東アジア思想文学Ⅰ		2		言語情報・文献管理特論Ⅱ		2	
東アジア思想文学Ⅱ		2		中国語概説		2	
国語教育実践研究Ⅰ		2		韓国語概説		2	
国語教育実践研究Ⅱ		2		英語で読む日本Ⅰ		2	
国語教育実践研究Ⅲ		2		英語で読む日本Ⅱ		2	
国語教育実践研究Ⅳ		2		海外文化体験演習		4	
阪神間の文化		2		演習Ⅰ	2		
文化交流史		2		演習Ⅱ	2		
美術史		2		卒業論文(卒業制作)	4		

文学部 歴史文化学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				日本近現代史史料を読むⅡ		2	
初 期 演 習 I	1			古 記 録 と 古 文 書		2	
初期演習Ⅱ（歴史文化研究）	1			地 誌 学		2	
歴 史 文 化 資 料 論	2			文 化 遺 産 論		2	
文 化 と 民 族	2			食 の 文 化 誌		2	
文化・歴史研究と情報	2			言語と文字の史的変遷	2		
歴史文化フィールドワーク基礎	2			江戸の風俗と絵画		2	
文章表現法（歴史文化）	2			縄文・弥生の考古学		2	
情報リテラシー（歴史文化）	2			歴史のなかの女性		2	
Oral Communication		2		日本の生活文化	2		
<b>専門教育科目</b>				古墳・中近世の考古学		2	
日 本 史 概 説	2			日本の祭礼 春夏秋冬		2	
日 本 史 料 概 説	2			中世の文化史 刀剣・武具		2	
考 古 学 概 説	2			地 理 と 情 報		2	
人 文 地 理 学	2			装 い の 日 本 文 化		2	
日 本 美 術 史		2		すまいの日本文化		2	
女 性 史 概 説	2			出版・メディアの文化史		2	
古 文 書 入 門		2		信 仰 の 民 俗 学		2	
自 然 地 理 学		2		古代中世の都市と交通		2	
民俗資料を読む		2		画 像 文 化 論		2	
文化人類学概説	2			地 域 社 会 論		2	
日 本 思 想 史		2		観 光 文 化 論		2	
地 理 学 概 説	2			意匠・デザインの基礎		2	
日本古代史史料を読むⅠ		2		日 本 芸 能 文 化 史		2	
日本古代史史料を読むⅡ		2		文化財の活用と保存	2		
日本中世史史料を読むⅠ		2		伝統工芸の保存と継承		2	
日本中世史史料を読むⅡ		2		地 域 の 伝 承		2	
日本近世史史料を読むⅠ		2		古代史研究の方法と課題		2	
日本近世史史料を読むⅡ		2		中世史研究の方法と課題		2	
日本近現代史史料を読むⅠ		2		近世史研究の方法と課題		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
近現代史研究の方法と課題		2					
地 域 政 策 論		2					
災 害 と 歴 史		2					
地 域 文 化 研 究		2					
地域文化フィールドワークⅠ		2					
地域文化フィールドワークⅡ		2					
歴史文化フィールドワークⅠ		2					
歴史文化フィールドワークⅡ		2					
歴史文化フィールドワークⅢ		2					
歴史文化フィールドワークⅣ		2					
映像メディア・理論と実践		2					
歴史文化とプレゼンテーション		2					
演 習 Ⅰ	2						
演 習 Ⅱ	2						
卒 業 論 文	4						
中 国 語 入 門		2					
韓 国 語 入 門		2					
英 語 で 読 む 日 本		2					
観 光 英 語		2					
キャリアとコミュニケーション		2					
くらしと言語景観		2					
東 洋 史		2					
西 洋 史		2					
近 代 の 世 界 史		2					
多 文 化 共 生 論		2					
観 光 と 行 政		2					
法 律 学		2					
経 済 学		2					
社 会 学		2					
倫 理 学		2					

文学部 英語グローバル学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				Basic Preparation for English Proficiency Tests FF (資格英語演習 FF)		1	
初 期 演 習 I	1			リーディング・ライティング IA	1		
初期演習Ⅱ (海外留学に向けて)	1			リーディング・ライティング IB	1		
情報リテラシー I	2			リーディング・ライティングⅡA	1		
情報リテラシーⅡ		2		リーディング・ライティングⅡB	1		
リスニング I A	1			オーラルコミュニケーション IA	1		
リスニング I B	1			オーラルコミュニケーション IB	1		
リスニングⅡ	1			オーラルコミュニケーションⅡA		1	
スピーキング I A	1			オーラルコミュニケーションⅡB		1	
スピーキング I B	1			<b>専門教育科目</b>			
スピーキングⅢ	1			英語の発音 A	1		
リーディング I A	1			英語の発音 B	1		
リーディング I B	1			活用文法 A	2		
リーディングⅢ	1			活用文法 B	2		
ライティング I A	1			英米文学入門		2	
ライティング I B	1			American Culture (アメリカの文化)		4	
ライティングⅢ	1			American Society (アメリカの社会)		4	
TOEIC/TOEFL 演習 I	1			American Literature (アメリカの文学)		4	
TOEIC/TOEFL 演習Ⅱ	1			Business English Writing (ビジネス・イングリッシュ)		2	
TOEIC/TOEFL 演習Ⅲ		1		The Culture of the American Southwest (アメリカ南西部の文化)		4	
検定英語演習		1		Academic Writing (英文論文の書き方)		1	
資格認定英語 I		2		Public Speaking (パブリック・スピーキング)		2	
資格認定英語Ⅱ		2		University Preparation (ユニバーシティ・プレパレーション)		2	
資格認定英語Ⅲ		2		英米文学鑑賞		2	
資格認定英語Ⅳ		2		英語学入門		2	
SpeakingⅡF (スピーキングⅡF)		3		ビジネスコミュニケーション入門		2	
ReadingⅡF (リーディングⅡF)		3		Business English FF (ビジネス・イングリッシュFF)		2	
WritingⅡF (ライティングⅡF)		3		American Culture FF (アメリカ文化FF)		4	
Reading and Writing FF (リーディング・ライティングFF)		2		Academic Writing FF (英語論文作成法FF)		1	
Oral Communication FF (オーラルコミュニケーションFF)		2		Public Speaking FF (パブリック・スピーキングFF)		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
University Preparation FF (ユニバーシティ・プレパレーションFF)		2		児 童 英 語 教 育 B		2	
English and American Literature FF (英 米 文 学 F F)		2		卒 業 研 究 I A	2		
Introduction to English Linguistics FF (英 語 学 F F)		2		卒 業 研 究 I B	2		
Business Communication FF (ビジネスコミュニケーションFF)		2		卒 業 研 究 II	4		
G e r m a n FF (ド イ ツ 語 FF)		2		翻 訳 ワークショップ A		1	
F r e n c h FF (フ ラ ン ス 語 FF)		2		文 学 作 品 演 習 I A		1	
ド イ ツ 語 I		2	} ※必修6	文 学 作 品 演 習 II A		1	
ド イ ツ 語 II		2		ア メ リ カ 文 化 と 文 学 の 流 れ A		2	
ド イ ツ 語 III		2		翻 訳 ワークショップ B		1	
ド イ ツ 語 IV A		1		文 学 作 品 演 習 I B		1	
ド イ ツ 語 IV B		1		文 学 作 品 演 習 II B		1	
ド イ ツ 文 化 と 文 学 A		2		ア メ リ カ 文 化 と 文 学 の 流 れ B		2	
ド イ ツ 文 化 と 文 学 B		2		文 学 作 品 演 習 III A		1	
フ ラ ン ス 語 I		2	} ※必修6	イ ギ リ ス 文 化 と 文 学 の 流 れ A		2	
フ ラ ン ス 語 II		2		英 語 児 童 文 学 A		2	
フ ラ ン ス 語 III		2		文 学 作 品 演 習 III B		1	
フ ラ ン ス 語 IV A		1		イ ギ リ ス 文 化 と 文 学 の 流 れ B		2	
フ ラ ン ス 語 IV B		1		英 語 児 童 文 学 B		2	
フ ラ ン ス 文 化 と 文 学 A		2		現 代 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 英 語 IA		1	
フ ラ ン ス 文 化 と 文 学 B		2	現 代 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 英 語 II A		1		
国 際 社 会 と 英 語 情 報		2	※「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 または 「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 のいずれか6単位を必修	英 語 の 構 造 A		2	
ビ ジ ネ ス ・ ラ イ ティ ン グ A		2		英 語 の 文 化 的 背 景 A		2	
ビ ジ ネ ス ・ ラ イ ティ ン グ B		2		現 代 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 英 語 IB		1	
英 語 デー タ ベー ス 活 用 法		1		現 代 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 英 語 II B		1	
イ ン タ ラ ク ティ ブ ・ ウェ ブ		1		英 語 の 構 造 B		2	
メ デ ィ ア 英 語 A		2		英 語 の 文 化 的 背 景 B		2	
メ デ ィ ア 英 語 B		2		英 語 の 談 話 分 析 A		1	
最 新 の 企 業 実 務 A		2		現 代 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 英 語 III A		1	
最 新 の 企 業 実 務 B		2		英 語 の 歴 史 A		2	
児 童 英 語 教 育 A		2		英 語 の 談 話 分 析 B		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
現代コミュニケーション英語ⅢB		1					
英 語 の 歴 史 B		2					
ビジネス・イングリッシュⅠA		1					
ビジネスコミュニケーション演習		1					
ビジネス通訳基礎 A		1					
ツ ー リ ズ ム 概 論		2					
ビジネス・イングリッシュⅠB		1					
ホスピタリティ英語		1					
ビジネス通訳基礎 B		1					
グローバルビジネス論		2					
ビ ジ ネ ス 翻 訳 A		1					
ビジネス・イングリッシュⅡA		1					
国 際 関 係 論 A		2					
ビ ジ ネ ス 翻 訳 B		1					
ビジネス・イングリッシュⅡB		1					
国 際 関 係 論 B		2					
英米文化・文学演習 A		1					
グローバル化と日本 A		1					
英米文化・文学演習 B		1					
グローバル化と日本 B		1					
英 語 学 演 習 A		1					
会 議 通 訳 A		1					
国 際 関 係 論 講 義		2					
英 語 学 演 習 B		1					
会 議 通 訳 B		1					
グローバルビジネス研究		2					

教育学部 教育学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				発 達 心 理 学		2	
初 期 演 習 I	1			教 育 行 政 学	2		
初 期 演 習 II	1			特 別 支 援 教 育 総 論	2		
日 本 国 憲 法		2		国 際 教 育 論		2	
英 語 I	2			教 育 学 へ の 招 待	2		
英 語 II	2			器 楽 基 礎		1	
教 育 と I C T	2			子 ども 家 庭 福 祉		2	
体 育 I		1		理 科 内 容 論		1	
体 育 II		1		音 楽 科 内 容 論		1	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		体 育 科 内 容 論		1	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		外 国 語 科 内 容 論		1	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		国 語 科 教 育 法		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		算 数 科 教 育 法		2	
外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		1		社 会 科 教 育 法		2	
外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1		理 科 教 育 法		2	
<b>専門教育科目</b>				生 活 科 教 育 法		2	
2 年 次 演 習	1			音 楽 科 教 育 法		2	
教 育 演 習	2			図 画 工 作 科 教 育 法		2	
卒 業 研 究	2			家 庭 科 教 育 法		2	
国 語 科 内 容 論		1		体 育 科 教 育 法		2	
算 数 科 内 容 論		1		外 国 語 科 教 育 法		2	
社 会 科 内 容 論		1		教 育 課 程 論		2	
生 活 科 内 容 論		1		道 徳 教 育 の 理 論 と 実 践		2	
家 庭 科 内 容 論		1		教 育 方 法 の 理 論 と 実 践	2		
図 画 工 作 科 内 容 論		1		生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導 の 理 論 と 実 践		2	
保 育 内 容 総 論		2		教 育 相 談 の 理 論 と 実 践	2		
教 職 入 門		2	} 必修 2	特 別 活 動 の 指 導 法		2	
保 育 者 論		2		総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法		2	
教 育 原 理	2			学 校 教 育 参 加 実 習		1	
教 育 心 理 学 総 論	2			教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 I (小 幼)		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
教育実習Ⅰ（小幼）		4		教室で使う英語表現		1	
教 職 実 践 演 習		2		教育プログラミング		2	
教 育 社 会 学		2		学 級 担 任 論		2	
教 育 史		2		教 科 指 導 演 習		1	
教 育 哲 学		2		教 職 総 合 実 践		1	
人権教育と福祉		2		教育実習事前事後指導Ⅱ(小)		1	
子ども理解と教育		2		教 育 実 習 Ⅱ（小）		2	
社会調査法Ⅰ		1		知的障害者の心理・生理・病理		2	
学校教材としての文学		1		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	
児 童 文 学 論		2		病弱者の心理・生理・病理		2	
日本現代文学の探究		2		L D 等 教 育 総 論		2	
言 語 学 概 論		2		教育課程・保育計画論		2	
英 語 文 法 論 Ⅰ		2		子 ど も と 健 康		1	
異文化理解とコミュニケーション		2		子 ど も と 人 間 関 係		1	
英 語 文 学 入 門		2		子 ど も と 環 境		1	
英 語 児 童 文 学		2		子 ど も と 言 葉		1	
時事問題と英語表現		2		保 育 内 容 ・ 健 康		2	
国際教育フィールドワークⅠ		1		保 育 内 容 ・ 環 境		2	
国際教育フィールドワークⅡ		1		保 育 内 容 ・ 人 間 関 係		2	
海外教育参加実習指導		1		保 育 内 容 ・ 言 葉		2	
海外教育参加実習		1		保 育 内 容 ・ 表 現 Ⅰ		1	
世界の子どもたち		1		保 育 内 容 ・ 表 現 Ⅱ		1	
子 ど も と 数 学		1		子 ど も 理 解 と 幼 児 教 育		2	
理 科 教 育 実 践		1		教育実習事前事後指導Ⅱ(幼)		1	
音 楽 科 教 育 実 践		1		教 育 実 習 Ⅱ（幼）		2	
子 ど も と 音 楽 表 現		1		特 別 支 援 教 職 論		2	
子 ど も と 造 形 表 現		1		知 的 障 害 教 育		2	
調理と裁縫の生活スキル		1		障 害 児 指 導 法		2	
子 ど も と 身 体 表 現		1		肢 体 不 自 由 教 育		2	
体育・スポーツ演習		1		病 弱 教 育		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
知的障害教育総論		2		外国語コミュニケーションⅢ		1	
肢体不自由教育総論		2		外国語コミュニケーションⅣ		1	
病弱教育総論		2		ライティングⅠA		1	
視覚障害教育総論		2		ライティングⅠB		1	
聴覚障害教育総論		2		リーディングⅠA		1	
重複障害等教育総論		2		リーディングⅠB		1	
特別支援学校教育実習事前事後指導		1		中等英語科教育法Ⅰ		2	
特別支援学校教育実習		2		中等英語科教育法Ⅱ		2	
日本語表現Ⅰ		2		中等英語科教育法Ⅲ		2	
日本語表現Ⅱ		2		中等英語科教育法Ⅳ		2	
日本語学概論Ⅰ		2		教育実習事前事後指導(中)		1	
日本語学概論Ⅱ		2		教育実習(中)		4	
日本語文法		2		日本古典文学の探究Ⅰ		2	
日本語の歴史		2		日本古典文学の探究Ⅱ		2	
日本古典文学概論		2		日本近代文学の探究		2	
日本近代文学概論		2		英語文法論Ⅱ		2	
日本古典文学史		2		英語文学の探究		2	
日本近代文学史		2		外国語コミュニケーションⅤ		1	
漢文入門		2		教育実習事前事後指導Ⅰ(幼小)		1	
漢文学		2		教育実習Ⅰ(幼小)		4	
書道Ⅰ		2		保育・教職実践演習(幼)		2	
書道Ⅱ		2		教職総合実践(幼)		1	
中等国語科教育法Ⅰ		2		学級担任論(幼)		2	
中等国語科教育法Ⅱ		2		幼児教育実践演習		1	
中等国語科教育法Ⅲ		2		運動遊び演習		1	
中等国語科教育法Ⅳ		2		アンサンブルと弾き歌い		1	
英語学		2		保育原理		2	
英語文学と日本		2		社会福祉		2	
英語文学と世界		2		子ども家庭支援論		2	
異文化間教育Ⅰ		2		子ども家庭支援の心理学		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
社会的養護Ⅰ		2		環境教育論		2	
子どもの保健		2		地域問題研究		2	
子どもの食と栄養		2		データリテラシーと教育		2	
乳児保育Ⅰ		2					
乳児保育Ⅱ		1					
子どもの健康と安全		1					
障害児保育		2					
社会的養護Ⅱ		1					
子育て支援		1					
教育実習事前事後指導Ⅱ(小)		1					
教育実習Ⅱ(小)		2					
地域福祉論		2					
施設経営論		2					
家庭支援論演習		1					
保育実習指導ⅠA		1					
保育実習指導ⅠB		1					
保育実習Ⅰ(保育所)		2					
保育実習Ⅰ(施設)		2					
保育実習指導Ⅱ		1					
保育実習Ⅱ		2					
保育実習指導Ⅲ		1					
保育実習Ⅲ		2					
国際教育フィールドワークⅢ		1					
国際教育フィールドワークⅣ		1					
国際教育フィールドワークⅤ		1					
社会調査法Ⅱ		1					
共生社会論		2					
シティズンシップ教育		2					
グローバル社会論		2					
異文化間教育Ⅱ		2					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				神 経 心 理 学		2	
人間と社会 (HEARTプログラムコア)	2			心理学的支援法Ⅰ		2	
初 期 演 習 Ⅰ	1			心理学的支援法Ⅱ		2	
初期演習Ⅱ (心理学実験演習)	1			認 知 心 理 学		2	
英 語 Ⅰ	2			グループダイナミクス		2	
英 語 Ⅱ	2			心 理 学 実 験		2	
Oral Communication Ⅰ		1		社 会 調 査 概 論		2	
Oral Communication Ⅱ		1		社 会 調 査 実 習		2	
T O E I C 認 定 英 語 Ⅰ		2		心理学日本語文献講読		2	
T O E I C 認 定 英 語 Ⅱ		2		心理学英語文献講読		2	
T O E I C 認 定 英 語 Ⅲ		2		心 理 学 統 計 法		2	
T O E I C 認 定 英 語 Ⅳ		2		応用心理学統計法		2	
<b>専門教育科目</b>				デ ー タ 処 理 論 Ⅰ		2	
心 理 学 概 論	2			デ ー タ 処 理 論 Ⅱ		2	
臨 床 心 理 学 概 論	2			障害者・障害児心理学		2	
心 理 学 史		2		臨 床 人 格 心 理 学		2	
感 情 ・ 人 格 心 理 学		2		言 語 心 理 学		2	
メディアリテラシー		2		プロジェクトマネジメントの実践		2	
発 達 心 理 学 Ⅰ		2		行 動 変 容 ・ ナ ッ ジ		2	
発 達 心 理 学 Ⅱ		2		公 認 心 理 師 の 職 責		2	
心 理 学 研 究 法		2		教 育 ・ 学 校 心 理 学		2	
臨 床 心 理 学 研 究 法		2		健 康 ・ 医 療 心 理 学		2	
知 覚 ・ 認 知 心 理 学		2		司 法 ・ 犯 罪 心 理 学		2	
学 習 ・ 言 語 心 理 学		2		消 費 者 心 理 学		2	
神 経 ・ 生 理 心 理 学		2		デ ー タ 解 析 法		2	
社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学		2		質 的 デ ー タ 解 析 法		2	
リ ス ク 心 理 学		2		心理的アセスメント(概論)		2	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2		心理的アセスメント(実習)		2	
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病		2		社 会 実 践 実 習 Ⅰ		1	
精 神 疾 患 と そ の 治 療		2		社 会 実 践 実 習 Ⅱ		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
福 祉 心 理 学		2					
産 業・組 織 心 理 学		2					
関 係 行 政 論		2					
マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2					
感 性 心 理 学		2					
臨 床 社 会 心 理 学		2					
心 理 演 習		2					
心 理 実 習		1					
心 理 実 習 指 導		1					
コ ミ ュ ニ テ ィ 心 理 学		2					
経 済 心 理 学		2					
環 境 心 理 学		2					
多 文 化 社 会 概 論		2					
社 会 貢 献 と ボ ラ ン テ ィ ア		2					
N G O ・ N P O 概 論		2					
ソ ー シ ャ ル ビ ジ ネ ス 概 論		2					
フ ェ ア ト レ ー ド 概 論		2					
虐 待 と ソ ー シ ャ ル ワ ー ク		2					
共 生 の 社 会 心 理		2					
ジ ェ ン ダ ー と 開 発		2					
ス ー パ ー ビ ジ ョ ン 論		2					
多 文 化 社 会 の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン		2					
ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク		2					
専 門 演 習 I A	1						
専 門 演 習 I B	1						
専 門 演 習 II A	1						
専 門 演 習 II B	1						
卒 業 研 究	6						
プ レ プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 教 育		2					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				福祉サービスの組織と経営		2	
人間と社会 (HEARTプログラムコア)	2			更生保護制度		2	
初期演習 I	1			社会保障論 A		2	
初期演習 II (社会福祉)	1			社会保障論 B		2	
心理学概論	2			保健医療サービス		2	
ソーシャルワーク概論 A	2			ソーシャルワーク論 I A		2	
ソーシャルワーク概論 B	2			ソーシャルワーク論 I B		2	
人体の構造と機能及び疾病		2		ソーシャルワーク論 II A		2	
社会学		2		ソーシャルワーク論 II B		2	
多文化社会概論	2			ソーシャルワーク演習 I A		2	
社会貢献とボランティア		2		ソーシャルワーク演習 I B		2	
英語 I	2			ソーシャルワーク演習 II A		2	
英語 II	2			ソーシャルワーク演習 II B		2	
Oral Communication I		1		ソーシャルワーク演習 III		2	
Oral Communication II		1		ソーシャルワーク実習指導 I		1	
TOEIC 認定英語 I		2		ソーシャルワーク実習指導 II		1	
TOEIC 認定英語 II		2		ソーシャルワーク実習 I		1	
TOEIC 認定英語 III		2		ソーシャルワーク実習 II		5	
TOEIC 認定英語 IV		2		医療ソーシャルワーク		2	
<b>専門教育科目</b>				虐待とソーシャルワーク		2	
権利擁護と成年後見制度		2		スーパービジョン論		2	
児童・家庭福祉論		2		スクールソーシャルワーク		2	
障害者福祉論		2		社会福祉事業史		2	
高齢者福祉論		2		社会福祉特講		2	
地域福祉論 A		2		専門演習 I A	1		
地域福祉論 B		2		専門演習 I B	1		
社会調査法		2		専門演習 II A	1		
現代社会と福祉 A		2		専門演習 II B	1		
現代社会と福祉 B		2		卒業論文	6		
公的扶助論		2		精神保健 A		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
精 神 保 健 B		2		フイールド調査の基礎	2		
精神保健福祉の原理 A		2		フイールドワーク演習 I	1		
精神保健福祉の原理 B		2		フイールドワーク演習 II	1		
精神障害リハビリテーション論		2		フイールドワーク実習指導 I		1	
精神保健福祉制度論		2		フイールドワーク実習指導 II		1	
精神疾患とその治療 A		2		フイールドワーク実習指導 III		1	
精神疾患とその治療 B		2		フイールドワーク実習		1	
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A		2		知覚・認知心理学		2	
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) B		2		学習・言語心理学		2	
ソーシャルワーク演習 (専門) A		2		感情・人格心理学		2	
ソーシャルワーク演習 (専門) B		2		神経・生理心理学		2	
ソーシャルワーク演習 (専門) C		2		社会・集団・家族心理学		2	
ソーシャルワーク実習指導 III		1		発達心理学 I		2	
ソーシャルワーク実習指導 IV		1		障害者・障害児心理学		2	
ソーシャルワーク実習 III		3		心理学的支援法 I		2	
ソーシャルワーク実習 IV		2		リスク心理学		2	
多文化社会実践論		2		コミュニケーション論		2	
多文化社会のコミュニケーション		2		グループダイナミクス		2	
多文化社会のソーシャルワーク I		2		消費者心理学		2	
多文化社会のソーシャルワーク II		2		マーケティング論		2	
N G O ・ N P O 概 論	2			プレプロフェッショナル教育		2	
NGO・NPO マネジメント演習		1					
ソーシャルビジネス概論	2						
ソーシャルビジネス・マネジメント		2					
ソーシャルビジネス計画演習		1					
フェアトレード概論		2					
共生の社会心理		2					
コミュニティメディア論		2					
コミュニティ防災論		2					
ジェンダーと開発		2					

健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				公 衆 衛 生 学		2	
初 期 演 習 I	1			発 育 発 達 ・ 老 化 論		2	
初期演習Ⅱ(健康・スポーツ)	1			ス ポ ー ツ 指 導 論		2	
健康・スポーツ科学論	2			ス ポ ー ツ 社 会 学		2	
スポーツの文化・歴史	2			ス ポ ー ツ 行 政 ・ 法 規		2	
情 報 リ テ ラ シ ー	2			ス ポ ー ツ 経 営 管 理 学		2	
基 礎 英 語 I	1			体 力 の 測 定 評 価 演 習		2	
基 礎 英 語 II	1			ス ポ ー ツ 心 理 学 実 験		1	
Oral Communication I	1			運 動 生 理 学 実 験		1	
Oral Communication II	1			バ イ オ メ カ ニ ク ス 実 験		1	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		専 門 英 語 A		1	} 必修1
T O E I C 認 定 英 語 II		2		専 門 英 語 B		1	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		コ ー チ ン グ 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		健 康 ・ ス ポ ー ツ カ ウ ン セ リ ン グ		2	
健 康 科 学 I		2		生 活 習 慣 病 論		2	
<b>専門教育科目</b>				運 動 処 方		2	
ス ポ ー ツ 心 理 学		2		フ ィ ッ ト ネ ス 指 導 法		2	
ス ポ ー ツ 栄 養 学		2		介 護 法 ・ 介 護 予 防 演 習		2	
運 動 生 理 学		2		運 動 療 法 演 習		2	
ス ポ ー ツ 医 学		2		健 康 行 動 科 学 ・ 演 習		2	
ス ポ ー ツ 運 動 学		2		健 康 ・ ス ポ ー ツ 実 践 実 習		1	
体 育 原 理		2		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論		2	
運 動 器 の 解 剖 と 機 能 I		2		レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 法 演 習		1	
運 動 器 の 解 剖 と 機 能 II		2		レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 法 実 習		1	
ス ポ ー ツ 外 傷 ・ 障 害 の 基 礎 知 識 I		2		障 が い 者 ス ポ ー ツ 論 I		2	
ス ポ ー ツ ト レ ー ニ ン グ の 科 学 I		2		障 が い 者 ス ポ ー ツ 論 II		2	
ア ス レ ヲ ッ ク ト レ ー ニ ン グ 論		2		障 が い 者 ス ポ ー ツ 指 導 法		2	
救 急 処 置 演 習	1			ス イ ミ ン グ		1	} 必修1
バ イ オ メ カ ニ ク ス		2		ト ラ ッ ク ア ン ド フ ィ ー ル ド		1	
学 校 保 健		2					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
体 操		1	} 必修 1	教 職 入 門		2	} *必修 3 ※「パフォーマンス向上論」・「パフォーマンス向上演習」又は「ジュニアスポーツ指導論」・「ジュニアスポーツ指導演習」のいずれか・3単位を必修
器 械 運 動		1		教 育 原 理		2	
バ レ ー ボ ー ル		1	} 必修 1	教 育 史		2	
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル		1		教 育 心 理 学		2	
ハ ン ド ボ ー ル		1		発 達 心 理 学		2	
柔 道		1	} 必修 1	教 育 行 政 学		2	
剣 道		1		教 育 課 程 総 論		2	
ダ ン ス I	1			教 育 方 法 の 理 論 と 実 践		1	
ダ ン ス II		1		ICT 活 用 の 理 論 と 実 践		1	
ダ ン ス III		1		道 徳 教 育 指 導 論		2	
卓 球		1		生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導		2	
バ ド ミ ン ト ン		1		教 育 相 談 の 理 論 と 方 法		2	
保 健 体 育 科 指 導 法 I		2		教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 (中 高)		1	
保 健 体 育 科 指 導 法 II		2		教 育 実 習 I (中 高)		2	
保 健 体 育 科 指 導 法 III		2		教 育 実 習 II (中 高)		2	
保 健 体 育 科 指 導 法 IV		2		教 職 実 践 演 習 (中 高)		2	
保 健 体 育 科 指 導 法 (陸 上 競 技 ・ 水 泳)		1		特 別 支 援 教 育 論		2	
保 健 体 育 科 指 導 法 (球 技)		1		総 合 的 な 学 習 の 時 間 と 特 別 活 動		2	
保 健 体 育 科 指 導 法 (武 道 ・ ダ ン ス)		1		教 育 実 習 事 前 指 導 (中 高)		1	
保 健 体 育 科 指 導 法 (体 つ く り 運 動 ・ 器 械 運 動)		1		ス ポ ー ツ 外 傷 ・ 障 害 の 基 礎 知 識 II		2	
エ ア ロ ビ ッ ク ダ ン ス		1		コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ 指 導 論		2	
ア ク ア エ ク サ サ イ ズ		1		コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ 指 導 演 習 I		2	
海 外 の 健 康 ・ ス ポ ー ツ の 研 究		2		コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ 指 導 演 習 II		2	
マ リ ン ス ポ ー ツ 実 習		1	} 必修 1	検 査 ・ 測 定 評 価 実 習 I		1	
キ ャ ン プ 実 習		1		パ フ ォ ー マ ン ス 向 上 論		2	
ス ノ ー ス ポ ー ツ 実 習		1		パ フ ォ ー マ ン ス 向 上 演 習		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 の 統 計 学 演 習		1		ジュニアスポーツ指導論		2	
2 年 次 演 習	1			ジュニアスポーツ指導演習		1	
卒 業 研 究 I	2			健 康 管 理 と ス ポ ー ツ 医 学		2	
卒 業 研 究 II	4			A T 実 践 実 習		2	
				ス ポ ー ツ ト レ ー ニ ン グ の 科 学 II		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
検査・測定評価実習Ⅱ		1					
アスレティックトレーニングⅠ		2					
アスレティックトレーニングⅡ		2					
アスレティックトレーニングⅢ		2					
スポーツの心理と栄養		2					
健 康 科 学 Ⅱ		2					
プレプロフェッショナル教育		2					

健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				アカウンティングⅠ		2	
初 期 演 習 Ⅰ	1			アカウンティングⅡ		2	
初期演習Ⅱ(スポーツマネジメント)	1			実務技能対策論		2	
健康・スポーツ科学論	2			経 営 組 織 論		2	
スポーツの文化・歴史	2			ファイナンシャルマネジメント		2	
情報リテラシー	2			消費者行動論		2	
基礎英語Ⅰ	1			販 売 管 理 論		2	
基礎英語Ⅱ	1			マーチャンダイジング		2	
Oral CommunicationⅠ	1			ヒューマンリソースマネジメント		2	
Oral CommunicationⅡ	1			スポーツマネジメント学内演習	2		
TOEIC認定英語Ⅰ		2		スポーツマネジメント学外実習		1	
TOEIC認定英語Ⅱ		2		専 門 英 語 A		1	
TOEIC認定英語Ⅲ		2		専 門 英 語 B		1	
TOEIC認定英語Ⅳ		2		海外のスポーツビジネス研究		2	
<b>専門教育科目</b>				ス ポ ー ツ 心 理 学		2	
スポーツビジネス最前線	2			ス ポ ー ツ 栄 養 学		2	
スポーツ産業と政策		2		運 動 生 理 学		2	
スポーツビジネス論	2			ス ポ ー ツ 医 学		2	
スポーツマネジメント論	2			ス ポ ー ツ 運 動 学		2	
スポーツマーケティング論	2			体 育 原 理		2	
スポーツガバナンス論		2		運動器の解剖と機能		2	
スポーツ情報・メディア論		2		スポーツトレーニングの科学		2	
スポーツイノベーション論		2		救 急 処 置 演 習	1		
ホスピタリティマネジメント論		2		バイオメカニクス		2	
地域スポーツマネジメント論		2		学 校 保 健		2	
スポーツイベントの企画・運営		2		公 衆 衛 生 学		2	
スポーツ施設マネジメント論		2		発 育 発 達 ・ 老 化 論		2	
トップスポーツ経営論		2		ス ポ ー ツ 指 導 論		2	
スポーツ・ヘルスツーリズム論		2		ス ポ ー ツ 社 会 学		2	
ヘルスケアマネジメント論		2		ス ポ ー ツ 行 政 ・ 法 規		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
スポーツ経営管理学		2		バドミントン		1	
体力の測定評価演習		2		保健体育科指導法Ⅰ		2	
コーチング論		2		保健体育科指導法Ⅱ		2	
健康・スポーツカウンセリング		2		保健体育科指導法Ⅲ		2	
生活習慣病論		2		保健体育科指導法Ⅳ		2	
運動処方		2		保健体育科指導法(体づくり運動・器械運動)		1	
フィットネス指導法		2		保健体育科指導法(陸上競技・水泳)		1	
介護法・介護予防演習		2		保健体育科指導法(球技)		1	
運動療法演習		2		保健体育科指導法(武道・ダンス)		1	
健康行動科学・演習		2		エアロビックダンス		1	
健康・スポーツ実践実習		1		アクアエクササイズ		1	
レクリエーション論		2		マリンスポーツ実習		1	} 必修1
レクリエーション指導法演習		1		キャンプ実習		1	
レクリエーション指導法実習		1		スノースポーツ実習		1	
障がい者スポーツ論Ⅰ		2		健康・スポーツ科学の統計学演習		1	
障がい者スポーツ論Ⅱ		2		卒業研究Ⅰ	2		
障がい者スポーツ指導法		2		卒業研究Ⅱ	4		
スイミング		1		プレプロフェッショナル教育		2	
トラックアンドフィールド		1					
体 操		1					
器 械 運 動		1					
バレーボール		1					
バスケットボール		1					
ハンドボール		1					
柔 道		1					
剣 道		1					
ダンスⅠ	1						
ダンスⅡ		1					
ダンスⅢ		1					
卓 球		1					

生活環境学部 生活環境学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				界 面 科 学 実 験		2	
初 期 演 習 I	1			織 維 学		2	
初期演習Ⅱ（生活環境）	1			織 維 科 学 実 験		2	
情 報 リ テ ラ シ ー		2		織 維 製 品 材 料 学		2	
Oral Communication	1			織 維 製 品 材 料 学 実 験		2	
生 活 環 境 英 語		2		工 芸 染 色 実 習		2	
<b>専門教育科目</b>				染 色 加 工 学		2	
生 活 環 境 論		2		染 色 加 工 学 実 験		2	
生活環境基礎演習		2		消 費 科 学		2	
生 活 文 化 論		2		消 費 生 活 論		2	
生 活 科 学		2		アパレル設計生産論		2	
ファッションビジネス論		2		アパレル生産実習		2	
アパレル構成学		2		アパレル生理衛生論		2	
住 居 学		2		アパレル生理衛生実験		2	
建 築 概 論		2		アパレル構成学実習Ⅱ		2	
服 飾 デ ザ イン 論		2		アパレル企画論		2	
アパレル構成学実習Ⅰ		2		アパレル未来学		2	
インテリアデザイン論		2		ス タ イ ル 画 実 習		1	
環 境 共 生 概 論		2		テキスタイルデザイン実習		2	
色 彩 学		2		ラボクリエイション実習		2	
統 計 学 I		2		ファッションリサーチ実習		2	
統 計 学 II		2		材料分析法・同実験		2	
阪 神 間 文 化 論		2		被 服 心 理 学		2	
生 活 美 学		2		ドラフティングCAD演習Ⅰ		2	
生 活 文 化 演 習		2		ドラフティングCAD演習Ⅱ		2	
生活文化演習Ⅰ		2		ドレーピング実習Ⅰ		1	
生活文化演習Ⅱ		2		ドレーピング実習Ⅱ		2	
生活文化演習Ⅲ		2		ラボインターン実習		2	
生活文化演習Ⅳ		2		ファッションプレゼンテーション実習		2	
界 面 科 学		2		TES 対 策 演 習		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
ファッションコンピュータ実習		2		環 境 計 画 II		2	
テキスタイルコンピュータ実習		2		環 境 計 画 実 習 II		2	
ア パ レ ル D X 演 習		2		環 境 リ ス ク 学		2	
V M D 演 習		2		福 祉 住 環 境 概 論		2	
服 飾 史		2		建 築 設 備		2	
現代ファッション論		2		建 築 材 料 学		2	
ファッションデザイン演習Ⅰ		2		建 築 材 料 学 実 験		2	
ファッションデザイン演習Ⅱ		2		建 築 施 工		2	
生 活 デ ザ イ ン 論		2		建 築 計 画 学 I		2	
生 活 デ ザ イ ン 実 習 I		2		建 築 計 画 学 II		2	
生 活 デ ザ イ ン 実 習 II		2		住 宅 設 計		2	
生 活 デ ザ イ ン 実 習 III		2		建 築 C A D 実 習		2	
グラフィックデザイン基礎実習		2		建 築 ・ イ ン テ リ ア 設 計 I		2	
デ ザ イ ン 技 法 I		2		建 築 ・ イ ン テ リ ア 設 計 II		3	
デ ザ イ ン 技 法 II		2		建 築 ・ イ ン テ リ ア 設 計 III		2	
インテリア・空間基礎設計		2		ラ ン ド ス ケ ー プ デ ザ イ ン 演 習		2	
インテリア・空間デザイン実習		2		世 界 建 築 史		2	
デザインリサーチ実習		2		日 本 建 築 史		2	
視 覚 文 化 論		2		建 築 一 般 構 造 I		2	
社 会 調 査 法		2		建 築 一 般 構 造 II		2	
比 較 地 域 文 化 論		2		構 造 力 学 I		2	
インテリアテキスタイル概論		2		構 造 力 学 I 演 習		1	
空 間 デ ザ イ ン 原 論		2		構 造 力 学 II		2	
日 本 デ ザ イ ン 史		2		構 造 力 学 II 演 習		1	
生 活 調 査 演 習		2		建 築 法 規		2	
デザインプロジェクト実習		2		景 観 論		2	
人 間 工 学		2		ま ち づ くり 論 I		2	
人 間 工 学 実 習		2		ま ち づ くり 論 II		2	
建 築 設 計		2		フ ィ ー ル ド デ ザ イ ン 演 習 I		2	
環 境 計 画 I		2		フ ィ ー ル ド デ ザ イ ン 特 別 演 習		2	
環 境 計 画 実 習 I		2		フ ィ ー ル ド ・ サ ー ヴ ェ イ 実 習		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
家 庭 生 活 論		2					
保 育 学		2					
調 理 学 実 習		2					
食 物 学		2					
テキスタイルアドバイザー実習		1					
海 外 語 学 研 修		3					
海外の生活環境研修 I		1					
海外の生活環境研修 II		2					
卒 業 基 礎 演 習	2						
卒 業 研 究		6					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				経 営 情 報 演 習		2	
初 期 演 習 I	1			地 域 産 業 論		2	
初期演習Ⅱ (社会情報入門)	1			IT 活 用 と ビ ジ ネ ス		2	
データ・情報リテラシー	2			コ ミ ュ ニ ティ ビ ジ ネ ス 論		2	
Oral Communication I		1		コ ン テン ツ プ ラ ン ニ ン グ 演 習		2	
Oral Communication II		1		衣 生 活 情 報 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		企 業 経 営 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		消 費 者 経 済 学		2	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		マ ー ケ ッ ト デ ザ イン 演 習		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		情 報 科 学 入 門	2		
<b>専門教育科目</b>				コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク 入 門		2	
情報とコミュニケーション		2		コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク 演 習		2	
メ デ ィ ア 論		2		コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク 論		2	
コンセプトデザイン論		2		プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門		2	
ネットワーク社会論		2		プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 I		2	
SNSリテラシー演習		2		プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 II		2	
科学技術と社会		2		ウ ェ ブ 入 門		2	
メディアと生活文化		2		ウ ェ ブ プ ロ グ ラ ミ ン グ		2	
メディアカルチャー論		2		ウ ェ ブ ア プ リ ケ ー シ ョ ン 設 計		2	
メディア産業論		2		ウ ェ ブ ア プ リ ケ ー シ ョ ン 開 発 演 習		2	
文化社会学		2		ウ ェ ブ エ ン ジ ニ ア リ ン グ		2	
文化社会学演習		2		ウ ェ ブ コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ 論		2	
映像文化史		2		デ ー タ ベ ー ス 入 門		2	
組織コミュニケーション論		2		ア ル ゴ リ ズ ム 論		2	
マーケティング論		2		シ ス テ ム セ キ ュ リ ティ 入 門		2	
マーケティング戦略論		2		情 報 セ キ ュ リ ティ 論		2	
広告メディア論		2		情 報 基 礎 数 学		2	
広告メディア演習		2		情 報 数 学		2	
グローバルビジネス論		2		ソ フ ト ウ ェ ア エ ン ジ ニ ア リ ン グ		2	
経営情報論		2		ソ フ ト ウ ェ ア 工 学 演 習		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
シ ス テ ム 設 計		2		情 報 英 語 II		2	
シ ス テ ム 設 計 演 習		2		社 会 情 報 学 概 論	2		
プ ラ ッ ト フ ォ ー ム 概 論		2		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 入 門		2	
ユ ー ザ イン タ フ ェ ー ス 論		2		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 I		2	
A I 入 門		2		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 II		2	
A I 概 論		2		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 III		2	
A I 演 習		2		ハ ッ カ ソ ン		2	
統 計 学 I	2			卒 業 基 礎 研 究	4		
統 計 学 II		2		卒 業 基 礎 演 習 I	2		
社 会 調 査 入 門		2		卒 業 基 礎 演 習 II	2		
社 会 調 査 I		2		卒 業 研 究	4		
社 会 調 査 II		2		キ ャ リ ア プ ラ ン ニ ン グ		1	
社 会 調 査 演 習		2		生 涯 学 習 論		2	
デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎 演 習		2					
デ ー タ サ イ エ ン ス 演 習 A		2					
デ ー タ サ イ エ ン ス 演 習 B		2					
デ ー タ サ イ エ ン ス 演 習 C		2					
デ ー タ サ イ エ ン ス 演 習 D		2					
デ ー タ サ イ エ ン ス 論 A		2					
デ ー タ サ イ エ ン ス 論 B		2					
ICT 社 会 の ビ ジ ネ ス	2						
IT パ ス ポ ー ト 認 定 情 報 技 術		2					
オ フ ィ ス ツ ー ル の 活 用		2					
デ ジ タ ル 表 現 入 門		2					
デ ジ タ ル 表 現		2					
色 彩 情 報 論		2					
色 彩 情 報 演 習		2					
情 報 倫 理		2					
ウ ェ ブ デ ザ イン 演 習		2					
情 報 英 語 I		2					

食物栄養科学部 食物栄養学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				生 化 学 II		2	
初 期 演 習 I	1			生 化 学 実 験	1		
初期演習Ⅱ(食物栄養学入門)	1			臨床病原微生物学		2	
食物栄養科学概論	1			臨床医学Ⅰ	2		
管理栄養士論	1			臨床医学Ⅱ		2	
基礎化学	2			臨床学実習		1	
基礎化学実験	1			食 品 学	2		
栄養学の基礎	2			食品学実験	1		
食品素材学	2			食品加工学実験		1	
微生物学	2			食品機能学		2	
食文化論	2			食品機能学実験		1	
TOEIC Preparation I		1		食品衛生学	2		
TOEIC Preparation II		1		食品衛生学実験	1		
栄養学英語Ⅰ	2			調 理 学	2		
栄養学英語Ⅱ	2			調理学実習Ⅰ		1	
予防医学概論	1			調理学実習Ⅱ		1	
栄養統計学	2			基礎栄養学	2		
疫 学	1			基礎栄養学実験	1		
食事調査法演習	1			応用栄養学Ⅰ	2		
食事摂取基準論	1			応用栄養学Ⅱ		2	
健康科学Ⅰ		2		応用栄養学Ⅲ		2	
<b>専門教育科目</b>				応用栄養学実習	1		
公衆衛生学	2			栄養教育論Ⅰ	2		
公衆衛生学実習		1		栄養教育論Ⅱ	2		
環境科学		2		栄養教育論Ⅲ		2	
社会福祉概論	2			栄養教育論実習Ⅰ	1		
解剖生理学Ⅰ	2			栄養教育論実習Ⅱ	1		
解剖生理学Ⅱ	2			臨床栄養学Ⅰ	2		
解剖生理学実習	1			臨床栄養学Ⅱ	2		
生 化 学 I	2			臨床栄養学Ⅲ		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
臨 床 栄 養 学 IV		2					
臨 床 栄 養 学 実 習 I	1						
臨 床 栄 養 学 実 習 II	1						
公 衆 栄 養 学 I	2						
公 衆 栄 養 学 II		2					
公 衆 栄 養 学 実 習	1						
給 食 経 営 管 理 論 I	2						
給 食 経 営 管 理 論 II	2						
給 食 経 営 管 理 学 実 習	1						
管 理 栄 養 総 合 演 習 I		1					
管 理 栄 養 総 合 演 習 II		1					
臨 地 実 習 I	1						
臨 地 実 習 II		2					
臨 地 実 習 III	1						
分 子 栄 養 学		2					
在 宅 栄 養 ケ ア 支 援 論		2					
リハビリテーション栄養学		1					
健 康 ス ポ ー ツ 栄 養 学		2					
国 際 栄 養 学 演 習		4					
食 糧 経 済 学		2					
卒 業 英 語 演 習 I	1						
卒 業 英 語 演 習 II	1						
卒 業 研 究 方 法 論	1						
卒 業 論 文		6	} 必修6				
卒 業 演 習		6					
学 校 栄 養 教 育 ・ 指 導 論 I		2					
学 校 栄 養 教 育 ・ 指 導 論 II		2					
健 康 科 学 II		2					
プレプロフェッショナル教育		2					

食物栄養科学部 食創造科学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				臨床栄養学概論	2		
初期演習Ⅰ	1			臨床栄養学実習	1		
初期演習Ⅱ(食創造の可能性)	1			栄養教育論Ⅰ	2		
基礎化学	2			栄養教育論Ⅱ	2		
食品化学	2			栄養教育論実習Ⅰ	1		
食品化学実験	1			栄養教育論実習Ⅱ	1		
食物栄養科学概論	1			公衆栄養学	2		
統計学	2			調理学	2		
実践TOEIC演習Ⅰ	1			調理学実習Ⅰ	1		
実践TOEIC演習Ⅱ	1			調理学実習Ⅱ	1		
<b>専門教育科目</b>				給食管理論	2		
社会福祉概論	2			給食管理学実習	2		
公衆衛生学	2			校外実習	1		
解剖生理学	2			食品産業論実習Ⅰ	1		
解剖生理学実習	1			食品産業論実習Ⅱ	1		
臨床医学	2			食品製造学Ⅰ	2		
生化学Ⅰ	2			食品製造学Ⅱ	2		
生化学Ⅱ	2			食品産業論	2		
生化学実験	1			異文化コミュニケーション論	2		
食品学	2			フードサイエンス英語Ⅰ	2		
食品学実験	1			フードサイエンス英語Ⅱ	2		
食品加工学	2			食品開発論	2		
食品加工学実習	1			栄養資源開発論		2	
食品衛生学	2			調理科学	2		
食品衛生学実験	1			調理科学実験	1		
基礎栄養学	2			バイオテクノロジー概論		2	
基礎栄養学実験	1			食品機能学	2		
応用栄養学Ⅰ	2			官能評価・鑑別論		2	
応用栄養学Ⅱ	2			食品安全学Ⅰ	2		
応用栄養学実習	1			食品安全学Ⅱ		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
	必修	選択			必修	選択		
食 品 安 全 学 実 験	1			実 践 英 会 話 I		2	※選必	
グローバルレギュラトリーサイエンス		2		実 践 英 会 話 II		2		
H A C C P 管理実践論		2		実 践 英 会 話 III		2		
マーケットリサーチ法	1			実 践 英 会 話 IV		2		
フードビジネス論 I	2			実 践 英 会 話 V		2		
フードビジネス論 II	2			卒業演習 (国際インターンシップ含む)		6	※※選必	
補 完 代 替 医 学		2						
比 較 食 文 化 論		2						
卒 業 英 語 演 習 I		1	※選必					
卒 業 英 語 演 習 II		1	※選必					
卒 業 論 文		6	※※選必					
卒 業 演 習		6	※※選必					
食 経 営 学		2						
フードデザイン演習		1	※「卒業英語演習 I」、「卒業英語演習 II」、「実践英会話 I」のうち2単位必修。					
メニュー企画・開発論		2						
メニュー企画・開発実習		1						
食マーケティング演習 I		1						
食マーケティング演習 II		1						
インターンシップ (フードマネジメント)		2						
食 品 機 器 分 析 学		2		※※「卒業論文」、「卒業演習」、「卒業演習 (国際インターンシップ含む)」のうち6単位必修。				
食品機器分析学実験 I		1						
食品機器分析学実験 II		1						
実験計画法演習		1						
インターンシップ(フードイノベーション)		2						
グローバルフード研修事前演習		1						
食 の 国 際 理 解		2						
グ ロー バ ル フ ード 学		2						
国 際 食 流 通 論		2						
国 際 食 科 学		2						
国 際 食 科 学 演 習		1						

建築学部 建築学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				建築環境工学Ⅰ	2		
初期演習Ⅰ	1			建築環境工学Ⅱ	2		
初期演習Ⅱ（建築入門）	1			建築環境工学実験	2		
建築英語Ⅰ	2			建築環境工学Ⅲ		2	※選必
建築英語Ⅱ	2			建築設備Ⅰ	2		
建築英語Ⅲ	2			建築設備Ⅱ		2	※選必
建築英語Ⅳ	2			建築構造力学Ⅰ	2		
建築数学	2			建築構造力学Ⅱ	2		
建築物理	2			地盤・振動論		2	※選必
<b>専門教育科目</b>				建築一般構造Ⅰ	2		
空間表現演習Ⅰ	5			建築一般構造Ⅱ	2		
空間表現演習Ⅱ	5			建築各種構造		2	※選必
建築設計演習Ⅰ	5			建築材料	2		
建築設計演習Ⅱ	5			建築構造材料実験	2		
建築設計演習Ⅲ	6			建築生産	2		
建築設計演習Ⅳ	6			建築施工	2		
建築設計演習Ⅴ	6			建築法規Ⅰ	2		
図学・情報基礎演習Ⅰ	2			建築法規Ⅱ	2		
図学・情報基礎演習Ⅱ	2			都市計画・デザイン論	2		
CAD・CG応用演習Ⅰ	2			造園学		2	※選必
CAD・CG応用演習Ⅱ	2			測量実習	2		
卒業研究	6			建築フィールドワークⅠA		1	
現代建築論	2			建築フィールドワークⅠB		1	
建築設計計画Ⅰ	2			建築フィールドワークⅡA		1	
建築設計計画Ⅱ	2			建築フィールドワークⅡB		1	※選必から8単位を必修
建築設計計画Ⅲ	2			建築フィールドワークⅢA		1	
建築設計計画Ⅳ	2			建築フィールドワークⅢB		1	
日本建築史	2			建築フィールドワークⅣ		1	
世界建築史	2			海外研修		2	
近代建築史	2						

建築学部 景観建築学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				構 造 力 学 I	2		
初 期 演 習 I	1			構 造 力 学 II	2		
初期演習II (景観建築入門)	1			建 築 一 般 構 造 I	2		
景 観 建 築 英 語 I	2			建 築 一 般 構 造 II	2		
景 観 建 築 英 語 II	2			建 設 材 料	2		
景 観 建 築 英 語 III	2			建 築 生 産	2		
景 観 建 築 英 語 IV	2			建 築 施 工		2	※選必
景 観 建 築 数 学	2			建 築 法 規 I	2		
景 観 建 築 物 理	2			建 築 法 規 II		2	※選必
生 態 学	2			測 量 学	2		
<b>専門教育科目</b>				都 市 計 画	2		
表 現 基 礎 演 習	4			環 境 職 業 倫 理	2		
設 計 基 礎 演 習	4			土 質 力 学		2	※選必
景観建築設計演習I	4			水 理 学		2	※選必
景観建築設計演習II	4			自 然 環 境 保 全 学	2		
景観建築設計演習III	6			文 化 遺 産 保 全 学		2	※選必
景観建築設計演習IV	6			流 域 保 全 学		2	※選必
景観建築設計演習V	6			日 本 庭 園 史	2		
景観映像情報基礎	2			世 界 庭 園 史	2		
測 量 学 実 習	2			景 観 建 築 原 論	2		
景観映像情報演習I	2			景 観 緑 地 計 画 論	2		
景観映像情報演習II	2			景 観 設 計 施 工 技 術		2	※選必
卒 業 研 究	6			景 観 建 築 植 物 学	2		
日 本 建 築 史	2			景 観 建 築 植 物 実 習 I		1	※選必
世 界 建 築 史	2			景 観 建 築 植 物 実 習 II		1	※選必
近 代 建 築 史	2			建 築 都 市 緑 化 実 習 I		1	※選必
建 築 計 画	2			建 築 都 市 緑 化 実 習 II		1	※選必
建 築 環 境 工 学 I	2			建 築 都 市 緑 化 実 習 III		1	※選必
建 築 環 境 工 学 II		2	※選必	建 築 都 市 緑 化 実 習 IV		1	※選必
建 築 設 備	2			景 観 建 築 特 別 実 習 I		1	※選必

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
景観建築特別実習Ⅱ		1	※選必				
景観建築フィールドワークⅠA		1					
景観建築フィールドワークⅠB		1	※選必から14単位を必修				
景観建築フィールドワークⅡA		1					
景観建築フィールドワークⅡB		1					
景観建築フィールドワークⅢA		1					
景観建築フィールドワークⅢB		1					
景観建築フィールドワークⅣ		1					

音楽学部 演奏学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				副専声楽実技ⅢA		1	
初 期 演 習 I	1			副専声楽実技ⅢB		1	
初期演習Ⅱ(音楽探究への誘い)	1			副専ピアノ実技ⅢA		1	
2 年 次 演 習	1			副専ピアノ実技ⅢB		1	
英 語 A	1			副専ピアノ実技ⅣA		1	
英 語 B	1			副専ピアノ実技ⅣB		1	
Oral Communication		2		ソルフェージュⅠA	2		
情報リテラシーⅠ	2			ソルフェージュⅠB	2		
情報リテラシーⅡ		2		ソルフェージュⅡ		4	
TOEIC認定英語Ⅰ		2		和 声 法 A	2		
TOEIC認定英語Ⅱ		2		和 声 法 B	2		
TOEIC認定英語Ⅲ		2		指 揮 法 I		1	
TOEIC認定英語Ⅳ		2		指 揮 法 II		1	
<b>専門教育科目</b>				作家作品研究Ⅰ		2	
主 専 実 技 I A	2			作家作品研究Ⅱ		2	
主 専 実 技 I B	2			即 興 演 奏 A		2	
主 専 実 技 II A	2			即 興 演 奏 B		2	
主 専 実 技 II B	2			作 ・ 編 曲 法 A	2		
主 専 実 技 III A	2			作 ・ 編 曲 法 B	2		
主 専 実 技 III B	2			旋 律 と 和 声 A		2	
主 専 実 技 IV	2			旋 律 と 和 声 B		2	
卒 業 演 奏	3			教 育 伴 奏 法		2	
副専声楽実技ⅠA		1		楽 曲 研 究 A		2	
副専声楽実技ⅠB		1		楽 曲 研 究 B		2	
副専ピアノ実技ⅠA		1		電 子 楽 器		2	
副専ピアノ実技ⅠB		1		音 楽 史 I	4		
副専声楽実技ⅡA		1		音 楽 史 II	4		
副専声楽実技ⅡB		1		合 唱 I	2		
副専ピアノ実技ⅡA		1		合 唱 II	2		
副専ピアノ実技ⅡB		1		合 唱 III		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
学 内 演 奏 I	1						
学 内 演 奏 II	1						
学 内 演 奏 III	1						
器 楽 合 奏		1					
邦 楽		2					
副 科 器 楽 A		1					
副 科 器 楽 B		1					
イタリア語表現演習		2					
声 楽 演 奏 研 究 I A		1					
声 楽 演 奏 研 究 I B		1					
声 楽 演 奏 研 究 II A		1					
声 楽 演 奏 研 究 II B		1					
声 楽 演 奏 研 究 III A		1					
声 楽 演 奏 研 究 III B		1					
演 技 演 習		2					
オ ペ ラ		2					
合 唱 指 導 法		2					
協 奏 曲 I		2					
協 奏 曲 II		2					
伴 奏 法		2					
ピアノアンサンブル		2					
ピ ア ノ 指 導 法		2					
チ ェ ン バ ロ		2					
重 奏 演 習		2					
合 奏 指 導 法		2					
合 奏 I		2					
合 奏 II		2					
合 奏 III		2					
合 奏 IV		2					

音楽学部 応用音楽学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				ソルフェージュⅠA	2		
初 期 演 習 Ⅰ	1			ソルフェージュⅠB	2		
初期演習Ⅱ(音楽探究への誘い)	1			ソルフェージュⅡ		4	
2 年 次 演 習	1			和 声 法 A	2		
英 語 A	1			和 声 法 B	2		
英 語 B	1			指 揮 法 Ⅰ		1	
応 用 英 語 Ⅰ A		1		指 揮 法 Ⅱ		1	
応 用 英 語 Ⅰ B		1		即 興 演 奏 A		2	
応 用 英 語 Ⅱ A		1		即 興 演 奏 B		2	
応 用 英 語 Ⅱ B		1		作 ・ 編 曲 法 A		2	
Oral Communication		2		作 ・ 編 曲 法 B		2	
情報リテラシーⅠ	2			旋 律 と 和 声 A		2	
情報リテラシーⅡ	2			旋 律 と 和 声 B		2	
TOEIC認定英語Ⅰ		2		教 育 伴 奏 法		2	
TOEIC認定英語Ⅱ		2		実 用 楽 器 入 門		2	
TOEIC認定英語Ⅲ		2		音 楽 史 Ⅰ	4		
TOEIC認定英語Ⅳ		2		音 楽 史 Ⅱ	4		
<b>専門教育科目</b>				合 唱 Ⅰ	2		
ピアノ実技ⅠA	2			合 唱 Ⅱ	2		
ピアノ実技ⅠB	2			合 唱 Ⅲ		2	
ピアノ実技ⅡA	2			学 内 演 奏 Ⅰ	1		
ピアノ実技ⅡB	2			学 内 演 奏 Ⅱ		1	
ピアノ実技ⅢA		2		学 内 演 奏 Ⅲ		1	
ピアノ実技ⅢB		2		イタリヤ語表現演習		2	
ピアノ実技ⅣA		2		楽 器 ・ 合 奏 指 導 法		2	
ピアノ実技ⅣB		2		歌 唱 ・ 合 唱 指 導 法		2	
声 楽 実 技 Ⅰ A	2			器 楽 合 奏		1	
声 楽 実 技 Ⅰ B	2			邦 楽		2	
声 楽 実 技 Ⅱ A		2		演 習	2		
声 楽 実 技 Ⅱ B		2		卒 業 論 文	4		

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
音 楽 療 法 論 I	2			表 現 技 術 演 習		4	
音 楽 療 法 論 II		2		音 楽 文 化 創 造 学		4	
発 達 心 理 学		2		音 楽 文 化 事 業 企 画 演 習		2	
音 楽 心 理 学		2		音 楽 活 用 実 習		2	
臨 床 心 理 学 I		4		プレプロフェッショナル教育		2	
臨 床 心 理 学 II		2					
社 会 福 祉 論		2					
障 害 児 教 育		2					
介 護 論		2					
レパートリーラーニング		2					
ダ ン ス と 動 き		2					
医 学 概 論		2					
音 楽 療 法 各 論 I		2					
音 楽 療 法 各 論 II		2					
音 楽 療 法 各 論 III		2					
臨 床 医 学 各 論 I		2					
臨 床 医 学 各 論 II		2					
音 楽 療 法 演 習		4					
音 楽 療 法 実 習 I	1						
音 楽 療 法 実 習 II		2					
音 楽 療 法 実 習 III		2					
音 楽 療 法 実 習 IV		2					
音 楽 療 法 研 究 法		4					
音 楽 療 法 総 論		1					
音 楽 社 会 学 概 論	4						
音 楽 教 育 学 研 究		4					
環 境 と 音 楽		4					
生 涯 学 習 関 係 論 I		2					
生 涯 学 習 関 係 論 II		2					
音 楽 と マ ル チ メ デ ィ ア		2					

薬学部 薬学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				物 理 化 学 I	2		
初 期 演 習 I	1			物 理 化 学 II	2		
初期演習II (薬の世界へ)	1			物 理 化 学 III	2		
Oral Communication I		1		分 析 化 学 I	2		
Oral Communication II		1		分 析 化 学 II	2		
基 礎 英 語	1			分 析 化 学 III	2		
英 語 I	1			医 薬 品 試 験 法		1	
英 語 II	1			放 射 化 学	2		
英 語 III	1			有 機 化 学 I	2		
発 展 英 語 I	1			有 機 化 学 II	2		
基 礎 化 学	2			有 機 化 学 III	2		
基 礎 生 物	2			スペクトル構造解析学	2		
基礎数学・物理	2			医 薬 品 化 学	2		
情報リテラシー I	2			発 展 有 機 化 学		1	
情報リテラシー II		2		発 展 医 薬 品 化 学		1	
T O E I C 認 定 英 語		2		薬 用 植 物 ・ 生 薬 学	2		
<b>専門教育科目</b>				天 然 物 化 学	2		
薬 学 へ の 招 待	2			生 化 学	2		
早期体験学習 I	0.5			代 謝 生 化 学	2		
早期体験学習 II	0.5			分 子 生 物 学	2		
ヒューマニズム論 I	2			免 疫 学	2		
ヒューマニズム論 II	2			細 胞 生 物 学	2		
薬剤師のための生涯教育		1		病 原 微 生 物 学	2		
医療コミュニケーション		1		解 剖 学	2		
感染制御とがん医療		1		生 理 学	2		
医薬品開発論	2			生体恒常性のメカニズム		1	
医療保険と地域医療	2			薬 学 基 礎 演 習 I		1	
薬事関係法規	2			薬 学 基 礎 演 習 II		1	
薬剤師のリスクマネジメント		1		薬 学 基 礎 演 習 III		1	
地域医療における薬剤師		1		薬 学 基 礎 演 習 IV		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
公 衆 衛 生 学	2			実 践 治 療 学		1	
栄 養 ・ 食 品 衛 生 学	2			薬 学 臨 床 実 習 概 論	2		
環 境 衛 生 学	2			処 方 解 析 学 演 習	1		
臨 床 栄 養 学		1		医 薬 品 の 適 正 使 用 I		1	
国 民 衛 生 の 最 新 動 向		1		医 薬 品 の 適 正 使 用 II		1	
基 礎 薬 理 学 I	2			一 般 用 医 薬 品 総 論		1	
基 礎 薬 理 学 II		1		薬 剤 師 の 職 能 と 業 務		1	
臨 床 薬 理 学 I	2			臨 床 薬 学 基 本 実 習 I	1		
臨 床 薬 理 学 II	2			臨 床 薬 学 基 本 実 習 II	1		
臨 床 薬 理 学 III	2			臨 床 薬 学 基 本 実 習 III	1		
臨 床 薬 理 学 IV		1		薬 学 臨 床 実 習	20		
疾 患 から み た 薬 理 学		1		薬 学 臨 床 演 習		1	
薬 物 動 態 学 I	2			有 機 化 合 物 を つ く る	1		
薬 物 動 態 学 II	2			医 薬 品 を つ く る	1		
臨 床 統 計 学 I	2			生 薬 ・ 天 然 物 医 薬 品 を 取 扱 う	1		
臨 床 統 計 学 II		1		物 質 の 特 性 を 調 べ る	1		
物 理 薬 剤 学	2			物 質 を 解 析 す る	1		
製 剤 学	2			生 体 成 分 と 免 疫 を 調 べ る	1		
薬 物 代 謝 論		1		体 の 成 り 立 ち と 働 き を 調 べ る	1		
薬 物 送 達 シ ス テ ム 学		1		薬 の 働 き を 調 べ る	1		
臨 床 薬 物 動 態 学		1		薬 物 を 製 剤 化 し 体 内 動 態 を 調 べ る	1		
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 I	2			人 と 環 境 へ の 影 響 と 細 菌 を 調 べ る	1		
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 II	2			発 展 英 語 II	1		
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 III	2			基 礎 薬 学 英 語 演 習		2	
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 IV	2			薬 学 英 語 演 習		4	
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 V	2			卒 業 研 究 I	2		
症 例 解 析 学	2			卒 業 研 究 II	2		
医 薬 品 情 報 学	2			総 合 演 習 I	2		
漢 方 治 療 学		1		総 合 演 習 II	2		
化 粧 品 学 概 論		1					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
卒 業 研 究 Ⅲ		1	} 必修1				
総 合 演 習 Ⅲ		1					
プレプロフェッショナル教育		2					

薬学部 健康生命薬科学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				バイオメディカル分析化学		2	
初 期 演 習 I	1			基 礎 有 機 化 学	2		
初期演習Ⅱ(薬科学への第一歩)	1			応 用 有 機 化 学 I		2	
健康生命薬科学概論	2			応 用 有 機 化 学 II		2	
実 験 基 礎	1			薬 品 合 成 化 学		2	
生 命 倫 理 学	2			反 応 開 発 論		2	
Oral Communication I		1		薬 用 植 物 学		2	
Oral Communication II		1		天 然 物 化 学		2	
基 礎 薬 学 英 語 I	1			基 礎 生 化 学	2		
基 礎 薬 学 英 語 II	1			応 用 生 化 学 I		2	
基 礎 数 学	2			応 用 生 化 学 II		2	
基 礎 生 物 学	2			分 子 生 物 学	2		
情報リテラシー I	2			微 生 物 学		2	
情報リテラシー II		2		遺 伝 学		2	
健 康 科 学 I		2		細胞の情報伝達と疾患		2	
T O E I C 認 定 英 語		2		遺伝子情報リテラシー		2	
<b>専門教育科目</b>				免 疫 学 総 論		2	
薬 学 英 語 I	1			基 礎 解 剖 生 理 学	2		
薬 学 英 語 II	1			機 能 生 理 学		2	
薬 学 英 語 III	1			基 礎 薬 理 学		2	
キ ャ リ ア 英 語	1			応 用 薬 理 学		2	
実 践 薬 学 英 語	2			病 態 疾 病 学		2	
物 理 学		2		薬 物 動 態 学		2	
地 学		2		基 礎 統 計 学	2		
薬 学 化 学 I	2			物 理 薬 剤 学 ・ 製 剤 学 I		2	
基 礎 物 理 化 学	2			物 理 薬 剤 学 ・ 製 剤 学 II		2	
応 用 物 理 化 学		2		衛 生 薬 学 I		2	
基 礎 分 析 化 学	2			衛 生 薬 学 II		2	
応 用 分 析 化 学		2		実 践 薬 物 治 療 学		2	
機 器 分 析 学		2		皮 膚 科 学		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
化粧品学総論		2		薬剤学実験		1	
化粧品製造学		2		基礎薬学英語演習		2	
実践化粧品学		2		卒業研究Ⅰ	2		
東洋美容学基礎		2		卒業研究Ⅱ	8		
臨床化粧品学		2		健康科学Ⅱ		2	
応用化粧品学		2		プレプロフェッショナル教育		2	
臨床検査総論		2					
臨床免疫学		2					
脳神経科学		2					
腫瘍生物学		2					
医薬品開発論		2					
化粧品開発論		2					
保健食品機能学		2					
健康サポート論		2					
統合医療概論		2					
薬事関係法規		2					
医薬品情報学		2					
物理学実験		1					
地学実験		1					
臨地体験学習	0.5						
早期体験学習	0.5						
創薬体験学習Ⅰ	1						
創薬体験学習Ⅱ	1						
基礎有機化学実験		1					
生化学実験Ⅰ		1					
化粧品学実験		1					
分析化学実験		1					
解剖生理学実験		1					
衛生薬学実験		1					
薬理学実験		1					

環境共生学部 環境共生学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
専門教育科目				ラボローテーション実習Ⅰb		1.5	
初 期 演 習 Ⅰ	1			ラボローテーション実習Ⅱa		1.5	
基 礎 化 学	2			ラボローテーション実習Ⅱb		1.5	
基 礎 生 物 学	2			物 理 学 実 験		1	
基 礎 環 境 工 学	2			地 学 実 験		1	
情 報 リ テ ラ シ ー	2			環 境 技 術 実 験	1.5		
初期演習Ⅱ (環境共生学)	1			環 境 経 済 学		2	
生 態 学		2		環 境 教 育 論		2	
地 球 科 学		2		環 境 政 策 論		2	
細 胞 生 物 学		2		環 境 教 育 実 践		1	
環 境 英 語 Ⅰ	1			世 界 遺 産 学		1	
分 析 化 学		2		N P O ・ N G O 論		2	
環 境 微 生 物 学		2		エ コ ツ ー リ ズ ム 論		1	
高 分 子 化 学		2		環 境 イ メ ー ジ ン グ 技 術		2	
環 境 英 語 Ⅱ	1			環 境 放 射 線 工 学		2	
植 物 生 理 学		2		防 災 技 術 Ⅰ		2	
生 命 と 地 球 環 境		1		環 境 ア セ ス メ ン ト 論		2	
環 境 英 語 Ⅲ	1			環 境 情 報 工 学		2	
環 境 英 語 Ⅳ	1			防 災 技 術 Ⅱ		2	
環境英語演習 (留学プログラム)		2		野 生 生 物 管 理 工 学		2	
環 境 研 究 英 語 Ⅰ	1			水 質 管 理 工 学		2	
環 境 研 究 英 語 Ⅱ	1			環 境 モ ニ タ リ ン グ		2	
環境共生学入門 (学習設計)	1			毒 性 学		2	
S D G s 論	2			合 成 化 学		2	
環 境 問 題 概 論	2			環 境 生 物 有 機 化 学		2	
フィールド・環境施設実習	2			環 境 エ ネ ル ギ ー 概 論		2	
エ コ ツ ー リ ズ ム 実 習		1		バ イ オ マ ス エ ネ ル ギ ー 学		2	
基 礎 実 験	1.5			物 理 学 と 環 境 工 学		2	
デ ー タ 分 析 ・ 統 計 学	2			資 源 管 理 学		2	
ラボローテーション実習Ⅰa		1.5		機 器 分 析 学		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
環境エネルギー技術		2					
グリーンケミストリー		2					
資源循環工学		2					
高機能材料工学		2					
生命情報科学		2					
バイオテクノロジーⅠ(分子生物学)		2					
環境レメディエーション工学		2					
環境・バイオ産業論		2					
バイオテクノロジーⅡ(遺伝子工学)		2					
バイオテクノロジーⅢ(細胞工学)		2					
生態工学		2					
バイオマス利活用工学		2					
社会連携プロジェクトⅠ	3						
社会連携プロジェクトⅡ	3						
プロジェクトコミュニケーションⅠ	3						
プロジェクトコミュニケーションⅡ	3						
卒業研究・活動	6						

看護学部 看護学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				地 域 看 護 学	2		
初 期 演 習 I	1			地域・在宅看護学実習	2		
初期演習Ⅱ（生活と看護）	1			成 人 看 護 学 概 論	1		
医 学 英 語	2			成 人 看 護 学 I A	2		
看 護 英 語 基 礎	1			成 人 看 護 学 I B	2		
情 報 活 用 の 基 礎	2			成人看護学Ⅱ（慢性期）	1		
看 護 応 用 統 計 学	2			成人看護学Ⅱ（急性期）	1		
解 剖 生 理 学 I	2			サポーターケア	1		
解 剖 生 理 学 II	2			成人看護学実習（慢性期）	3		
栄 養 代 謝 学	2			成人看護学実習（急性期）	3		
臨 床 病 態 栄 養 学	2			老 年 看 護 学 概 論	1		
微 生 物 学 と 感 染 防 御	2			老 年 看 護 学 I	2		
看 護 薬 理 学	2			老 年 看 護 学 II	1		
疾 病 治 療 概 論	2			アクティブエイジング	1		
リハビリテーション学	2			老 年 看 護 学 実 習	3		
保 健 医 療 福 祉 制 度	2			小 児 看 護 学 概 論	1		
チ ー ム 医 療 論	2			小 児 看 護 学 I	2		
疫 学	2			小 児 看 護 学 II	1		
<b>専門教育科目</b>				チャイルドデイベロップメンタルアプローチ	1		
看 護 学 概 論	2			小 児 看 護 学 実 習	2		
看 護 援 助 論	2			母 性 看 護 学 概 論	1		
基礎看護技術演習Ⅰ	2			母 性 看 護 学 I	2		
基礎看護技術演習Ⅱ	2			母 性 看 護 学 II	1		
基礎看護技術演習Ⅲ	2			ウイメンズヘルスケア	1		
看護アセスメント演習	1			母 性 看 護 学 実 習	2		
基礎看護学実習Ⅰ	1			精 神 看 護 学 概 論	1		
基礎看護学実習Ⅱ	2			精 神 看 護 学 I	2		
在 宅 看 護 学 概 論	1			精 神 看 護 学 II	1		
在 宅 看 護 学 I	2			グ ル ー プ ア プ ロ ー チ	1		
在 宅 看 護 学 II	1			精 神 看 護 学 実 習	2		

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
統 合 看 護 学 実 習	3						
看 護 マ ネ ジ メ ン ト	1						
家 族 看 護 学	1						
看 護 研 究 方 法	2						
卒 業 演 習	2						
災 害 ・ 国 際 看 護 論	1						

経営学部 経営学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
基礎教育科目				パブリックマネジメント入門	2		
初 期 演 習 I	1			法 律 入 門 I		2	
初期演習Ⅱ（経営）	1			法 律 入 門 II		2	
経 営 課 題 演 習 I	2			民 法 入 門 I		2	
経 営 課 題 演 習 II	2			民 法 入 門 II		2	
Oral Communication	2			地 域 振 興 論		2	
Business English I	2			中小企業イノベーション論		2	
Business English II		2		企 業 の 社 会 連 携 論		2	
情報リテラシー I	2			公 共 総 合 基 礎 演 習 I		2	
情報リテラシー II	2			公 共 総 合 基 礎 演 習 II		2	
経 営 学 入 門	2			C S R		2	
経 営 組 織 論		2		ビジネスシンキング	2		
ビジネスプラン構築論		2		論 理 と 数 理 入 門		2	
経 営 戦 略 論 入 門		2		消 費 者 行 動 論		2	
経 営 環 境 論		2		デ ザ イン 思 考		2	
組 織 行 動 論		2		ロジカルシンキング		2	
会 計 入 門	2			社 会 心 理 学		2	
商 業 簿 記 I		2		キャリアデザイン特講Ⅰ	2		
商 業 簿 記 II		2		キャリアデザイン特講Ⅱ		2	
原 価 計 算 I		2		実 践 へ の い ざ な い	2		
原 価 計 算 II		2		イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	※選必
企 業 財 務 論		2		イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	※選必
マーケティング入門	2			イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1	※選必
マーケティングリサーチ		2		サ ー ビ ス ラ ー ニ ン グ I		1	※選必
消費者思考の製品開発		2		サ ー ビ ス ラ ー ニ ン グ II		1	※選必
ネットビジネス入門		2		サ ー ビ ス ラ ー ニ ン グ III		1	※選必
ク ラ ウ ド 入 門		2		フ ィ ー ル ド ワ ー ク I		1	※選必
企業情報システム		2		フ ィ ー ル ド ワ ー ク II		1	※選必
経 済 学 入 門		2		フ ィ ー ル ド ワ ー ク III		1	※選必
ヴァジュアルマーチャンダイジング		2					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
専門教育科目				グローバル経営論		2	***選必
経営管理論		2	**選必	グローバル製品開発論		2	***選必
流通小売論		2	**選必	ブランド戦略論		2	***選必
財務会計論Ⅰ		2	**選必	企業の投資意思決定		2	***選必
管理会計論Ⅰ		2	**選必	M&Aと企業価値評価		2	***選必
経営戦略論Ⅰ		2	**選必	新興国企業論		2	***選必
マーケティング戦略論		2	**選必	パブリックマネジメント		2	****選必
A I 戦略論		2	**選必	産学教育連携論		2	****選必
商品企画論		2	**選必	環境マーケティング		2	****選必
ビジネスモデル論		2	**選必	公共政策論		2	****選必
中小企業論		2	**選必	地域産業論		2	****選必
財務会計論Ⅱ		2	**選必	地方財政論		2	****選必
人的資源管理論		2	**選必	市民協働参画論		2	****選必
労使コミュニケーション論		2	**選必	行政法		2	****選必
ベンチャービジネス論		2	**選必	福祉経営論		2	****選必
管理会計論Ⅱ		2	**選必	地域政策論		2	****選必
経営戦略論Ⅱ		2	**選必	情報政策論		2	****選必
広告・PR論		2	**選必	地域ブランド論		2	****選必
サプライチェーンマネジメント		2	**選必	美容業界論		2	*****選必
上級財務会計論		2	**選必	健康ヘルスケア産業論		2	*****選必
イノベーションプロセス論		2	**選必	ファッション・アパレル業態論		2	*****選必
W r i t i n g		3	***選必	ホテル・ホスピタリティ産業論		2	*****選必
R e a d i n g		3	***選必	レジャー・エンターテインメント産業論		2	*****選必
C o n v e r s a t i o n		3	***選必	専 門 演 習 Ⅰ	2		
Microeconomics		2	**選必	専 門 演 習 Ⅱ	2		
Financial Accounting		2	**選必	専 門 演 習 Ⅲ	2		
Corporate Finance		2	**選必	専 門 演 習 Ⅳ	2		
ビジネスライティング		2	**選必	卒 業 研 究	4		
スピーチプレゼンテーション		2	**選必				

※選必から2単位を必修 ※選必から12単位を必修 \*\*\*選必から6単位を必修  
 \*\*\*\*選必から6単位を必修 \*\*\*\*\*選必から4単位を必修

## 履 修 方 法 （別表第1、第2の備考）

### 1. 卒業までに修得すべき最低単位数

学生は、共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の中から124単位（建築学科・景観建築学科は128単位、薬学科は190単位及び看護学科は127単位）以上を修得しなければならない。ただし、下記の学部、学科においては、それぞれに規定する単位を含めて修得しなければならない。なお、編入学生の履修方法については、別に定める。

#### 文学部 日本語日本文学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計2単位以上、「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目及び専門教育科目の中から64単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

#### 文学部 歴史文化学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計2単位以上、「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目及び専門教育科目の中から64単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

#### 文学部 英語グローバル学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計4単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目の中から30単位以上
- 4 専門教育科目の中から60単位以上

教育学部 教育学科

- 1 共通教育科目の中から12単位以上  
(ただし、次の2の共通教育科目で修得した外国語の単位を含めることができる)
- 2 共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の中から、外国語科目8単位以上(英語Ⅰ・英語Ⅱの4単位を含む)
- 3 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」から2単位以上を含み、『基礎教養科目群』から合計8単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 4 基礎教育科目及び専門教育科目から81単位以上

心理・社会福祉学部 心理学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から8単位以上
- 4 専門教育科目の中から54単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

心理・社会福祉学部 社会福祉学科

- 1 共通教育科目の中から10単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から16単位以上
- 4 専門教育科目の中から46単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科

- 1 共通教育科目の中から8単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』、『ジェンダー科目群』、『学び発見ゼミ』から合計6単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から12単位以上
- 4 専門教育科目の中から62単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科

- 1 共通教育科目の中から8単位以上
- 2 共通教育科目「基礎教養科目群」、『ジェンダー科目群』及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計6単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から12単位以上

- 4 専門教育科目の中から62単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

生活環境学部 生活環境学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」、『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から4単位以上
- 4 専門教育科目の中から80単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

社会情報学部 社会情報学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」、『キャリアデザイン科目群』及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から4単位以上
- 4 専門教育科目の中から80単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

食物栄養科学部 食物栄養学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から25単位以上
- 4 専門教育科目の中から90単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

食物栄養科学部 食創造科学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目12単位
- 4 専門教育科目の中から90単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

建築学部 建築学科

- 1 共通教育科目 6 単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ 2 単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2 単位・必修)
- 3 基礎教育科目 14 単位
- 4 専門教育科目の中から 108 単位以上

建築学部 景観建築学科

- 1 共通教育科目 6 単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ 2 単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2 単位・必修)
- 3 基礎教育科目 16 単位
- 4 専門教育科目の中から 106 単位以上

音楽学部 演奏学科

- 1 共通教育科目の中から 14 単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」、「ジェンダー科目群」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計 2 単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計 2 単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」(ドイツ語又はフランス語)から合計 4 単位以上及び「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2 単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から 7 単位以上
- 4 専門教育科目の中から 80 単位以上
- 5 上記 2 のドイツ語又はフランス語の 4 単位以上を含む学科指定外国語科目の中から 8 単位以上

音楽学部 応用音楽学科

- 1 共通教育科目の中から 8 単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」、「ジェンダー科目群」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計 2 単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計 2 単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2 単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から 9 単位以上
- 4 専門教育科目の中から 80 単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から 8 単位以上

薬学部 薬学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目及び専門教育科目の中から174単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

薬学部 健康生命薬科学科

- 1 共通教育科目の中から8単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目及び専門教育科目の中から116単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

環境共生学部 環境共生学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 専門教育科目の中から108単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

看護学部 看護学科

- 1 共通教育科目の中から21単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」、「国際理解科目」、「現代トピック科目」、「ジェンダー科目群」、「キャリアデザイン科目群」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計6単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計5単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎(2単位・必修)」、「健康・スポーツ科目群」から合計1単位以上
- 3 基礎教育科目31単位
- 4 専門教育科目の中から75単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

経営学部 経営学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」から合計2単位以上、『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」、「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『ジェンダー科目群』、『キャリアデザイン科目群』から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計4単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー

科目]、『健康・スポーツ科目群]、『大学・初年次ゼミ]の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『言語・情報科目群]の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)

- 3 基礎教育科目の中から40単位以上
- 4 専門教育科目の中から50単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

## 2 教育職員免許状取得に必要な単位数

教育職員免許状を取得するためには、第27条の2に定められた要件を充足する必要がある。また、各学科において定められた履修要項に従って、必要単位を修得しなければならない。

## 別表第3

### 特別教育科目

#### 1 ボランティア活動

ボランティア活動	(注)	選択
----------	-----	----

(注) ボランティア活動30時間に対して1単位を認定する。修得した単位は卒業要件の単位に含めない。

#### 2 インターンシップ活動

インターンシップ活動	(注)	選択
------------	-----	----

(注) インターンシップ活動30時間に対して1単位を認定する。修得した単位は卒業要件の単位に含めない。

別表第4

教育職員免許状

(中学校・高等学校教諭、栄養教諭 教育職員免許法施行規則第66条の6「日本国憲法」)

免許法施行規則に定める科目	修得単位 法定最低	本学の開設授業科目	単位数	必修単位 中一種免	必修単位 高一種免	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2	2	

【履修方法】

- (1) その他の教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（本学では「教職基礎科目」と称する。）については、別表第1・別表第2より履修すること。

(中学校・高等学校教諭「各教科の指導法」)

免許法施行規則に定める科目		修得単位 法定最低	本学の開設授業科目	単位数	必修単位 中一種免	必修単位 高一種免	備考
第二欄	左の科目に含めることが 必要な事項						
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中 8 ・ 高 4	国語科指導法Ⅰ	2	2	2	各自が取得する免許状の教科に応じて修得すること
			国語科指導法Ⅱ	2	2	2	
			国語科指導法Ⅲ	2	2	2	
			国語科指導法Ⅳ	2	2	2	
			書道科指導法Ⅰ	2	—	2	
			書道科指導法Ⅱ	2	—	2	
			英語科指導法Ⅰ	2	2	2	
			英語科指導法Ⅱ	2	2	2	
			英語科指導法Ⅲ	2	2	2	
			英語科指導法Ⅳ	2	2	2	
			社会・地歴科指導法Ⅰ	2	2	2	
			社会・地歴科指導法Ⅱ	2	2	2	
			社会・地歴科指導法Ⅲ	2	2	—	
			社会・地歴科指導法Ⅳ	2	2	—	
			家庭科指導法Ⅰ	2	2	2	
			家庭科指導法Ⅱ	2	2	2	
			家庭科指導法Ⅲ	2	2	2	
			家庭科指導法Ⅳ	2	2	2	
			情報科指導法Ⅰ	2	—	2	
			情報科指導法Ⅱ	2	—	2	
			音楽科指導法Ⅰ	2	2	2	
			音楽科指導法Ⅱ	2	2	2	
			音楽科指導法Ⅲ	2	2	2	
音楽科指導法Ⅳ	2	2	2				
理科指導法Ⅰ	2	2	2				
理科指導法Ⅱ	2	2	2				
理科指導法Ⅲ	2	2	2				
理科指導法Ⅳ	2	2	2				
合計		中 8 ・ 高 4	計		8	8	

【履修方法】

- (1) 「各教科の指導法」の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。  
 (2) 上表の科目のうち、各自が取得する免許状の教科に応じて8単位（書道科指導法・情報科指導法は4単位）を修得すること。

(中学校・高等学校教諭「教育の基礎的理解に関する科目等」)

免許法施行規則に定める科目		修得単位	法定最低	本学の開設授業科目	単位数	必修単位	中一 種免	必修単位	高一 種免	備考
左の科目に含めることが 必要な事項										
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2		2		
				教育史	2					
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	2		2		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学	2	2		2		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2		2		
				発達心理学	2					
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2	2		2		
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論	2	2		2				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	中10・高8	道徳教育指導論	2	2		—		
		・総合的な学習の時間の指導法 [中]		総合的な学習の時間と特別活動	2	2		2		
		・総合的な探究の時間の指導法 [高]								
		・特別活動の指導法		教育方法の理論と実践	1	1		1		
		・教育の方法及び技術		ICT 活用の理論と実践	1	1		1		
		・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導	2	2		2		
		・生徒指導の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2	2		2		
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法										
第五欄	教育実践に関する科目	・教育実習	中5・高3	教育実習事前指導(中高)	1	1		1		
				教育実習事前事後指導(中高)	1	1		1	事前事後指導	
				教育実習Ⅰ(中高)	2	2				
				教育実習Ⅱ(中高)	2	2		2		
	・教職実践演習	2	教職実践演習(中高)	2	2		2			
合計			中27・高23	計	34	30		26		

【履修方法】

- 「教育の基礎的理解に関する科目等」の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- 上表の「免許法施行規則に定める科目区分」ごとに指定されている必修単位数を含んで中学校教諭30単位以上、高等学校教諭26単位以上。
- 「教育実習事前事後指導(中高)」「教育実習Ⅰ(中高)」「教育実習Ⅱ(中高)」「教職実践演習(中高)」については、その履修要件を充足すること。当該履修要件についての詳細は別に定める。
- 「道徳教育指導論」は、高等学校教諭においては「大学が独自に設定する科目」として開設する。
- 「教育の基礎的理解に関する科目等」として修得した単位数のうち中学校教諭27単位、高等学校教諭23単位を超えて修得した単位数を「大学が独自に設定する科目」の修得単位数に含めることができる。

(中学校・高等学校教諭「大学が独自に設定する科目」)

免許法施行規則に定める科目	修得単位 法定最低	算入可能な科目 及び 本学の開設授業科目	単位数	中一種免		高一種免		備考
				必修	選択	必修	選択	
大学が独自に設定する科目	中4 ・ 高12	① 中学校教諭：28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」・27単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」						いずれかの単位で、中学校教諭4単位以上、高等学校教諭12単位以上修得すること
		① 高等学校教諭：24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」・23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」						
		② 道徳教育指導論	2	—		2		

【履修方法】

- (1) 「大学が独自に設定する科目」②の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の①②いずれかの単位で、中学校教諭4単位以上、高等学校教諭12単位以上。
- (3) 「道徳教育指導論」は、中学校教諭においては「教育の基礎的理解に関する科目等」として開設する。

(栄養教諭「教育の基礎的理解に関する科目等」)

	免許法施行規則に定める科目		修得単 法定 最低 単位	本学の開設授業科目	単位数	栄 養 教 一 種 免 必 修 単 位	備考
	教育の基礎的理解に関する科目	左の科目に含めることが必要な事項					
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理*	2	2	
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門*	2	2	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学*	2	2	
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学*	2	2	
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論*	2	2	
		・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論*	2	2	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育指導論*	2	2	
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		総合的な学習の時間と特別活動*	2	2	
		・生徒指導の理論及び方法		教育方法の理論と実践*	1	1	
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		ICT活用の理論と実践*	1	1	
				生徒指導の理論と方法	2	2	
第五欄	教育実践に関する科目	・栄養教育実習	2	栄養教育実習事前事後指導	1	1	事前事後指導
		・教職実践演習		2	2		
		合計	18	計	26	26	

【履修方法】

- (1) 「教育の基礎的理解に関する科目等」の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の「免許法施行規則に定める科目区分」ごとに指定されている必修単位数を含んで26単位以上。
- (3) 「栄養教育実習(学校現場)」「教職実践演習(栄教)」については、その履修要件を充足すること。当該履修要件についての詳細は別に定める。
- (4) \*の科目は、中学校・高等学校教職課程と共通開設。

## 別表第 5

### 図書館司書専門教育科目

図書館法施行規則に規定する科目	必要単位数	左記に相当する本学の開講科目	単位数	必修単位数
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	2
図書館概論	2	図書館概論	2	2
図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	2
図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	2
図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	2
情報サービス論	2	情報サービス論	2	2
児童サービス論	2	児童サービス論	2	2
情報サービス演習	2	情報サービス演習Ⅰ	1	1
		情報サービス演習Ⅱ	1	1
図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	2
情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	2
情報資源組織演習	2	情報資源組織演習Ⅰ	1	1
		情報資源組織演習Ⅱ	1	1
図書館基礎特論	2	図書館基礎特論	2	4
図書館サービス特論		図書館サービス特論	2	
図書館情報資源特論		図書館情報資源特論	2	
図書・図書館史		図書・図書館史	2	
図書館実習		図書館実習	1	
図書館施設論		—		
図書館総合演習		—		
	24	計	31	26

#### 【履修方法】

- (1) 図書館司書専門教育科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の「図書館法施行規則に規定する科目」ごとに指定されている必修単位数を含んで26単位以上。

## 別表第 6

### 学校図書館司書教諭専門教育科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目	必要単位数	左記に相当する本学の開講科目	単位数	司書教諭必修
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	2
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	2
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	2
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	2
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	2
	10	計	10	10

#### 【履修方法】

- (1) 学校図書館司書教諭専門教育科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の「学校図書館司書教諭講習規程に定める科目」ごとに指定されている必修単位数を含んで10単位以上。

## 別表第 7

### 博物館学芸員専門教育科目

博物館法施行規則 に規定する科目	必 要 単位数	左記に相当する 本学の開講科目	単位数	必 修 単 位
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	2
博物館概論	2	博物館概論	2	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2
博物館実習	3	博物館実習 A	2	2
		博物館実習 B	1	1
	19	計	19	19

#### 【履修方法】

- (1) 博物館学芸員専門教育科目を履修するために必要な手続きは別に定める。
- (2) 上表の「博物館法施行規則に規定する科目」ごとに指定されている必修単位数を19単位取得。

別表第8（第39条関係）

令和7年度の入学生

学部・学科		費目	※1 入学検定料	入学金	学 費（年 額）			
					授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	229,000	—	—
	歴史文化学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	229,000	—	—
	英語グローバル学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	975,000	229,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	269,000	—	—
社会福祉学部	心理学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	259,000	—	—
	社会福祉学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	259,000	—	—
スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	299,000	※2 26,000	—
	スポーツマネジメント学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	299,000	※2 26,000	—
境界生活学部	生活環境学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	310,000	—	—
報社会学部	社会情報学科	1年次	35,000	200,000	990,000	180,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,060,000	279,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	55,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	430,000	55,000	—
	食創造科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	53,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	430,000	53,000	—
建築学部	建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	429,000	80,000	—
	景観建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	429,000	80,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,440,000	410,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	—	—	1,440,000	410,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	35,000	200,000	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	—	—	1,532,000	※3 423,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	35,000	200,000	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	—	—	1,170,000	399,000	160,000	—
生環境学部	環境共生学科	1年次	35,000	200,000	1,100,000	300,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	400,000	40,000	—
学看護学部	看護学科	1年次	35,000	200,000	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,367,000	357,000	—	—
学経営学部	経営学科	1年次	35,000	200,000	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,000,000	220,000	—	—

※1 出願方法、出願回数に応じた割引金額とする。

※2 野外実習費

※3 野外実習費 2年次のみ

令和6年度の入学生

学部・学科		費目	※1 入学検定料	入学金	学 費 (年 額)			
					授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	209,000	—	—
	歴史文化学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	209,000	—	—
	英語グローバル学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	975,000	209,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	249,000	—	—
社会福祉学部	心理学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	239,000	—	—
	社会福祉学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	239,000	—	—
スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	279,000	※3 26,000	—
	スポーツマネジメント学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	279,000	※3 26,000	—
境界学部	生活環境学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	290,000	—	—
報社会情	社会情報学科	1年次	35,000	200,000	990,000	180,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,060,000	259,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	51,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	410,000	51,000	—
	食創造科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	51,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	410,000	51,000	—
建築学部	建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	409,000	80,000	—
	景観建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	409,000	80,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,440,000	390,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	—	—	1,440,000	390,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	35,000	200,000	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	—	—	1,532,000	403,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	35,000	200,000	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	—	—	1,170,000	379,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	35,000	200,000	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,367,000	337,000	—	—
学部経営	経営学科	1年次	35,000	200,000	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,000,000	200,000	—	—

※1 出願方法、出願回数に応じた割引金額とする。

※2 野外実習費

※3 野外実習費 2年次のみ

令和5年度の入学生

学部・学科		費目	※1 入学検定料	入学金	学 費 (年 額)			
					授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	209,000	—	—
	英語グローバル学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	975,000	209,000	—	—
学部教育	教 育 学 科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	249,000	—	—
社会福祉学部	心 理 学 科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	239,000	—	—
	社会福祉学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	239,000	—	—
スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	279,000	※3 26,000	—
	スポーツマネジメント学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	279,000	※3 26,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	290,000	—	—
社会情報学部	社会情報学科	1年次	35,000	200,000	990,000	180,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,060,000	259,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	51,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	410,000	51,000	—
	食創造科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	51,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	410,000	51,000	—
建築学部	建 築 学 科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	409,000	80,000	—
	景観建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	409,000	80,000	—
音楽学部	演 奏 学 科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,440,000	390,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	—	—	1,440,000	390,000	—	—
薬学部	薬 学 科	1年次	35,000	200,000	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	—	—	1,532,000	403,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	35,000	200,000	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	—	—	1,170,000	379,000	160,000	—
看護学部	看 護 学 科	1年次	35,000	200,000	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,367,000	337,000	—	—
経営学部	経 営 学 科	1年次	35,000	200,000	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,000,000	200,000	—	—

※1 出願方法、出願回数に応じた割引金額とする。

※2 野外実習費

※3 野外実習費 2年次のみ

令和4年度の入学生

学部・学科		費目	学 費 (年 額)			
			授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
		2～4年次	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	975,000	200,000	—	—
	心理・社会福祉学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	230,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	240,000	—	—
スポーツ健康科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	995,000	230,000	※1 26,000	—
		2～4年次	1,035,000	270,000	※2 26,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
	情報メディア学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
	食創造科学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
建築学部	建築学科	1年次	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	1,160,000	400,000	80,000	—
	景観建築学科	1年次	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	1,160,000	400,000	80,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	1,532,000	394,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	1,367,000	328,000	—	—
学部経営	経営学科	1年次	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	1,000,000	200,000	—	—

※1 野外実習費

※2 野外実習費 2年次のみ

令和2～3年度の入学生

学部・学科		費目	学 費 (年 額)			
			授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
		2～4年次	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	975,000	200,000	—	—
	心理・社会福祉学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	230,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	240,000	—	—
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	995,000	230,000	※1 20,000	—
		2～4年次	1,035,000	270,000	※2 20,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
	情報メディア学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
	食創造科学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
建築学部	建築学科	1年次	1,100,000	300,000	60,000	—
		2～4年次	1,140,000	340,000	60,000	—
	景観建築学科	1年次	1,100,000	300,000	60,000	—
		2～4年次	1,140,000	340,000	60,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	1,532,000	394,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	1,367,000	328,000	—	—
学部経営	経営学科	1年次	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	1,000,000	200,000	—	—

※1 野外実習費

※2 野外実習費 2年次のみ

令和元年度の入学生

学部・学科		費目	学 費 (年 額)			
			授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
		2～4年次	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	975,000	200,000	—	—
	心理・社会福祉学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	230,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	240,000	—	—
スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	995,000	230,000	※1 20,000	—
		2～4年次	1,035,000	270,000	※2 20,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
	食物栄養学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
	情報メディア学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
建築学科	1年次	1,100,000	300,000	60,000	—	
	2～4年次	1,140,000	340,000	60,000	—	
音楽学部	演奏学科	1年次	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	1,532,000	362,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	1,367,000	328,000	—	—

※1 野外実習費

※2 野外実習費 2年次のみ

平成30年度の入学生

学部・学科		学 費 (年 額)					
		授 業 料	教育充実費	学生研修費	実験実習費	実務実習費	
文学部	日本語日本文学科	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	
	英語文化学科	895,000	200,000	—	—	—	
	教育学科	995,000	230,000	—	—	—	
	心理・社会福祉学科	995,000	230,000	—	—	—	
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	995,000	230,000	—	*1 20,000	—	
生活環境学部	生活環境学科	995,000	250,000	—	—	—	
	食物栄養学科	995,000	250,000	—	46,000	—	
	情報メディア学科	995,000	250,000	—	—	—	
	建築学科	1,100,000	300,000	—	60,000	—	
音楽学部	演奏学科	1,370,000	330,000	—	—	—	
	応用音楽学科	1,370,000	330,000	—	—	*2 20,000	
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	—	0	—
		2~6年次	1,502,000	362,000	—	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	—	0	—
		2~4年次	1,130,000	370,000	—	160,000	—
看護学部	看護学科	1,347,000	300,000	3,000	—	—	

※1 野外実習費。1年次、2年次のみ

※2 1年次のみ

平成26～29年度の入学生

学部・学科		学 費 (年 額)					
		授 業 料	教育充実費	学生研修費	実験実習費	実務実習費	
文学部	日本語日本文学科	895,000 <sup>円</sup>	175,000 <sup>円</sup>	3,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	
	英語文化学科	895,000	175,000	3,000	—	—	
	教育学科	995,000	205,000	3,000	—	—	
	心理・社会福祉学科	995,000	205,000	3,000	—	—	
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	995,000	205,000	3,000	*1 20,000	—	
生活環境学部	生活環境学科	995,000	225,000	3,000	—	—	
	食物栄養学科	995,000	225,000	3,000	46,000	—	
	情報メディア学科	995,000	225,000	3,000	—	—	
	建築学科	1,100,000	275,000	3,000	60,000	—	
音楽学部	演奏学科	1,370,000	305,000	3,000	—	—	
	応用音楽学科	1,370,000	305,000	3,000	—	*2 20,000	
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	337,000	3,000	0	—
		2～6年次	1,502,000	337,000	3,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	345,000	3,000	0	—
		2～4年次	1,130,000	345,000	3,000	160,000	—
看護学部	看護学科	1,347,000	300,000	3,000	—	—	

※1 野外実習費。1年次、2年次のみ

※2 1年次のみ

・看護学部看護学科は平成27年度開設

別表第9（第56条関係）

区 分		金 額	備 考
科目等履修生	選 考 料	10,000円	本学卒業生は免除
	登 録 料	15,000円	本学卒業生は半額
	履 修 料	1単位 30,000円 ただし、薬学部基礎・専門教育科目のうち講義科目 1単位 60,000円 「臨床薬学基本実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の履修料は 1単位 60,000円 「薬学臨床実習」の履修料は750,000円 〔健康生命薬科学科卒業生の薬剤師国家試験 受験資格取得に関する経過措置対応のため〕	単位不要の場合は半額

別表第10（第57条関係）

区 分		金 額	備 考
研 究 生	研 究 料	日本語日本語、歴史文化、英語グローバル 月額 25,000円	
		教育学部、健康・スポーツ科学部、 心理・社会福祉 月額 29,000円	
		生活環境学部、食物栄養科学部 月額 29,000円	
		社会情報学部 月額 28,000円	
		建築学部 月額 32,000円	
		音楽学部 月額 39,000円	
		薬学 月額 43,000円	
		健康生命薬科 月額 32,000円	
経営学部 月額 23,000円			

## 変更事項を記載した書類

### 1. 変更の事由

令和7年4月、環境共生学部環境共生学科の設置と大学の収容定員変更に伴い、武庫川女子大学学則に所要の変更を行う。

具体的には、環境共生学部環境共生学科の入学定員を120名、収容定員を480名とする。生活環境学部生活環境学科の入学定員を30名増加させて195名、収容定員を120名増加させて820名とする。教育学部教育学科の3年次編入学定員を15名減少させて25名、収容定員を30名減少させて1,010名とする。健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の3年次編入学定員を20名減少させて0名、収容定員を40名減少させて720名とする。

### 2. 変更点

#### (1) 第5条（学部・学科及び収容定員）

- ①薬学部と看護学部の間新たに「環境共生学部環境共生学科 入学定員120、収容定員480」の記載を加える。
- ②教育学部教育学科の編入学定員3年次を「40」から「25」に、収容定員を「1,040」から「1,010」に変更する。
- ③健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の編入学定員3年次を「20」から「-」に、収容定員を「760」から「720」に変更する。
- ④生活環境学部生活環境学科の入学定員を「165」から「195」に、収容定員を「700」から「820」に変更する。

#### (2) 第5条の2（目的）に環境共生学部環境共生学科の記載を加える。

#### (3) 第27条の2（教育職員免許状）に環境共生学部環境共生学科の記載を加える。

#### (4) 附則に施行日及び完成年度までの移行措置の記載を加える。

#### (5) 別表第1（共通教育科目）の授業科目等を令和7年度の内容に変更する。

#### (6) 別表第2（基礎教育科目及び専門教育科目）の生活環境学部生活環境学科の授業科目等を令和7年度の内容に変更する。

#### (7) 別表第2（基礎教育科目及び専門教育科目）及び履修方法に環境共生学部環境共生学科の記載を加える。

#### (8) 別表第8（第39条関係）に環境共生学部環境共生学科の記載を加える。

### 3. 変更の時期

令和7年4月1日

武庫川女子大学学則 変更部分の新旧対照表

新(改正後(案))

第5条 本学に置く学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	150	3年次25	650
	歴史文化学科	80	—	320
	英語グローバル学科	200	3年次25	850
教育学部	教育学科	240	3年次25	1,010
心理・社会福祉学部	心理学科	150	—	600
	社会福祉学科	70	—	280
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	180	—	720
	スポーツマネジメント学科	100	—	400
生活環境学部	生活環境学科	195	3年次20	820
社会情報学部	社会情報学科	180	—	720
食物栄養科学部	食物栄養学科	200	3年次10	820
	食創造科学科	80	3年次5	330
建築学部	建築学科	45	—	180
	景観建築学科	40	—	160
音楽学部	演奏学科	30	—	120
	応用音楽学科	20	—	80
薬学部	薬学科	105	—	630
	健康生命薬科学科	60	—	240
環境共生学部	環境共生学科	120	—	480
看護学部	看護学科	80	—	320
経営学部	経営学科	200	—	800

(目的)

第5条の2 各学部・学科の目的は次のとおりとする。

2～11(略)

12 環境共生学部環境共生学科は、幅広い視野・教養・科学的知見に支えられた分析思考力・豊かな経験知・多様な他者との共感力を活用して、地球環境・自然環境問題に関わる諸課題を解決する計画を立案し実践できる人材の養成を目的とする。

13 看護学部看護学科は、豊かな人間性に裏づけられた感性を生かし、様々な健康レベルの人々(患者)を生活者としてとらえ、豊かな人間性と高い倫理観、科学的根拠に裏づけられた行動力をもって、心身両面にわたってトータルケアのできる未来志向の看護実践者を育成することを目的とする。

14 経営学部経営学科は、本学院が掲げる立学の精神、教育目標、教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養とグローバル化する社会への理解を有し、地域社会で生きる人々を尊重し、相互に助け合うことができる豊かな人間性を備えるとともに、経営全般に関する専門的知識と実践力を有し、どのような時代にあっても、世界のどこにいても、何歳であっても、たとえ逆境にいたとしても、自らの暮らしをその環境にあわせて構築し、そのために必要となる知識や技能を獲得し、協力してくれる人との良好な関係を築ける能力と意欲を持ち続け、国内外のビジネス社会で活躍できる人材を養成することで、“しなやかな女性キャリア”の実現に貢献することを目的とする。

第27条の2 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を、別表第1、第2及び履修方法(別表第1、第2の備考)、並びに別表第4に従い修得しなければならない。

2～3(略)

4 本学において当該所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域を次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科又は領域
文学部			
教育学部			
健康・スポーツ科学部			
生活環境学部			
社会情報学部			
食物栄養科学部			
音楽学部			
薬学部			
環境共生学部	環境共生学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科

旧(現行)

第5条 本学に置く学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	150	3年次25	650
	歴史文化学科	80	—	320
	英語グローバル学科	200	3年次25	850
教育学部	教育学科	240	3年次40	1,040
心理・社会福祉学部	心理学科	150	—	600
	社会福祉学科	70	—	280
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	180	3年次20	760
	スポーツマネジメント学科	100	—	400
生活環境学部	生活環境学科	165	3年次20	700
社会情報学部	社会情報学科	180	—	720
食物栄養科学部	食物栄養学科	200	3年次10	820
	食創造科学科	80	3年次5	330
建築学部	建築学科	45	—	180
	景観建築学科	40	—	160
音楽学部	演奏学科	30	—	120
	応用音楽学科	20	—	80
薬学部	薬学科	105	—	630
	健康生命薬科学科	60	—	240
(新設)				
看護学部	看護学科	80	—	320
経営学部	経営学科	200	—	800

(目的)

第5条の2 各学部・学科の目的は次のとおりとする。

2～11(略)

(新設)

12 看護学部看護学科は、豊かな人間性に裏づけられた感性を生かし、様々な健康レベルの人々(患者)を生活者としてとらえ、豊かな人間性と高い倫理観、科学的根拠に裏づけられた行動力をもって、心身両面にわたってトータルケアのできる未来志向の看護実践者を育成することを目的とする。

13 経営学部経営学科は、本学院が掲げる立学の精神、教育目標、教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養とグローバル化する社会への理解を有し、地域社会で生きる人々を尊重し、相互に助け合うことができる豊かな人間性を備えるとともに、経営全般に関する専門的知識と実践力を有し、どのような時代にあっても、世界のどこにいても、何歳であっても、たとえ逆境にいたとしても、自らの暮らしをその環境にあわせて構築し、そのために必要となる知識や技能を獲得し、協力してくれる人との良好な関係を築ける能力と意欲を持ち続け、国内外のビジネス社会で活躍できる人材を養成することで、“しなやかな女性キャリア”の実現に貢献することを目的とする。

第27条の2 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を、別表第1、第2及び履修方法(別表第1、第2の備考)、並びに別表第4に従い修得しなければならない。

2～3(略)

4 本学において当該所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域を次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科又は領域
文学部			
教育学部			
健康・スポーツ科学部			
生活環境学部			
社会情報学部			
食物栄養科学部			
音楽学部			
薬学部			
(新設)			

新(改正後(案))		旧(現行)																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条に規定する教育学部教育学科の収容定員は、令和7年度は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部・学科</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>教育学部 教育学科</td> <td>1,025</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 第5条に規定する健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の収容定員は、令和7年度は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部・学科</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科</td> <td>740</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 第5条に規定する生活環境学部生活環境学科の収容定員は令和7年度から令和9年度までの間、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部・学科</td> <td>収容定員</td> <td>収容定員</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>生活環境学部 生活環境学科</td> <td>730</td> <td>760</td> <td>790</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 第5条に規定する環境共生学部環境共生学科の収容定員は令和7年度から令和9年度までの間、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学部・学科</td> <td>収容定員</td> <td>収容定員</td> <td>収容定員</td> </tr> <tr> <td>環境共生学部 環境共生学科</td> <td>120</td> <td>240</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 第26条第4項の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学生の基本教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数(別表第2)については、なお、従前のとおりとする。</p> <p>7 第27条の2第4項の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。</p> <p>8 第35条の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のとおりとする。</p> <p>別表第1 共通教育科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目</th> <th colspan="2">単位数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>必修</th> <th>選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>基礎教養科目群 人文科学科目</b></td> </tr> <tr> <td>神話・伝説の世界から</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平安朝文学の世界</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日常生活からの哲学入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現代フランスの音楽事情</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミュージカル歌唱法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>音楽の科学</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フランスの音楽と芸術文化</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパの名歌歌唱法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己発見アート</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未来造形</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本舞踊に学ぶ着付けと作法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歌舞伎鑑賞入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化Ⅰ</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化Ⅱ</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遊びの人類学</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SNSから日本語を見る</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>英語圏の文学・文化</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	令和7年度	学部・学科	収容定員	教育学部 教育学科	1,025	年度	令和7年度	学部・学科	収容定員	健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	740	年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	学部・学科	収容定員	収容定員	収容定員	生活環境学部 生活環境学科	730	760	790	年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	学部・学科	収容定員	収容定員	収容定員	環境共生学部 環境共生学科	120	240	360	授業科目	単位数		備考	必修	選択	<b>基礎教養科目群 人文科学科目</b>				神話・伝説の世界から		2		平安朝文学の世界		2		(削除)				日常生活からの哲学入門		2		現代フランスの音楽事情		2		ミュージカル歌唱法		1		音楽の科学		2		フランスの音楽と芸術文化		2		ヨーロッパの名歌歌唱法		1		自己発見アート		1		未来造形		1		日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1		歌舞伎鑑賞入門		2		日本の文化Ⅰ		2		日本の文化Ⅱ		2		(削除)				(削除)				遊びの人類学		2		SNSから日本語を見る		2		英語圏の文学・文化		2		<p>(略)</p> <p>(新設)</p> <p>別表第1 共通教育科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目</th> <th colspan="2">単位数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>必修</th> <th>選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>基礎教養科目群 人文科学科目</b></td> </tr> <tr> <td>神話・伝説の世界から</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平安朝文学の世界</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>芭蕉をめぐる人々</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨月物語に込められた情念</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>芭蕉と旅</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「心中天網島」の女房「おさん」</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>英語圏の文学・文化</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日常生活からの哲学入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現代フランスの音楽事情</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミュージカル歌唱法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>音楽の科学</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フランスの音楽と芸術文化</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパの名歌歌唱法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己発見アート</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未来造形</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本舞踊に学ぶ着付けと作法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歌舞伎鑑賞入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化Ⅰ</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化Ⅱ</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築文化論</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築と歴史</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遊びの人類学</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SNSから日本語を見る</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(新設)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		授業科目	単位数		備考	必修	選択	<b>基礎教養科目群 人文科学科目</b>				神話・伝説の世界から		2		平安朝文学の世界		2		芭蕉をめぐる人々		2		雨月物語に込められた情念		2		芭蕉と旅		2		「心中天網島」の女房「おさん」		2		英語圏の文学・文化		2		日常生活からの哲学入門		2		現代フランスの音楽事情		2		ミュージカル歌唱法		1		音楽の科学		2		フランスの音楽と芸術文化		2		ヨーロッパの名歌歌唱法		1		自己発見アート		1		未来造形		1		日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1		歌舞伎鑑賞入門		2		日本の文化Ⅰ		2		日本の文化Ⅱ		2		建築文化論		2		建築と歴史		2		遊びの人類学		2		SNSから日本語を見る		2		(新設)															
年度	令和7年度																																																																																																																																																																																																																																																						
学部・学科	収容定員																																																																																																																																																																																																																																																						
教育学部 教育学科	1,025																																																																																																																																																																																																																																																						
年度	令和7年度																																																																																																																																																																																																																																																						
学部・学科	収容定員																																																																																																																																																																																																																																																						
健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	740																																																																																																																																																																																																																																																						
年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																																																																																																																																				
学部・学科	収容定員	収容定員	収容定員																																																																																																																																																																																																																																																				
生活環境学部 生活環境学科	730	760	790																																																																																																																																																																																																																																																				
年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																																																																																																																																				
学部・学科	収容定員	収容定員	収容定員																																																																																																																																																																																																																																																				
環境共生学部 環境共生学科	120	240	360																																																																																																																																																																																																																																																				
授業科目	単位数		備考																																																																																																																																																																																																																																																				
	必修	選択																																																																																																																																																																																																																																																					
<b>基礎教養科目群 人文科学科目</b>																																																																																																																																																																																																																																																							
神話・伝説の世界から		2																																																																																																																																																																																																																																																					
平安朝文学の世界		2																																																																																																																																																																																																																																																					
(削除)																																																																																																																																																																																																																																																							
(削除)																																																																																																																																																																																																																																																							
(削除)																																																																																																																																																																																																																																																							
(削除)																																																																																																																																																																																																																																																							
日常生活からの哲学入門		2																																																																																																																																																																																																																																																					
現代フランスの音楽事情		2																																																																																																																																																																																																																																																					
ミュージカル歌唱法		1																																																																																																																																																																																																																																																					
音楽の科学		2																																																																																																																																																																																																																																																					
フランスの音楽と芸術文化		2																																																																																																																																																																																																																																																					
ヨーロッパの名歌歌唱法		1																																																																																																																																																																																																																																																					
自己発見アート		1																																																																																																																																																																																																																																																					
未来造形		1																																																																																																																																																																																																																																																					
日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1																																																																																																																																																																																																																																																					
歌舞伎鑑賞入門		2																																																																																																																																																																																																																																																					
日本の文化Ⅰ		2																																																																																																																																																																																																																																																					
日本の文化Ⅱ		2																																																																																																																																																																																																																																																					
(削除)																																																																																																																																																																																																																																																							
(削除)																																																																																																																																																																																																																																																							
遊びの人類学		2																																																																																																																																																																																																																																																					
SNSから日本語を見る		2																																																																																																																																																																																																																																																					
英語圏の文学・文化		2																																																																																																																																																																																																																																																					
授業科目	単位数		備考																																																																																																																																																																																																																																																				
	必修	選択																																																																																																																																																																																																																																																					
<b>基礎教養科目群 人文科学科目</b>																																																																																																																																																																																																																																																							
神話・伝説の世界から		2																																																																																																																																																																																																																																																					
平安朝文学の世界		2																																																																																																																																																																																																																																																					
芭蕉をめぐる人々		2																																																																																																																																																																																																																																																					
雨月物語に込められた情念		2																																																																																																																																																																																																																																																					
芭蕉と旅		2																																																																																																																																																																																																																																																					
「心中天網島」の女房「おさん」		2																																																																																																																																																																																																																																																					
英語圏の文学・文化		2																																																																																																																																																																																																																																																					
日常生活からの哲学入門		2																																																																																																																																																																																																																																																					
現代フランスの音楽事情		2																																																																																																																																																																																																																																																					
ミュージカル歌唱法		1																																																																																																																																																																																																																																																					
音楽の科学		2																																																																																																																																																																																																																																																					
フランスの音楽と芸術文化		2																																																																																																																																																																																																																																																					
ヨーロッパの名歌歌唱法		1																																																																																																																																																																																																																																																					
自己発見アート		1																																																																																																																																																																																																																																																					
未来造形		1																																																																																																																																																																																																																																																					
日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1																																																																																																																																																																																																																																																					
歌舞伎鑑賞入門		2																																																																																																																																																																																																																																																					
日本の文化Ⅰ		2																																																																																																																																																																																																																																																					
日本の文化Ⅱ		2																																																																																																																																																																																																																																																					
建築文化論		2																																																																																																																																																																																																																																																					
建築と歴史		2																																																																																																																																																																																																																																																					
遊びの人類学		2																																																																																																																																																																																																																																																					
SNSから日本語を見る		2																																																																																																																																																																																																																																																					
(新設)																																																																																																																																																																																																																																																							

新(改正後(案))				旧(現行)			
(削除)				英語を学問する—理論と実践		2	
日本語の世界		2		日本語の世界		2	
(削除)				生活の中の心理学		2	
(削除)				合唱表現		1	
<b>基礎教養科目群 社会科学科目</b>				<b>基礎教養科目群 社会科学科目</b>			
(削除)				情報化と教育		2	
現代の教育・保育事情		2		現代の教育・保育事情		2	
カウンセリングの実際		2		カウンセリングの実際		2	
実践カウンセリング		2		実践カウンセリング		2	
生涯福祉論		2		生涯福祉論		2	
社会福祉とボランティア		2		社会福祉とボランティア		2	
福祉レクリエーションの実際		2		福祉レクリエーションの実際		2	
(削除)				聴覚障害者の理解と手話言語		2	
子育てと家族関係		2		子育てと家族関係		2	
子育てと母性の気づき		2		子育てと母性の気づき		2	
現代社会と憲法		2		現代社会と憲法		2	
教養としての法律		2		教養としての法律		2	
暮らしと法律		2		暮らしと法律		2	
女性と子どものヘルスケア		2		女性と子どものヘルスケア		2	
(削除)				まちづくりと地方自治の役割		2	
建築と社会		2		建築と社会		2	
消費者生活論		2		消費者生活論		2	
英語で学ぶやさしい経済学		2		英語で学ぶやさしい経済学		2	
英語で学ぶお金の知識		2		英語で学ぶお金の知識		2	
(削除)				我々の暮らしと日本の産業		2	
メディア技術と文字デザイン		2		メディア技術と文字デザイン		2	
<b>基礎教養科目群 自然科学科目</b>				<b>基礎教養科目群 自然科学科目</b>			
(削除)				エコロジーと私たちの暮らし		2	
(削除)				数的能力の発達過程		2	
(削除)				数や図形の科学		2	
生命科学入門		2		生命科学入門		2	
(削除)				環境問題の歴史		2	
(削除)				科学技術の歩み		2	
(削除)				生命科学の基礎		2	
生活の中の物理学		2		生活の中の物理学		2	
最先端物理学が描く宇宙		2		最先端物理学が描く宇宙		2	
色彩情報		2		色彩情報		2	
科学から考える衣服と生活		2		科学から考える衣服と生活		2	
(削除)				健康を支える仕組み		2	
(削除)				生活習慣と脳と心と身体の科学		2	
薬とからだ		2		薬とからだ		2	
健康生活とライフステージ		2		健康生活とライフステージ		2	
薬の歴史と未来		2		薬の歴史と未来		2	
(削除)				はたらく細胞とくすり		2	
(削除)				身近にある科学		2	
(削除)				発達障害の理解とリエゾン支援		2	
<b>基礎教養科目群 国際理解科目</b>				<b>基礎教養科目群 国際理解科目</b>			
音楽から見る人と世界		2		音楽から見る人と世界		2	
韓国文化の理解		2		韓国文化の理解		2	
International Perspectives I		2		International Perspectives I		2	
International Perspectives II		2		International Perspectives II		2	
中国文化論		2		中国文化論		2	
(削除)				国際協力入門		2	
世界の中の日本人		2		世界の中の日本人		2	
<b>基礎教養科目群 現代トピック科目</b>				<b>基礎教養科目群 現代トピック科目</b>			
Current Affairs in Japan I		2		Current Affairs in Japan I		2	
Current Affairs in Japan II		2		Current Affairs in Japan II		2	
心理学トピックス		2		心理学トピックス		2	
現代社会と保健医療		2		現代社会と保健医療		2	
社会福祉の学び		2		社会福祉の学び		2	
(削除)				テレビ映像と現代社会		2	
女性のためのマーケティング		2		女性のためのマーケティング		2	

新(改正後(案))				旧(現行)			
スポーツツーリズムと地域創生		2		スポーツツーリズムと地域創生		2	
<b>ジェンダー科目群</b>				<b>ジェンダー科目群</b>			
セクシュアリティ入門Ⅰ		2		セクシュアリティ入門Ⅰ		2	
セクシュアリティ入門Ⅱ		2		セクシュアリティ入門Ⅱ		2	
女性と教育		2		女性と教育		2	
ジェンダーとアイデンティティー		2		ジェンダーとアイデンティティー		2	
ジェンダーと社会		2		ジェンダーと社会		2	
女性の身体とセクシュアリティ		2		女性の身体とセクシュアリティ		2	
メディアに見るジェンダー		2		メディアに見るジェンダー		2	
(削除)				女性が輝く社会づくり		2	
<b>キャリアデザイン科目群</b>				<b>キャリアデザイン科目群</b>			
(削除)				教員から見た社会人基礎力		2	
女性のためのライフプランニング		2		女性のためのライフプランニング		2	
自己アピールトレーニング		2		自己アピールトレーニング		2	
(削除)				文章表現の基礎		2	
(削除)				プレゼンテーションの基礎		2	
キャリアビジョンと人物評価		2		キャリアビジョンと人物評価		2	
(削除)				公務員の魅力		2	
(削除)				ベンチャービジネス概論		2	
ビジネスプラン構築概論		2		ビジネスプラン構築概論		2	
(削除)				SOAR 人生100年をきり拓く力		2	
<b>言語・情報科目群 言語リテラシー科目</b>				<b>言語・情報科目群 言語リテラシー科目</b>			
English for Studying Abroad		1		English for Studying Abroad		1	
Reading & Critical Thinking		1		Reading & Critical Thinking		1	
English for Careers		1		English for Careers		1	
Reading & Discussion		1		Reading & Discussion		1	
Trends in Society		1		Trends in Society		1	
Career Workshop		1		Career Workshop		1	
Speaking & Listening Ⅰ		1		Speaking & Listening Ⅰ		1	
Speaking & Listening Ⅱ		1		Speaking & Listening Ⅱ		1	
Basics for Presentation Ⅰ		1		Basics for Presentation Ⅰ		1	
Basics for Presentation Ⅱ		1		Basics for Presentation Ⅱ		1	
Speaking & Listening Ⅲ		1		Speaking & Listening Ⅲ		1	
Successful English Discussion		1		Successful English Discussion		1	
英語コミュニケーションⅠ		2		英語コミュニケーションⅠ		2	
英語コミュニケーションⅡ		2		英語コミュニケーションⅡ		2	
英語リーディングⅠ		1		英語リーディングⅠ		1	
英語リーディングⅡ		1		英語リーディングⅡ		1	
英語ライティングⅠ		1		英語ライティングⅠ		1	
英語ライティングⅡ		1		英語ライティングⅡ		1	
TOEIC演習Ⅰ		1		TOEIC演習Ⅰ		1	
TOEIC演習Ⅱ		1		TOEIC演習Ⅱ		1	
TOEIC演習Ⅲ		1		TOEIC演習Ⅲ		1	
Writing Ⅰ		1		Writing Ⅰ		1	
Writing Ⅱ		1		Writing Ⅱ		1	
Presentation		1		Presentation		1	
(削除)				Reading & Structure Ⅰ		1	
(削除)				Reading & Structure Ⅱ		1	
Current Events		1		Current Events		1	
Leadership Development		1		Leadership Development		1	
Global Issues Ⅰ		1		Global Issues Ⅰ		1	
Global Issues Ⅱ		1		Global Issues Ⅱ		1	
(削除)				英語リーディングⅢ		1	
留学準備演習		1		留学準備演習		1	
ドイツ語Ⅰ		2		ドイツ語Ⅰ		2	
ドイツ語Ⅱ		2		ドイツ語Ⅱ		2	
フランス語Ⅰ		2		フランス語Ⅰ		2	
フランス語Ⅱ		2		フランス語Ⅱ		2	
フランス語ⅠA		1		フランス語ⅠA		1	
フランス語ⅠB		1		フランス語ⅠB		1	
中国語Ⅰ		2		中国語Ⅰ		2	
中国語Ⅱ		2		中国語Ⅱ		2	

新(改正後(案))				旧(現行)			
イタリア語ⅠA		1		イタリア語ⅠA		1	
イタリア語ⅠB		1		イタリア語ⅠB		1	
スペイン語Ⅰ		2		スペイン語Ⅰ		2	
スペイン語Ⅱ		2		スペイン語Ⅱ		2	
ハングルⅠ		2		ハングルⅠ		2	
ハングル検定演習		1		ハングル検定演習		1	
ハングルⅡ		2		ハングルⅡ		2	
特別英語演習Ⅰ		4		特別英語演習Ⅰ		4	
特別英語演習Ⅱ		4		特別英語演習Ⅱ		4	
(削除)				特別英語演習Ⅷ		2	
特別中国語演習Ⅰ		2		特別中国語演習Ⅰ		2	
特別中国語演習Ⅱ		2		特別中国語演習Ⅱ		2	
特別ハングル演習Ⅰ		4		特別ハングル演習Ⅰ		4	
特別ハングル演習Ⅱ		4		特別ハングル演習Ⅱ		4	
(削除)				海外演習Ⅰ(タイ)		1	
(削除)				海外演習Ⅱ(タイ)		2	
(削除)				海外演習Ⅰ(豪州)		1	
(削除)				海外演習Ⅱ(豪州)		2	
(削除)				海外演習Ⅰ(台湾)		1	
(削除)				海外演習Ⅱ(台湾)		2	
(削除)				海外演習Ⅰ(韓国)		1	
(削除)				海外演習Ⅱ(韓国)		2	
海外演習Ⅰ		1		(新設)			
海外演習Ⅱ		2		(新設)			
(削除)				日本語・上級Ⅰ		2	
(削除)				日本語・上級Ⅱ		2	
(削除)				日本語・上級Ⅲ		2	
(削除)				日本語・上級Ⅳ		2	
(削除)				日本語中級A		3	
(削除)				日本語中級B		3	
(削除)				日本語中級C		3	
(削除)				日本語中級D		3	
<b>言語・情報科目群 情報リテラシー科目</b>				<b>言語・情報科目群 情報リテラシー科目</b>			
(削除)				Accessデータベース基礎		2	
(削除)				情報社会を生きる技術		2	
Webデザイン基礎		2		Webデザイン基礎		2	
Webデザイン応用		2		Webデザイン応用		2	
(削除)				Scratchによるプログラミング		2	
グラフィックデザイン基礎		2		グラフィックデザイン基礎		2	
フォトタッチ基礎		2		フォトタッチ基礎		2	
データサイエンスの基礎とExcel		2		データサイエンスの基礎とExcel		2	
データサイエンスの応用とExcel		2		データサイエンスの応用とExcel		2	
データリテラシー・AIの基礎	2			データリテラシー・AIの基礎	2		
データサイエンスのためのPython		2		データサイエンスのためのPython		2	
実用的ITリテラシー		2		実用的ITリテラシー		2	
(削除)				現代社会と情報		2	
<b>健康・スポーツ科目群 健康・スポーツ科学科目</b>				<b>健康・スポーツ科目群 健康・スポーツ科学科目</b>			
生涯スポーツ論		2		生涯スポーツ論		2	
スポーツと現代社会		2		スポーツと現代社会		2	
知っておきたい応急処置		2		知っておきたい応急処置		2	
(削除)				障がい者とパラスポーツ		2	
<b>健康・スポーツ科目群 スポーツ実技科目</b>				<b>健康・スポーツ科目群 スポーツ実技科目</b>			
スポーツ実技(テニス)		1		スポーツ実技(テニス)		1	
スポーツ実技(ゴルフ)		1		スポーツ実技(ゴルフ)		1	
スポーツ実技(バレーボール)		1		スポーツ実技(バレーボール)		1	
スポーツ実技(バドミントン)		1		スポーツ実技(バドミントン)		1	
スポーツ実技(エアロビクス)		1		スポーツ実技(エアロビクス)		1	
スポーツ実技(水泳)		1		スポーツ実技(水泳)		1	
スポーツ実技(軽スポーツ)		1		スポーツ実技(軽スポーツ)		1	
スポーツ実技(ヨガ)		1		スポーツ実技(ヨガ)		1	
からだと気づきと姿勢法		1		からだと気づきと姿勢法		1	
スポーツ実技(スリムエアロ)		1		スポーツ実技(スリムエアロ)		1	

新(改正後(案))				旧(現行)			
(削除)				スポーツ実技(ダンスエアロ)			1
スポーツ実技(バンジーエクササイズ)		1		スポーツ実技(バンジーエクササイズ)			1
スポーツ実技(エアリアルワーク)		1		スポーツ実技(エアリアルワーク)			1
スポーツ実技(スタイルジャズ)		1		スポーツ実技(スタイルジャズ)			1
スポーツ実技(フットサル)		1		スポーツ実技(フットサル)			1
スポーツ実技(ジャズダンス)		1		スポーツ実技(ジャズダンス)			1
マッサージ実習		1		マッサージ実習			1
<b>(削除)</b>				<b>大学・初年次ゼミ 学び発見ゼミ</b>			
(削除)				大学 学び発見ゼミ			2
<b>(削除)</b>				<b>単位互換協定科目</b>			
(削除)				ソマティック実践&ダンス			2
(削除)				のぞいてみたい薬学の世界			2
(削除)				西宮フィールドトリップ			2
(削除)				知っておきたい薬学のおはなし			2

別表第2

基礎教育科目及び専門教育科目  
(略)

生活環境学部 生活環境学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>			
初期演習 I	1		
初期演習 II (生活環境)	1		
情報リテラシー		2	
Oral Communication	1		
生活環境英語		2	
(削除)			
<b>専門教育科目</b>			
生活環境論		2	
(削除)			
生活環境基礎演習		2	
生活文化論		2	
生活科学		2	
ファッションビジネス論		2	
アパレル構成学		2	
住居学		2	
建築概論		2	
(削除)			
(削除)			
服飾デザイン論		2	
アパレル構成学実習 I		2	
インテリアデザイン論		2	
(削除)			
環境共生概論		2	
(削除)			
(削除)			
(削除)			
色彩学		2	
統計学 I		2	
統計学 II		2	
阪神間文化論		2	
生活美学		2	
生活文化演習		2	
生活文化演習 I		2	
生活文化演習 II		2	
生活文化演習 III		2	
生活文化演習 IV		2	

別表第2

基礎教育科目及び専門教育科目  
(略)

生活環境学部 生活環境学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>			
初期演習 I	1		
初期演習 II (生活環境)	1		
情報リテラシー	2		
Oral Communication		2	
生活環境英語		2	
TOEIC認定英語 I		2	
TOEIC認定英語 II		2	
TOEIC認定英語 III		2	
TOEIC認定英語 IV		2	
<b>専門教育科目</b>			
生活環境論		2	
基礎造形実習		2	
(新設)			
(新設)			
生活科学		2	
ファッションビジネス論		2	
アパレル構成学		2	
住居学		2	
建築概論		2	
基礎・設計製図演習		2	
生活科学演習		2	
服飾デザイン論		2	
アパレル構成学実習 I		2	
インテリアデザイン論		2	
グラフィックデザイン基礎実習		2	
環境共生概論		2	
環境デザイン演習		2	
建築設計基礎実習		2	
まちづくり基礎演習		2	
色彩学		2	
統計学 I		2	
統計学 II		2	
阪神間文化論		2	
生活美学		2	
(新設)			
生活文化演習 I		2	
生活文化演習 II		2	
生活文化演習 III		2	
(新設)			

新(改正後(案))				旧(現行)			
界面科学		2		界面科学		2	
界面科学実験		2		界面科学実験		2	
繊維学		2		繊維学		2	
繊維科学実験		2		繊維科学実験		2	
繊維製品材料学		2		繊維製品材料学		2	
繊維製品材料学実験		2		繊維製品材料学実験		2	
工芸染色実習		2		工芸染色実習		2	
(削除)				被服学総合演習Ⅰ		2	
(削除)				被服学総合演習Ⅱ		2	
(削除)				衣環境学		2	
(削除)				衣環境実験		2	
染色加工学		2		染色加工学		2	
染色加工学実験		2		染色加工学実験		2	
(削除)				衣料分析法		2	
(削除)				衣料分析実験		2	
消費科学		2		消費科学		2	
消費生活論		2		消費生活論		2	
アパレル設計生産論		2		アパレル設計生産論		2	
(削除)				アパレル生産実習A		2	
(削除)				アパレル生産実習B		2	
<u>アパレル生産実習</u>		2		(新設)			
<u>アパレル生理衛生論</u>		2		(新設)			
<u>アパレル生理衛生実験</u>		2		(新設)			
アパレル構成学実習Ⅱ		2		アパレル構成学実習Ⅱ		1	
アパレル企画論		2		アパレル企画論		2	
<u>アパレル未来学</u>		2		(新設)			
スタイル画実習		1		スタイル画実習		1	
(削除)				テキスタイルデザイン実習Ⅰ		2	
(削除)				テキスタイルデザイン実習Ⅱ		2	
テキスタイルデザイン実習		2		(新設)			
ラボクリエーション実習		2		(新設)			
ファッションリサーチ実習		2		(新設)			
材料分析法・同実験		2		(新設)			
被服心理学		2		(新設)			
ドラフティングCAD演習Ⅰ		2		ドラフティングCAD実習Ⅰ		1	
ドラフティングCAD演習Ⅱ		2		ドラフティングCAD実習Ⅱ		1	
(削除)				ドレーピング実習		2	
<u>ドレーピング実習Ⅰ</u>		1		(新設)			
<u>ドレーピング実習Ⅱ</u>		2		(新設)			
<u>ラボインターン実習</u>		2		(新設)			
<u>ファッションプレゼンテーション実習</u>		2		(新設)			
<u>TES対策演習</u>		2		(新設)			
ファッションコンピュータ実習		2		ファッションコンピュータ実習		2	
テキスタイルコンピュータ実習		2		(新設)			
<u>アパレルDX演習</u>		2		(新設)			
VMD演習		2		VMD演習		2	
服飾史		2		服飾史		2	
現代ファッション論		2		現代ファッション論		2	
(削除)				ファッションデザイン演習		2	
<u>ファッションデザイン演習Ⅰ</u>		2		(新設)			
<u>ファッションデザイン演習Ⅱ</u>		2		(新設)			
生活デザイン論		2		生活デザイン論		2	
生活デザイン実習Ⅰ		2		生活デザイン実習Ⅰ		2	
生活デザイン実習Ⅱ		2		生活デザイン実習Ⅱ		2	
生活デザイン実習Ⅲ		2		生活デザイン実習Ⅲ		2	
(削除)				生活デザイン実習Ⅳ		2	
<u>グラフィックデザイン基礎実習</u>		2		(新設)			
デザイン技法Ⅰ		2		デザイン技法Ⅰ		2	
デザイン技法Ⅱ		2		デザイン技法Ⅱ		2	
<u>インテリア・空間基礎設計</u>		2		(新設)			
<u>インテリア・空間デザイン実習</u>		2		(新設)			
デザインリサーチ実習		2		デザインリサーチ実習		2	

新(改正後(案))			旧(現行)		
視覚文化論	2		視覚文化論	2	
社会調査法	2		(新設)		
比較地域文化論	2		(新設)		
インテリアテキスタイル概論	2		インテリアテキスタイル概論	2	
空間デザイン原論	2		(新設)		
日本デザイン史	2		(新設)		
生活調査演習	2		(新設)		
デザインプロジェクト実習	2		(新設)		
人間工学	2		人間工学	2	
人間工学実習	2		人間工学実験	2	
建築設計	2		(新設)		
環境計画 I	2		環境計画 I	2	
環境計画実習 I	2		環境計画実習 I	2	
環境計画 II	2		環境計画 II	2	
環境計画実習 II	2		環境計画実習 II	2	
(削除)			環境計画 III	2	
環境リスク学	2		環境リスク学	2	
(削除)			福祉生活環境概論	2	
福祉住環境概論	2		福祉住環境実習	2	
建築設備	2		建築設備	2	
建築材料学	2		建築材料学	2	
建築材料学実験	2		建築材料学実験	2	
建築施工	2		建築施工	2	
建築計画学 I	2		建築計画学 I	2	
建築計画学 II	2		建築計画学 II	2	
住宅設計	2		住宅設計	2	
建築CAD実習	2		建築CAD実習	2	
建築・インテリア設計 I	2		建築・インテリア設計 I	4	
建築・インテリア設計 II	3		建築・インテリア設計 II	3	
建築・インテリア設計 III	2		建築・インテリア設計 III	3	
ランドスケープデザイン演習	2		(新設)		
世界建築史	2		世界建築史	2	
日本建築史	2		日本建築史	2	
(削除)			近大建築論	2	
(削除)			現代建築論	2	
建築一般構造 I	2		建築一般構造 I	2	
建築一般構造 II	2		建築一般構造 II	2	
構造力学 I	2		構造力学 I	2	
構造力学 I 演習	1		構造力学 I 演習	1	
構造力学 II	2		構造力学 II	2	
構造力学 II 演習	1		構造力学 II 演習	1	
建築法規	2		建築法規	2	
(削除)			測量実習	2	
景観論	2		景観論	2	
まちづくり論 I	2		まちづくり論 I	2	
まちづくり論 II	2		まちづくり論 II	2	
フィールドデザイン演習 I	2		フィールドデザイン演習 I	2	
(削除)			フィールドデザイン演習 II	2	
(削除)			フィールドデザイン演習 III	3	
フィールドデザイン特別演習	2		フィールドデザイン特別演習	2	
フィールド・サーヴェイ実習	1		フィールド・サーヴェイ実習	1	
(削除)			プレゼンテーション演習	2	
(削除)			造園学・同演習	2	
家庭生活論	2		家庭生活論	2	
保育学	2		保育学	2	
調理学実習	2		調理学実習	2	
(削除)			家庭工学	2	
食物学	2		食物学	2	
テキスタイルアドバイザー実習	1		テキスタイルアドバイザー実習	1	
海外語学研修	3		海外語学研修	3	
海外の生活環境研修 I	1		海外の生活環境研修 I	1	
海外の生活環境研修 II	2		海外の生活環境研修 II	2	

新(改正後(案))				旧(現行)			
卒業基礎演習	2			卒業基礎演習	2		
卒業研究	6			卒業研究	6		
(略)				(略)			
環境共生学部環境共生学科				(新設)			
授業科目	単位数		備考				
	必修	選択					
<b>専門教育科目</b>							
初期演習Ⅰ	1						
基礎化学	2						
基礎生物学	2						
基礎環境工学	2						
情報リテラシー	2						
初期演習Ⅱ(環境共生学)	1						
生態学		2					
地球科学		2					
細胞生物学		2					
環境英語Ⅰ	1						
分析化学		2					
環境微生物学		2					
高分子化学		2					
環境英語Ⅱ	1						
植物生理学		2					
生命と地球環境		1					
環境英語Ⅲ	1						
環境英語Ⅳ	1						
環境英語演習(留学プログラム)		2					
環境研究英語Ⅰ	1						
環境研究英語Ⅱ	1						
環境共生学入門(学習設計)	1						
SDGs論	2						
環境問題概論	2						
フィールド・環境施設実習	2						
エコツーリズム実習		1					
基礎実験	1.5						
データ分析・統計学	2						
ラボローテーション実習Ⅰa		1.5					
ラボローテーション実習Ⅰb		1.5					
ラボローテーション実習Ⅱa		1.5					
ラボローテーション実習Ⅱb		1.5					
物理学実験		1					
地学実験		1					
環境技術実験	1.5						
環境経済学		2					
環境教育論		2					
環境政策論		2					
環境教育実践		1					
世界遺産学		1					
NPO・NGO論		2					
エコツーリズム論		1					
環境イメージング技術		2					
環境放射線工学		2					
防災技術Ⅰ		2					
環境アセスメント論		2					
環境情報工学		2					
防災技術Ⅱ		2					
野生生物管理工学		2					
水質管理工学		2					
環境モニタリング		2					
毒性学		2					
合成化学		2					

新(改正後(案))			旧(現行)		
環境生物有機化学		2			
環境エネルギー概論		2			
バイオマスエネルギー学		2			
物理学と環境工学		2			
資源管理学		2			
機器分析学		2			
環境エネルギー技術		2			
グリーンケミストリー		2			
資源循環工学		2			
高機能材料工学		2			
生命情報科学		2			
バイオテクノロジーⅠ(分子生物学)		2			
環境レメディエーション工学		2			
環境・バイオ産業論		2			
バイオテクノロジーⅡ(遺伝子工学)		2			
バイオテクノロジーⅢ(細胞工学)		2			
生態工学		2			
バイオマス利活用工学		2			
社会連携プロジェクトⅠ	3				
社会連携プロジェクトⅡ	3				
プロジェクトコミュニケーションⅠ	3				
プロジェクトコミュニケーションⅡ	3				
卒業研究・活動	6				
履修方法(別表第1、第2の備考) (略)			履修方法(別表第1、第2の備考) (略)		
環境共生学部 環境共生学科			(新設)		
1 共通教育科目の中から6単位以上					
2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎Ⅰ(2単位・必修)					
3 専門教育科目の中から108単位以上					
4 学科指定外国語科目の中から8単位以上					

新(改正後(案))

旧(現行)

別表第8(第39条関係)  
令和7年度の入学生

別表第8(第39条関係)  
(新設)

学部・学科	費目	※1 入学検定料	入学金	学費(年額)				
				授業料	教育充実費	実務実習費	実務実習費	
文学部	日本語日本文学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	229,000	—	—
	歴史文化学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	229,000	—	—
英語グローバル学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—	
	2～4年次	—	—	975,000	229,000	—	—	
教育学部	教育学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	269,000	—	—
社会福祉学部	心理学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	259,000	—	—
	社会福祉学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	259,000	—	—
スポーツ健康・福祉学部	健康・スポーツ科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	299,000	※2 26,000	—
	スポーツマネジメント学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	299,000	※2 26,000	—
環境生活学部	生活環境学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	310,000	—	—
社会情報学部	社会情報学科	1年次	35,000	200,000	990,000	180,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,060,000	279,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	55,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	430,000	55,000	—
	食創造科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	53,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	430,000	53,000	—
建築学部	建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	429,000	80,000	—
	景観建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	429,000	80,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,440,000	410,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	—	—	1,440,000	410,000	—	0
薬学部	薬学科	1年次	35,000	200,000	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	—	—	1,532,000	423,000	※3 96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	35,000	200,000	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	—	—	1,170,000	399,000	160,000	—
環境共生学部	環境共生学科	1年次	35,000	200,000	1,000,000	300,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	400,000	40,000	—
言語学部	言語学科	1年次	35,000	200,000	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,367,000	357,000	—	—
経営学部	経営学科	1年次	35,000	200,000	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,000,000	220,000	—	—

# 学則の変更の趣旨等を記載した書類

## — 目次 —

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	…P2
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	…P2
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	…P6
(ア) 教育課程の変更内容	…P6
(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	…P8
(ウ) 教員組織の変更内容	…P9
(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容	…P10

## ア 学則変更（収容定員変更）の内容

環境共生学部環境共生学科の設置及び生活環境学部生活環境学科の入学定員の増加、教育学部教育学科と健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科3年次編入学定員の減少に伴い、令和7（2025）年度から、武庫川女子大学の定員を以下のとおり変更する。

学部・学科		現行			変更後			備考
		入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部	教育学科	240	3年次 40	1,040	240	<b>3年次 25</b>	<b>1,010</b>	3年次編入学定員の変更
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	180	3年次 20	760	180	<b>3年次 0</b>	<b>720</b>	3年次編入学定員廃止
	スポーツマネジメント学科	100	—	400	100	—	400	
生活環境学部	生活環境学科	165	3年次 20	700	<b>195</b>	3年次 20	<b>820</b>	入学定員変更
環境共生学部	環境共生学科	（新設）			<b>120</b>	—	<b>480</b>	学部設置
その他既存学部		1,690	3年次 65	7,100	1,690	3年次 65	7,100	
合計		2,375	3年次 145	10,000	<b>2,525</b>	<b>3年次 110</b>	<b>10,530</b>	

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

昭和24年4月に開学した武庫川女子大学は、時代の要請に応じて教員、薬剤師、管理栄養士、看護師、建築士などの養成に力を入れてきた。令和5年度現在、文学部、教育学部、心理・社会福祉学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、社会情報学部、食物栄養科学部、建築学部、音楽学部、薬学部、看護学部、経営学部の12学部19学科を有し、人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」に基づき、「自ら考え、動く」女性の育成に努めている。

わが国の女子大学は、家政系や文学系の学部が出発点とする大学が多い。本学もその例外ではないが、伝統的な女子大像から脱皮すべく、昭和37年に薬学部を設置するなど、全国の女子大学に先駆けて理系女性人材の育成にも取り組んできた。その後、平成18年度には私立女子大学初の建築学科（令和2年度に建築学部へ改組）、令和5年度には社会情報学部を設置し、工学分野の定員を拡大させてきた。

一方で、教育未来創造会議の第一次提言「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」（令和4年5月10日）<sup>1</sup>で指摘されているように、理工系人材の育成、特に女性の理工系分野への進出は我が国の喫緊の課題となっている。例えば理工系学部への進学割合はOECD平均の27%に対して17%にとどまり、さらに学部段階で理工系を専攻する女性はわずか7%と、男性の28%、OECD平均（15%）に比べて大幅に低い状況にある。

<sup>1</sup> 我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言），P.06

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/220510honbun.pdf>

このような状況の中、女子総合大学として理工系分野の女性人材養成にさらに力を入れるため、「令和5年度大学・高専機能強化支援事業」の支援（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）を受け、工学関係の「環境共生学部」を新たに設置する。同時に工学及び家政の2分野を有する「生活環境学部」の定員増を行う。これら工学関係の学部の新設・定員増を行うと同時に、工学系以外の学部である教育学部（教育学・保育学関係）及び健康・スポーツ科学部（体育関係）の定員を減少させ、この定員変更により総収容定員における工学分野の学位を授与できる学生割合は、令和6年度の17.6%から令和7年度には22.4%へと約5ポイント上昇する。

<工学分野の学位を授与する学部・学科の定員>

令和6年度			令和7年度		
学部・学科	学位の分野	収容定員	学部・学科	学位の分野	収容定員
生活環境学部生活環境学科	工学・家政	700	生活環境学部生活環境学科	工学・家政	820
社会情報学部社会情報学科	工学	720	社会情報学部社会情報学科	工学	720
建築学部建築学科	工学	180	建築学部建築学科	工学	180
建築学部景観建築学科	工学	160	建築学部景観建築学科	工学	160
(新設)			環境共生学部環境共生学科	工学	480
合計(a)		1,760	合計(a)		2,360
大学総収容定員 (b)		10,000	大学総収容定員 (b)		10,530
工学分野学位授与学生割合 (a/b)		17.60%	工学分野学位授与学生割合 (a/b)		22.41%

収容定員を変更（増加）する2つの学部の必要性は次のとおりである。

<環境共生学部環境共生学科>

人類が加速度的に発展を続ける中で、これまでの人類社会活動が原因とみられる地球規模での気候変動等が年々脅威を増しており、海の温暖化と海面の上昇、生物種の消失、自然災害の激甚化、気候難民の発生など、地球環境とそこに暮らす生命に明確な影響を及ぼしつつある。このような環境問題は大きく複雑な要素からなり、解決には長期的かつ多岐にわたる取り組みが必要となる人類の課題である。

平成27年の国連サミットで、持続可能な開発目標（SDGs）が採択され、令和6年現在広く共有されている例にみられるように、環境問題の提起や課題解決に向けての活動は、近年まで国際機関、政府機関、非営利機関が中心となって行われてきた、またそのようなイメージが大きかった。一方で、営利団体である企業等の経営においても、長期的な持続可能性あるいはサステナビリティの観点から事業を行う取り組みが本格化し、国際ルールの急激な変化が起こりつつある。このようにビジネス分野においても環境問題は1人ひとりが自分ごととして理解し行動すべき事項であると共に、自然科学的な見地と社会科学的な見地の両面から高次の判断が必要とされる場面が増加している状況であり、それに答えることができる高度人材の育成には大きな需要が発生している。

また、わが国においては、女性活躍の場を求める中で理工系女子が不足しており、加えてコミュニケーション能力、問題発見、問題解決力を持った人材が強く求められている。その中でも特に喫緊の課題である、デジタル分野やグリーン分野の理工系女子の確保に貢献すべく調査を行ったところ、本学の特徴を活かした環境分野での新たな学部展開の可能性を見出し、令和7年4月に「環境共生学部環境共生学科」を設置するに至った。本学部では、学部低学年から環境分野においてローカルSDGs等を設定、展開しながら地域連携を進め、地域の産業、教育機関、公的環境保全機関、地域の住民とともに、次世代の理工系女性人材を育成し、さらに高学年では環境保全、自然共生システムの構築、環境資源応用を軸とした研究を通して環境分野で専門性を備えた課題解決力で社会貢献できる人材の育成を目指す。

なお、環境共生学部の設置計画については、令和5年度大学・高専機能強化支援事業(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)に選定されており、令和5年7月21日付で独立行政法人大学改革支援・学位授与機構長名での通知を受領している。また、大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会における事前相談に諮った結果、令和5年12月19日付で「届出」による設置が可能との結果を受領し、令和6年4月に設置届出を行うこととしている。

### <生活環境学部生活環境学科>

「生活環境学部生活環境学科」は、昭和24年の大学創設と同時に設置された学芸学部生活科学科を源流とし、昭和33年4月からは家政学部被服学科に、さらに平成6年からは生活環境学部生活環境学科となり、現在に至っている。創設から75年にわたり常に時代の変化に即応した教育課程を編成し、社会が求める有為な人材の養成に努めてきた。その間、日本は人口増加とともに豊かな暮らしを実現してきたが、いま、急速な少子高齢化が進み、社会のデジタル化・SDGs・地球環境への配慮など様々な社会課題に直面している。

このような社会課題への対応を視野に入れ、「未来の暮らしを創造する」学科へと学びの方向を一層明確にし、充実させることになった。具体的には、「衣環境・アパレル領域」「生活文化・デザイン領域」「住環境・まちづくり領域」の3領域について文理の枠を越えて実践的な学びの場を設け、これまで以上に豊かな人間性・専門性・想像力を備えた人材を社会に送り出す。

本学生活環境学部生活環境学科の再編において3つの領域を軸として有為な人材を育成するにあたり、社会における課題および将来像を以下の資料を例にして伺い知ることができる。

**衣環境・アパレル分野**では、令和4年5月経済産業省製造産業局生活製品課「繊維技術ロードマップ」<sup>2</sup>において、大学・研究機関の活用の項目で本学が衣料管理士養成大学の筆頭にあげられ、今後も社会の期待に応じて人材を輩出していく必要性が示されている。また、令和2年9月日本学術会議

<sup>2</sup> 経済産業省製造産業局生活製品課：繊維技術ロードマップ，2022，P.16

[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/textile\\_technology/pdf/20220518\\_1.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_technology/pdf/20220518_1.pdf)

健康・生活科学委員会家政学分会「被服学分野の資格教育の現状と展望」<sup>3</sup>では、本学が昭和46年に和洋女子大学とともに日本で最初に発足させた衣料管理士資格制度を社会の変化にあわせて発展させる道筋について、衣料管理士養成校の社会に果たすべき責務と期待が示されている。さらに、令和4年3月これからのファッションを考える研究会「ファッションの未来に関する報告書」<sup>4</sup>では、これまでの社会とは異なる現在から未来のファッションの世界が描かれている。これらは、今回の「『衣』から未来を考え、創造することを学ぶ」とする改革の方向性と合致するものである。

**生活文化・デザイン分野**では、令和4年3月公益財団法人インテリア産業協会「これからの暮らしに向けたユーザー・専門家・インテリア産業界相互の関係についての調査・研究報告書」<sup>5</sup>では、「インテリア関連用品・製品」についてWebやオンラインで相談したいと思う職種として、建築士よりインテリアデザイナー・インテリアコーディネーターを多く挙げているほか、関連企業役員等を対象としたインタビューでは、コロナ禍を経て特に女性のインテリアに対する興味や情報収集行動が高まったことが紹介されている。本学においても、学生の生活文化・生活デザイン領域への志向は継続して高く、入学者の確保および卒業後の活躍の場の見込みも十分にあると考えられる。

**住環境・まちづくり分野**では、建築技術教育普及センター「過去5年間の二級建築士試験結果」<sup>6</sup>において、直近の二級建築士試験結果データの中で、学科試験合格者のうち34.7%、実技試験合格者のうち39.0%を女性が占めることからわかるように、国家資格を取得して建築業界で就業する傾向は高まっているといえる。また、令和4年8月国土交通省「女性定着促進に向けたアクションプログラム」<sup>7</sup>において、建築産業に就業する女性の定着に向けて、建設企業・地方自治体・地域等における事例や具体的なアクションプランが策定されており、女性が人生の長期にわたって建築関連業界で働くことの道筋が示されている。本学科における住環境・まちづくり領域への配属希望も継続して高く、今後の教育内容の充実によりさらなる活躍が十分期待される。

<sup>3</sup> 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会：被服学分野の資格教育の現状と展望，2020，P.17

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t291-8.pdf>

<sup>4</sup> これからのファッションを考える研究会：ファッションの未来に関する報告書，2022，P.09

[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/fashion\\_future/pdf/20220428\\_1.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/fashion_future/pdf/20220428_1.pdf)

<sup>5</sup> 公益財団法人インテリア産業協会：これからの暮らしに向けたユーザー・専門家・インテリア産業界相互の関係についての調査・研究報告書，2022，P.05

[https://www.interior.or.jp/assets-before/association/contents/subsidy/data/ic\\_r03\\_1.pdf](https://www.interior.or.jp/assets-before/association/contents/subsidy/data/ic_r03_1.pdf)

<sup>6</sup> 建築技術教育普及センター：二級建築士試験結果，2023

<https://www.jaic.or.jp/smph/shiken/2k/2k-data.html>

<sup>7</sup> 国土交通省：女性定着促進に向けたアクションプログラム，2022

<https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/content/001499408.pdf>

また、生活環境学部生活環境学科は、直近5年間の志願倍率が10.92倍、平均入学定員超過率が1.05倍と定員を上回る志願者・入学者を集めており、これらのニーズに対応すべく収容定員を増加させることとした。

## ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### (ア) 教育課程の変更内容

#### <環境共生学部環境共生学科>

新設する環境共生学部環境共生学科では、体験や問題意識を出発点とした課題発見・課題解決能力の養成のために、環境管理技術、生物工学、エネルギー・資源・化学物質の利用、ソーシャルデザインなどの、実用・応用を見据えた科目群を、自ら組み合わせ、学びを設計しながら各科目を修める能力を習得させる。定期的なフィードバックにより、卒業後の進路の志を固めながら、目標を持った科目履修を行う。また、一連の課題解決型学習として、1年次のフィールド・環境施設実習、1年次後期から3年次前期にかけて継続的に行う社会連携プロジェクト（演習）、4年次の卒業研究・活動等を通じて、経験知を出発点とした課題発見・課題解決思考能力の養成を、1年次の基礎実験、2年次のラボローテーション実習、3年次の環境技術実験、4年次の卒業研究・活動などにより、課題解決実行力の養成を行う。専門教育科目は、「基礎科目」「問題・課題の認識」「体験・技術習得」「ソーシャルデザイン」「環境管理技術」「エネルギー・資源・化学物質の利用」「生物工学」「研究・プロジェクト」の8つの科目群から構成する。【資料1】

#### <生活環境学部生活環境学科>

収容定員を増加させる生活環境学部生活環境学科では、現在、被服学、アパレル、生活デザイン、環境デザイン、建築デザイン、まちづくりの6つのコースを設け、この6つの中からメインとサブの2コースを選択して学ぶ教育課程を編成している。

##### ○現状の6コース

###### <被服学コース>

繊維・染色・洗浄・衛生から、生産、消費に至る広範な分野を豊富な実験・実習を交えて学び、品質の選択眼や取り扱い方に関する能力を養う。

###### <アパレルコース>

ファッション産業を構成する多様な事項を学び、アパレル製品の企画・製造・市場などに関わる知識・技能を習得し、産業全体の素養を深める。

###### <生活デザインコース>

家具、雑貨、カフェなど生活を豊かにする「モノ」や「空間」と、「ひと」との関係性を調査・企画・デザイン・プレゼンテーションする力を養う。

###### <環境デザインコース>

照明や冷暖房、人間工学的なキッチンなど身近な室内環境から、安全で快適な都市環境まで、環境をデザインする能力を習得する。
<p>&lt;建築デザインコース&gt;</p> <p>住宅を基点に様々な建築を芸術、工学を含めた多角的側面から学び、豊かな暮らしの基盤となる具体的な空間を提案できるデザイン力を習得する。</p>
<p>&lt;まちづくりコース&gt;</p> <p>新たな時代のまちづくりに向けて地域の課題と資源を発見・分析しながら魅力ある「まち」を創造するための手法について多角的な視点から学ぶ。</p>

定員変更を行う令和7年度からは、上記の6コースを「衣環境・アパレル領域」「生活文化・デザイン領域」「住環境・まちづくり領域」の3領域に再構成する。衣服・雑貨・家具・インテリア・住居・建築・まち・都市から成る生活環境を幅広く学び、未来の社会を見通す視点、社会の価値を見失わない歴史的・文化的視点、これらを統合するデザインの視点を重視することで、学びの方向性を明確にし、学びを充実させ、文理の枠を超えた実践的な学びを実現する。

#### ○変更後の3領域

<p>&lt;衣環境・アパレル領域&gt;</p> <p>人に最も近い「衣」環境と、私達の暮らしや社会などとの繋がりを理解し、これからの未来を考える力を培う。</p>
<p>&lt;生活文化・デザイン領域&gt;</p> <p>総合性、学際性、文理融合を大切にし、暮らしに関わる調査・分析能力、デザイン能力、表現伝達能力を培う。</p>
<p>&lt;住環境・まちづくり領域&gt;</p> <p>建築デザイン・まちづくり・環境デザインの3つの分野が、設計演習等で連携するクロスプログラムにより、デザインと技術を専門的に扱う力を実践的に培う。</p>

1年次は前期に3つの領域について広く学修し、自ら興味を持てる領域を見定め、後期から専門的な学びを始める。2年次では選択した領域について幅広く学修し、講義・演習・実習を連動させてスキルアップを図る。3年次後期からは研究室に所属し、卒業研究に向け少人数のゼミで専門性をさらに高め、4年次で学びの集大成として卒業研究に取り組む。

なお、中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)、1・2級テキスタイルアドバイザー(衣料管理士)、一級建築士・二級建築士、建築施工管理技士、インテリアプランナー等の資格取得に対応した教育課程であることに変わりはない。

以上により教育課程をさらに充実させ、定員変更前と比較して同等以上の教育内容を担保できると考えている。【資料2】

#### <共通教育科目>

全ての学部・学科の学生が自由に選択できる共通教育科目は、思想や学問について広く基礎を学び、変化が激しい現代社会において的確に判断できる知性及び知識、技能の習得、真摯な学習と実践を通じ、思いやりと心の豊かな感性をもつ自律的な個人の確立をめざしている。①人文、社会、自然

の各分野における人間理解に関する広い知識と学ぶ態度の修得、②心身の健康のための運動習慣の形成と生命の尊さや倫理に関する知識・態度の向上、③ジェンダーの視点の理解と主体的な判断力・行動力の獲得、④自らの生涯にわたるライフデザインに資するキャリア形成能力の育成、異文化を理解し、⑤グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識の修得という5つの教育目標「MW教養コア」の理念のもと、大きく5つの科目群（「基礎教養科目群」「ジェンダー科目群」「キャリアデザイン科目群」「言語・情報科目群」「健康・スポーツ科目群」）で構成する。共通教育科目は、各学部ではなく共通教育部が運営しており、本申請に係る収容定員の変更による教育課程等の変更はない。

#### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

全学的な制度として、学科・学年毎のクラス編成、クラス毎の時間割配当、授業への出席確認、教員によるクラス担任制などの支援・指導体制を採っている。その上で、学科固有の教育方法や履修要件等については、履修便覧やシラバス等で公表するとともに、毎学期に開催するガイダンスにおいて担任から学生に周知している。また、履修した科目について十分な学修時間を確保し、学修した内容を真に身につけることを目的として、学科ごとに1年間及び1学期間に履修登録できる単位数の上限を年間50単位未満、1学期間25単位以下に設定している。

また、教育支援のために必要な情報を集約し、学生と教職員間のコミュニケーションの緊密化や効率化を促すため、教育支援システム「MUSES」を導入している。これにより、教職員から学生への情報伝達や授業時間割や休講・補講情報の確認、履修登録、授業アンケート提出等もWebにて完結可能となっている。授業運営においてもGoogle Workspaceを活用し、講義に関するデータの共有や遠隔授業を行っている。

これらの制度及び運営方法は、収容定員変更後も変更することはない。

#### ①教育方法

授業科目の配当年次は、学習内容の順次性に配慮し、概説・入門の性質を帯びる科目を低学年次に、専門性や抽象度の高い科目を高学年次に配当する。先修条件を付すことはしないが、本学では標準時間割制を導入しており、学生は原則として配当された学年の授業科目を履修する。

##### <環境共生学部環境共生学科>

専門教育科目は入学定員120人に対して1クラス40人の計3クラスを編成し、それぞれに基幹教員1人を担任として配当する。原則として、講義科目は学年単位、演習・実験・実習科目はクラス単位の時間割を編成して実施し、少人数教育を実現する。担任は「初期演習Ⅰ」（1年次前期、必修1単位）と「初期演習Ⅱ（環境共生学）」（1年次後期、必修1単位）の授業科目を担当し、入学直後の学生に対し、履修指導や生活指導等のサポートなどにおいて「顔の見える」指導を行う。

##### <生活環境学部生活環境学科>

専門教育科目は原則としてクラス単位の時間割を編成して実施し、1クラス33人（計6クラス）の少人数教育を実現する。講義科目は65～195人程度の中規模開講を基本とし、演習科目は約20～65人、実習科目は17～33人程度とし、収容定員変更後も教員が十分に配置されているため、教育効果を重視した定員規模で運営することに変更はない。

#### <共通教育科目>

共通教育科目は学部以外の教員組織である共通教育部によって全学的に運営されており、収容定員変更後も他学部等の教育体制に影響はなく、問題は生じない。共通教育科目は、多くの履修希望者に対応するため、多くの科目において前期・後期で複数クラスを開講している。言語・情報科目群は基本的に少人数の演習形式とし、スポーツ実技科目のみ実習形式で実施、基礎教養科目群等その他の科目の大半は講義形式とする。教育の質担保を目的として科目ごとに履修定員を設定しており、履修希望者が定員を上回った場合は抽選により履修者を決定する。以上のことから、本申請により大学収容定員は530人増加するが、履修者が増えた場合も与える影響はきわめて限定的である。

#### ②履修指導方法

本学の履修指導は、入学時にオリエンテーションを実施し、また必修科目の「初期演習Ⅰ」を通じて行う。さらに2年次以降においては、前期及び後期の授業開始日までに、クラスごとにガイダンスを実施している。教員のオフィス・アワーは、全学生に周知されており、この時間を活用して必要な学生への個別指導や助言を行っている。また、学生への履修指導等においては、事務局関連部局とも密接な連携を図って、学生が無理なく卒業できるように配慮した履修計画を実現している。学生が履修登録した科目のうち、卒業非算入科目を除く科目のGPA（Grade Point Average）を算出し、学生自らが学業成績を的確に把握し、適切な履修計画とそれに基づいた学修に取り組めるようにしている。

なお効果的な学修を達成するための方策として、履修規程において「講義・演習・実験実習及び実技においては、毎回出席、欠席、遅刻、早退の調査を受けなければならない。」と規定し、学生の授業への出席を義務付け、全ての授業において出席確認を励行している。

また前期・後期の定期試験を受けるための成績評価対象資格についても、履修規程で「週1回各期開講科目では、その欠席回数が4回以下の者のみ成績評価対象資格を与える。」と規定しており、受講（履修）科目で4回を超える欠席があった者は、当該科目の試験は自動的に受けられなくなるなど、日々の勉学の重要性を徹底させる指導を行っている。これらの履修指導方法は、収容定員変更後も変更することはない。

#### (7) 教員組織の変更内容

今般の収容定員に係る学則変更を行う学部・学科及び大学全体における教員数は、大学設置基準上の必要教員数を上回っており、また、後述のとおり新設する学部学科においてST比も同等または改善できており、収容定員変更の前後において、教員組織体制の低下はない。収容定員変更に関係のない既

存の学部・学科の教員組織はそのまま維持されるため、他学科への影響も皆無である。

収容定員変更に関係する学部学科の教員組織の変更内容の詳細は、以下の通りである。

#### <環境共生学部環境共生学科>

環境共生学部環境共生学科には、16人の基幹教員を配置する。職位別には教授10人、准教授4人、講師2人で、生物工学関連分野、応用化学関連分野、環境管理技術関連分野、ソーシャルデザイン関連分野の4分野を専門とする教員で構成する。大学設置基準上の必要基幹教員数15名を上回り、教員一人あたりの学生数（収容定員数）は30人と、学部の教育課程の特色であるフィールドワークやラボローテーションに対応した人数を配置している。完成年度時点での年齢構成は30代1人、40代5人、50代4人、60代前半5人、70代1人と各年代に分散しており、組織の持続可能性にも配慮している。

なお、基幹教員16人のうち5人は既設の薬学部から移籍する教員であるが、薬学部は令和6年度に収容定員を1,420人から870人まで約4割減じており、既設の薬学部の教育の質が低下することもない。

#### <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部生活環境学科には、24人の基幹教員を配置する。職位別には教授10人、准教授13人、講師1人で、大学設置基準上の必要基幹教員数16人（うち教授8人）に対して、1.5倍の十分な数と言える。24人のうち5人は、定員変更と同時に学生募集を停止する併設の武庫川女子大学短期大学部生活造形学科（アパレルコースおよびインテリアコース）から移籍する教員であり、本学部の定員変更が他学部の教員組織に与える影響はない。

また、教員一人あたりの学生数（収容定員数）は34.2人となり、現在の36.8人（収容定員700人／専任教員19人）より減少することから、定員増により教育の質は低下することはない。衣環境・アパレル領域、生活文化・デザイン領域、住環境・まちづくり領域の各領域に8人ずつの基幹教員をバランスよく配置することで、これまで以上のきめ細やかな指導が可能となる。

### (I) 大学全体の施設・設備の変更内容

本申請に係る収容定員変更時の大学全体の面積は、校地237,315.41㎡、校舎191,757.69㎡であり、令和7年度に予定している収容定員変更により計10,530人が学ぶこととなるが、大学設置基準で求められる校地面積105,200㎡、校舎面積79,926㎡に照らしても、2倍を上回る十分な面積を有している。

校地のうちには、空地として、噴水、35周年記念庭園、もみの木広場（以上中央キャンパス）や中庭（浜甲子園キャンパス）があり、学生が休息をとれる空間として十分な場所を確保している。また、運動場用地として、中央キャンパス隣接のグラウンド、テニスコート、浜甲子園キャンパス隣接の浜甲子園グラウンド、中央キャンパスからスクールバスで南に約10分の場所に総合スタジアムがあり、面積も合計90,463.09㎡と十分に確保している。

また、大学全体で、図書583,324冊（うち電子図書1,226冊）、学術雑誌9,195冊（うち電子ジャーナル2,630冊）を所蔵している。中心となる中央キャンパスの中央図書館は、地下1階、地上5階で

閲覧席 1,171 席、グローバル・スタジオやライフデザイン・スタジオ等のラーニング・コモンズ機能を有した学習エリアやライブラリー・カフェを設け、授業開講期は 20 時まで開館するなど学生の学習意欲を十分にサポートしている。浜甲子園キャンパスの図書館棟は、地上 2 階で閲覧席 169 席を設け、新学部の開設に合わせ環境共生学部専用図書スペースを設置するなど、学生に寄り添ったサービスを提供している。

#### <環境共生学部環境共生学科>

環境共生学部（収容定員 480 人）の設置に合わせ、現在薬学部が使用している「浜甲子園キャンパス」の「研究管理棟」「実習棟」「講義棟」「図書館棟」「教育研究棟」を改修するとともに、敷地内に環境共生学部専用の「プロジェクト棟」（木造 2 階建、延べ床面積 1,259.16 m<sup>2</sup>）を新築し、環境共生学部専用の研究室やプレゼンホール、プロジェクトルーム等を整備する。「プロジェクト棟」は用途や機能、間取りの可変化により、時代の変化に柔軟に対応できる自由度の高い空間を意識した設計としている。例えば、1 階の中心部には多くの学生が集まれるプレゼンホールを配し、その南北にプロジェクトルームを配置する。こういった構造により、学生の自主的な学修や研究活動を促し、積極的な情報発信を行うなど実践力と研究力を育む活動拠点になることを目指している。

なお、令和 6 年度に「浜甲子園キャンパス」に併設する既存の薬学部薬学科（6 年制）の入学定員を 210 人（収容定員 1,260 人）から 105 人（収容定員 630 人）、健康生命薬科学科（4 年制）の入学定員を 40 人（収容定員 160 人）から 60 人（収容定員 240 人）へ変更することにより、環境共生学部が完成年度を迎える令和 10 年度の「浜甲子園キャンパス」の利用人数は 1,350 人となる。これは、薬学部の収容定員変更（減少）前の利用人数 1,420 人と比べて 1 人あたりの校舎面積は増加することとなり、収容定員変更後も同等以上の教育内容を担保できると考える。

#### <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部生活環境学科は、中央キャンパスの「生活環境 1 号館」および「生活環境 2 号館」を主に使用する。生活環境 1 号館は鉄筋コンクリート造地下 1 階付地上 6 階建てで延床面積は 4,312.74 m<sup>2</sup>で、基幹教員研究室 12 室のほか縫製工場並みの設備を備えたアパレル生産実習室やアパレル造形実習室、福祉住環境を実践的に学ぶ「ユニバーサルデザインラボ」、店舗や住宅の照明や内装材を設営する「照明ラボ」等がある。生活環境 2 号館は、鉄筋コンクリート造地下 1 階付 5 階建てで延床面積は 5,861.89 m<sup>2</sup>、令和 4 年 3 月に本学部の定員増を見据えて増築（増床面積 2,752.57 m<sup>2</sup>）した。教員研究室 12 室のほか、卒業論文の発表などに使用するプレゼンテーションルーム、自主や相互学習に使用できるライブラリーやラウンジ、建築設計のための製図室、名作家具を使ってインテリアを学ぶ「実体験ラボ」、工作実習室やパソコン実習室等を備えている。

令和 6 年度までは、この 2 つの校舎を生活環境学部生活環境学科（収容定員 700 人）と武庫川女子大学短期大学部生活造形学科（収容定員 120 人）の計 820 人で共用するが、令和 7 年度からは生活環境学部生活環境学科（変更後の収容定員 820 人）の専用となる。総収容定員に変更はないことから施設や設備について定員変更後も不足は生じず、収容定員変更後も同等以上の内容を担保できると考える。

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### － 資料目次 －

- |       |                        |     |
|-------|------------------------|-----|
| 【資料1】 | 教育課程等の概要（環境共生学部環境共生学科） | …P2 |
| 【資料2】 | 教育課程等の概要（生活環境学部生活環境学科） | …P7 |

別記様式第2号(その2の1)

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教育課程等の概要																
(環境共生学部環境共生学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員以外の教員
人文科学科目	神話・伝説の世界から	1前・後			2		○								1	オムニバス
	平安朝文学の世界	1前			2		○								1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後			2		○								1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後			2		○								1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後			1				○						1	
	音楽の科学	1前・後			2		○								1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後			2		○								1	
	自己発見アート	1前・後			1				○						1	
	未来造形	1前・後			1				○						1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後			2		○								1	
	日本の文化I	1前			2		○								1	
	日本の文化II	1後			2		○								1	
	遊びの人類学	1後			2		○								1	
	SNSから日本語を見る	1前・後			2		○								1	
	英語圏の文学・文化	1前・後			2		○								1	
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後			1				○						2	
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後			1				○						1	
	日本語の世界	1前・後			2		○								1	
小計(18科目)		—	—	0	31	0	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—
社会科学科目	生涯福祉論	1前・後			2		○								1	オムニバス
	社会福祉とボランティア	1前・後			2		○								1	
	福祉レクリエーションの実際	1後			2		○								1	
	子育てと家族関係	1前			2		○								1	
	子育てと母性の気づき	1前			2		○								1	
	現代社会と憲法	1前・後			2		○								1	
	教養としての法律	1前			2		○								1	
	暮らしと法律	1後			2		○								1	
	女性と子どものヘルスケア	1後			2		○								5	
	消費者生活論	1前			2		○								1	
	英語で学ぶやさしい経済学	1前			2		○								1	
	英語で学ぶお金の知識	1後			2		○								1	
	メディア技術と文字デザイン	1前			2		○								1	
	現代の教育・保育事情	1前・後			2		○								4	
カウンセリングの実際	1前			2		○								1		
実践カウンセリング	1後			2		○								1		
建築と社会	1前			2		○								1		
小計(17科目)		—	—	0	34	0	—	—	—	—	—	—	—	—	19	—
自然科学科目	生命科学入門	1前			2		○				1				1	オムニバス
	生活の中の物理学	1後			2		○								1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後			2		○				1				1	
	薬の歴史と未来	1後			2		○								3	
	薬とからだ	1後			2		○								1	
	色彩情報	1前			2		○								1	
	科学から考える衣服と生活	1前			2		○								2	
健康生活とライフステージ	1前			2		○								2		
小計(8科目)		—	—	0	16	0	—	—	—	—	2	0	0	0	9	—
国際理解科目	韓国文化の理解	1前・後			2		○								1	—
	中国文化論	1前・後			2		○								1	
	世界の中の日本人	1前			2		○								1	
	音楽から見る人と世界	1後			2		○								1	
	International Perspectives I	1前			2		○								1	
	International Perspectives II	1後			2		○								1	
小計(6科目)		—	—	0	12	0	—	—	—	—	0	0	0	0	5	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員		
																	0	0
基礎 教養 科目 群	現代トピック科目	女性のためのマーケティング	1前・後		2		○									1		
		Current Affairs in Japan I	1前		2		○									1		
		Current Affairs in Japan II	1後		2		○									1		
		心理学トピックス	1後		2		○									1		
		現代社会と保健医療	1後		2		○									1		
		社会福祉の学び	1後		2		○									1		
		スポーツツーリズムと地域創生	1後		2		○									1		
		小計 (7科目)	—	—	0	14	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	6	—
	ジェ ンダ ー 科 目 群		セクシュアリティ入門 I	1前・後		2		○									1	
			セクシュアリティ入門 II	1前・後		2		○									1	
		女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2		○									1		
		メディアに見るジェンダー	1前・後		2		○									1		
		女性と教育	1前・後		2		○									1		
		ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2		○									1		
	ジェンダーと社会	1前・後		2		○									1			
	小計 (7科目)	—	—	0	14	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	3	—	
キ ャ リ ア デ ザ		女性のためのライフプランニング	1前・後		2		○									1		
		自己アビリティトレーニング	1前・後		2			○								1		
		キャリアビジョンと人物評価	1後		2			○								1		
		ビジネスプラン構築概論	1後		2			○								1		
	小計 (4科目)	—	—	0	8	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	4	—	
共 通 教 育 科 目	言 語 ・ 情 報 科 目 群	英語コミュニケーション I	1前・後		2			○								1		
		英語コミュニケーション II	1前・後		2			○								1		
		英語リーディング I	1前・後		1				○							1		
		英語リーディング II	1前・後		1				○							2		
		英語ライティング I	1前・後		1				○							2		
		英語ライティング II	1前		1				○							1		
		TOEIC演習 I	1前・後		1				○							1		
		TOEIC演習 II	1前・後		1				○							1		
		TOEIC演習 III	1前・後		1				○							1		
		Basics for Presentation I	2前		1					○						1		
		Basics for Presentation II	2後		1					○						1		
		Speaking & Listening I	2前		1					○						1		
		Speaking & Listening II	2後		1					○						1		
		Speaking & Listening III	3前		1					○						1		
		Presentation	3後		1					○						1		
		Writing I	3前		1					○						1		
		Writing II	3後		1					○						1		
		English for Careers	3前		1					○						1		
		Reading & Discussion	3後		1					○						1		
		Global Issues I	4前		1					○						1		
		Global Issues II	4後		1					○						1		
		Current Events	4前		1					○						1		
		Reading & Critical Thinking	4前		1					○						1		
		Career Workshop	4後		1					○						1		
		ドイツ語 I	1前・後		2					○						2		
		ドイツ語 II	1後		2					○						1		
		フランス語 I	1前・後		2					○						2		
		フランス語 II	1後		2					○						1		
		フランス語 IA	1前		1					○						1		
		フランス語 IB	1後		1					○						1		
		中国語 I	1前・後		2					○						4		
		中国語 II	1前・後		2					○						3		
		イタリア語 IA	1前・後		1					○						1		
		イタリア語 IB	1前・後		1					○						1		
		スペイン語 I	1前・後		2					○						1		
		ハンブル I	1前・後		2					○						3		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員		
																	0	1
共通 教育 科目	言語・ 情報 科目 群	ハングルⅡ	1前		2			○								1	集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中 集中	
		特別英語演習Ⅰ	1前・後		4			○								1		
		特別英語演習Ⅱ	1前・後		4			○								1		
		特別中国語演習Ⅰ	1前		2			○								1		
		特別中国語演習Ⅱ	1前		2			○								1		
		特別ハングル演習Ⅰ	1前		4			○								1		
		特別ハングル演習Ⅱ	1前		4			○								1		
		English for Studying Abroad	1前・後		1			○								1		
		Trends in Society	1前・後		1			○								1		
		Successful English Discussion	1前・後		1			○								1		
		Leadership Development	4後		1			○								1		
		留学準備演習	1前・後		1			○								1		
		スペイン語Ⅱ	1前・後		2			○								1		
		ハングル検定演習	1後		1			○								1		
		海外演習Ⅰ	1前		1			○								1		
		海外演習Ⅱ	1前		2			○								1		
	小計(52科目)	—	—	—	0	79	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	19	—
	情報 リテ ラシー 科目	Webデザイン基礎	1前・後			2			○								1	メディア
		Webデザイン応用	1前・後			2			○								1	
		グラフィックデザイン基礎	1後			2			○								1	
		フォトタッチ基礎	1前			2			○								1	
		データサイエンスの基礎とExcel	1前・後			2			○								1	
		データサイエンスの応用とExcel	1前・後			2			○								1	
		データリテラシー・AIの基礎	1後	○	2				○								2	
		データサイエンスのためのPython	1前・後			2			○								1	
		実用的ITリテラシー	1前・後			2			○								1	
		小計(9科目)	—	—	2	16	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	4	
	健康・ スポ ーツ 科目	生涯スポーツ論	1前			2			○								1	—
		スポーツと現代社会	1前・後			2			○								1	
		知っておきたい応急処置	1前			2			○								1	
		小計(3科目)	—	—	0	6	0	—	—	0	0	0	0	0	0	3		
	健康・ スポ ーツ 実 技 科目	スポーツ実技(テニス)	1前・後			1			○								1	—
		スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(バレーボール)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(バドミントン)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(ジャズダンス)	1後			1			○								1	
		スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(水泳)	1後			1			○								1	
		スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(ヨガ)	1前・後			1			○								1	
		からだどきどきと姿勢法	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(バンジーエクササイズ)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後			1			○								1	
		スポーツ実技(フットサル)	1前・後			1			○								1	
		マッサージ実習	1後			1			○								1	
	小計(16科目)	—	—	0	16	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	14	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
基礎科目	初期演習Ⅰ	1前	○	1			○			2	1						オムニバス 2 3 3 1 3 3 集中 集中
	基礎化学	1前	○	2			○			1							
	基礎生物学	1前	○	2			○				2						
	基礎環境工学	1前	○	2			○			1							
	情報リテラシー	1前	○	2			○										
	初期演習Ⅱ（環境共生学）	1後	○	1			○			2	1						
	生態学	1後			2			○			1						
	地球科学	1後			2			○		1							
	細胞生物学	1後			2			○			1						
	環境英語Ⅰ	2前	○	1					○								
	分析化学	2前			2			○		1							
	環境微生物学	2前			2			○		1							
	高分子化学	2前			2			○		1							
	環境英語Ⅱ	2後	○	1					○								
	植物生理学	2後			2			○		1							
	生命と地球環境	2後			1			○									
	環境英語Ⅲ	3前	○	1					○								
	環境英語Ⅳ	3後	○	1					○								
	環境英語演習（留学プログラム）	3前			2					1							
	環境研究英語Ⅰ	4前	○	1					○	10	4	2					
	環境研究英語Ⅱ	4後	○	1					○	10	4	2					
小計（21科目）	—	—	—	16	17	0			—	10	4	2	0	0	6	—	
問題・課題の認識	環境共生学入門（学習設計）	1前	○	1			○			1							オムニバス オムニバス・共同（一部）
	SDGs論	1前	○	2			○			1	1						
	環境問題概論	1前	○	2			○			1							
	フィールド・環境施設実習	1前	○	2					○	2	2	1		5			
	小計（4科目）	—	—	—	7	0	0			—	4	3	1	0	5	0	
体験・技術習得	エコツアー実習	1通			1					1		1					オムニバス・共同（一部） オムニバス・共同（一部） 集中 集中 オムニバス・共同（一部）
	基礎実験	1後	○	1.5					○	2	1			3			
	データ分析・統計学	1後	○	2				○				1					
	ラボローテーション実習Ⅰa	2前	○		1.5				○	6	2			8			
	ラボローテーション実習Ⅰb	2前	○		1.5				○	6	2			8			
	ラボローテーション実習Ⅱa	2後	○		1.5				○	4	2	2		8			
	ラボローテーション実習Ⅱb	2後	○		1.5				○	4	2	2		8			
	物理学実験	2後			1				○			1					
	地学実験	2後			1				○			1					
	環境技術実験	3後	○	1.5					○	4		1		5			
小計（10科目）	—	—	—	5	9	0			—	10	4	2	0	8	0	—	
ソーシャルデザイン	環境経済学	1後			2			○				1					集中 集中
	環境教育論	2後	○		2			○			1						
	環境政策論	2後			2			○									
	環境教育実践	3前			1				○		1			1			
	世界遺産学	3前			1				○								
	NPO・NGO論	3前			2				○								
	エコツアー実習	3前			1				○								
小計（7科目）	—	—	—	0	11	0			—	1	1	1	0	1	3	—	
環境管理技術	環境イメージング技術	2前	○		2			○									集中
	環境放射線工学	2前			2			○			1						
	防災技術Ⅰ	2後	○		2			○			1						
	環境アセスメント論	2前			2			○									
	環境情報工学	2後	○		2			○		1							
	防災技術Ⅱ	3前	○		2			○			1						
	野生生物管理工学	3前			2			○			1						
	水質管理工学	3前	○		2			○		1							
	環境モニタリング	3後	○		2			○		1							
	毒性学	3後			2			○				1					
小計（10科目）	—	—	—	0	20	0			—	3	2	1	0	0	1	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員			
専門 教育科目	エネルギー・ 利資源・ 化学物質の	合成化学	1後		2		○			1								
		環境生物有機化学	2前	○	2		○			1								
		環境エネルギー概論	2前	○	2		○			1								
		バイオマスエネルギー学	2前	○	2		○			1								
		物理学と環境工学	2前		2		○				1							
		資源管理学	2後		2		○				1							
		機器分析学	2後		2		○			1								
		環境エネルギー技術	3前		2		○			1								
		グリーンケミストリー	3前		2		○					1						
		資源循環工学	3前	○	2		○			1								
		高機能材料工学	3後	○	2		○			1								
	小計 (11科目)	—	—	0	22	0	—	—	5	2	1	0	0	0			—	
生物 工学	生命情報科学	1後	○	2		○			1									
	バイオテクノロジーⅠ (分子生物学)	2前	○	2		○				1								
	環境レメディエーション工学	2前	○	2		○			1									
	環境・バイオ産業論	2後		2		○					1							
	バイオテクノロジーⅡ (遺伝子工学)	2後	○	2		○			1									
	バイオテクノロジーⅢ (細胞工学)	2後	○	2		○			1									
	生態工学	3前	○	2		○			1									
	バイオマス利活用工学	3前	○	2		○			1									
	小計 (8科目)	—	—	0	16	0	—	—	4	1	1	0	0	0			—	
プロ ジェク ト	社会連携プロジェクトⅠ	1後	○	3				○	8	3	2			5			共同	
	社会連携プロジェクトⅡ	2前	○	3				○	8	3	2			5			共同	
	プロジェクトコミュニケーションⅠ	2後	○	3				○	1	1				1			共同	
	プロジェクトコミュニケーションⅡ	3前	○	3				○	1	1				1			共同	
	卒業研究・活動	4通	○	6				○	10	4	2			8				
		小計 (5科目)	—	—	18	0	0	—	—	10	4	2	0	8	0			—
合計 (223科目)		—	—	48	341	0	—	—	10	4	2	0	8	105			—	
学位又は称号		学士 (環境共生学)			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等								
4年以上在学し、共通教育科目、専門教育科目の2つの科目区分を通して124単位以上を修得すること。また、科目区分ごとに修得すべき最低単位数は共通教育科目で6単位以上、専門教育科目で108単位以上とする。また、外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。なお、TOEICのスコアに応じて単位 (2~8単位) を専門教育科目として認定する。(履修科目の登録の上限: 50単位未満 (年間)) なお、専門教育科目のうち、ラボローテーション実習Ⅰaとラボローテーション実習Ⅰbから1科目、ラボローテーション実習Ⅱaとラボローテーション実習Ⅱbから1科目をそれぞれ選択必修とする。										1学年の学期区分			2学期					
										1学期の授業期間			15週					
										1時限の授業の標準時間			90分					

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教育課程等の概要																
(生活環境学部生活環境学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員
人文科学科目	神話・伝説の世界から	1前・後			2		○								1	オムニバス
	平安朝文学の世界	1前			2		○								1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後			2		○								1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後			2		○								1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後			1				○						1	
	音楽の科学	1前・後			2		○								1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後			2		○								1	
	自己発見アート	1前・後			1				○						1	
	未来造形	1前・後			1				○						1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後			2		○								1	
	日本の文化Ⅰ	1前			2		○								1	
	日本の文化Ⅱ	1後			2		○								1	
	遊びの人類学	1後			2		○								1	
	SNSから日本語を見る	1前・後			2		○								1	
	英語圏の文学・文化	1前・後			2		○								1	
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後			1				○						2	
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後			1				○						1	
	日本語の世界	1前・後			2		○								1	
小計 (18科目)		—	—	0	31	0	—	—	—	0	0	0	0	0	14	—
社会科学科目	生涯福祉論	1前・後			2		○								1	オムニバス
	社会福祉とボランティア	1前・後			2		○								1	
	福祉レクリエーションの実際	1後			2		○								1	
	子育てと家族関係	1前			2		○								1	
	子育てと母性の気づき	1前			2		○								1	
	現代社会と憲法	1前・後			2		○								1	
	教養としての法律	1前			2		○								1	
	暮らしと法律	1後			2		○								1	
	女性と子どものヘルスケア	1後			2		○								5	
	消費者生活論	1前			2		○								1	
	英語で学ぶやさしい経済学	1前			2		○								1	
	英語で学ぶお金の知識	1後			2		○				1				1	
	メディア技術と文字デザイン	1前			2		○								1	
現代の教育・保育事情	1前・後			2		○								4		
カウンセリングの実際	1前			2		○								1		
実践カウンセリング	1後			2		○								1		
建築と社会	1前			2		○								1		
小計 (17科目)		—	—	0	34	0	—	—	—	0	0	0	0	0	19	—
自然科学科目	生命科学入門	1前			2		○								1	オムニバス
	生活の中の物理学	1後			2		○								1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後			2		○								1	
	薬の歴史と未来	1後			2		○								2	
	薬とからだ	1後			2		○								3	
	色彩情報	1前			2		○								1	
	科学から考える衣服と生活	1前			2		○				1				1	
	健康生活とライフステージ	1前			2		○								2	
小計 (8科目)		—	—	0	16	0	—	—	—	0	1	0	0	0	10	—
国際理解科目	韓国文化の理解	1前・後			2		○								1	—
	中国文化論	1前・後			2		○								1	
	世界の中の日本人	1前			2		○								1	
	音楽から見る人と世界	1後			2		○								1	
	International Perspectives I	1前			2		○								1	
	International Perspectives II	1後			2		○								1	
小計 (6科目)		—	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	5	—
基礎教養科目群	現代トピックス科目	1前・後			2		○								1	—
	Current Affairs in Japan I	1前			2		○								1	
	Current Affairs in Japan II	1後			2		○								1	
	心理学トピックス	1後			2		○								1	
	現代社会と保健医療	1後			2		○								1	
	社会福祉の学び	1後			2		○								1	
	スポーツツーリズムと地域創生	1後			2		○								1	
小計 (7科目)		—	—	0	14	0	—	—	—	0	0	0	0	0	6	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員 (助手を除く)
ジェンダー科目群	セクシュアリティ入門Ⅰ	1前・後			2		○								1	
	セクシュアリティ入門Ⅱ	1前・後			2		○								1	
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後			2		○								1	
	メディアに見るジェンダー	1前・後			2		○								1	
	女性と教育	1前・後			2		○								1	
	ジェンダーとアイデンティティー	1前・後			2		○								1	
	ジェンダーと社会	1前・後			2		○								1	
小計(7科目)	—	—	—	0	14	0	—	—	—	0	0	0	0	0	3	—
キャリアアデプザ	女性のためのライフプランニング	1前・後			2		○								1	
	自己アピールトレーニング	1前・後			2			○							1	
	キャリアビジョンと人物評価	1後			2		○								1	
	ビジネスプラン構築概論	1後			2		○								1	
小計(4科目)	—	—	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	4	—
共通教育科目 言語・情報科目群 言語リテラシー科目	英語コミュニケーションⅠ	1前・後			2			○							1	
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後			2			○							1	
	英語リーディングⅠ	1前・後			1			○							1	
	英語リーディングⅡ	1前・後			1			○							2	
	英語ライティングⅠ	1前・後			1			○							2	
	英語ライティングⅡ	1前			1			○							1	
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後			1			○							1	
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後			1			○							1	
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後			1			○							1	
	Basics for PresentationⅠ	2前			1			○							1	
	Basics for PresentationⅡ	2後			1			○							1	
	Speaking & ListeningⅠ	2前			1			○							1	
	Speaking & ListeningⅡ	2後			1			○							1	
	Speaking & ListeningⅢ	3前			1			○							1	
	Presentation	3後			1			○							1	
	WritingⅠ	3前			1			○							1	
	WritingⅡ	3後			1			○							1	
	English for Careers	3前			1			○							1	
	Reading & Discussion	3後			1			○							1	
	Global IssuesⅠ	4前			1			○							1	
	Global IssuesⅡ	4後			1			○							1	
	Current Events	4前			1			○							1	
	Reading & Critical Thinking	4前			1			○							1	
	Career Workshop	4後			1			○							1	
	ドイツ語Ⅰ	1前・後			2			○							2	
	ドイツ語Ⅱ	1後			2			○							1	
	フランス語Ⅰ	1前・後			2			○							2	
	フランス語Ⅱ	1後			2			○							1	
	フランス語ⅠA	1前			1			○							1	
	フランス語ⅠB	1後			1			○							1	
	中国語Ⅰ	1前・後			2			○							4	
	中国語Ⅱ	1前・後			2			○							3	
	イタリア語ⅠA	1前・後			1			○							1	
	イタリア語ⅠB	1前・後			1			○							1	
	スペイン語Ⅰ	1前・後			2			○							1	
	ハンブルⅠ	1前・後			2			○							3	
	ハンブルⅡ	1前			2			○							1	
	特別英語演習Ⅰ	1前・後			4			○							1	集中
	特別英語演習Ⅱ	1前・後			4			○							1	集中
	特別中国語演習Ⅰ	1前			2			○							1	集中
	特別中国語演習Ⅱ	1前			2			○							1	集中
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前			4			○							1	集中
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前			4			○							1	集中
	English for Studying Abroad	1前・後			1			○							1	
	Trends in Society	1前・後			1			○							1	
	Successful English Discussion	1前・後			1			○							1	
	Leadership Development	4後			1			○							1	
	留学準備演習	1前・後			1			○							1	
	スペイン語Ⅱ	1前・後			2			○							1	
	ハンブル検定演習	1後			1			○							1	
	海外演習Ⅰ	1前			1			○							1	
	海外演習Ⅱ	1前			2			○							1	
小計(52科目)	—	—	—	0	79	0	—	—	—	0	0	0	0	0	19	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
共通教育科目	言語・情報科目群 情報リテラシー科目	Webデザイン基礎	1前・後		2			○								1	メディア
		Webデザイン応用	1前・後		2			○								1	
		グラフィックデザイン基礎	1後		2			○								1	
		フォトタッチ基礎	1前		2			○								1	
		データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2			○								1	
		データサイエンスの応用とExcel	1前・後		2			○								1	
		データリテラシー・AIの基礎	1後	○	2			○								2	
		データサイエンスのためのPython	1前・後		2			○								1	
		実用的ITリテラシー	1前・後		2			○								1	
	小計(9科目)	—	—	2	16	0		—		0	0	0	0	0	0	4	—
	健康・スポーツ科目群 健康・スポーツ実技科目	生涯スポーツ論	1前		2			○								1	—
		スポーツと現代社会	1前・後		2			○								1	
		知っておきたい応急処置	1前		2			○								1	
		小計(3科目)	—	—	0	6	0		—		0	0	0	0	0	3	
		スポーツ実技(テニス)	1前・後		1				○							1	
		スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1				○							1	
スポーツ実技(バレーボール)		1前・後		1				○							1		
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(ジャズダンス)	1後		1				○							1			
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(水泳)	1後		1				○							1			
スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1				○							1			
からだどと気づきと姿勢法	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(バンジーエクササイズ)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1				○							1			
スポーツ実技(フットサル)	1前・後		1				○							1			
マッサージ実習	1後		1				○							1			
小計(16科目)	—	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	0	14	—	
基礎教育科目	学科共通	初期演習I	1前	○	1			○		3	3						
		初期演習II(生活環境)	1後	○	1			○		3	3						
		情報リテラシー	1前	○	2			○			4						
		Oral Communication	1前	○	1			○								1	
		生活環境英語	2前	○	2			○								2	
小計(5科目)	—	—	3	4	0		—		3	6	0	0	0	0	3	—	
専門教育科目	学科共通	生活環境論	1前	○	2			○		1							
		生活文化論	1前	○	2			○			1						
		生活科学	1前	○	2			○				1					
		ファッションビジネス論	1前	○	2			○				1					
		アパレル構成学	1前	○	2			○				1					
		住居学	1前	○	2			○				1					
		建築概論	1前	○	2			○			1						
		インテリアデザイン論	1前	○	2			○				1					
		環境共生概論	1後	○	2			○				1					
		家庭生活論	1後	○	2			○								1	
		服飾デザイン論	1後	○	2			○			1						
		人間工学	1後	○	2			○				1					
		生活環境基礎演習	1前	○	2				○		3	4				3	
		アパレル構成学実習I	1後	○	2				○		1		1				
		色彩学	2前	○	2				○		1						
		繊維製品材料学	2前	○	2				○			1					
		統計学I	2前	○	2				○			1					
		統計学II	2後	○	2				○			1					
		生活美学	3前	○	2				○		1						
		現代ファッション論	3前	○	2				○			1					
		保育学	3後	○	2				○							1	
		調理学実習	3後	○	2				○							1	
		食物学	4前	○	2				○							1	
		テキスタイルアドバイザー実習	4前	○	1				○			1					
		海外語学研修	1前	○	3				○		1						
		海外の生活環境研修I	1前	○	1				○		1						
		海外の生活環境研修II	1後	○	2				○		1						
		卒業基礎演習	3後	○	2				○		10	13	1				
		卒業研究	4前・後	○	6				○		10	13	1				
小計(29科目)	—	—	8	53	0		—		10	13	1	0	0	0	7	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
日常生活文化領域・デザイン文化領域・ファッション文化領域	繊維学	1後	○		2		○			1							
	インテリアテキスタイル概論	2前	○		2		○									1	
	消費生活論	2後	○		2		○									1	
	小計 (3科目)	—	—	0	6	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	2	—
住環境・文化・まちづくりデザイン領域共通	建築一般構造 I	1後	○		2		○									1	
	建築計画学 I	1後	○		2		○										
	グラフィックデザイン基礎実習	1後	○		2				○	1	1					2	
	まちづくり論 I	1後	○		2		○			1	1						
	まちづくり論 II	2後	○		2		○			1							
	景観論	2前	○		2		○			1	1						
	世界建築史	2前	○		2		○									1	
	構造力学 I	2前	○		2		○									1	
	環境計画 I	2前	○		2		○			1							
	環境計画 II	2後	○		2		○				1						
	日本建築史	2後	○		2		○									1	
	阪神間文化論	2後	○		2		○			1							
	建築設備	3後	○		2		○			1							
	建築材料学	3前	○		2		○			1							
	福祉住環境概論	3前	○		2		○					1					
	建築施工	3後	○		2		○									1	
	建築法規	3後	○		2		○									1	
	構造力学 I 演習	2前	○		1				○							1	
小計 (18科目)	—	—	0	35	0	—	—	—	4	3	0	0	0	0	8	—	
専門教育科目	界面科学	1後	○		2		○				1						
	界面科学実験	1後	○		2						1						
	スタイル画実習	1後	○		1											1	
	ファッションコンピュータ実習	1後	○		2							1					
	アパレル未来学	1後	○		2		○				1						
	服飾史	2前	○		2		○				1						
	アパレル企画論	2前	○		2		○									1	
	染色加工学	2前	○		2		○				1						
	アパレル設計生産論	2後	○		2		○			1							
	ドラフティングCAD演習 I	2前	○		2				○			1					
	ドラフティングCAD演習 II	2後	○		2				○				1				
	VMD演習	2後	○		2				○				1				
	TES対策演習	2後	○		2				○		1	2					
	染色加工学実験	2前	○		2						1						
	繊維科学実験	2前	○		2						1						
	アパレル構成学実習 II	2前	○		2							1					
	繊維製品材料学実験	2後	○		2							1					
	工芸染色実習	2後	○		2							1					
	ラボインターン実習	2後	○		2						1	2					
	ファッションプレゼンテーション実習	2後	○		2							1					
	ドレーピング実習 I	2後	○		1							1					
	ドレーピング実習 II	3前	○		2							1					
	アパレル生理衛生論	3前	○		2			○				1					
	被服心理学	3後	○		2			○				1					
	消費科学	3後	○		2			○				1					
	アパレルDX演習	3後	○		2								1				
	ファッションデザイン演習 I	3後	○		2				○					1			
	ファッションデザイン演習 II	4前	○		2				○				1				
	アパレル生産実習	3前	○		2						1						
	テキスタイルデザイン実習	3前	○		2											1	
	ラボクリエイション実習	3前	○		2						1	2					
	ファッションリサーチ実習	3前	○		2							2					
	材料分析法・同実験	3前	○		2						1						
	アパレル生理衛生実験	3後	○		2							1					
	テキスタイルコンピュータ実習	3後	○		2								1				
小計 (35科目)	—	—	0	68	0	—	—	—	2	5	1	0	0	0	2	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員			
専門教育科目	視覚文化論	2後	○		2		○									1			
	社会調査法	2後	○		2		○					1							
	生活デザイン論	2後	○		2		○					1							
	比較地域文化論	2後	○		2		○					1							
	生活文化演習Ⅰ	1後	○		2			○				2							
	生活文化演習Ⅱ	2前	○		2			○		1									
	生活文化演習Ⅲ	2後	○		2			○		1									
	デザイン技法Ⅰ	1後	○		2				○								2		
	インテリア・空間基礎設計	1後	○		2				○			2						共同	
	インテリア・空間デザイン実習	2前	○		2				○			2						共同	
	生活デザイン実習Ⅰ	2前	○		2				○			1						共同	
	生活デザイン実習Ⅱ	2後	○		2				○			2						共同	
	生活デザイン実習Ⅲ	3前	○		2				○			2						共同	
	デザイン技法Ⅱ	2前	○		2				○								1		
	フィールド・サーヴェイ実習	2後	○		1				○		1								
	環境リスク学	3前	○		2			○				1							
	空間デザイン原論	3前	○		2			○			1								
	日本デザイン史	3後	○		2			○				1							
	生活文化演習Ⅳ	3前	○		2				○		1								
	生活調査演習	3前	○		2				○			1							
	デザインリサーチ実習	3前	○		2					○		1							
	デザインプロジェクト実習	3後	○		2					○		2	1					集中、共同	
小計(22科目)		—	—	0	43	0				—	4	5	0	0	0	0	3	—	
住環境・まちづくり領域	建築設計	1後	○		2		○				2	1					3	共同	
	建築計画Ⅱ	2前	○		2		○				1								
	構造力学Ⅱ	2後	○		2		○										1		
	構造力学Ⅱ演習	2後	○		1			○									1		
	生活文化演習	2後	○		2			○			1								
	住宅設計	2前	○		2				○		2	2					4	共同	
	人間工学実習	2前	○		2				○		1	1							
	建築・インテリア設計Ⅰ	2後	○		2				○		1	1					3	共同	
	建築・インテリア設計Ⅱ	3前	○		3				○		2	3						2	一部共同
	建築CAD実習	2後	○		2				○		1							1	
	環境計画実習Ⅰ	2後	○		2				○		1	1							
	建築一般構造Ⅱ	3前	○		2			○				1							
	フィールドデザイン演習Ⅰ	2前	○		2				○		1	3							共同
	フィールドデザイン特別演習	3後	○		2				○			2							集中、共同
	ランドスケープデザイン演習	3前	○		2				○			1							
	環境計画実習Ⅱ	3前	○		2				○		1	1							
建築・インテリア設計Ⅲ	3後	○		2				○		2	4						1	一部共同	
建築材料科学実験	3後	○		2				○									1		
小計(18科目)		—	—	0	36	0				—	5	5	0	0	0	0	9	—	
合計(277科目)				—	—	13	491	0			—	10	13	1	0	0	122	—	
学位又は称号		学士(生活環境学)			学位又は学科の分野					家政関係・工学関係									
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等									
4年以上在学し、共通教育科目から14単位以上、基礎教育科目は4単位以上、専門教育科目は80単位以上、合計124単位以上を修得すること。 共通教育科目は、『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」、「ジェンダー科目群」から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)を含めて修得すること。また、学科指定外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。なお、TOEICのスコアに応じて単位(2~8単位)を基礎教育科目として認定する。 (履修科目の登録の上限：年間50単位未満、1学期間25単位以下)										1学年の学期区分			2学期						
										1学期の授業期間			15週						
										1時限の授業の標準時間			90分						

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## — 目次 —

(1) 新設組織等の概要	…P 2
①新設組織等の概要	…P 2
②新設組織等の特色	…P 2
(2) 人材需要の社会的な動向等	…P 4
①新設組織等で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	…P 4
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	…P 6
③新設組織等の主な学生募集地域	…P 7
④既設組織の定員充足の状況	…P 8
(3) 学生確保の見通し	…P10
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	…P10
②競合校の状況分析	…P15
③先行事例分析	…P24
④学生確保に関するアンケート調査	…P25
⑤人材需要に関するアンケート調査等	…P29
(4) 新設組織等の定員設定の理由	…P32

## (1) 新設組織等の概要

### (1) のポイント

- ・工学関係の「環境共生学部環境共生学科」(入学定員 120 人) の設置と工学・家政関係の「生活環境学部生活環境学科」の定員変更(入学定員 165 人→195 人)を計画。
- ・環境共生学部では自然環境に関わる諸課題を解決する人材、生活環境学部では住居・建築・インテリア・衣服など生活に密着した生活環境を創造する人材を養成。
- ・生活環境学部の定員変更に合わせて法人内併設短期大学の同系統学科の学生募集停止。

### ①新設組織等の概要

#### <新設組織>

組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
武庫川女子大学 環境共生学部環境共生学科	120	—	480	兵庫県西宮市甲子園九番町11-68

#### <定員変更組織>

組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科	195 (165)	3年次 20	820 (700)	兵庫県西宮市池開町6-46
武庫川女子大学 教育学部 教育学科	240	3年次 25(40)	1,010 (1,040)	
武庫川女子大学 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	180	3年次 0(20)	720 (760)	

※ ( ) は変更前の定員

以下、新設する「環境共生学部環境共生学科」及び定員が増加する「生活環境学部生活環境学科」について説明する。

### ②新設組織等の特色

#### <環境共生学部環境共生学科>

環境共生学部環境共生学科は、地球規模での気候変動、温暖化と海面の上昇、生物種の消失、自然災害の激甚化、気候難民の発生など複雑な要素からなる地球環境・自然環境問題、とりわけ環境の保全と利用に関わる諸課題に対して、独自に問題点や課題を見つけ出し、工学的に課題を解決する計画立案力・実践力を備えた人材を養成する。これを達成するために、

ソーシャルデザインに関する科目、環境管理技術に関する科目、バイオテクノロジー・資源利用に関する科目などの科目群を、課題発見・課題解決能力と結びつくように自ら組み合わせ、学びを設計しながら各科目を修める能力を習得させる。

学位の分野は、「工学関係」であり、生物学や化学などを基礎として、工学的的方法論を集結し、自然環境や身近な環境における諸課題を工学的に解決する方法を探究する。そして、その学習を通じて、グリーンイノベーションに貢献できる能力を身に付けることを目的とする。「工学関係」の学位の分野を持つ既設学部は次のとおり。

学部・学科	学位の分野	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
建築学部 建築学科	工学関係	45	—	180	兵庫県西宮市戸崎町1-13
建築学部 景観建築学科	工学関係	40	—	160	
社会情報学部 社会情報学科	工学関係	180	—	720	兵庫県西宮市池開町6-46
生活環境学部 生活環境学科	工学関係 家政関係	165	3年次 20	700	

本学部の新設に伴う既設組織の廃止は行わないが、「①新設組織等の概要」にて記載したとおり、生活環境学部生活環境学科の入学定員を令和7年度より30人増やし、195人とする。

#### <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部生活環境学科は、衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境として捉え、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成することを目的とする。学位の分野は「工学関係」及び「家政関係」であり、建築学を中心とした工学的な領域とアパレル・被服やインテリアといった伝統的な家政学という2領域をカバーしている。

既設の工学関係の学部・学科は先述のとおり建築学部及び社会情報学部が該当する。また、家政関係は食物栄養科学部が該当する。

学部・学科	学位の分野	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
食物栄養科学部 食物栄養学科	家政関係	200	3年次 10	820	兵庫県西宮市池開町6-46
食物栄養科学部 食創造科学科	家政関係	80	3年次 5	330	

本学部の定員変更に伴う工学関係及び家政関係の既設組織の廃止は行わない。

なお、この定員増加にあたっては、法人内併設の武庫川女子大学短期大学の学生募集を令和7年4月に停止し、同短期大学部生活造形学科（入学定員60人、収容定員120人、ア

パレル及びインテリアの2コース制)は、在籍する学生全員の卒業をもって廃止する。

## (2) 人材需要の社会的な動向等

### (2) のポイント

- ・環境共生学部では雇用拡大が確実視される「グリーン分野」の理工系女性人材を育成。
- ・生活環境学部では、建設業界、繊維業界、インテリア業界の人材需要に対応。
- ・本学学生の約5割が兵庫県、約3割が大阪府の高校出身。中長期的には18歳人口が減少するも、人口が多く大学進学率の高い兵庫県及び大阪府の女子の大学進学者数は今後10年間も横ばいまたは微増の見込み。
- ・既設組織は概ね定員を充足し、特に工学関係学部は堅実に学生を確保。一部未充足学科については、定員減少、教育内容の充実、入試方式変更等によるテコ入れを実施。

### ①新設組織等で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

#### <環境共生学部環境共生学科>

世界的な潮流として、脱炭素の潮流は特に化石燃料に関連する産業の雇用を減少させる一方、再生可能エネルギーに関する産業において新たな雇用を創出すると OECD（経済協力開発機構）が予測している。OECD「Green Growth Indicators 2017」を基に経済産業省が作成した資料によると、「太陽光・風力発電」「可燃性の再生エネルギー及び廃棄物由来の発電」分野の雇用が今後、大きく拡大することが見込まれている（資料1）。

日本政府全体の戦略・方針においても「デジタル」と「グリーン」を特定成長分野とされ、「第6次科学技術・イノベーション基本計画」で示されているようにグリーン分野について今後、カーボンニュートラルの実現、バイオマス燃料等の次世代エネルギーの開発、海洋プラスチックごみ問題解決といった分野での産業発展と人材需要の高まりは確実視されている<sup>1</sup>。環境省が環境産業の市場規模・雇用規模等の推計結果をまとめた「環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書」によると、令和3年の国内の環境産業の市場規模推計は、108兆908億円（前年比2.3%の増加、平成12年比約1.7倍）と拡大しており、2050年（令和32年）にかけて上昇傾向を続け、約123.7兆円まで成長すると推計されており、環境産業が我が国の経済成長に与える影響は年々大きくなっている<sup>2</sup>。

一方、我が国では政府の教育未来創造会議の第一次提言「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」（令和4年5月10日）で指摘されているように、理工系人材

<sup>1</sup> 内閣府 HP「第6期科学技術・イノベーション基本計画」

<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html>

<sup>2</sup> 環境省 HP「環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書の公表について」

[https://www.env.go.jp/press/109722\\_00002.html](https://www.env.go.jp/press/109722_00002.html)

の育成、特に女性の理工系分野への進出は喫緊の課題である。理工系学部への進学割合はOECD平均の27%に対して17%にとどまっております、さらに、学部段階で理工系を専攻する女性はわずか7%と、男性の28%に比べると低い状況にある(資料2)。OECD平均の15%と比べても大幅に低い状況にあり、当該分野についての知識や技術を身に付けた人材育成は十分とは言えないため、今後さらに拡大する需要に人材供給が追い付かない。

例えば、日本の大手企業を中心に構成された経済団体「日本経済団体連合会」(経団連)が令和5年9月から10月にかけて実施した調査によると、今後5年程度先を見越した理工系女性の採用については約6割の企業が「拡大する方向」と回答、特に積極的に採用したいと理工系女性の専攻は「工学系」が約8割と最多であった(資料3)。イノベーション創出や事業推進のために理工系女性人材、特に工学系である本学部が養成する女性人材の育成は企業側からも強く求められていると言える。

このような状況の中、文部科学省ではデジタル・グリーン分野の学部への転換を行う大学を支援する「大学・高専機能強化支援事業」を展開しており、本学部もこの事業の選定を受け設置するものである。

以上のことから、地球環境・自然環境問題に関わる諸課題を解決する計画立案力・実践力を備えた理工系女性人材を養成する本学部の需要は高いと言える。

#### <生活環境学部生活環境学科>

本学部は、「住環境・まちづくり」「生活文化・デザイン」「衣環境・アパレル」の3領域から構成される。

「住環境・まちづくり領域」の人材動向としては、建設産業における女性の定着促進に向けた動きがある。国土交通省は令和2年1月、「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画～働きつづけられる建設産業を目指して」を公表<sup>3</sup>。女性雇用の際の支援などを盛り込んだ「女性定着促進に向けたアクションプログラム」<sup>4</sup>を策定し、女性の建設業界への進出を支援していることから女性の人材需要は高まることが予測されている。

「生活文化・デザイン領域」の動向としては、インテリアコーディネーターやインテリアデザイナーに需要が高まっていることが挙げられる。インテリア産業協会の調査<sup>5</sup>によると、「インテリア関連用品・製品」について相談したいと思う職種としてインテリアコーディネ

<sup>3</sup> 国土交通省 HP「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」

[https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo\\_const\\_tk1\\_000088.html](https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk1_000088.html)

<sup>4</sup> 国土交通省 HP「女性定着促進に向けたアクションプログラム」

<https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/content/001499408.pdf>

<sup>5</sup> 公益社団法人インテリア産業協会 2021 年度インテリア関係調査・研究助成採択プロジェクト「これからの暮らしに向けたユーザー・専門家・インテリア産業界相互の関係についての調査・研究報告書」P.05

[https://www.interior.or.jp/assets-before/association/contents/subsidy/data/ic\\_r03\\_1.pdf](https://www.interior.or.jp/assets-before/association/contents/subsidy/data/ic_r03_1.pdf)

ーターやインテリアデザイナーの割合が高い。また、コロナ禍を経てインテリアに関する人々の興味や情報収集行動が高まっており、令和2年度の国内における家具・インテリア販売市場（事業者売上高ベース）は前年度比6.1%増の約1兆5千億円へと拡大している（令和3年6月帝国データバンク発表<sup>6</sup>）。以上のことから本学部の養成するインテリア関連の専門知識を持った人材の需要は安定している。

「衣環境・アパレル領域」の動向としては、平成19年に68万人だった繊維産業の就業人口は令和2年には40万人まで減少しており、経済産業省が令和4年5月にとりまとめた「2030年に向けた繊維産業の展望（繊維ビジョン）」<sup>7</sup>では、繊維産業の次代の働き手・担い手不足が大きな問題となっていることを指摘している。また、サステナビリティの動きが拡大し、生産工程や素材に対する環境配慮等のニーズの高まりや繊維製品の長寿命化や、リサイクルしやすい繊維の開発などが重要な成長分野になることを指摘しており、繊維化学やアパレル製品の企画・製造・市場について学ぶ「衣環境・アパレル領域」の学びの内容は、この産業界の動向とマッチしている。

## ②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

### <18歳人口>

我が国の18歳人口は、定員を変更する令和7年には109.1万人であるが、令和16年には約8%減の100.6万人となることが推計されている（資料4）。

本学の位置する兵庫県の18歳人口は、令和7年の48,314人から令和16年には44,430人まで約5千人減少、隣接する大阪府においても令和7年の74,476人から令和16年には68,299人まで約6千人減少することが予測されている。兵庫県、大阪府とも減少のスピード・割合は全国と比較しても同じであり、令和7年からの10年間で18歳人口は約8%減少することが見込まれる（資料5）。

18歳人口推計

地域	令和7年（2025年）	令和16年（2034年）	対令和7年指数
全国（男女合計）	1,090,562人	1,005,782人	92.2
全国（女子のみ）	533,094人	492,590人	92.5
兵庫県（男女合計）	48,314人	44,430人	92.0
兵庫県（女子のみ）	23,614人	21,714人	92.0

<sup>6</sup> 株式会社帝国データバンク プレスリリース「コロナ禍でも好調、2020年度の家具・インテリア販売市場は過去最高更新へ」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000307.000043465.html>

<sup>7</sup> 経済産業省 HP「2030年に向けた繊維産業の展望（繊維ビジョン）」P.13-22

[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo\\_sangyo/textile\\_industry/pdf/20220518\\_1.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/textile_industry/pdf/20220518_1.pdf)

大阪府（男女合計）	74,476 人	68,299 人	91.7
大阪府（女子のみ）	36,669 人	33,679 人	91.9

※リクルート進学総研が「学校基本調査」のデータを基に推計

#### <大学進学率>

全国の男女別の大学進学率・進学者数を平成 24 年と令和 4 年で比較すると、男子が 4.1 ポイント増 (55.6%→59.7%)、大学入学者数は 35 万人前後で横這いである一方、女子の大学進学率は 7.6 ポイント増 (45.8%→53.4%)、年々、男子の割合に近づいている。また、女子の大学入学者数も約 2.6 万人増と、男子よりも顕著に上昇している。兵庫県においても、大学進学率を平成 19 年と令和 4 年で比較すると約 9 ポイント増 (50%→59%)、大阪府では約 12 ポイント増 (49%→61%) と、上昇を続けている<sup>8</sup>。

#### <将来推計>

「③新設組織等の主な学生募集地域」において後述する通り、本学学生の出身高校所在地は兵庫県 47.4%、大阪府 30.2%、2 府県合計で約 8 割を占めることから、この 2 府県の 18 歳人口動向が本学の学生確保・定員充足にあたって直接的に影響する。18 歳人口推計と大学進学率のデータを基に、兵庫県及び大阪府の女子の大学進学者数を推計した。

令和 4 年度の大学進学率が今後も変わらないと仮定した場合、18 歳人口の減少と同じスピードで大学進学者数は減少し、兵庫県と大阪府の女子の大学進学者数は令和 7 年から 10 年で合計約 2,800 人減少する。一方、このままの割合で大学進学率が上昇し続けると仮定してシミュレーションを行った場合、兵庫県と大阪府の女子の大学進学者数は約 4,700 人増加する。ただし、今後も永久に進学率が上昇し続けることは考えづらいため、中央教育審議会大学分科会（第 174 回、令和 5 年 7 月 14 日）会議資料の「大学入学者数等の将来推計」で示された進学率上昇幅を一定の値で上限とする方法で推計した。

女子の進学率上昇を、「男子の令和 4 年度大学進学率 + 5%」を上限とし、兵庫県と大阪府の女子の大学進学者数を算出した場合、**令和 7 年からの 10 年間で約 500 人増加（兵庫県△237 人、大阪府+758 人）**する結果となった（資料 6）。このシミュレーションどおり、今後、このペースで女子の大学進学率が上昇し男子と同程度まで上昇すると、**18 歳人口は減少するものの本学の設置圏域である兵庫県及び大阪府の 2 府県合計の女子大学進学者数は増加傾向**にある。以上のことから、本学への入学対象人口は減少せず、学生確保に向けた取り組みを続けることで定員充足は可能であると見込まれる。

### ③新設組織等の主な学生募集地域

【添付データ】新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）

<兵庫県内大学：出身高校所在地県別入学者数>

<sup>8</sup> 中央教育審議会総会（第 137 回）会議資料 資料 1 - 3 「(参考資料) 大学等進学者数に関するデータ 関係」 P.6-7 <https://www.mext.go.jp/kaigisiryoy/content/000255573.pdf>

「学校基本調査」によると、令和5年度の兵庫県内大学への入学者27,095人のうち約半数にあたる13,198人(48.7%)が兵庫県の高校出身であった。続いて大阪府が4,912人(18.1%)と、兵庫県と大阪府の高校の出身者が全体の約67%を占めた。なお、女子については、15,302人中、兵庫県が7,589人(49.6%)、大阪府が3,040人(19.9%)と兵庫・大阪の高校出身者が全体の約69%を占めている。

#### <武庫川女子大学：出身高校所在地県別入学者数>

令和5年度の本学入学者2,257人のうち、兵庫県の高校出身者は1,070人(47.4%)、大阪府は681人(30.2%)、2府県合計で1,751人(77.6%)であった。特に本学は大阪に隣接した兵庫県の阪神地区に位置していることから、大阪府内の高校からの入学者の割合が兵庫県内大学の大阪府内高校出身入学者の割合(19.9%)と比較しても10ポイント以上高い結果となった。

以上のことから、18歳人口が多く、大学進学率も高い兵庫県及び大阪府を本学の学生募集地域に設定することは妥当であり、2府県の高校からの進学者の割合が減少することは劇的な人口分布・社会構造の変化がない限りあり得ない。なお、外国人留学生及び現職社会人が環境共生学部及び生活環境学部を受験・入学することは可能であるが、主要な入学者としては想定していない。

#### <環境共生学部環境共生学科>

入学定員120人のうち、約50%にあたる60人は兵庫県内、約30%にあたる35人は大阪府内からの進学を想定している。残り25人は、本学が進学や高大連携における連携協定を締結している高等学校が所在する近畿他府県や中四国や北陸、そして18歳人口が増え続けている沖縄県からの進学が見込まれる(資料7)。

#### <生活環境学部生活環境学科>

令和5年度的生活環境学部の入学者171人の出身高校を所在地別にみると兵庫県79人(46%)、大阪府49人(29%)、近畿他府県16人、中国地方10人、四国地方8人となっており、北海道や九州・沖縄からも入学者がある。この割合は過去3年間ほぼ変わらないことから、定員変更後も変わりはないと見込まれる(資料8)。

195人の入学定員のうち、約50%にあたる100人は兵庫県内から、約30%にあたる60人は大阪府内からの進学を想定している。残り35人については、近畿他府県や中四国や北陸、沖縄県からの進学を見込む。

## ④既設組織の定員充足の状況

### 【既設組織における今後の定員充足の見通し】

武庫川女子大学の令和5年度現在の収容定員は8,700人(募集停止学科を除く)、在学生数は8,264人で大学全体の収容定員充足率は0.94倍である。12学部のうち、9学部が収容定員充足率は0.94倍~1.09倍と適切な定員管理を実現しており、0.70倍未満の学部は存在

しない。ただし、文学部 (0.89 倍)、音楽学部 (0.70 倍)、薬学部薬学科【6 年制】(0.76 倍) が 0.9 倍未満となっており、定員未充足の状態にある。文学部については、併設する武庫川女子大学短期大学部の文学関係 2 学科 (入学定員合計 200 人) の学生募集を令和 7 年度に停止することで一定の志願者が文学部に流入し、定員充足状況の改善を見込んでいる。薬学部については、定員未充足が続いている薬学科 6 年制の入学定員を令和 6 年度から半減 (210 人→105 人) させることで令和 6 年度以降は定員が充足するものと見込んでいる。音楽学部については、定員が少ないことから単年度の入学者数の増減が充足率に大きく影響する学部であるが、令和 8 年度以降に演奏学科にミュージカルに関するコースを新設するなど教育課程をブラッシュアップさせることで定員充足は可能であると見込んでいる。

#### 【新設組織の完成年度までの間に予定している収容定員変更】

令和 8 年度に文学部日本語日本文学科及び英語グローバル学科の 3 年次編入学定員 (各学科 25 人) を募集停止し、収容定員 100 人の減少を予定している (令和 7 年 4 月に収容定員変更に係る学則変更届出予定)。

#### 【収容定員充足率が 0.7 倍未満の学科等】

令和 5 年度に収容定員充足率が 0.7 倍未満となった学科は全 19 学科中、健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科 (0.57 倍)、音楽学部演奏学科 (0.52 倍) の 2 学科である。

健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科は令和 5 年度が開設初年度の学科であるが、初年度の入学生は定員 100 人に対して 57 人と、大幅な定員割れとなった。既存の健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科との教育課程の違いや学科の特色が十分に浸透していなかったことや歩留り予測を誤ったことが原因と分析している。令和 6 年度入試の学生募集にあたっては、学科紹介動画の作成やホームページリニューアルを通して学科の特色をアピールするとともに、入試制度を変更する。専願制の「MUKOJO 未来教育総合型選抜」を導入し、スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツマネジメント分野で活躍しようとする者を対象に高校時代の活動報告や入学後の計画書、グループディスカッションを通じて選抜を行うことで、新たな受験者層を発掘する。令和 5 年 9 月に出願を受け付け、募集人員 10 人に対して 15 人から出願があり、13 人が合格した。指定校推薦入試など他の選抜方式と合わせて令和 6 年度の入学者は定員をほぼ充足できると見込んでいる。

演奏学科の定員未充足の原因は、コロナ禍の中、先行き不透明な時代に就職を見通すのが難しい音楽学部は敬遠されたこと、また全国的にミュージカルや電子機器を使ったオリジナル音楽を志向する傾向が高まっていることが、本学のような伝統的なクラシック音楽を学ぶ音楽学部の志願者数減の原因であると分析している。定員充足に向けた今後の取組みとしては、総合大学の利点を生かした確実な就職及び就職率の高さをアピールして就職面での受験生のネガティブなイメージを払しょくするため音楽学部ホームページのリニューアルや、教員が積極的に高校訪問して就職実績・支援体制を PR する。そして先述のように令和 8 年度以降に演奏学科にミュージカルコースを新設しクラシック音楽以外の分野に興

味のある受験生を取り込むことで定員未充足の改善をめざす。

以上のように、収容定員が大幅に未充足の学科は、体育関係と音楽関係で1つずつあるが、今回新設を計画している「環境共生学部」と同じ工学関係の学部の収容定員充足率は、建築学部が1.05倍、社会情報学部は1.02倍と収容定員超過の状況にある。また、生活環境学部についても1.06倍と安定して学生を集めていることから、これら新設・定員増の学部については定員を増やすことは可能と判断している。

【添付データ】既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2）

### （3）学生確保の見通し

#### （3）のポイント

- ・大学広報戦略策定、大学案内等の配布、高校訪問、多様な入試制度、オープンキャンパス、WebサイトやSNSの活用など、多種多様な広報ツール・手法を駆使。
- ・定員変更に向け各種取組みの（メディア露出、OC参加者数、高校訪問数、SNS発信数・登録者数）の1割増を目標とする。
- ・工学関係の周辺領域を幅広くカバーする教育研究内容、経済的な負担に配慮した初年度納付金の設定、キャンパス立地、取得可能資格の充実など競合校との優位性の確立。
- ・高校2年生女子対象のアンケート結果で入学定員を上回る志願者、入学希望者を確認。
- ・企業・団体対象の人材需要アンケート調査において、高い社会的ニーズを確認。

#### ①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

##### ア 既設組織における取組とその目標

既設組織における学生確保に向けた具体的な取組みは次のとおり。

###### （ア）広報戦略

本学では、法人創立80周年を迎えた令和元年、創立100周年に向けたブランディングプロジェクト「MUKOJO ACTION 2019→2039」をスタートさせた。「日本の女子大を、更新しよう。」をスローガンとし、「未来像」となるビジョンを策定、公表している。特設Webサイトやポスター、大学案内等の各種広報媒体のビジュアルイメージを統一して大規模な広報戦略を展開し、女子総合大学としての本学の知名度向上に努めている。

###### （イ）大学案内や学科紹介パンフレット等の印刷物の配布

大学案内は約8万部を作成、また各学科紹介パンフレット、入試案内、募集要項を作成し、高校訪問、オープンキャンパス、高校教員向け説明会、保護者向け説明会、大学見学会、各地域での進学・入試相談会等において幅広く配布している。

###### （ウ）高校訪問、進学ガイダンス

本学の設置圏域である兵庫県、大阪府を中心に、全国の高等学校の進路指導部に訪問し、

高校生や進路担当教諭に対して直接本学の特色のある教育等について説明を行っている。のべ訪問校数は令和4年度26府県848校、令和5年度は21府県790校にのぼる。また、生徒に対しては模擬授業や進路ガイダンスを通年開催し、高大連携の強化に努めている。

#### (エ) 多様な入学選考（選抜）試験の実施

本学では、アドミッション・ポリシーに沿って、次のように多様な入試を実施している。

- ・ MUKOJO 未来教育総合型選抜入試
- ・ 公募制推薦入試（前期）・公募制推薦入試（後期）
- ・ 一般選抜A・一般選抜B・一般選抜C・一般選抜D（大学入学共通テスト利用型）
- ・ 演奏奨学生入試 ・ スポーツ推薦入試
- ・ 指定校推薦入試 ・ 附属高校推薦入試 ・ 社会人特別選抜 ・ 外国人留学生入試

また、遠隔地の受験生に対して利便性を図り、広く志願者を確保するため、公募制推薦入試及び一般選抜A・Bでは全国12会場（東京、石川、愛知、京都、和歌山、鳥取、岡山、広島、香川、愛媛、福岡、沖縄）に試験場を設置している。

#### (オ) オープンキャンパス、各種説明会等

オープンキャンパスは夏期を中心に開催している。高校生、保護者、教員等を対象に入試概要の説明や、学科ごとの企画プログラム（学科説明・施設見学・体験授業）、予備校講師による入試対策講座、学科別のQ&Aコーナーにて入試・就職・資格・奨学金・寮・下宿など学生生活全般にわたる個別相談等を実施している。令和5年度のオープンキャンパスは6月25日、7月8日・9日、8月10日・11日、9月24日の6日間にわたって開催し、のべ5,252人（保護者を含むと10,849人）の参加があった。5,252人のうち、約半数の2,783人が高校3年生、残りが高校1・2年生であった。令和6年度以降についても同様の時期に開催を予定している。オープンキャンパス開催日以外にも受験生の大学見学については、常時受け付けられるようにしている。数人のグループや個人単位の訪問に対して、平日及び土曜日の午前中は入試センター職員が対応、また、入試センターが閉室となる土曜の午後や日祝日は、中央キャンパス内の“受験生の部屋” Muko ナビルームにて、学生スタッフが大学の授業や学生生活の紹介、キャンパス見学の案内、入試に関する相談・質疑応答を行っている。また、学校単位でのキャンパス見学会や、高等学校教員向けの説明会や保護者向け説明会、附属高等学校向け説明会も開催している。

#### (カ) ホームページ、SNSによる情報の提供

大学ホームページのほか、SNSとしてX（旧Twitter）、Facebook、YouTube、LINE及びInstagramに本学の公式アカウントを開設し、SNSを利用した情報発信を積極的に実施している。学内施設や授業風景、学生生活についての動画配信等の情報発信を定期的に行い、本学で学ぶ具体的なイメージを掴めるように努めている。大学ホームページ、公式SNSの概要は以下のとおり。

<ホームページ>

開設時期：平成8年8月

URL : <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>

閲覧数 : 年間約 662 万回 (月間 55 万回)

<SNS>

メディア名	アカウント名	開設時期	登録者数	情報掲載件数
X (旧 Twitter)	@MWULavy	平成 23 年 7 月	7,438	約 11,000
Facebook	MWULavy	平成 24 年 11 月	3,157	約 500
YouTube	@MWULavy	平成 24 年 5 月	1,520	122
LINE	武庫川女子大学	平成 26 年 5 月	14,224	71
Instagram	mwu.mukogress	平成 29 年 9 月	2,529	556

※登録者、情報掲載件数は令和 6 年 2 月 1 日現在

(キ) 新聞・雑誌、駅・車内広告等

新聞や雑誌等のマスメディアでの広告やインターネット広告、駅・電車内の交通広告を出稿し、受験生はもちろんのこと広く社会で知名度が向上するよう努めている。また、出版社、新聞社、予備校等が発行する受験情報誌等の媒体に積極的に情報掲載を行い、具体的な学修内容や大学生活の様子、受験情報等を提供している。

【添付データ】既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績 (別紙 3)

## イ 新設組織等における取組とその目標

新設組織及び定員を変更する組織の学生募集のための PR 活動は以下のとおり予定している。

<PR 活動の方針及び戦略>

例年実施しているオープンキャンパス等、対面での活動を利用した PR を中心に、新聞等のマスメディア広告やホームページや SNS 等 Web 媒体を組み合わせ、効果的な PR 活動を行う。対象ステークホルダーが受験者層から保護者、高校教員と幅広いため、メディアミックスでの広報展開をする。特に受験生層には学びの内容や将来像を端的に訴求するためアニメーションを活用し、地域や本学志望者に絞ったダイレクト告知も行う。その他、学習支援アプリを活用し、同じ学問領域・分野を目指す受験生に広く当学部の魅力を伝えることを目的とした広報活動により志願者・入学者の確保を目指す (資料 9)。

<実施計画・目標>

(ア) オープンキャンパス

オープンキャンパスの冒頭に行う全体会において、環境共生学部及び生活環境学部の特色を紹介する。令和 5 年度末からは、令和 7 年度以降の志願者獲得に向け、主に高校 2 年生・1 年生を対象とした春季オープンキャンパスを開催する。春季オープンキャンパス開催により年間開催日数は年間 6 日から年間 7 日へと増加させ、保護者を含む年間の参

加者数は12,000人の参加を目標とする。また、オープンキャンパスにおいて学部学科別  
に実施している模擬授業等のプログラムを充実させ、環境共生学部は年間600人、生活  
環境学部は800人（令和5年度557人）の参加者を集めることを目標とする。

(イ) 高等学校教員・予備校講師対象の入試説明会

本学学生の出身高校所在地は約70%が兵庫県及び大阪府であることから、7月に兵庫  
県と大阪府の会場で高等学校教員と予備校講師対象の入試説明会を開催し、環境共生学  
部及び生活環境学部の特色を紹介する。約100校の参加を見込む。

(ウ) 入試説明会

受験生及び進路決定に大きな影響を与える保護者等を対象に説明会を開催し、環境共  
生学部及び生活環境学部の特色を紹介する。7月に兵庫県（三宮・姫路）、大阪府（梅田・  
天王寺）、奈良県の5か所で開催し、約500人の参加を見込む。

(エ) 進学相談会

受験生が志望校を決めることが多い6～9月頃に全国各地で入試相談会を単独で開催  
しており、環境共生学部及び生活環境学部に興味を持つ受験生に対して個別に学部の内  
容を説明する。全国28都府県での開催を予定している。参加者数は令和4年度570人、  
令和5年度は479人の参加者があったが、定員変更後は年間600人の参加者目標とする。

(オ) 高校訪問・高大連携強化

全国の高等学校を訪問し、進路指導担当教員に環境共生学部及び生活環境学部の特色  
を紹介する。年間のべ900校の訪問を目標とする。兵庫県・大阪府を中心に、中国・四国  
地方を重点強化地域として訪問を増やす。特に教育連携校9校と附属高等学校では生徒・  
教員対象の説明会を開催し、確実な志願者・入学者へとつなげる。

さらに、令和6年度からは入試センターをアドミッションセンターに組織改編し、入試  
課と高大連携課の二課体制で、高等学校との連携強化を進める。

(カ) PR動画配信

環境共生学部及び生活環境学部の学びの内容や研究内容を分かりやすく紹介する動画  
や実写とアニメを融合したプロモーション動画を制作し、ホームページやサイネージ等  
で配信。両学部の認知度アップを図る。

(キ) 学部紹介リーフレットの制作

大学案内とは別に環境共生学部及び生活環境学部のリーフレットを制作し、相談会で  
の配付や資料請求者へ郵送する。本学に興味を持つ受験生への配付が主であり、学びの内  
容や就職先を記載して、出願へ結びつける内容とする。発行部数は1万部を予定。

(ク) 新聞広告・関連イベント開催

環境共生学部の新設及び生活環境学部のリニューアルを伝える広告を新聞に出稿する。  
掲載する新聞は全国紙を中心とし、全面広告とする。主に武庫川女子大学及び両学部の知  
名度アップを目標とする。また、10月に受験生とその保護者を対象に環境をテーマにし  
たシンポジウムを武庫川女子大学公江記念講堂（収容人数2,500人）で開催し、学部の

PRを行う。シンポジウムの内容は新聞に採録記事広告として掲載する。

(ケ) メディア広告

メールアドレスへの Web DM 送信や YouTube 広告、学習支援アプリでの情報配信などで環境共生学部及び生活環境学部の情報を発信する。これらの Web メディアが受験生に対してダイレクトで情報を伝えることができるため効果的に利用する。Web DM は資料請求者やオープンキャンパス参加者に対して年間 5 万通発信、学習支援アプリでの情報配信は年間約 20 回を予定している。

(コ) SNS

上記の取組みを通じて、本学 SNS 登録者を増やし、各 SNS の登録者数の 20% 増を目標とする。SNS では PR 動画や学生生活の様子を発信し、ロイヤリティ（顧客が企業や企業のサービスなどに対して信頼や愛着を感じることを）を高める。

なお、上記（カ）～（ケ）の取組みに、令和 6 年度に約 2 千万円の特別予算を編成して実施する。

## ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織等での入学者の見込み数

<オープンキャンパス>

別紙 3 のとおり、令和 4 年度及び令和 5 年度におけるオープンキャンパスの取組みによる受験率は約 26%、入学率は約 11%。

<進学相談会>

同様に、進学相談会の取組みによる受験率は約 84%、入学率は約 39%。

<入試説明会>

同様に、入試説明会の取組みによる受験率は約 26%、入学率は約 11%。

<高校ガイダンス>

同様に、高校ガイダンスの取組みによる受験率は約 39%、入学率は約 11%。

<大学案内>

同様に、大学案内の配付の取組みによる受験率は約 16%、入学率は約 7%。

<その他>

SNS や広告などメディアを利用した広報活動によって学部の認知度や就職率の高さを確認した上で入学するものと見込んでいる。

以上の分析を踏まえた各取組による入学者数の見込みは次のとおり。

取組み	環境共生学部環境共生学科	生活環境学部生活環境学科
オープンキャンパス	15 人	26 人
進学相談会	5 人	10 人
入試説明会	2 人	3 人

高校ガイダンス	1人	2人
大学案内配付	28人	48人
その他	70人	110人
合計	121人	199人

## ②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

### ア 競合校の選定

#### ア-1 競合校の選定理由

##### <環境共生学部環境共生学科>

新設する環境共生学部の競合校として、関西大学化学生命工学部生命・生物工学科、関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科、関西学院大学生命環境学部生物科学科、近畿大学農学部応用生命化学科、大阪工業大学工学部環境工学科、甲南大学理工学部生物学科の6大学を選定した。以下、①～⑤の理由を総合的に勘案し、競合校に選定している。

##### 【環境共生学部の競合校として選定した大学・学部・学科の概要】

競合校	学校種	所在地	学力層	入学定員	学位	学位分野
関西大学化学生命工学部生命・生物工学科	私立 共学	大阪府	偏差値 57	105人	学士(工学)	工学
関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科	私立 共学	大阪府	偏差値 60	88人	学士(工学)	工学
関西学院大学生命環境学部生物科学科	私立 共学	兵庫県	偏差値 60	61人	学士(理学)	理学
近畿大学農学部応用生命化学科	私立 共学	奈良県	偏差値 55	120人	学士(農学)	農学
大阪工業大学工学部環境工学科	私立 共学	大阪府	偏差値 50	75人	学士(工学)	工学
甲南大学理工学部生物学科	私立 共学	兵庫県	偏差値 60	45人	学士(理学)	理学

#### ①学校種

すべて私立大学の4年制学部・学科であること。

#### ②所在地

本学の主たる学生募集地域に所在にあたる兵庫県又は大阪府に所在していること。なお、近畿大学農学部は奈良県奈良市に所在しているが、大阪府に隣接しており、兵庫県、大阪府に次いで本学志願者の多い地域である。

### ③学力層

志願者の学力層が重なっていること。

本学の工学分野の学科の一般入試 A 日程の偏差値を株式会社ベネッセコーポレーションの進学情報サイト「マナビジョン」で調査したところ、社会情報学部社会情報学科情報メディア専攻は偏差値 55、情報サイエンス専攻は 56、建築学部建築学科は 52、建築学部景観建築学科は 50 とされており、環境共生学部も同程度を想定している。想定競合校の一般入試主要方式の偏差値は以下のとおり 50～60 の範囲であり、環境共生学部が想定する学力層と同程度のものである。

※偏差値は 2023 年度第 3 回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試の B 判定値

※複数の日程・方式がある場合、一般前期で募集人員の多い日程・方式の値を抽出

### ④定員規模

環境共生学部の入学定員規模は 120 人を予定しており、競合校と比較すると同程度または多い規模であることから、併願対象となり得る。

### ⑤学問分野の類似性

環境共生学部の学位の分野（工学関係）と学問分野が同じ又は類似していること。想定競合校は工学関係の学科 3 つのほか、農学関係や理学関係に属するが、本学の教育課程と近接する分野である。

## <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部生活環境学科の競合校として、工学系では関西学院大学建築学部建築学科、関西大学環境都市工学部建築学科及び近畿大学建築学部建築学科の 3 大学を選定した。以下①～⑤の理由を総合的に勘案し、競合校に選定した。家政系では、京都女子大学家政学部生活造形学科、同志社女子大学生生活科学部人間生活学科、甲南女子大学人間科学部生活環境学科、神戸女子大学家政学部家政学科、奈良女子大学生生活環境学部の 5 大学を選定した。

### 【生活環境学部の競合校として選定した大学・学部・学科の概要】

競合校	学校種	所在地	学力層	入学定員	学位	学位分野
関西学院大学建築学部建築学科	私立 共学	兵庫県	偏差値 58	132 人	学士（工学）	工学
関西大学環境都市工学部建築学科	私立 共学	大阪府	偏差値 60	105 人	学士（工学）	工学
近畿大学建築学部建築学科	私立 共学	大阪府	偏差値 59	280 人	学士（建築学）	工学
京都女子大学家政学部生活造形学科	私立 女子	京都府	偏差値 62	120 人	学士(家政学)	家政
同志社女子大学生生活科学部人間生活学科	私立 女子	京都府	偏差値 60	90 人	学士(生活科学)	家政

甲南女子大学人間科 学部生活環境学科	私立 女子	兵庫県	偏差値 49	80 人	学士(生活環境学)	家政
神戸女子大学家政学 部家政学科	私立 女子	大阪府	偏差値 51	80 人	学士(家政学)	家政
奈良女子大学生生活環 境学部文化情報学科	国立 女子	奈良県	偏差値 60	45 人	学士 (生活環境学)	家政 理学
奈良女子大学生生活環 境学部住環境学科	国立 女子	奈良県	偏差値 59	35 人	学士 (生活環境学)	家政

#### ①学校種

国立の奈良女子大学を除き、すべて私立大学の4年制学部・学科であること。また、家政系の競合校についてはすべて女子大であること。

#### ②所在地

8大学のうち5大学が本学の主たる学生募集地域にあたる兵庫県又は大阪府に所在していること。ほか3大学についても本学部志願者の多い、奈良県及び京都府に所在する女子大学であること。

#### ③学力層

志願者の学力層が重なっていること。生活環境学部生活環境学科の一般入試 A 日程の偏差値を進学情報サイト「マナビジョン」で調査したところ偏差値 60 であった。想定競合校の一般入試主要方式の偏差値は以下のとおり 49～62 の範囲であり、生活環境学部志願者の学力層と同程度のものである。

#### ④定員規模

入学定員規模は工学系で 105 人から 280 人、家政系で 80 人（※奈良女子大学生生活環境学部は文化情報学科と住環境学科の合計）から 120 人と幅があるが、本学生活環境学部は工学と家政の2分野を有していることから 195 人の入学定員は妥当と言える。

#### ⑤学問分野の類似性

生活環境学部の学位の分野は「工学関係・家政関係」であることから、類似性がある。

### ア-2 競合校との比較分析

#### <環境共生学部環境共生学科>（資料10）

##### ①教育内容

想定競合校の学科概要や養成する人材像を各大学ホームページで調べたところ、関西大学化学生命工学部生命・生物工学科、関西学院大学生命環境学部生物科学科、甲南大学理工学部生物学科は学科名のとおりに生物学的要素の強い教育内容となっている。一方、関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科は、省エネルギーやバイオマス、水素などの新エネルギー、環境修復、環境汚染防止など念頭に置きつつ「化学工学」を基盤としており、大阪工業大学工学部環境工学科は、省エネルギーや新エネルギー、環境の保全、修復及び資

源循環といった「環境工学」を基盤とした教育内容となっている。近畿大学農学部応用生命化学科は、生物学的要素を中心に生命、資源、食糧、環境などさまざまな分野を掲げており、生物学と環境工学の周辺領域を広くカバーしている。

工学関係の環境共生学部の教育内容は、関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科及び大阪工業大学工学部環境工学科に最も近く、競合校の選定理由で説明したとおり本学の学力層はその中間に位置することから両大学の志願者層を集めることができる。さらに女子大学では唯一の「環境共生学部」であり、教育面で競合する女子大学がない点も優位性が認められる。

## ②入試方式等

### ・入試方式

各大学のホームページや株式会社ベネッセコーポレーションの進学情報サイト「マナビジョン」によると、競合校では入試方式を細分化しているところが多い。関西大学化学生命工学部生命・生物工学科の15方式を筆頭に、その他大学でも10種類前後の入試方式を設け、各方式の募集人員は少なく設定されている。本学では7方式にし、各募集人員も多めに設定していることから、シンプルで受験のしやすい入試方式となっている。

### ・入学手続き時期

令和6年度の各大学と本学の募集要項によると、本学では一般入試（前期・中期）の入学手続き期限を3月1日に設定している。競合他大学では2月中に設定している大学が多いため、受験生にとっては本学の入学手続き期限は選択肢が広がる有利な日程である。一般入試（後期）や大学入学共通テスト利用入試は、近畿大学を除き競合大学は本学と同じ3月22日に設定している。

## ③学納金・奨学金

競合校として想定している近隣の5大学6学科の初年度納入金は1,603,500円～1,780,000円、平均は1,714,450円であったが、本学は1,614,700円であり、低めに抑えられている。学生の経済的な負担の軽減を最優先に考慮して設定した額であると言える。

奨学金では、本学のほか、想定競合校のうちすべての大学が高等教育修学支援新制度の対象機関となっている。大学独自の奨学金制度の充実度では、各大学とも給付・貸与を含めて独自の制度を設けており、優劣はない状況である。

## ④取得資格

環境共生学部では、中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）のほか、博物館学芸員を取得できる予定。競合校として想定している各大学とも中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）を主要な資格として挙げていることから、本学の資格ラインナップは競合するうえで最低限の基準は満たしていると考えられる。ただし一部大学では、高等学校教諭一種（農業）（工業）の教員免許状も取得可能であることから、教員志望の受験生が志望校を選ぶ際に本学部が不利になる可能性は否めないがそういった農業及び工業の教員免許取得を目指す女子学生は少数であるため影響は少ない。

## ⑤就職支援内容

各大学ホームページ掲載内容をもとに就職支援体制を比較したところ、すべての大学においてキャリアセンター、キャリア開発センターといったキャリア・就職支援の専門部署を置き、キャリアカウンセラーによる個別相談や履歴書・エントリーシートの添削、面接指導、各種の就職支援講座や学内企業説明会などのイベントを行っていることが確認できた。そのほか、企業の集中する大阪や東京にサテライトキャンパス・事務所を設置して首都圏での就職支援を行っている大学（関西学院大学、関西大学、近畿大学、甲南大学）がある。本学においてもキャリアセンターが中心となり、ほぼ同様の支援を行っているほか、東京駅前に東京センターを設置していることから、就職支援体制は他大学と比較しても引けを取らない内容である。

## ⑥立地

本学部の所在する浜甲子園キャンパスは、大阪梅田と神戸三宮の両ターミナルの中間にあたる兵庫県西宮市内にあり、特急停車駅の阪神電車「甲子園駅」から徒歩圏内の好立地である。兵庫県内競合校の関西学院大学（三田市）は大阪梅田から直通バスで60分、神戸三宮から直通バスで50分、甲南大学（神戸市東灘区）は、大阪梅田から電車と徒歩で約30分、神戸三宮から電車とバスで約25分の立地であり、両ターミナルから電車と徒歩で30分程度の本学は競合校と同程度または有利な立地条件と言える。

## <生活環境学部生活環境学科>（資料11）

### ①教育内容

工学分野で競合する関西学院大学建築学部建築学科、関西大学環境都市工学部建築学科、近畿大学建築学部では、建築士や都市プランナー、インテリアデザイナーなどを育成する教育内容になっている。入学定員の多い近畿大学建築学部は文系の学生にも対応した教育プログラムが特徴で、文系の受験生も取り込んでいる。

家政分野で競合する京都女子大学家政学部生活造形学科、同志社女子大学生活科学部人間生活学科、甲南女子大学人間科学部生活環境学科、神戸女子大学家政学部家政学科はいずれもアパレル、デザイン、住空間を柱としつつも、同志社女子大学のように家族、地域、心理や福祉といった福祉学的な分野をキーワードとして挙げている学科や、甲南女子大学のように社会分野、自然分野、スポーツ・レクリエーション分野といった幅広い分野を標榜している学科もある。

本学生活環境学部は令和7年度から「衣環境・アパレル領域」「生活文化・デザイン領域」「住環境・まちづくり領域」に整理した教育課程を編成するが、家政系のアパレル、デザイン、住空間を網羅しつつ、建築士や都市プランナー、インテリアデザイナーを目指すことのできる競合校と比較しても遜色ない教育内容である。

## ②入試方式等

### ・入試方式

各大学のホームページや株式会社ベネッセコーポレーションの進学情報サイト「マナビジョン」によると、競合校では大学入学共通テストを利用した方式を複数設け、出願時期や科目数に様々なバリエーションを持たせている。例えば、京都女子大学では大学入学共通テスト利用型として「前期3教科型」「前期5科目型」「前期C方式」「後期3教科型」の4つの方式を、関西学院大学建築学部では「1月5科目英語・検定」「1月7科目型」「1月5科目型理科1科」「1月5科目型理科2科」「併用日程数学」「3月4科目型」の6つの方式を設けている。本学では全体で7方式にし、各募集人員も多めに設定していることから、シンプルで受験しやすい入試方式となっている。

### ・入学手続き時期

先述のとおり、本学は入学手続き時期を競合校よりも遅めに設定しているため、受験生にとっては選択肢の広がる有利な日程設定となっている。

## ③学納金・奨学金

建築系の分野で競合している関西学院大学建築学部建築学科、関西大学環境都市工学部建築学科、近畿大学建築学部建築学科の初年度納入金は1,718,500円～1,780,000円といずれも170万円代であり、本学部の学費設定は30万円ほど安く抑えられていることが分かる。一級建築士や二級建築士といった資格取得をめざす女子生徒にとっては経済的な負担が少なく魅力的な学費設定と言える。一方、家政分野で直接の競合関係にある京都女子大学家政学部生活造形学科、同志社女子大学生生活科学部人間生活学科、甲南女子大学人間科学部生活環境学科、神戸女子大学家政学部家政学科の初年度納入金は、1,405,700円～1,445,000円であり、本学部生活環境学部生活環境学科の1,459,700円とほぼ同額である。国立大学の奈良女子大学生生活環境学部の822,460円よりも約60万円高い設定ではあるが、私立女子大学で近畿圏に立地する家政系学部としては平均的な額であり、学生募集においても不利になることがない設定であると言える。

奨学金では、競合校のうちすべての大学が高等教育修学支援新制度の対象機関となっている。ただし、令和6年度からの制度が拡充される私立学校の理工農系学部・学科の対象となっているのは本学生活環境学部生活環境学科のほか関西学院大学建築学部建築学科、関西大学環境都市工学部建築学科、近畿大学建築学部建築学科のみである。文部科学省ホームページ掲載リストによると、家政分野で競合校となる各大学はいずれもこの制度の対象外のため、本学に優位性があると言える<sup>9</sup>。

<sup>9</sup> 理工農系学部学科の対象機関リスト（令和6年1月31日）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/1421838\\_00004.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/1421838_00004.htm)

大学独自の奨学金制度の充実度では、各大学とも給付・貸与を含めて独自の制度を設けており、優劣はない状況である。

#### ④取得資格

生活環境学部では建築系の資格として、一級建築士受験資格、二級建築士受験資格、木造建築士受験資格、1・2級建築施工管理技士受験資格が取得できる。家政系の資格では、テキスタイルアドバイザー、インテリアプランナー登録資格といった資格のほか、教員免許では中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭）が取得可能である。競合校と比較した場合、高等学校教諭一種免許状（情報）、社会福祉主事（任用資格）、レクリエーション・インストラクター、フードスペシャリストといった他領域の資格取得を可能としている大学もあるが、本学部の取得資格は建築系、家政系分野の主要資格をバランスよくラインナップしていることから、学生募集にあたって不利となることはない。

#### ⑤就職支援

各大学ホームページに掲載されている就職支援体制を比較したところ、すべての大学がキャリア支援部、キャリア開発センターといったキャリア・就職支援の専門部署を置き、キャリアカウンセラーによる個別相談や履歴書・エントリーシートの添削、面接指導、各種の就職支援講座や学内企業説明会、U・Iターン就職支援などのイベントを行っていることが確認できた。そのほか、大阪や東京にサテライトキャンパス・事務所を設置して就職支援を行っている大学（関西学院大学、関西大学、近畿大学、京都女子大学）や、首都圏または出身地等で就職活動をする学生に対する交通費の一部補助制度を作るなどのサポートをしている大学（同志社女子大学）がある。本学においてもキャリアセンターが中心となり、ほぼ同様の支援を行っているほか、東京駅前に東京センターを設置していることから就職支援体制としては大差ない内容である。

#### ⑥立地

本学部の所在する中央キャンパスは、阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前駅」または「武庫川駅」から徒歩10分以内の好立地にあり、大阪梅田、神戸三宮の両ターミナルから約30分でアクセスできる。兵庫県内競合校の関西学院大学（三田市）は、大阪梅田・神戸三宮から直通バスで50～60分、神戸女子大学（神戸市須磨区）は大阪梅田から電車とバスで約60分、神戸三宮から電車とバスで約30分の場所にあり、交通アクセスでは本学に優位性がある。同じ女子大学である甲南女子大学（神戸市東灘区）は、大阪梅田から電車とスクールバスで約25分、神戸三宮から電車とスクールバスで約15分と、本学と同程度の交通至便なキャンパスと言える。

### イ 競合校の入学志願動向等

#### <環境共生学部環境共生学科>（資料12）

競合校の過去3か年（令和3年度～5年度）の入学志願状況を各大学ホームページ等で

調査した。関西学院大学生命環境学部生物科学科の3年間の平均入学定員超過率は1.04倍、近畿大学農学部応用生命化学科は1.10倍、甲南大学理工学部生物学科は1.22倍と定員を充足しており、志願者数の平均3か年平均も関西学院大学生命環境学部生物科学科が1,049人、近畿大学農学部応用生命化学科は2,588人、甲南大学理工学部生物学科は627人と入学定員の約14倍から21倍の志願者を集めていることから、本学部についても関西圏において十分な志願者層が存在し、定員充足が可能であると判断している。なお、関西大学及び大阪工業大学については学科単位での入学者数等を公表していないが、学部単位でみると関西大学化学生命工学部が平均入学定員超過率1.03倍、環境都市工学部は1.00倍、大阪工業大学工学部は1.04倍と入学定員を超過していることが確認できた。以上の競合校の志願動向を踏まえ、本学部においても他大学同様に定員充足は可能であると見込んでいる。

#### <生活環境学部生活環境学科>（資料13）

工学分野で競合する関西学院大学建築学部建築学科は3年間の平均入学定員超過率が1.04倍、近畿大学建築学部は1.09倍と定員を充足しており、志願者数の平均3か年平均も関西学院大学建築学部建築学科が2,001人、近畿大学建築学部建築学科は9,356人といずれも定員を大きく上回る志願者を集めている。

家政分野で競合する同志社女子大学生活科学部人間生活学科の平均入学定員超過率は1.10倍、京都女子大学家政学部生活造形学科は1.11倍、甲南女子大学人間科学部生活環境学科は1.07倍と定員超過が続いている一方、神戸女子大学家政学部家政学科は平均入学定員超過率0.83倍（収容定員充足率0.91倍）と定員割れを起こしている。神戸女子大学の定員未充足理由分析は後述するが、志願倍率は各大学とも4倍から8倍あることから志願者数は安定している。以上の2分野の競合校の志願動向から、本学部においても他大学同様に定員充足は可能であると見込んでいる。

なお、関西大学及び奈良女子大学については学科単位での入学者数等をホームページで公表していないため状況が把握できなかったが、学部の収容定員は充足していることが確認できた。

### ウ 新設組織等において定員を充足できる根拠等

#### <環境共生学部環境共生学科>

競合校として想定している大学は令和5年度現在、すべて収容定員を充足している。

#### <生活環境学部生活環境学科>

競合校である京都女子大学家政学部生活造形学科、同志社女子大学生活科学部人間生活学科、甲南女子大学人間科学部生活環境学科、神戸女子大学家政学部家政学科、奈良女子大学生活環境学部、関西学院大学建築学部建築学科、関西大学環境都市工学部建築学科及び近畿大学建築学部建築学科の8大学のうち、7大学が収容定員を充足している。

唯一、未充足状態（収容定員充足率0.91倍）の神戸女子大学家政学部家政学科は、令和

2年度は入学定員超過率が1.06倍、令和3年度は1.13倍と入学定員を大きく超過していたが、令和4年度0.62倍、令和5年度は0.72倍と突然落ち込んでおり結果的に収容定員充足率は0.91倍（学生数291人／収容定員320人）となった。神戸女子大学家政学部家政学科は、先に分析したとおり立地や学力層から本学生活環境学部生活環境学科と併願する受験生が多い。本学生活環境学部が令和4年度1.18倍、令和5年度1.03倍と定員を超過して入学者を受け入れたため、本学との併願者層が流出したための定員割れと分析している。両方の大学に合格した際には、本学が選ばれることが多いことが追跡調査から判明しており、また本学生活環境学科は一級建築士受験資格が得られるなど工学分野の学びも充実していることから本学の優位性は認められる。よって、神戸女子大学家政学部家政学科の定員割れが本学生活環境学部生活環境学科に波及する可能性は低いと分析している。

## エ 学生納付金等の金額設定の理由

学部等を新設する際、本学では大学の経営に係る財務的な視点と学生への還元等、受益者に対する説明責任の観点を重視しつつ、大学の将来の発展を目的とする施設・設備の充実を考慮するとともに、競合先となる近隣他大学の類似学部学科の状況を勘案したうえで、学生募集においても競争力を持った額となるよう学生納付金を設定している。

### <環境共生学部環境共生学科>

初年度納入金は、以下のとおりである。

入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納入金
200,000円	1,100,000円	300,000円	14,700円	1,614,700円

先述の分析のとおり、競合校よりも低めに抑えられていることから、本学部の納付額は学生の経済的な負担の軽減を最優先に考慮して設定した額であると言える。また、文部科学省「私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査」によると入学初年度年間納付金平均額（対象校600校）は理科系のうち理・工系で「1,551,040円」であり、全国的にみても平均的な金額設定であると言える。

### 【想定競合校の学納金※令和6年度入学生対象】（単位：円）

近隣の競合する大学・学部	入学金	授業料	教育充実費等	実習費	諸会費等	初年度納入金
関西大学化学生命工学部生命・生物工学科	260,000	1,493,000			27,000	1,780,000
関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科	260,000	1,493,000			27,000	1,780,000
関西学院大学生命環境学部生物科学科	200,000	1,162,000	266,000	99,000	24,000	1,751,000
近畿大学農学部応用生命化学科	250,000	1,442,000			24,500	1,716,500
大阪工業大学工学部環境工学科	250,000	1,290,000	100,000		15,700	1,655,700
甲南大学理工学部生物学科	250,000	1,321,000			32,500	1,603,500

注) 各大学 WEB サイト及び河合塾の大学入試情報サイト Kei-Net (URL:<https://search.keinet.ne.jp/search/option/>) にて調査。

### <生活環境学部生活環境学科>

初年度納入金は、以下のとおりである。

入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納入金
200,000 円	995,000 円	250,000 円	14,700 円	1,459,700 円

先述の分析のとおり、競合私立女子大学の家政系学部と比較しても平均的な額であり、学生募集においても不利になることがない設定であると言える。一方、建築系の分野で競合する他大学よりも 30 万円ほど低く設定されており、建築系の学部をめざす女子生徒にとっては経済的な負担が少なく魅力的な学費設定と言える。

【想定競合校の学納金※令和 6 年度入学生対象】(単位：円)

近隣の競合する大学・学部	入学金	授業料	教育充実費等	実習費	諸会費等	初年度納入金
京都女子大学家政学部生活造形学科	250,000	900,000	250,000	25,000	10,000	1,435,000
同志社女子大学生活科学部人間生活学科	260,000	883,000	240,000	28,000	17,000	1,428,000
甲南女子大学人間科学部生活環境学科	250,000	760,000	350,000		45,700	1,405,700
神戸女子大学家政学部家政学科	250,000	850,000	310,000		35,000	1,445,000
奈良女子大学生活環境学部文化情報学科	282,000	535,800		4,660		822,460
関西学院大学建築学部建築学科	200,000	1,162,000	266,000	99,000	27,000	1,754,000
関西大学環境都市工学部建築学科	260,000	1,493,000			27,000	1,780,000
近畿大学建築学部建築学科	250,000	1,442,000			26,500	1,718,500

注) 各大学 WEB サイト及び河合塾の大学入試情報サイト Kei-Net (URL:<https://search.keinet.ne.jp/search/option/>) にて調査。

### ③先行事例分析

#### <環境共生学部環境共生学科>

環境共生学部の設置は、既設組織を廃止して行うものではないが、設置を検討するにあたって武蔵野大学工学部サステナビリティ学科(東京都江東区)の改組事例を参考とした。

武蔵野大学では工学部環境システム学科(入学定員:70人、学位の分野:工学関係)の学生募集を停止して改組し、令和5年4月に工学部サステナビリティ学科(入学定員:70人、学位の分野:工学関係・社会学・社会福祉学関係)を設置した。

サステナビリティという人類最大の課題を克服するためには、環境エンジニアリングの知識とスキルを有し、社会において具体的な変化を起こすことができる人材を育成することを目的としており、本学の環境共生学部と設置趣旨を同じくするものである。武蔵野大学ホームページによると、初年度納入金は環境システム学科の1,405,000円から1,475,000円へと引上げが行われたものの令和5年度の入学定員超過率は1.14倍(入学定員70人に対して入学者数80人)と、開設初年度から学生募集は順調な滑り出しを見せている。ただし、女子学生比率が34%から31%へと微減している。開設初年度の状況でありその傾向が今後続くかどうかは注視が必要であるが、取得資格において工学部環境システム学科では取得可能であった中学校・高等教育教諭一種免許状(理科)がサステナビリティ学科では取得

資格から外れたことの影響も考えられる。このような先行事例を参考に、女子大学である本学の環境共生学部においては、中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）や博物館学芸員などの資格取得を可能とし、女子学生の獲得を目指したい。

#### <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部の定員増加と同時に法人併設の武庫川女子大学短期大学部生活造形学科の学生募集を停止することから、類似の事例（併設短期大学の家政系学科の募集停止と大学家政系学部の定員増）として、杉野服飾大学（東京都品川区）の改組事例に着目した。

杉野服飾大学では、令和4年4月に杉野服飾大学短期大学部服飾学科（入学定員50名、収容定員100名）の学生募集を停止し、令和5年4月に杉野服飾大学服飾学部の入学定員を40人増加させ、服飾文化学科を設置している。杉野服飾大学短期大学部は学生募集停止の理由を「志願者数、入学者数の推移と令和3年度の入学志願者数の状況から令和4年度以降において必要な入学志願者数を確保することが困難と判断せざるを得なくなりました。」（杉野服飾大学ホームページより）としており、令和3年度の入学者数は定員50人に対して25人と大幅な定員割れの状況であった。

令和5年度現在の杉野服飾大学服飾学部の志願倍率や各予備校による偏差値は令和4年度以前と比べて変化は見られず、収容定員充足率は0.67倍（令和4年度は0.75倍）であることから短期大学部の廃止が併設大学の受験者層や定員充足に与えた影響はほぼ皆無であると分析している。

武庫川女子大学短期大学部生活造形学科においても令和5年度の入学定員超過率は、0.57倍（入学定員90人に対して入学者52人）と、杉野服飾大学短期大学部服飾学科の令和3年度の充足率とほぼ同様の深刻な定員割れ状況であり、令和7年度以降の学生募集停止を決定した。本学では短期大学部生活造形学科の志願者の大半がもともと生活環境学部を第1志望として併願する傾向があり、短期大学部生活造形学科の廃止により、受験者層の変化等の影響は少ないと見込んでいる。

#### ④学生確保に関するアンケート調査

環境共生学部の設置及び生活環境学部の定員増を検討するにあたり、学生募集におけるニーズを客観的に捉えるため、学外の第三者機関に依頼し高校生アンケート調査を実施した。その概要は以下のとおりである。（資料14）

目的	武庫川女子大学が令和7年4月に設置を構想している環境共生学部環境共生学科（仮称）及び定員増を予定している生活環境学部生活環境学科について、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
対象	令和7年3月に高校卒業予定である高校2年生女子生徒。 武庫川女子大学既設学部志願実績があり学生確保の基盤とする兵庫

	県・大阪府を中心に、志願者が見込まれる高校から協力を得た。54校に調査依頼し、50校から回答があった。(資料15)
時 期	令和5年12月～令和6年1月
調査方法	調査実施の了承が得られた高校に対しアンケート用紙を送付し、各校の教職員の監督のもと、高校において実施した。(紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼)
調査内容	選択肢式の全9問。(資料16) 回答者の基本情報(居住地、性別、希望進路、興味のある学問分野)、武庫川女子大学が設置構想中の環境共生学部環境共生学科(仮称)及び定員増を構想中の生活環境学部生活環境学科への受験・入学意向等。
回収件数	50校 5,955人(男子生徒からの回答 1,680人分は除外済)
調査委託会社	株式会社高等教育総合研究所

調査にあたっては、学部の目的、特色、養成する人材像、想定される進路、入学定員、初年度納付金、競合校、交通アクセス等を明示したリーフレットを配付した(資料17)(資料18)。なお、他学部学科との複数選択を不可としているため、回答者の重複はない。

#### <環境共生学部環境共生学科>

##### 【結果概要】

全体の7.1%にあたる425人が環境共生学部に興味があると回答。そのうち、144人が受験意向を示し(第一志望受験25人、第二志望受験23人、第3志望以降受験96人)、**入学意向者は131人(入学したい35人、上位志望校が不合格の場合入学96人)で、入学定員120人を上回る入学意向者の存在が確認できた。**

##### 【クロス集計結果①】

「卒業後の進路：大学」「大学の設置者：私立」「興味ある分野：環境学、工学その他、生物、理学その他」でクロス集計した。243人が環境共生学部に興味があると回答。そのうち、98人が受験意向を示し(第一志望受験16人、第二志望受験19人、第三志望以降受験63人)、入学意向者は91人(入学したい24人、上位志望校が不合格の場合入学したい67人)であった。

##### 【クロス集計結果②】

さらに確実な入学意向者数を確認するため、興味ある分野を「環境学」に限定し、「卒業後の進路：大学」「大学の設置者：私立」でクロス集計したところ、140人が環境共生学部に興味があると回答。そのうち、62人が受験意向を示し(第一志望受験14人、第二志望受験13人、第三志望以降受験35人)し、入学意向者は59人(入学したい19人、上位志望校が不合格の場合入学したい40人)であった。

## <生活環境学部生活環境学科>

### 【結果概要】

全体の12.4%にあたる737人が生活環境学部に興味があると回答。そのうち248人が受験意向を示し（第一志望受験37人、第二志望受験47、第3志望以降受験164人）、入学意向者は入学定員の195人を39人上回る234人（入学したい65人、上位志望校が不合格の場合入学169人）の存在を確認できた。

### 【クロス集計結果①】

「卒業後の進路：大学」「大学の設置者：私立」「興味ある分野：環境学、土木・建築学、家政学、被服学、住居学、家政その他、デザイン」でクロス集計したところ、530人が生活環境学部に興味があると回答。そのうち、201人が受験意向を示し（第一志望受験36人、第二志望受験37人、第三志望以降受験128人）、入学意向者は入学定員とほぼ同数の190人（入学したい57人、上位志望校が不合格の場合入学したい133人）であった。

### 【クロス集計結果②】

さらに確実な入学意向者数を確認するため、興味ある分野を「家政学」に限定し、「卒業後の進路：大学」「大学の設置者：私立」でクロス集計したところ、162人が生活環境学部に興味があると回答。そのうち、62人が受験意向を示し（第一志望受験14人、第二志望受験13人、第三志望以降受験35人）し、入学意向者は59人（入学したい19人、上位志望校が不合格の場合入学したい40人）であった。

以上のアンケート結果を分析し、環境共生学部及び生活環境学部の入学見込み者数を算出した。

## <分析①：人口規模に基づく入学見込み者推計>

本アンケートが抽出調査であることを踏まえ、全体の入学意向者数を算出する。

令和5年度学校基本調査によると、本学入学者の約8割を占める兵庫県及び大阪府の高校2年生女子生徒の総数は、兵庫県で20,389人、大阪府で33,172人である。一方で、立地や学力等の理由から、兵庫県・大阪の高校2年生女子全員が入学意向者となり得るとは想定しづらいため、本学への進学が見込まれる高校数の割合として、兵庫県及び大阪府の設置高校数のうち令和5年度入試において本学への進学実績があった高校数の割合を乗じること、真に本学への入学意向者となり得る者の数を算出する。令和5年度入試において本学への進学実績のある高校数は、兵庫県で205校中137校、大阪府で254校中169校であることから、本学への進学が見込まれる高校数の割合は、兵庫県で66.829%（ $137 \div 205$ ）、大阪府で66.535%（ $169 \div 254$ ）となる。したがって、真に本学への入学意向者となり得る者の数は、兵庫県で13,625人（ $20,389 \times 66.829\%$ ）、大阪府で22,070人（ $33,172 \times 66.535\%$ ）となり、合わせて35,695人と見込むことができる。

以上を踏まえ、学部学科ごとに、アンケート有効回答者のうち入学希望者である者の割合（入学希望割合）を算出し、それぞれの全体の入学意向者数を見込む。

#### <環境共生学部環境共生学科>

「問3 卒業後の進路：大学」「問4 大学の設置者：私立」「問5 興味ある分野：環境学」と回答した者のうち、「問7 受験意向：第一志望(14)」と回答した者については、「問8 入学意向：入学したい(12)、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する(2)」の合計14人を、「問7 受験意向：第二志望(13)、第三志望(35)」と回答した者については、「問8 入学意向：入学したい(4,3)、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する(9,29)」の合計45人に、既存工学関係4学科の令和5年度入試の平均歩留率0.57を乗じて得た25人をそれぞれ入学意向者とし、合わせて39人の入学意向者数を見込む。アンケート有効回答者数は5,955人であることから、入学希望割合は0.655% (39÷5,955)と算出できる。

抽出調査により求めた入学希望割合0.655%を、全体の入学意向者となり得る者である35,695人に乗じることで、全体の入学意向者は233人となり、入学定員120人の約1.9倍を上回る結果となる。

#### <生活環境学部生活環境学科>

「問3 卒業後の進路：大学」「問4 大学の設置者：私立」「問5 興味ある分野：家政学」と回答した者のうち、「問7 受験意向：第一志望(16)」と回答した者については、「問8 入学意向：入学したい(16)、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する(0)」の合計16人を、「問7 受験意向：第二志望(16)、第三志望(46)」と回答した者については、「問8 入学意向：入学したい(7,4)、志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する(9,40)」の合計60人に、本学科の令和5年度入試の歩留率0.63を乗じて得た37人をそれぞれ入学意向者とし、合わせて53人の入学意向者数を見込む。アンケート有効回答者数は5,955人であることから、入学希望割合は0.890%と算出できる。

抽出調査により求めた入学希望割合0.890%を、全体の入学意向者となり得る者である35,695人に乗じることで、全体の入学意向者は317人となり、入学定員195人の約1.6倍を上回る結果となる。

以上のとおり、環境共生学部及び生活環境学部の入学定員は本アンケート結果を踏まえた分析においても妥当な規模であると考えられる。

#### 【分析②：既設同分野学部の志願動向に基づく入学見込み者推計】

#### <環境共生学部環境共生学科>

令和5年度入試における既設工学関係4学科の1学科当たりの実受験者数平均は377人(生活環境学科557人、建築学科227人、景観建築学科113人、社会情報学科610人)であったことを鑑みると、実際の志願者・入学意向者数は本調査結果の2.5倍以上となることが予想され、また、既存工学関係4学科の令和5年度入試の平均歩留り率0.57(生活環境学科0.63、建築学科0.50、景観建築学科0.63、社会情報学科0.53)を考慮しても120人の

入学定員は十分充足できると見込んでいる。(別紙2)

#### <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部「興味がある」と回答した生徒数は、クロス集計前後で 200 人以上差があり、生活環境学部は現在希望している進路や分野にかかわらず、幅広い女子生徒の関心を集めている学部であることが分かる。なお、今回の調査での受験希望者数は 248 人であったが、生活環境学部の直近 5 年(平成 31~5 年度)入試での実受験者数平均は 716 人であったことを鑑みると、実際の志願者・入学意向者数は本調査結果の 2.5 倍以上となると見込まれ、本学部の直近 5 年の平均歩留り率 0.62 を考慮しても十分に定員を充足できると判断している。(別紙2)

#### 【分析③：過年度アンケート調査との比較】

本学では令和 2 年度に建築学部建築学科及び景観建築学科、食物栄養科学部食物栄養学科及び食創造科学科、令和 5 年度に社会情報学部社会情報学科を設置した。その際にも今回と同様の手法で高校生 2 年女子生徒対象の進学意向アンケート調査を実施したが、回答者数中の当該学科への入学意向者数の割合は、建築学科が 1.94%、景観建築学科は 1.25%、食物栄養学科が 5.63%、食創造科学科が 2.01%、社会情報学科が 3.02%であった。工学関係の建築学部建築学科及び景観建築学科と社会情報学部社会情報学科は開設初年度入学定員超過率が 1.00 倍から 1.24 倍と、十分な数の入学生を確保できた。

今回の調査では環境共生学部の入学意向者数の割合は全回答者中 2.20%、生活環境学部では 3.93%であったことから、過去の工学分野の学部等設置時の調査結果と比較して同等又は上回る割合であり、十分に定員充足が可能な高校生の反応があったと判断している(資料19)。

#### ⑤人材需要に関するアンケート調査等

環境共生学部及び生活環境学部の卒業生のニーズを客観的に捉えるため、就職が想定される業種の事業所を対象に人材需要の見通し調査を第三者機関に依頼し、アンケートによる調査を実施した。調査結果の概要は以下のとおりである(資料20)。

目的	武庫川女子大学が令和 7 年 4 月に設置を構想している環境共生学部環境共生学科(仮称)及び定員増を予定している生活環境学部生活環境学科について、卒業後の採用・就職(人材需要)の見込みを測定することを目的とする。
対象	環境共生学部環境共生学科(仮称)及び定員増を予定している生活環境学部生活環境学科の卒業後に就職先として想定され、本学卒業生の就職実績のある近畿圏・首都圏に拠点を置く全国の企業・団体 1,975 社に調査を依頼した。

時 期	令和5年11月～令和5年12月
方 法	調査対象事業所に対しアンケートを郵送し依頼することにより実施(紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼)
調査内容	主に選択枝式の全10問。※一部自由記述あり(資料21) 回答元の基本情報(所在地、種別、勤務人数等)、武庫川女子大学環境共生学部環境共生学科(仮称)及び生活環境学部生活環境学科の卒業生に対する採用意向等。
回収件数	有効回答数416件(回収率21.1%)
調査委託会社	株式会社高等教育総合研究所

### <環境共生学部環境共生学科>

#### ・社会的必要性

環境共生学部の目的、特色、養成する人材像等を明示し本学部の社会的必要性をたずねたところ、416社中24.8%にあたる103社が「ニーズは極めて高い」、56.3%にあたる234社が「ニーズはある程度高い」と回答しており、8割以上の企業・団体が本学部の養成する人材の社会的ニーズを認めていることがわかった。

#### ・採用意向

本学部卒業生に対する採用意向については、223社が卒業生を「採用したいと思う」と回答した。さらにそれらの企業・団体に対し、本学部卒業生の単年度の採用人数を聞いたところ、合計507人の採用意向が確認でき、本学部の定員120人を4倍以上も上回る結果となっている。

### <生活環境学部生活環境学科>

#### ・社会的必要性

416社中28.4%にあたる118社が「ニーズは極めて高い」、54.1%にあたる225社が「ニーズはある程度高い」と回答しており、8割以上の企業・団体が本学部の養成する人材の社会的ニーズを認めていることがわかった。

#### ・採用意向

本学部卒業生に対する採用意向については、240社が「採用したいと思う」と回答した。さらにそれらの企業・団体に対し、単年度の採用人数を聞いたところ、合計593人の採用意向が確認でき、本学部の定員195人の3倍を上回る結果となっている。

両学部において、1学年の定員を大きく上回る採用意向を確認できた。「(2)人材需要の社会的な動向等」で紹介した経団連調査(博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート)の結果と同じく、企業・団体からの人材需要は高く、卒業後の進路においては十分な見通しがあると考えられる。

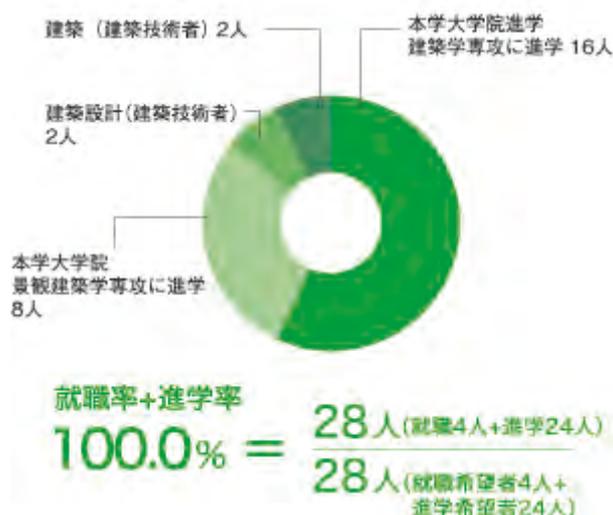
## 既存組織の就職実績

### <環境共生学部環境共生学科>

工学関係の学位の分野を持つ既設学部・学科のうち、令和2年度設置の建築学部及び令和5年度設置の社会情報学部は学年進行中のため、卒業生が輩出していないが、建築学部の基礎となった生活環境学部建築学科及び社会情報学部の基礎となった生活環境学部情報メディア学科（いずれも募集停止中）の令和4年度卒業生の就職状況は次のとおり。

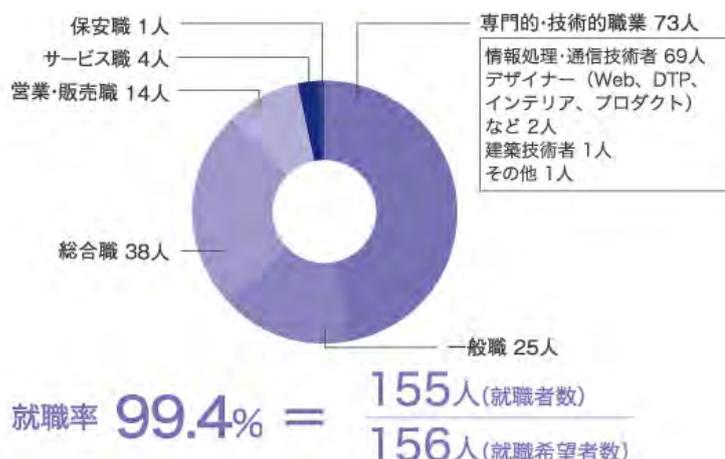
#### ・生活環境学部建築学科

卒業者数 30 人、就職希望者数 4 人、就職者 4 人、大学院進学 24 人



#### ・生活環境学部情報メディア学科

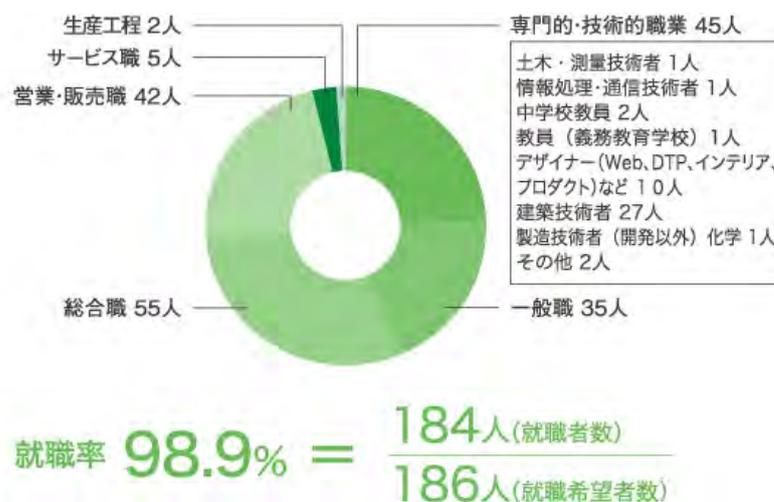
卒業者数 162 人、就職希望者数 156 人、就職者 155 人、大学院進学 1 人



建築学科の就職率(就職者/就職希望者)は100%、情報メディア学科では99.4%であり、本学の既存の工学関係学科の就職状況は良好であることから環境共生学部についても卒業後の進路においては十分な見通しがあると考えられる。

### <生活環境学部生活環境学科>

生活環境学部生活環境学科の令和4年度卒業生数196人のうち、就職希望者は186人、就職者は184人、大学院進学5人、就職率は98.9%であった。近年のコロナ禍における就職難の状況下においても多くの求人があり入学定員を195人に変更した後も、卒業後の進路については十分に見込むことができると考える。



#### (4) 新設組織等の定員設定の理由

(1)～(3)の分析を踏まえて、次の理由から新設の環境共生学部の入学定員は120人、定員変更を行う生活環境学部の入学定員は30人増の195人に設定した。

理由①成長分野に関連する学部である((2)人材需要の社会的な動向等①、(3)学生確保の見通し⑤)

環境共生学部、生活環境学部ともに工学関係の学位の分野を有し、今後、産業の成長が見込まれる分野であり、当該分野の学部は社会的な需要が高い。

理由②18歳人口と女子の大学進学率((2)人材需要の社会的な動向等②③)

18歳人口は今後、減少するものの女子の大学進学者数は上昇を続けている。特に本学入学者の約8割を占める兵庫県及び大阪府では、女子の大学進学者数は現在よりも増加する。

理由③既設組織の状況((2)人材需要の社会的な動向等④)

近接する工学関係の既存組織や生活環境学部が定員を充足している。

#### 理由④学生確保の見通し（（3）学生確保の見通し④）

近隣の競合他大学の定員充足状況やキャンパス立地、学納金など他大学との優位性、そして受験対象者へのアンケート結果を踏まえると、定員充足を見込める。

#### 理由⑤教育課程や実習、インターンシップの実施体制（（1）新設組織等の概要②）

環境共生学部、生活環境学部において展開する教育課程とキャパシティ（校地校舎、教員組織）を鑑みると、教育効果を発揮でき、かつ実施可能な最大限の定員設定である。

#### 理由⑥既設組織の廃止・縮小による規模適性化のための定員変更

##### （（1）新設組織等の概要①）

武庫川女子大学では3年次編入学定員の募集停止や併設の武庫川女子大学短期大学部の全学募集停止など既設組織の定員減少を進めており、減少分は今後の成長が見込まれる分野の学部へと定員を振り替えている。大学・短期大学部を合わせた総収容定員は令和5年度の11,240人（大学10,200人、短期大学部1,040人）から令和7年度には10,530人（大学10,530人、短期大学部0人）まで約6%減少するため一方的な定員拡大には該当しない。

以上の理由を総合的に勘案し、令和7年度から大学全体の収容定員を約5%増（10,000人→10,530人）しても定員を充足することは可能であると判断している。

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### － 資料目次 －

#### ○添付データ

- 【別紙 1】新設組織が置かれる都道府県への入学状況 . . . P. 2
- 【別紙 2】既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間） . . . P. 3
- 【別紙 3】募集のためのPR活動の過去の実績 . . . P.22

#### ○添付資料

- 【資料 1】脱炭素による雇用創出・喪失効果（経済産業省「第2回 未来人材会議」配付資料より抜粋） . . . P.23
- 【資料 2】教育未来創造会議第一次提言「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」（抜粋） . . . P.25
- 【資料 3】日本経済団体連合会「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート結果」（抜粋） . . . P.28
- 【資料 4】リクルート進学総研マーケットレポート vol.106 . . . P.35
- 【資料 5】リクルート進学総研マーケットレポート vol.114 . . . P.43
- 【資料 6】兵庫県・大阪府の女子の大学進学率・進学者数推計 . . . P.46
- 【資料 7】教育連携校一覧 . . . P.48
- 【資料 8】生活環境学部生活環境学科令和5年度出身県別入学者 . . . P.49
- 【資料 9】令和7年度学部新設等に向けた広報・PR戦略 . . . P.50
- 【資料10】環境共生学部競合校との比較表 . . . P.51
- 【資料11】生活環境学部競合校との比較表 . . . P.53
- 【資料12】環境共生学部競合校の入学志願動向 . . . P.55
- 【資料13】生活環境学部競合校の入学志願動向 . . . P.56
- 【資料14】高校生アンケート調査報告書 . . . P.57
- 【資料15】調査対象高校一覧及び選定理由 . . . P.74
- 【資料16】高校生アンケート調査用紙 . . . P.76
- 【資料17】環境共生学部概要リーフレット . . . P.78
- 【資料18】生活環境学部概要リーフレット . . . P.81
- 【資料19】受験生対象入学意向アンケート調査 過去の結果と開設初年度の定員充足状況 . . . P.83
- 【資料20】人材需要アンケート調査報告書 . . . P.84
- 【資料21】人材需要アンケート調査用紙 . . . P.96

## 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	兵庫県	13,198人	48.7%
2	大阪府	4,912人	18.1%
3	その他	982人	3.6%
4	京都府	754人	2.8%
5	岡山県	608人	2.2%
	全 体	27,095人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	兵庫県	95.72%	96.57%	93.81%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	家政学	94.11%	95.28%	89.01%
2	理・工学系	100.90%	104.35%	101.88%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-1

大学学部学科等名：武庫川女子大学文学部日本語日本文学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	49人	49人	49人	49人	51人	49人	
	延べ人数	志願者数	553人	726人	632人	573人	514人	600人
		受験者数	467人	628人	547人	463人	406人	502人
		合格者数	169人	187人	131人	208人	206人	180人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	109人	125人	91人	151人	149人	125人
	実人数	志願者数	250人	324人	290人	258人	229人	270人
		受験者数	200人	268人	240人	196人	169人	215人
		合格者数	87人	104人	81人	119人	101人	98人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	42人	41人	62人	44人	43人
	入学者数	60人	62人	40人	57人	57人	55人	
	学校推薦型選抜	募集人数	22人	22人	22人	22人	13人	20人
延べ人数		志願者数	34人	30人	38人	32人	49人	37人
		受験者数	34人	30人	38人	32人	49人	37人
		合格者数	34人	30人	38人	32人	49人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	34人	30人	38人	32人	49人	37人
		受験者数	34人	30人	38人	32人	49人	37人
		合格者数	34人	30人	38人	32人	49人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		34人	30人	38人	32人	49人	37人	
一般選抜		募集人数	71人	71人	71人	71人	78人	72人
	延べ人数	志願者数	676人	960人	607人	556人	417人	643人
		受験者数	573人	814人	139人	436人	339人	460人
		合格者数	218人	226人	239人	231人	199人	223人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	158人	166人	184人	175人	147人	166人
	実人数	志願者数	336人	444人	294人	281人	223人	316人
		受験者数	291人	381人	247人	223人	184人	265人
		合格者数	123人	135人	136人	141人	127人	132人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	63人	75人	81人	85人	75人	76人
	入学者数	60人	60人	55人	56人	52人	57人	
	共通テスト利用入試	募集人数	7人	7人	7人	7人	7人	7人
延べ人数		志願者数	89人	103人	80人	56人	32人	72人
		受験者数	89人	103人	80人	56人	32人	72人
		合格者数	66人	66人	52人	35人	28人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	56人	59人	51人	33人	25人	45人
実人数		志願者数	89人	103人	80人	56人	32人	72人
		受験者数	89人	103人	80人	56人	32人	72人
		合格者数	42人	50人	35人	22人	19人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	43人	34人	20人	16人	29人
入学者数		10人	7人	1人	2人	3人	5人	
その他の特別選抜		募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	150人	150人	150人	150人	150人	150人
延べ人数		志願者数	1352人	1820人	1357人	1217人	1012人	1352人
		受験者数	1163人	1576人	804人	987人	826人	1071人
		合格者数	487人	510人	460人	506人	482人	489人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	323人	350人	326人	359人	321人	336人
実人数		志願者数	709人	902人	702人	627人	533人	695人
		受験者数	614人	783人	605人	507人	434人	589人
		合格者数	286人	320人	290人	314人	296人	301人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	122人	160人	156人	167人	135人	148人
入学者数		164人	160人	134人	147人	161人	153人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	150人	150人	150人	150人	150人	150人
入学定員充足率	1.09	1.07	0.89	0.98	1.07	1.02
歩留率	0.34	0.31	0.29	0.29	0.33	0.31

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：武庫川女子大学文学部英語グローバル学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	66人	66人	66人	66人	70人	67人	
	延べ人数	志願者数	559人	824人	432人	533人	410人	552人
		受験者数	466人	731人	366人	405人	309人	455人
		合格者数	188人	175人	180人	288人	224人	211人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	127人	145人	139人	236人	182人	166人
	実人数	志願者数	254人	349人	210人	244人	201人	252人
		受験者数	203人	297人	168人	167人	141人	195人
		合格者数	99人	90人	96人	134人	110人	106人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	38人	60人	55人	82人	68人	61人
	入学者数	61人	30人	41人	52人	42人	45人	
	学校推薦型選抜	募集人数	31人	31人	31人	31人	22人	29人
		延べ人数	志願者数	73人	87人	73人	61人	38人
受験者数			73人	87人	73人	61人	38人	66人
合格者数			68人	87人	73人	61人	38人	65人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	1人	0人	2人	0人	1人
実人数		志願者数	73人	87人	73人	61人	38人	66人
		受験者数	73人	87人	73人	61人	38人	66人
		合格者数	68人	87人	73人	61人	38人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	2人	0人	1人
入学者数		68人	86人	73人	59人	38人	65人	
一般選抜		募集人数	95人	95人	95人	95人	100人	96人
		延べ人数	志願者数	562人	1041人	562人	491人	341人
	受験者数		446人	881人	446人	388人	273人	487人
	合格者数		303人	288人	245人	257人	191人	257人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		212人	218人	180人	216人	157人	197人
	実人数	志願者数	475人	495人	298人	235人	169人	334人
		受験者数	397人	416人	238人	183人	139人	275人
		合格者数	189人	177人	160人	145人	106人	155人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	98人	107人	95人	104人	72人	95人
	入学者数	91人	70人	65人	41人	34人	60人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	99人	96人	54人	31人	30人
受験者数			99人	96人	53人	31人	30人	62人
合格者数			70人	52人	39人	28人	28人	43人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			64人	51人	34人	28人	26人	41人
実人数		志願者数	99人	96人	54人	31人	30人	62人
		受験者数	99人	96人	53人	31人	30人	62人
		合格者数	46人	32人	28人	12人	15人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	40人	31人	23人	12人	13人	24人
入学者数		6人	1人	5人	0人	2人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
		延べ人数	志願者数	1293人	2048人	1121人	1116人	819人
受験者数			1084人	1795人	938人	885人	650人	1070人
合格者数			629人	602人	537人	634人	481人	577人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			403人	415人	353人	482人	365人	404人
実人数		志願者数	901人	1027人	635人	571人	438人	714人
		受験者数	772人	896人	532人	442人	348人	598人
		合格者数	402人	386人	357人	352人	269人	353人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	176人	199人	173人	200人	153人	180人
入学者数		226人	187人	184人	152人	116人	173人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200人
入学定員充足率	1.13	0.94	0.92	0.76	0.58	0.87
歩留率	0.36	0.31	0.34	0.24	0.24	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和5年4月に文学部英語文化学科を文学部英語グローバル学科へ名称変更。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	65人	70人	70人	70人	70人	69人	
	延べ人数	志願者数	1403人	1372人	1273人	1344人	1172人	1313人
		受験者数	1285人	1244人	1116人	1138人	1009人	1158人
		合格者数	214人	236人	244人	297人	263人	251人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	157人	172人	197人	223人	202人	190人
	実人数	志願者数	583人	571人	527人	566人	487人	547人
		受験者数	517人	503人	447人	458人	397人	464人
		合格者数	111人	121人	121人	153人	130人	127人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	54人	57人	74人	79人	69人	67人
	入学者数	57人	64人	47人	74人	61人	61人	
	学校推薦型選抜	募集人数	56人	41人	41人	41人	35人	43人
延べ人数		志願者数	47人	77人	79人	109人	112人	85人
		受験者数	47人	77人	79人	109人	112人	85人
		合格者数	47人	77人	79人	109人	112人	85人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
実人数		志願者数	47人	77人	79人	109人	112人	85人
		受験者数	47人	77人	79人	109人	112人	85人
		合格者数	47人	77人	79人	109人	112人	85人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
入学者数		47人	77人	79人	108人	112人	85人	
一般選抜		募集人数	103人	113人	113人	113人	120人	112人
	延べ人数	志願者数	1923人	1868人	1502人	1348人	1063人	1541人
		受験者数	1675人	1609人	1239人	1129人	859人	1302人
		合格者数	469人	423人	421人	366人	353人	406人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	356人	319人	327人	293人	268人	313人
	実人数	志願者数	753人	740人	586人	572人	424人	615人
		受験者数	651人	634人	474人	478人	343人	516人
		合格者数	244人	222人	230人	191人	190人	215人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	131人	118人	136人	118人	105人	122人
	入学者数	113人	104人	94人	73人	85人	94人	
	共通テスト利用入試	募集人数	16人	16人	16人	16人	15人	16人
延べ人数		志願者数	153人	121人	137人	122人	75人	122人
		受験者数	153人	121人	137人	122人	75人	122人
		合格者数	80人	64人	71人	73人	51人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	79人	62人	69人	72人	49人	66人
実人数		志願者数	132人	108人	115人	101人	75人	106人
		受験者数	132人	108人	115人	101人	75人	106人
		合格者数	38人	29人	33人	32人	23人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	37人	27人	31人	31人	21人	29人
入学者数		1人	2人	2人	1人	2人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	240人	240人	240人	240人	240人	240人
延べ人数		志願者数	3526人	3438人	2991人	2923人	2422人	3060人
		受験者数	3160人	3051人	2571人	2498人	2055人	2667人
		合格者数	810人	800人	815人	845人	779人	810人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	592人	553人	593人	589人	519人	569人
実人数		志願者数	1515人	1496人	1307人	1348人	1098人	1353人
		受験者数	1347人	1322人	1115人	1146人	927人	1171人
		合格者数	440人	449人	463人	485人	455人	458人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	222人	202人	241人	229人	195人	218人
入学者数		218人	247人	222人	256人	260人	241人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	240人	240人	240人	240人	240人	240人
入学定員充足率	0.91	1.03	0.93	1.07	1.08	1.00
歩留率	0.27	0.31	0.27	0.30	0.33	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-4

大学学部学科等名：武庫川女子大学心理・社会福祉学部心理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	—	—	—	48人	48人	
	延べ人数	志願者数	—	—	—	—	567人	567人
		受験者数	—	—	—	—	485人	485人
		合格者数	—	—	—	—	155人	155人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	120人	120人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	246人	246人
		受験者数	—	—	—	—	200人	200人
		合格者数	—	—	—	—	81人	81人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	46人	46人
	入学者数	—	—	—	—	35人	35人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	—	—	—	24人	24人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	60人
受験者数			—	—	—	—	60人	60人
合格者数			—	—	—	—	60人	60人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	0人	0人
実人数		志願者数	—	—	—	—	60人	60人
		受験者数	—	—	—	—	60人	60人
		合格者数	—	—	—	—	60人	60人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	0人	0人
入学者数		—	—	—	—	60人	60人	
一般選抜		募集人数	—	—	—	—	73人	73人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	482人
	受験者数		—	—	—	—	425人	425人
	合格者数		—	—	—	—	170人	170人
	うち追加合格者数		—	—	—	—	0人	0人
	辞退者数		—	—	—	—	125人	125人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	215人	215人
		受験者数	—	—	—	—	191人	191人
		合格者数	—	—	—	—	101人	101人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	56人	56人
	入学者数	—	—	—	—	45人	45人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	—	—	—	5人	5人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	48人
受験者数			—	—	—	—	48人	48人
合格者数			—	—	—	—	43人	43人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	38人	38人
実人数		志願者数	—	—	—	—	48人	48人
		受験者数	—	—	—	—	48人	48人
		合格者数	—	—	—	—	28人	28人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	23人	23人
入学者数		—	—	—	—	5人	5人	
その他の特別選抜		募集人数	—	—	—	—	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	#DIV/0!
	受験者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	合格者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	うち追加合格者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	辞退者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	実人数	志願者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		受験者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		合格者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		うち追加合格者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		辞退者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	入学者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	—	—	—	150人	150人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	1157人
受験者数			—	—	—	—	1018人	1018人
合格者数			—	—	—	—	428人	428人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	283人	283人
実人数		志願者数	—	—	—	—	569人	569人
		受験者数	—	—	—	—	499人	499人
		合格者数	—	—	—	—	270人	270人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	125人	125人
入学者数		—	—	—	—	145人	145人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	—	—	—	150人	150人
入学定員充足率	—	—	—	—	0.97	0.97
歩留率	—	—	—	—	0.34	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和5年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	—	—	—	24人	24人	
	延べ人数	志願者数	—	—	—	—	348人	348人
		受験者数	—	—	—	—	298人	298人
		合格者数	—	—	—	—	86人	86人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	62人	62人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	138人	138人
		受験者数	—	—	—	—	112人	112人
		合格者数	—	—	—	—	41人	41人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	17人	17人
	入学者数	—	—	—	—	24人	24人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	—	—	—	7人	7人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	31人
受験者数			—	—	—	—	31人	31人
合格者数			—	—	—	—	31人	31人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	0人	0人
実人数		志願者数	—	—	—	—	31人	31人
		受験者数	—	—	—	—	31人	31人
		合格者数	—	—	—	—	31人	31人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	0人	0人
入学者数		—	—	—	—	31人	31人	
一般選抜		募集人数	—	—	—	—	37人	37人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	209人
	受験者数		—	—	—	—	183人	183人
	合格者数		—	—	—	—	56人	56人
	うち追加合格者数		—	—	—	—	0人	0人
	辞退者数		—	—	—	—	42人	42人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	96人	96人
		受験者数	—	—	—	—	83人	83人
		合格者数	—	—	—	—	35人	35人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	21人	21人
	入学者数	—	—	—	—	14人	14人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	—	—	—	2人	2人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	21人
受験者数			—	—	—	—	21人	21人
合格者数			—	—	—	—	21人	21人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	17人	17人
実人数		志願者数	—	—	—	—	21人	21人
		受験者数	—	—	—	—	21人	21人
		合格者数	—	—	—	—	12人	12人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	8人	8人
入学者数		—	—	—	—	4人	4人	
その他の特別選抜		募集人数	—	—	—	—	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	#DIV/0!
	受験者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	合格者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	うち追加合格者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	辞退者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	実人数	志願者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		受験者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		合格者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		うち追加合格者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		辞退者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	入学者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	—	—	—	70人	70人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	609人
受験者数			—	—	—	—	533人	533人
合格者数			—	—	—	—	194人	194人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	121人	121人
実人数		志願者数	—	—	—	—	286人	286人
		受験者数	—	—	—	—	247人	247人
		合格者数	—	—	—	—	119人	119人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	46人	46人
入学者数		—	—	—	—	73人	73人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	—	—	—	70人	70人
入学定員充足率	—	—	—	—	1.04	1.04
歩留率	—	—	—	—	0.38	0.38

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和5年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	58人	68人	93人	93人	87人	80人	
	延べ人数	志願者数	615人	624人	615人	572人	422人	570人
		受験者数	545人	551人	545人	515人	366人	504人
		合格者数	178人	176人	179人	177人	165人	175人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	61人	73人	79人	62人	81人	71人
	実人数	志願者数	297人	283人	279人	266人	208人	267人
		受験者数	248人	242人	241人	236人	180人	229人
		合格者数	126人	120人	125人	127人	112人	122人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	17人	25人	12人	28人	18人
	入学者数	117人	103人	100人	115人	84人	104人	
	学校推薦型選抜	募集人数	48人	21人	21人	21人	29人	28人
延べ人数		志願者数	11人	10人	11人	75人	39人	29人
		受験者数	11人	10人	11人	75人	39人	29人
		合格者数	7人	10人	11人	75人	39人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	61人	0人	12人
実人数		志願者数	11人	10人	11人	75人	39人	29人
		受験者数	11人	10人	11人	75人	39人	29人
		合格者数	7人	10人	11人	75人	39人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	61人	0人	12人
入学者数		7人	10人	11人	14人	39人	16人	
一般選抜		募集人数	67人	84人	61人	61人	61人	67人
	延べ人数	志願者数	493人	773人	493人	495人	187人	488人
		受験者数	387人	634人	387人	439人	151人	400人
		合格者数	218人	236人	184人	113人	92人	169人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	151人	165人	135人	88人	64人	121人
	実人数	志願者数	331人	280人	184人	220人	87人	220人
		受験者数	287人	228人	141人	191人	67人	183人
		合格者数	119人	117人	91人	61人	52人	88人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	52人	46人	42人	36人	24人	40人
	入学者数	67人	71人	49人	25人	28人	48人	
	共通テスト利用入試	募集人数	7人	7人	5人	5人	3人	5人
延べ人数		志願者数	33人	52人	33人	30人	18人	33人
		受験者数	33人	52人	33人	30人	18人	33人
		合格者数	45人	32人	17人	15人	11人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	43人	27人	17人	10人	11人	22人
実人数		志願者数	71人	52人	33人	30人	18人	41人
		受験者数	71人	52人	33人	30人	18人	41人
		合格者数	22人	18人	11人	11人	3人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	13人	11人	6人	3人	11人
入学者数		2人	5人	0人	5人	0人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	180人	180人	180人	180人	180人	180人
延べ人数		志願者数	1152人	1459人	1152人	1172人	666人	1120人
		受験者数	976人	1247人	976人	1059人	574人	966人
		合格者数	448人	454人	391人	380人	307人	396人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	255人	265人	231人	221人	156人	226人
実人数		志願者数	710人	625人	507人	591人	352人	557人
		受験者数	617人	532人	426人	532人	304人	482人
		合格者数	274人	265人	238人	274人	206人	251人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	81人	76人	78人	115人	55人	81人
入学者数		193人	189人	160人	159人	151人	170人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	180人	180人	180人	180人	180人	180人
入学定員充足率	1.07	1.05	0.89	0.88	0.84	0.95
歩留率	0.43	0.42	0.41	0.42	0.49	0.43

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	—	—	—	40人	40人	
	延べ人数	志願者数	—	—	—	—	141人	141人
		受験者数	—	—	—	—	108人	108人
		合格者数	—	—	—	—	70人	70人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	35人	35人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	72人	72人
		受験者数	—	—	—	—	53人	53人
		合格者数	—	—	—	—	45人	45人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	10人	10人
	入学者数	—	—	—	—	35人	35人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	—	—	—	23人	23人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	8人
受験者数			—	—	—	—	8人	8人
合格者数			—	—	—	—	8人	8人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	0人	0人
実人数		志願者数	—	—	—	—	8人	8人
		受験者数	—	—	—	—	8人	8人
		合格者数	—	—	—	—	8人	8人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	0人	0人
入学者数		—	—	—	—	8人	8人	
一般選抜		募集人数	—	—	—	—	34人	34人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	58人
	受験者数		—	—	—	—	45人	45人
	合格者数		—	—	—	—	36人	36人
	うち追加合格者数		—	—	—	—	0人	0人
	辞退者数		—	—	—	—	22人	22人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	41人	41人
		受験者数	—	—	—	—	32人	32人
		合格者数	—	—	—	—	28人	28人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	14人	14人
	入学者数	—	—	—	—	14人	14人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	—	—	—	3人	3人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	12人
受験者数			—	—	—	—	12人	12人
合格者数			—	—	—	—	10人	10人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	10人	10人
実人数		志願者数	—	—	—	—	12人	12人
		受験者数	—	—	—	—	12人	12人
		合格者数	—	—	—	—	6人	6人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	6人	6人
入学者数		—	—	—	—	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	—	—	—	—	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	#DIV/0!
	受験者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	合格者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	うち追加合格者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	辞退者数		—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	実人数	志願者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		受験者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		合格者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		うち追加合格者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
		辞退者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!
	入学者数	—	—	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	—	—	—	100人	100人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	219人
受験者数			—	—	—	—	173人	173人
合格者数			—	—	—	—	124人	124人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	67人	67人
実人数		志願者数	—	—	—	—	133人	133人
		受験者数	—	—	—	—	105人	105人
		合格者数	—	—	—	—	87人	87人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	30人	30人
入学者数		—	—	—	—	57人	57人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	—	—	—	100人	100人
入学定員充足率	—	—	—	—	0.57	0.57
歩留率	—	—	—	—	0.46	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和5年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	51人	51人	51人	51人	51人	51人	
	延べ人数	志願者数	743人	840人	873人	796人	686人	788人
		受験者数	666人	740人	773人	705人	589人	695人
		合格者数	131人	167人	176人	147人	154人	155人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	84人	120人	137人	102人	112人	111人
	実人数	志願者数	315人	368人	372人	332人	279人	333人
		受験者数	274人	311人	321人	285人	226人	283人
		合格者数	69人	94人	80人	79人	79人	80人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	47人	41人	34人	37人	36人
	入学者数	47人	47人	39人	45人	42人	44人	
	学校推薦型選抜	募集人数	40人	31人	29人	29人	27人	31人
延べ人数		志願者数	60人	43人	58人	86人	77人	65人
		受験者数	60人	43人	58人	86人	77人	65人
		合格者数	60人	43人	58人	86人	77人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	60人	43人	58人	86人	77人	65人
		受験者数	60人	43人	58人	86人	77人	65人
		合格者数	60人	43人	58人	86人	77人	65人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		59人	43人	58人	86人	77人	65人	
一般選抜		募集人数	66人	75人	77人	77人	79人	75人
	延べ人数	志願者数	1198人	872人	957人	806人	645人	896人
		受験者数	1040人	743人	811人	649人	533人	755人
		合格者数	199人	219人	259人	195人	187人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	134人	151人	188人	136人	138人	149人
	実人数	志願者数	481人	384人	393人	337人	253人	370人
		受験者数	413人	333人	332人	275人	208人	312人
		合格者数	113人	119人	137人	112人	99人	116人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	48人	51人	66人	53人	50人	54人
	入学者数	65人	68人	71人	59人	49人	62人	
	共通テスト利用入試	募集人数	7人	7人	7人	7人	7人	7人
延べ人数		志願者数	90人	63人	41人	35人	47人	55人
		受験者数	90人	63人	41人	35人	46人	55人
		合格者数	44人	30人	15人	21人	32人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	39人	29人	15人	16人	29人	26人
実人数		志願者数	90人	63人	41人	35人	47人	55人
		受験者数	90人	63人	41人	35人	46人	55人
		合格者数	28人	22人	6人	17人	18人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	21人	6人	12人	15人	15人
入学者数		5人	1人	0人	5人	3人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	165人	165人	165人	165人	165人	165人
延べ人数		志願者数	2091人	1818人	1929人	1724人	1455人	1803人
		受験者数	1856人	1589人	1683人	1476人	1245人	1570人
		合格者数	434人	459人	508人	449人	450人	460人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	258人	300人	340人	254人	279人	286人
実人数		志願者数	946人	858人	864人	791人	656人	823人
		受験者数	837人	750人	752人	682人	557人	716人
		合格者数	270人	278人	281人	294人	273人	279人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	94人	119人	113人	99人	102人	105人
入学者数		176人	159人	168人	195人	171人	174人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	165人	165人	165人	165人	165人	165人
入学定員充足率	1.07	0.96	1.02	1.18	1.04	1.05
歩留率	0.41	0.35	0.33	0.43	0.38	0.38

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	—	—	—	64人	64人	
	延べ人数	志願者数	—	—	—	—	711人	711人
		受験者数	—	—	—	—	589人	589人
		合格者数	—	—	—	—	227人	227人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	169人	169人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	327人	327人
		受験者数	—	—	—	—	255人	255人
		合格者数	—	—	—	—	126人	126人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	68人	68人
	入学者数	—	—	—	—	58人	58人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	—	—	—	22人	22人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	68人
受験者数			—	—	—	—	68人	68人
合格者数			—	—	—	—	68人	68人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	1人	1人
実人数		志願者数	—	—	—	—	68人	68人
		受験者数	—	—	—	—	68人	68人
		合格者数	—	—	—	—	68人	68人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	1人	1人
入学者数		—	—	—	—	67人	67人	
一般選抜		募集人数	—	—	—	—	85人	85人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	661人
	受験者数		—	—	—	—	543人	543人
	合格者数		—	—	—	—	233人	233人
	うち追加合格者数		—	—	—	—	0人	0人
	辞退者数		—	—	—	—	174人	174人
	実人数	志願者数	—	—	—	—	298人	298人
		受験者数	—	—	—	—	238人	238人
		合格者数	—	—	—	—	131人	131人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	72人	72人
	入学者数	—	—	—	—	59人	59人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	—	—	—	9人	9人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	49人
受験者数			—	—	—	—	49人	49人
合格者数			—	—	—	—	35人	35人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	34人	34人
実人数		志願者数	—	—	—	—	49人	49人
		受験者数	—	—	—	—	49人	49人
		合格者数	—	—	—	—	24人	24人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	23人	23人
入学者数		—	—	—	—	1人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	—	—	—	—		#DIV/0!
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	
	受験者数		—	—	—	—		#DIV/0!
	合格者数		—	—	—	—		#DIV/0!
	うち追加合格者数		—	—	—	—		#DIV/0!
	辞退者数		—	—	—	—		#DIV/0!
	実人数	志願者数	—	—	—	—		#DIV/0!
		受験者数	—	—	—	—		#DIV/0!
		合格者数	—	—	—	—		#DIV/0!
		うち追加合格者数	—	—	—	—		#DIV/0!
		辞退者数	—	—	—	—		#DIV/0!
	入学者数	—	—	—	—		#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	—	—	—	180人	180人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	1489人
受験者数			—	—	—	—	1249人	1249人
合格者数			—	—	—	—	563人	563人
うち追加合格者数			—	—	—	—	0人	0人
辞退者数			—	—	—	—	378人	378人
実人数		志願者数	—	—	—	—	742人	742人
		受験者数	—	—	—	—	610人	610人
		合格者数	—	—	—	—	349人	349人
		うち追加合格者数	—	—	—	—	0人	0人
		辞退者数	—	—	—	—	164人	164人
入学者数		—	—	—	—	185人	185人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	—	—	—	180人	180人
入学定員充足率	—	—	—	—	1.03	1.03
歩留率	—	—	—	—	0.33	0.33

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和5年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	65人	65人	65人	70人	66人	
	延べ人数	志願者数	—	1125人	812人	1022人	896人	964人
		受験者数	—	1003人	669人	850人	749人	818人
		合格者数	—	218人	237人	295人	251人	250人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	147人	171人	201人	176人	174人
	実人数	志願者数	—	470人	345人	430人	365人	403人
		受験者数	—	400人	269人	330人	285人	321人
		合格者数	—	107人	114人	147人	120人	122人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	36人	48人	53人	45人	46人
	入学者数	—	71人	66人	94人	75人	77人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	28人	28人	28人	25人	27人
		延べ人数	志願者数	—	44人	30人	64人	75人
受験者数			—	44人	30人	64人	75人	53人
合格者数			—	44人	30人	64人	75人	53人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	0人	0人	0人	1人	0人
実人数		志願者数	—	44人	30人	64人	75人	53人
		受験者数	—	44人	30人	64人	75人	53人
		合格者数	—	44人	30人	64人	75人	53人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	0人	0人	0人	1人	0人
入学者数		—	44人	30人	64人	74人	53人	
一般選抜		募集人数	—	97人	97人	97人	95人	97人
		延べ人数	志願者数	—	1077人	711人	770人	650人
	受験者数		—	919人	574人	611人	511人	654人
	合格者数		—	277人	242人	255人	206人	245人
	うち追加合格者数		—	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		—	194人	181人	190人	143人	177人
	実人数	志願者数	—	411人	291人	297人	249人	312人
		受験者数	—	344人	230人	234人	195人	251人
		合格者数	—	148人	128人	128人	104人	127人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	65人	67人	63人	41人	59人
	入学者数	—	83人	61人	65人	63人	68人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	—	80人	64人	89人	38人
受験者数			—	80人	63人	88人	38人	67人
合格者数			—	28人	31人	47人	28人	34人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	26人	30人	45人	27人	32人
実人数		志願者数	—	68人	53人	66人	38人	56人
		受験者数	—	68人	52人	65人	38人	56人
		合格者数	—	15人	13人	22人	15人	16人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	13人	12人	20人	14人	15人
入学者数		—	2人	1人	2人	1人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—	—	—	—	—
	受験者数		—	—	—	—	—	#DIV/0!
	合格者数		—	—	—	—	—	#DIV/0!
	うち追加合格者数		—	—	—	—	—	#DIV/0!
	辞退者数		—	—	—	—	—	#DIV/0!
	実人数	志願者数	—	—	—	—	—	#DIV/0!
		受験者数	—	—	—	—	—	#DIV/0!
		合格者数	—	—	—	—	—	#DIV/0!
		うち追加合格者数	—	—	—	—	—	#DIV/0!
		辞退者数	—	—	—	—	—	#DIV/0!
	入学者数	—	—	—	—	—	#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	200人	200人	200人	200人	200人
		延べ人数	志願者数	—	2326人	1617人	1945人	1659人
受験者数			—	2046人	1336人	1613人	1373人	1592人
合格者数			—	567人	540人	661人	560人	582人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	367人	382人	436人	347人	383人
実人数		志願者数	—	993人	719人	857人	727人	824人
		受験者数	—	856人	581人	693人	593人	681人
		合格者数	—	314人	285人	361人	314人	319人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	114人	127人	136人	101人	120人
入学者数		—	200人	158人	225人	213人	199人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	200人	200人	200人	200人	200人
入学定員充足率	—	1.00	0.79	1.13	1.07	1.00
歩留率	—	0.35	0.29	0.34	0.38	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和2年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	34人	34人	34人	34人	34人	
	延べ人数	志願者数	—	166人	322人	293人	351人	283人
		受験者数	—	125人	253人	225人	274人	219人
		合格者数	—	86人	98人	129人	129人	111人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	63人	66人	89人	84人	76人
	実人数	志願者数	—	82人	149人	124人	146人	125人
		受験者数	—	55人	105人	84人	103人	87人
		合格者数	—	36人	55人	59人	61人	53人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	13人	23人	19人	16人	18人
	入学者数	—	23人	32人	40人	45人	35人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	3人	3人	3人	3人	3人
		延べ人数	志願者数	—	9人	12人	22人	18人
受験者数			—	9人	12人	22人	18人	15人
合格者数			—	9人	12人	22人	18人	15人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	0人	1人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	—	9人	12人	22人	18人	15人
		受験者数	—	9人	12人	22人	18人	15人
		合格者数	—	9人	12人	22人	18人	15人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	0人	1人	0人	0人	0人
入学者数		—	9人	11人	22人	18人	15人	
一般選抜		募集人数	—	38人	38人	38人	40人	39人
		延べ人数	志願者数	—	239人	207人	220人	199人
	受験者数		—	178人	145人	157人	138人	155人
	合格者数		—	90人	94人	106人	105人	99人
	うち追加合格者数		—	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		—	61人	77人	87人	87人	78人
	実人数	志願者数	—	105人	86人	95人	87人	93人
		受験者数	—	77人	59人	69人	60人	66人
		合格者数	—	44人	37人	52人	44人	44人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	15人	20人	33人	26人	24人
	入学者数	—	29人	17人	19人	18人	21人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	5人	5人	5人	3人	5人
		延べ人数	志願者数	—	15人	25人	17人	16人
受験者数			—	15人	25人	17人	16人	18人
合格者数			—	7人	14人	8人	13人	11人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	7人	11人	8人	13人	10人
実人数		志願者数	—	15人	25人	17人	16人	18人
		受験者数	—	15人	25人	17人	16人	18人
		合格者数	—	1人	8人	3人	6人	5人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	1人	5人	3人	6人	4人
入学者数		—	0人	3人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—				
	受験者数		—					#DIV/0!
	合格者数		—					#DIV/0!
	うち追加合格者数		—					#DIV/0!
	辞退者数		—					#DIV/0!
	実人数	志願者数	—					#DIV/0!
		受験者数	—					#DIV/0!
		合格者数	—					#DIV/0!
		うち追加合格者数	—					#DIV/0!
		辞退者数	—					#DIV/0!
	入学者数	—					#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	—	429人	566人	552人	584人
受験者数			—	327人	435人	421人	446人	407人
合格者数			—	192人	218人	265人	265人	235人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	131人	155人	184人	184人	164人
実人数		志願者数	—	211人	272人	258人	267人	252人
		受験者数	—	156人	201人	192人	197人	187人
		合格者数	—	90人	112人	136人	129人	117人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	29人	49人	55人	48人	45人
入学者数		—	61人	63人	81人	81人	72人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	—	0.76	0.79	1.01	1.01	0.89
歩留率	—	0.32	0.29	0.31	0.31	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和2年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	12人	14人	15人	15人	14人	
	延べ人数	志願者数	—	307人	276人	270人	217人	268人
		受験者数	—	280人	258人	232人	183人	238人
		合格者数	—	79人	55人	88人	85人	77人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	59人	43人	61人	58人	55人
	実人数	志願者数	—	119人	109人	111人	102人	110人
		受験者数	—	105人	99人	91人	80人	94人
		合格者数	—	31人	27人	39人	43人	35人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	11人	15人	12人	16人	14人
	入学者数	—	20人	12人	27人	27人	22人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	10人	4人	4人	4人	6人
		延べ人数	志願者数	—	3人	9人	12人	6人
受験者数			—	3人	9人	12人	6人	8人
合格者数			—	3人	9人	12人	6人	8人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	—	3人	9人	12人	6人	8人
		受験者数	—	3人	9人	12人	6人	8人
		合格者数	—	3人	9人	12人	6人	8人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		—	3人	9人	12人	6人	8人	
一般選抜		募集人数	—	20人	24人	23人	23人	23人
		延べ人数	志願者数	—	423人	268人	248人	219人
	受験者数		—	342人	220人	213人	186人	240人
	合格者数		—	117人	82人	52人	62人	78人
	うち追加合格者数		—	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		—	84人	53人	39人	47人	56人
	実人数	志願者数	—	198人	128人	124人	120人	143人
		受験者数	—	159人	108人	110人	103人	120人
		合格者数	—	69人	54人	33人	40人	49人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	36人	25人	20人	25人	27人
	入学者数	—	33人	29人	13人	15人	23人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	3人	3人	3人	3人	3人
		延べ人数	志願者数	—	53人	28人	33人	38人
受験者数			—	53人	28人	33人	38人	38人
合格者数			—	12人	10人	16人	24人	16人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	12人	10人	16人	20人	15人
実人数		志願者数	—	53人	28人	33人	38人	38人
		受験者数	—	53人	28人	33人	38人	38人
		合格者数	—	8人	9人	13人	16人	12人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	8人	9人	13人	12人	11人
入学者数		—	0人	0人	0人	4人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—				
	受験者数		—					#DIV/0!
	合格者数		—					#DIV/0!
	うち追加合格者数		—					#DIV/0!
	辞退者数		—					#DIV/0!
	実人数	志願者数	—					#DIV/0!
		受験者数	—					#DIV/0!
		合格者数	—					#DIV/0!
		うち追加合格者数	—					#DIV/0!
		辞退者数	—					#DIV/0!
	入学者数	—					#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	45人	45人	45人	45人	45人
		延べ人数	志願者数	—	786人	581人	563人	480人
受験者数			—	678人	515人	490人	413人	524人
合格者数			—	211人	156人	168人	177人	178人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	155人	106人	116人	125人	126人
実人数		志願者数	—	373人	274人	280人	266人	298人
		受験者数	—	320人	244人	246人	227人	259人
		合格者数	—	111人	99人	97人	105人	103人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	55人	49人	45人	53人	51人
入学者数		—	56人	50人	52人	52人	53人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	45人	45人	45人	45人	45人
入学定員充足率	—	1.24	1.11	1.16	1.16	1.17
歩留率	—	0.27	0.32	0.31	0.29	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和2年4月開設。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	12人	12人	13人	13人	13人	
	延べ人数	志願者数	—	70人	155人	114人	131人	118人
		受験者数	—	55人	127人	84人	101人	92人
		合格者数	—	29人	54人	47人	67人	49人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	18人	36人	29人	48人	33人
	実人数	志願者数	—	31人	61人	51人	60人	51人
		受験者数	—	23人	45人	34人	42人	36人
		合格者数	—	17人	27人	23人	24人	23人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	6人	9人	5人	5人	6人
	入学者数	—	11人	18人	18人	19人	17人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	4人	4人	4人	5人	4人
		延べ人数	志願者数	—	1人	1人	3人	7人
受験者数			—	1人	1人	3人	7人	3人
合格者数			—	1人	1人	3人	7人	3人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	—	1人	1人	3人	7人	3人
		受験者数	—	1人	1人	3人	7人	3人
		合格者数	—	1人	1人	3人	7人	3人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		—	1人	1人	3人	7人	3人	
一般選抜		募集人数	—	21人	21人	20人	19人	20人
		延べ人数	志願者数	—	110人	180人	112人	61人
	受験者数		—	89人	141人	88人	48人	92人
	合格者数		—	76人	42人	49人	37人	51人
	うち追加合格者数		—	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		—	46人	30人	30人	24人	33人
	実人数	志願者数	—	94人	53人	54人	38人	60人
		受験者数	—	74人	46人	43人	30人	48人
		合格者数	—	42人	26人	31人	21人	30人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	12人	14人	12人	8人	12人
	入学者数	—	30人	12人	19人	13人	19人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	3人	3人	3人	3人	3人
		延べ人数	志願者数	—	22人	13人	16人	34人
受験者数			—	22人	13人	16人	34人	21人
合格者数			—	10人	4人	5人	29人	12人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	10人	3人	5人	27人	11人
実人数		志願者数	—	22人	13人	16人	34人	21人
		受験者数	—	22人	13人	16人	34人	21人
		合格者数	—	4人	1人	0人	13人	5人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	4人	0人	0人	11人	4人
入学者数		—	0人	1人	0人	2人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—				
	受験者数		—					#DIV/0!
	合格者数		—					#DIV/0!
	うち追加合格者数		—					#DIV/0!
	辞退者数		—					#DIV/0!
	実人数	志願者数	—					#DIV/0!
		受験者数	—					#DIV/0!
		合格者数	—					#DIV/0!
		うち追加合格者数	—					#DIV/0!
		辞退者数	—					#DIV/0!
	入学者数	—					#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	40人	40人	40人	40人	40人
		延べ人数	志願者数	—	203人	349人	245人	233人
受験者数			—	167人	282人	191人	190人	208人
合格者数			—	116人	101人	104人	140人	115人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	74人	69人	64人	99人	77人
実人数		志願者数	—	148人	128人	124人	139人	135人
		受験者数	—	120人	105人	96人	113人	109人
		合格者数	—	64人	55人	57人	65人	60人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	22人	23人	17人	24人	22人
入学者数		—	42人	32人	40人	41人	39人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	—	1.05	0.80	1.00	1.03	0.97
歩留率	—	0.36	0.32	0.38	0.29	0.34

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和2年4月開設。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：武庫川女子大学音楽学部演奏学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	13人	13人	13人	13人	13人	13人	
	延べ人数	志願者数	37人	34人	50人	48人	40人	42人
		受験者数	28人	23人	35人	31人	23人	28人
		合格者数	21人	19人	27人	26人	17人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	11人	19人	22人	16人	17人
	実人数	志願者数	19人	19人	27人	28人	21人	23人
		受験者数	13人	12人	18人	18人	13人	15人
		合格者数	11人	12人	16人	16人	10人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	4人	8人	12人	9人	8人
	入学者数	6人	8人	8人	4人	1人	5人	
	学校推薦型選抜	募集人数	2人	2人	2人	2人	2人	2人
		延べ人数	志願者数	8人	9人	4人	9人	7人
受験者数			8人	9人	4人	9人	7人	7人
合格者数			8人	9人	4人	9人	7人	7人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	8人	9人	4人	9人	7人	7人
		受験者数	8人	9人	4人	9人	7人	7人
		合格者数	8人	9人	4人	9人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		8人	9人	4人	9人	7人	7人	
一般選抜		募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
		延べ人数	志願者数	28人	17人	17人	10人	17人
	受験者数		22人	16人	13人	9人	13人	15人
	合格者数		19人	16人	13人	9人	13人	14人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		13人	9人	12人	6人	9人	10人
	実人数	志願者数	23人	15人	9人	10人	14人	14人
		受験者数	18人	14人	8人	9人	10人	12人
		合格者数	15人	14人	8人	9人	10人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	7人	7人	6人	6人	7人
	入学者数	6人	7人	1人	3人	4人	4人	
	共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
受験者数								#DIV/0!
合格者数								#DIV/0!
うち追加合格者数								#DIV/0!
辞退者数								#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		延べ人数	志願者数	73人	60人	71人	67人	64人
受験者数			58人	48人	52人	49人	43人	50人
合格者数			48人	44人	44人	44人	37人	43人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			28人	20人	31人	28人	25人	26人
実人数		志願者数	50人	43人	40人	47人	42人	44人
		受験者数	39人	35人	30人	36人	30人	34人
		合格者数	34人	35人	28人	34人	27人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	11人	15人	18人	15人	15人
入学者数		20人	24人	13人	16人	12人	17人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	30人	30人	30人	30人	30人	30人
入学定員充足率	0.67	0.80	0.43	0.53	0.40	0.57
歩留率	0.42	0.55	0.30	0.36	0.32	0.39

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：武庫川女子大学

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	9人	9人	9人	9人	9人	9人	
	延べ人数	志願者数	117人	47人	92人	81人	55人	78人
		受験者数	86人	33人	60人	57人	33人	54人
		合格者数	50人	23人	44人	48人	29人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	36人	15人	34人	34人	23人	28人
	実人数	志願者数	47人	23人	38人	39人	27人	35人
		受験者数	31人	15人	23人	26人	15人	22人
		合格者数	23人	13人	21人	23人	14人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	5人	11人	9人	8人	8人
	入学者数	14人	8人	10人	14人	6人	10人	
	学校推薦型選抜	募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人
		延べ人数	志願者数	7人	9人	6人	7人	5人
受験者数			7人	9人	6人	7人	5人	7人
合格者数			7人	9人	6人	7人	5人	7人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	7人	9人	6人	7人	5人	7人
		受験者数	7人	9人	6人	7人	5人	7人
		合格者数	7人	9人	6人	7人	5人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		7人	9人	6人	7人	5人	7人	
一般選抜		募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	40人	31人	16人	23人	22人
	受験者数		29人	22人	9人	15人	15人	18人
	合格者数		20人	18人	9人	13人	12人	14人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		11人	15人	6人	10人	7人	10人
	実人数	志願者数	27人	15人	14人	15人	17人	18人
		受験者数	19人	10人	8人	10人	10人	11人
		合格者数	15人	9人	8人	8人	9人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	6人	5人	5人	4人	5人
	入学者数	9人	3人	3人	3人	5人	5人	
	共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
受験者数								#DIV/0!
合格者数								#DIV/0!
うち追加合格者数								#DIV/0!
辞退者数								#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		延べ人数	志願者数	164人	87人	114人	111人	82人
受験者数			122人	64人	75人	79人	53人	79人
合格者数			77人	50人	59人	68人	46人	60人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			47人	30人	40人	44人	30人	38人
実人数		志願者数	81人	47人	58人	61人	49人	59人
		受験者数	57人	34人	37人	43人	30人	40人
		合格者数	45人	31人	35人	38人	28人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	11人	16人	14人	12人	14人
入学者数		30人	20人	19人	24人	16人	22人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	20人	20人	20人	20人	20人	20人
入学定員充足率	1.50	1.00	0.95	1.20	0.80	1.09
歩留率	0.39	0.40	0.32	0.35	0.35	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	58人	58人	58人	58人	58人	58人	
	延べ人数	志願者数	732人	678人	662人	591人	596人	652人
		受験者数	633人	595人	555人	477人	489人	550人
		合格者数	279人	303人	320人	290人	278人	294人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	222人	256人	269人	239人	225人	242人
	実人数	志願者数	314人	293人	275人	255人	257人	279人
		受験者数	261人	246人	216人	189人	198人	222人
		合格者数	138人	144人	138人	148人	131人	140人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	81人	97人	87人	97人	78人	88人
	入学者数	57人	47人	51人	51人	53人	52人	
	学校推薦型選抜	募集人数	47人	47人	47人	44人	44人	46人
		延べ人数	志願者数	52人	42人	34人	37人	43人
受験者数			52人	42人	34人	37人	43人	42人
合格者数			52人	42人	34人	37人	43人	42人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	2人	1人	1人	0人	1人
実人数		志願者数	52人	42人	34人	37人	43人	42人
		受験者数	52人	42人	34人	37人	43人	42人
		合格者数	52人	42人	34人	37人	43人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	1人	0人	1人
入学者数		51人	40人	33人	36人	43人	41人	
一般選抜		募集人数	95人	95人	95人	98人	98人	96人
		延べ人数	志願者数	893人	904人	447人	648人	592人
	受験者数		722人	681人	346人	499人	480人	546人
	合格者数		318人	355人	206人	281人	269人	286人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		230人	278人	169人	232人	209人	224人
	実人数	志願者数	437人	412人	233人	287人	275人	329人
		受験者数	363人	314人	178人	217人	216人	258人
		合格者数	195人	200人	126人	161人	152人	167人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	107人	123人	89人	112人	92人	105人
	入学者数	88人	77人	37人	49人	60人	62人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	89人	75人	46人	54人	37人
受験者数			88人	73人	46人	54人	36人	59人
合格者数			19人	32人	23人	21人	23人	24人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			19人	31人	22人	19人	21人	22人
実人数		志願者数	75人	59人	40人	46人	37人	51人
		受験者数	74人	58人	40人	46人	36人	51人
		合格者数	11人	14人	11人	14人	10人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	13人	10人	12人	8人	11人
入学者数		0人	1人	1人	2人	2人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	210人	210人	210人	210人	210人	210人
		延べ人数	志願者数	1766人	1699人	1189人	1330人	1268人
受験者数			1495人	1391人	981人	1067人	1048人	1196人
合格者数			668人	732人	583人	629人	613人	645人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			472人	567人	461人	491人	455人	489人
実人数		志願者数	878人	806人	582人	625人	612人	701人
		受験者数	750人	660人	468人	489人	493人	572人
		合格者数	396人	400人	309人	360人	336人	360人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	200人	235人	187人	222人	178人	204人
入学者数		196人	165人	122人	138人	158人	156人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	210人	210人	210人	210人	210人	210人
入学定員充足率	0.93	0.79	0.58	0.66	0.75	0.74
歩留率	0.29	0.23	0.21	0.22	0.26	0.24

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-17

大学学部学科等名：武庫川女子大学薬学部健康生命薬科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人	
	延べ人数	志願者数	74人	158人	173人	136人	194人	147人
		受験者数	53人	124人	130人	102人	142人	110人
		合格者数	38人	64人	73人	58人	78人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	48人	60人	46人	58人	47人
	実人数	志願者数	41人	70人	77人	60人	84人	66人
		受験者数	27人	51人	52人	40人	56人	45人
		合格者数	22人	32人	34人	30人	39人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	16人	21人	18人	19人	17人
	入学者数	13人	16人	13人	12人	20人	15人	
	学校推薦型選抜	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	6人	11人	12人	11人	13人
受験者数			6人	11人	12人	11人	13人	11人
合格者数			6人	11人	12人	11人	13人	11人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	6人	11人	12人	11人	13人	11人
		受験者数	6人	11人	12人	11人	13人	11人
		合格者数	6人	11人	12人	11人	13人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		6人	11人	12人	11人	13人	11人	
一般選抜		募集人数	17人	17人	17人	17人	17人	17人
		延べ人数	志願者数	98人	118人	97人	77人	85人
	受験者数		76人	97人	81人	61人	61人	75人
	合格者数		52人	55人	45人	38人	40人	46人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		38人	39人	40人	24人	26人	33人
	実人数	志願者数	66人	65人	56人	59人	58人	61人
		受験者数	51人	51人	43人	47人	45人	47人
		合格者数	32人	32人	24人	28人	29人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	16人	19人	14人	15人	16人
	入学者数	14人	16人	5人	14人	14人	13人	
	共通テスト利用入試	募集人数	3人	3人	3人	3人	3人	3人
		延べ人数	志願者数	16人	21人	24人	12人	10人
受験者数			16人	21人	24人	12人	10人	17人
合格者数			9人	13人	18人	4人	8人	10人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			8人	11人	18人	4人	8人	10人
実人数		志願者数	16人	21人	24人	12人	10人	17人
		受験者数	16人	21人	23人	12人	10人	16人
		合格者数	8人	9人	13人	2人	3人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	7人	13人	2人	3人	6人
入学者数		1人	2人	0人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
		延べ人数	志願者数	194人	308人	306人	236人	302人
受験者数			151人	253人	247人	186人	226人	213人
合格者数			105人	143人	148人	111人	139人	129人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			71人	98人	118人	74人	92人	91人
実人数		志願者数	129人	167人	169人	142人	165人	154人
		受験者数	100人	134人	130人	110人	124人	120人
		合格者数	68人	84人	83人	71人	84人	78人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	34人	39人	53人	34人	37人	39人
入学者数		34人	45人	30人	37人	47人	39人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	0.85	1.13	0.75	0.93	1.18	0.97
歩留率	0.32	0.31	0.20	0.33	0.34	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	26人	26人	26人	26人	26人	26人	
	延べ人数	志願者数	670人	808人	854人	786人	886人	801人
		受験者数	595人	738人	757人	698人	762人	710人
		合格者数	121人	125人	132人	161人	189人	146人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	86人	99人	98人	131人	144人	112人
	実人数	志願者数	285人	323人	348人	322人	370人	330人
		受験者数	247人	286人	297人	273人	304人	281人
		合格者数	68人	67人	71人	77人	89人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	33人	41人	37人	47人	44人	40人
	入学者数	35人	26人	34人	30人	45人	34人	
	学校推薦型選抜	募集人数	6人	6人	6人	6人	5人	6人
		延べ人数	志願者数	7人	11人	18人	14人	20人
受験者数			7人	11人	18人	14人	20人	14人
合格者数			7人	11人	18人	14人	20人	14人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	1人	2人	1人
実人数		志願者数	7人	11人	18人	14人	20人	14人
		受験者数	7人	11人	18人	14人	20人	14人
		合格者数	7人	11人	18人	14人	20人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	2人	1人
入学者数		7人	11人	18人	13人	18人	13人	
一般選抜		募集人数	43人	43人	43人	43人	44人	43人
		延べ人数	志願者数	750人	771人	681人	554人	1024人
	受験者数		639人	676人	578人	460人	912人	653人
	合格者数		144人	184人	165人	186人	141人	164人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		113人	147人	134人	128人	109人	126人
	実人数	志願者数	374人	374人	323人	260人	414人	349人
		受験者数	307人	313人	258人	203人	363人	289人
		合格者数	91人	111人	96人	107人	84人	98人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	60人	74人	65人	49人	52人	60人
	入学者数	31人	37人	31人	58人	32人	38人	
	共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	57人	64人	50人	37人	41人
受験者数			57人	64人	50人	37人	41人	50人
合格者数			28人	29人	24人	18人	10人	22人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			27人	29人	24人	18人	10人	22人
実人数		志願者数	57人	64人	50人	37人	41人	50人
		受験者数	57人	64人	50人	37人	41人	50人
		合格者数	17人	11人	14人	12人	6人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	11人	14人	12人	6人	12人
入学者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	1484人	1654人	1603人	1391人	1971人
受験者数			1298人	1489人	1403人	1209人	1735人	1427人
合格者数			300人	349人	339人	379人	360人	345人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			226人	275人	256人	278人	265人	260人
実人数		志願者数	723人	772人	739人	633人	845人	742人
		受験者数	618人	674人	623人	527人	728人	634人
		合格者数	183人	200人	199人	210人	199人	198人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	109人	126人	116人	109人	104人	113人
入学者数		74人	74人	83人	101人	95人	85人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	0.93	0.93	1.04	1.26	1.19	1.07
歩留率	0.25	0.21	0.24	0.27	0.26	0.25

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	—	55人	55人	55人	55人	55人	
	延べ人数	志願者数	—	1097人	1043人	793人	818人	938人
		受験者数	—	934人	934人	686人	711人	816人
		合格者数	—	340人	211人	212人	212人	244人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	223人	168人	167人	163人	180人
	実人数	志願者数	—	470人	464人	353人	365人	413人
		受験者数	—	379人	404人	293人	303人	345人
		合格者数	—	175人	103人	105人	106人	122人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	58人	60人	60人	57人	59人
	入学者数	—	117人	43人	45人	49人	64人	
	学校推薦型選抜	募集人数	—	35人	35人	35人	35人	35人
		延べ人数	志願者数	—	35人	64人	89人	121人
受験者数			—	35人	64人	89人	121人	77人
合格者数			—	35人	64人	89人	121人	77人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	1人	0人	2人	1人	1人
実人数		志願者数	—	35人	64人	89人	121人	77人
		受験者数	—	35人	64人	89人	121人	77人
		合格者数	—	35人	64人	89人	121人	77人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	1人	0人	2人	1人	1人
入学者数		—	34人	64人	87人	120人	76人	
一般選抜		募集人数	—	105人	105人	105人	105人	105人
		延べ人数	志願者数	—	1682人	1325人	914人	697人
	受験者数		—	1415人	1133人	765人	579人	973人
	合格者数		—	385人	283人	258人	222人	287人
	うち追加合格者数		—	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		—	285人	223人	204人	170人	221人
	実人数	志願者数	—	761人	549人	415人	316人	510人
		受験者数	—	641人	467人	341人	255人	426人
		合格者数	—	216人	164人	158人	130人	167人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	116人	104人	104人	78人	101人
	入学者数	—	100人	60人	54人	52人	67人	
	共通テスト利用入試	募集人数	—	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	—	110人	106人	50人	58人
受験者数			—	110人	106人	50人	58人	81人
合格者数			—	63人	43人	32人	34人	43人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	57人	40人	30人	32人	40人
実人数		志願者数	—	110人	106人	50人	58人	81人
		受験者数	—	110人	106人	50人	58人	81人
		合格者数	—	48人	30人	20人	24人	31人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	42人	27人	18人	22人	27人
入学者数		—	6人	3人	2人	2人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	—				
	受験者数		—					#DIV/0!
	合格者数		—					#DIV/0!
	うち追加合格者数		—					#DIV/0!
	辞退者数		—					#DIV/0!
	実人数	志願者数	—					#DIV/0!
		受験者数	—					#DIV/0!
		合格者数	—					#DIV/0!
		うち追加合格者数	—					#DIV/0!
		辞退者数	—					#DIV/0!
	入学者数	—					#DIV/0!	
	合計	募集人数	—	200人	200人	200人	200人	200人
		延べ人数	志願者数	—	2924人	2538人	1846人	1694人
受験者数			—	2494人	2237人	1590人	1469人	1948人
合格者数			—	823人	601人	591人	589人	651人
うち追加合格者数			—	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			—	566人	431人	403人	366人	442人
実人数		志願者数	—	1376人	1183人	907人	860人	1082人
		受験者数	—	1165人	1041人	773人	737人	929人
		合格者数	—	474人	361人	372人	381人	397人
		うち追加合格者数	—	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	—	217人	191人	184人	158人	188人
入学者数		—	257人	170人	188人	223人	210人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	—	200人	200人	200人	200人	200人
入学定員充足率	—	1.29	0.85	0.94	1.12	1.05
歩留率	—	0.31	0.28	0.32	0.38	0.32

（備考）特記事項がある場合は記載すること。  
令和2年4月開設。

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：武庫川女子大学のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	5500人	10788人	①取組概要 大学キャンパスにおいて入試概要の説明や、学科企画プログラム(学科説明・施設見学・体験授業)、学科別のQ&Aコーナーにて学生生活全般に関する個別相談を実施。6月～3月にかけて延べ6日間実施。令和7年度入試においては7日間へ増加させる予定。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数平均値2,980人と入学率平均値11.33%、収容定員比率(環境共生学部480/10530・生活環境学部820/10530)より、R7年度は環境共生学部15人と生活環境学部26人を見込む。 ③学部ごとに集計していないため、収容定員の比率にて推計した。
うち受験対象者数(b)	2489人	3471人	
うち受験者数(c)	671人	924人	
うち入学者数(d)	275人	403人	
(受験率 c/b)	26.96%	26.62%	
(入学率 d/b)	11.05%	11.61%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：武庫川女子大学の進学相談会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	544人	570人	①取組概要 高校生、保護者を対象に入試概要の説明や入試・就職・資格・奨学金・寮・下宿など学生生活全般にわたる個別相談を全国27都道府県32会場で実施。6月～9月にかけて、R4年度は46回、R5年度は44回実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数平均値326人と入学率平均値39.60%、収容定員比率(環境共生学部480/10530・生活環境学部820/10530)より、R7年度は環境共生学部5人と生活環境学部10人の入学を見込む。 ③学部ごとに集計していないため、収容定員の比率にて推計した。
うち受験対象者数(b)	313人	338人	
うち受験者数(c)	266人	283人	
うち入学者数(d)	121人	137人	
(受験率 c/b)	84.98%	83.73%	
(入学率 d/b)	38.66%	40.53%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：武庫川女子大学の入試説明会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	674人	699人	①取組概要 保護者等を対象に、兵庫県(三宮・姫路)、大阪府(梅田・天王寺)、奈良県にて、入試概要の説明や学部の特色を紹介する。R4年度、R5年度ともに6月に4回、7月に1回実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数平均値397人と入学率平均値11.33%、収容定員比率(環境共生学部480/10530・生活環境学部820/10530)より、R7年度は環境共生学部2人と生活環境学部3人の入学を見込む。 ③学部ごとに集計していないため、収容定員の比率にて推計した。
うち受験対象者数(b)	390人	404人	
うち受験者数(c)	105人	108人	
うち入学者数(d)	43人	47人	
(受験率 c/b)	26.92%	26.73%	
(入学率 d/b)	11.03%	11.63%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：武庫川女子大学の高校ガイダンス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	1035人	1066人	①取組概要 志願者の多くを占める兵庫県と大阪府の、入学実績のある高等学校を中心に、当該高等学校にて入試概要の説明を行う。高校からの依頼に基づき、年間を通して実施している。R4年度は40回、R5年度は41回実施。1、2年生を対象とする割合が高い。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数平均値68人と入学率平均値10.92%、収容定員比率(環境共生学部480/10530・生活環境学部820/10530)より、R7年度は環境共生学部1人と生活環境学部2人の入学を見込む。 ③学部ごとに集計していないため、収容定員の比率にて推計した。
うち受験対象者数(b)	269人	277人	
うち受験者数(c)	106人	108人	
うち入学者数(d)	28人	31人	
(受験率 c/b)	39.41%	38.99%	
(入学率 d/b)	10.41%	11.19%	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：武庫川女子大学の大学案内の配付(郵送)

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	25907人	25217人	①取組概要 大学案内(キャンパスガイド)を約80,000部を作成し、希望者に郵送。大学案内はオープンキャンパスや相談会などでも配布している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数平均値8,618人と入学率平均値7.25%、収容定員比率(環境共生学部480/10530・生活環境学部820/10530)より、R7年度は環境共生学部28人と生活環境学部48人の入学を見込む。 ③学部ごとに集計していないため、収容定員の比率にて推計した。
うち受験対象者数(b)	8779人	8456人	
うち受験者数(c)	1441人	1372人	
うち入学者数(d)	621人	628人	
(受験率 c/b)	16.41%	16.23%	
(入学率 d/b)	7.07%	7.43%	

経済産業省「第2回 未来人材会議」配付資料より抜粋

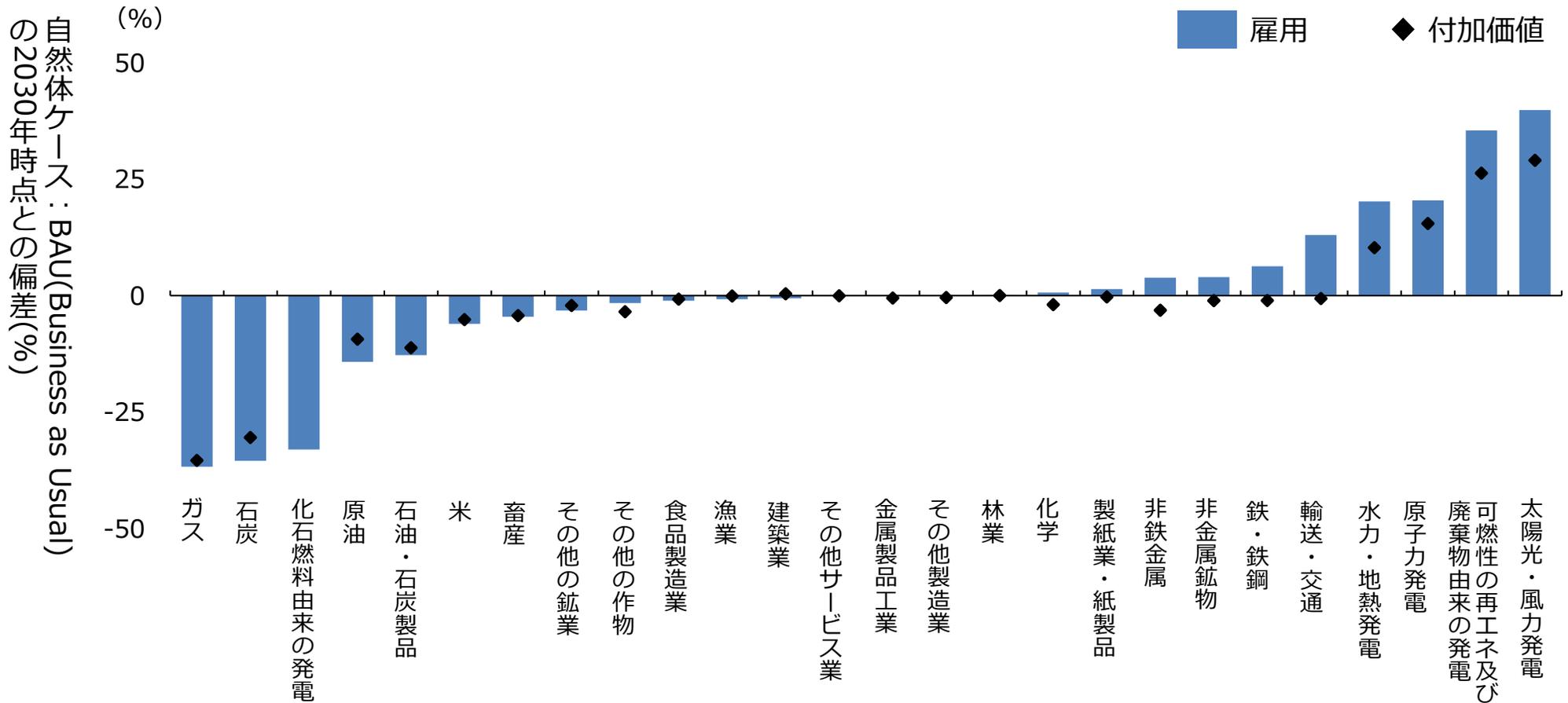
## **脱炭素による雇用創出・喪失効果**

URL:[https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/mirai\\_jinzai/pdf/002\\_03\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/mirai_jinzai/pdf/002_03_00.pdf)

# 脱炭素による雇用創出・喪失効果

- OECDの試算によれば、脱炭素の潮流は、特に化石燃料に関連する産業の雇用を減少させる一方、再生可能エネルギーなどで新たな雇用も創出する。

## 脱炭素化による雇用創出・喪失効果



教育未来創造会議

第一次提言「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」より抜粋

URL: <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/teigen.html>

**我が国の未来をけん引する  
大学等と社会の在り方について  
(第一次提言)**

**令和4年5月10日**

**教育未来創造会議**

い一方で、文理選択において理系を選択する割合は男子 27%に対して女子 16%にとどまるなど、その差が顕著となっている。

PISA (OECD 生徒の学習到達度調査) における保護者質問調査 (2012 年) に参加した 10 の国・地域の結果では、子供に科学や技術、工学、数学などの分野の職に就いてほしいと願っている両親の期待感、15 歳の息子と娘の数学の成績が同じ場合でも、息子に対する期待感の方が娘に対する期待感より高かったことが報告されている<sup>17</sup>。日本においても、子供の頃から「女子は理系には向いていない」など根拠のないバイアスが保護者・学校・社会からかかり、女子の理系への進路選択の可能性が狭められていることが考えられる<sup>18</sup>。

### (5) 諸外国に比べて低い理工系への入学者

OECD 諸国の中で、日本は理工系 (理学・工学系) に入学する者 (大学学部段階) は OECD 平均より大幅に低い状況 (OECD 平均 27%、日本 17%) にあり、同分野の卒業生数に係る近年の推移を見ても、2014 年から 2019 年までの 5 年間で、OECD 加盟国の多くは理工系学部の学生数を増やしている一方で我が国ではほとんど変わっていない<sup>19</sup>。

さらに、大学の学部段階で理工系を専攻する女性は 7%にとどまっており、男性の 28%に比べると低い状況にある<sup>20</sup>。また、理工系学部への進学者は同年代の女子全体のうち 3%<sup>21</sup>に過ぎず、特に大学学部の女性入学者に占める理工系分野への入学者は 7%であり、OECD 平均 (15%) に比べても大幅に低い状況にある<sup>22</sup>。

### (6) 諸外国に比べ少ない修士・博士号の取得者

修士・博士号の取得者 (2018 年度) も諸外国に比べて少なく、人口 100 万人当たりの修士号の取得者は英国 4,216 人、ドイツ 2,610 人、米国 2,550 人である一方、日本は 588 人であり、博士号取得者も英国 375 人、ドイツ 336 人、韓国 296 人 (2019 年度) に比べ、日本は 120 人にとどまっている<sup>23</sup>。

また、米国企業の経営者は 7 割程度が大学院卒であるのに対して、日本の経営者の大学院卒は 2 割弱にとどまっている<sup>24</sup>。

<sup>17</sup> OECD 「The ABC of Gender Equality in Education: Aptitude, Behaviour, Confidence」(2015 年) より。ハンガリー、ポルトガル、チリ、イタリア、クロアチア、ドイツ、メキシコ、香港、韓国、マカオが調査に参加。

<sup>18</sup> 総合科学技術・イノベーション会議教育・人材育成ワーキンググループ「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ案」(令和 4 年 4 月 22 日統合イノベーション戦略推進会議了承)

<sup>19</sup> OECD.stat 「New entrants by field」より。「理工系」は OECD 統計上 “Natural sciences, mathematics and statistics”, “Information and Communication Technologies, “Engineering, manufacturing and construction” を指す。

<sup>20</sup> 文部科学省「学校基本統計 (令和 3 年度)」

<sup>21</sup> 文部科学省「学校基本統計 (令和元年度、令和 3 年度)」

<sup>22</sup> OECD.stat 「New entrants by field」

<sup>23</sup> 文部科学省 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標 2021 (調査資料-311)」(2021 年 8 月)

<sup>24</sup> 役員四季報や信頼できる公開情報 (企業 HP など) から経済産業省が調査

一般社団法人 日本経済団体連合会

**「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート結果」**

抜粋（調査概要および「Ⅱ. 女性理工系人材の育成・活躍促進」）

URL: <https://www.keidanren.or.jp/policy/2024/015.html>

# 博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート結果

一般社団法人 日本経済団体連合会

## < 目次 >

	〔頁〕
調査概要	2
I. 博士人材の活躍促進	4
II. 女性理工系人材の育成・活躍促進	27
III. 大学院教育のあり方	34
IV. アンケートに寄せられた事例	38
1. 博士人材等が選択可能なキャリアパスの事例	39
2. 企業が大学と連携して取り組んでいる大学院教育プログラム	44

# 調査概要

- Society 5.0において企業は、イノベーションの創出を通じて、国際競争力を向上し、社会課題の解決に貢献することが求められている。そうしたなか、博士号取得者数は、主要国では増加傾向にある一方、わが国では低水準かつ横ばいの傾向。
- 現在のみならず将来の国際競争力も見据えると、わが国においても、博士人材や女性理工系人材などの高度専門人材の活躍促進は重要な課題。同時に、大学側も、世界に伍する高度専門人材の育成に向け、経済・社会のニーズを踏まえた形で大学院教育の拡充に取り組むことが求められる。
- そのような認識から、博士人材の活躍促進と大学院教育の充実、女性理工系人材の育成・活躍について、アンケートを実施。主に以下を調査。
  - (1) 博士人材の活躍促進
  - (2) 女性理工系人材の育成・活躍推進
  - (3) 大学院教育のあり方
- 調査結果については、教育・大学改革推進委員会を中心とした経団連提言とりまとめの参考とし、政府や大学、企業など関係方面に働きかけるとともに、企業の取り組みの参考に資するように、好事例等を発信する。

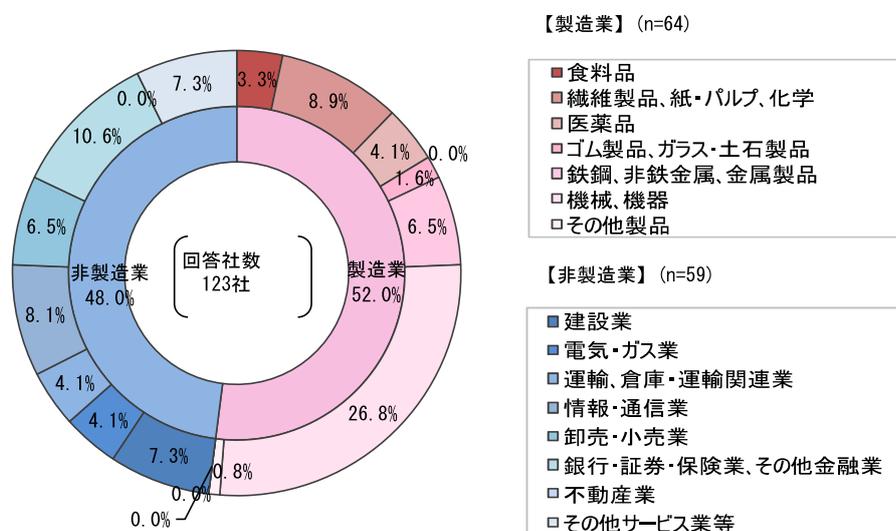
調査対象	経団連 教育・大学改革推進委員会、イノベーション委員会、雇用政策委員会 委員企業等（441社）
調査期間	2023年9月22日～10月31日
調査方法	電子メールによる調査票送付、回収
回答企業数	123社（回答率27.9%）

2

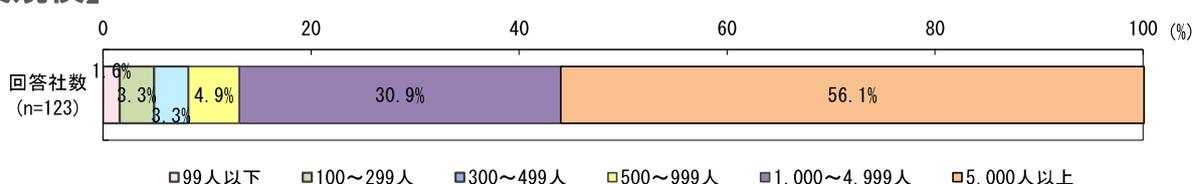
## 回答企業に関する基礎情報

- 回答企業のうち、製造業52%、非製造業48%。
- 従業員規模1,000人以上が87%（うち5,000人以上が56%、1,000人～4,999人が31%）。  
300人以上1,000人未満が8%、300人未満が5%。

### 【業種】



### 【従業員規模】



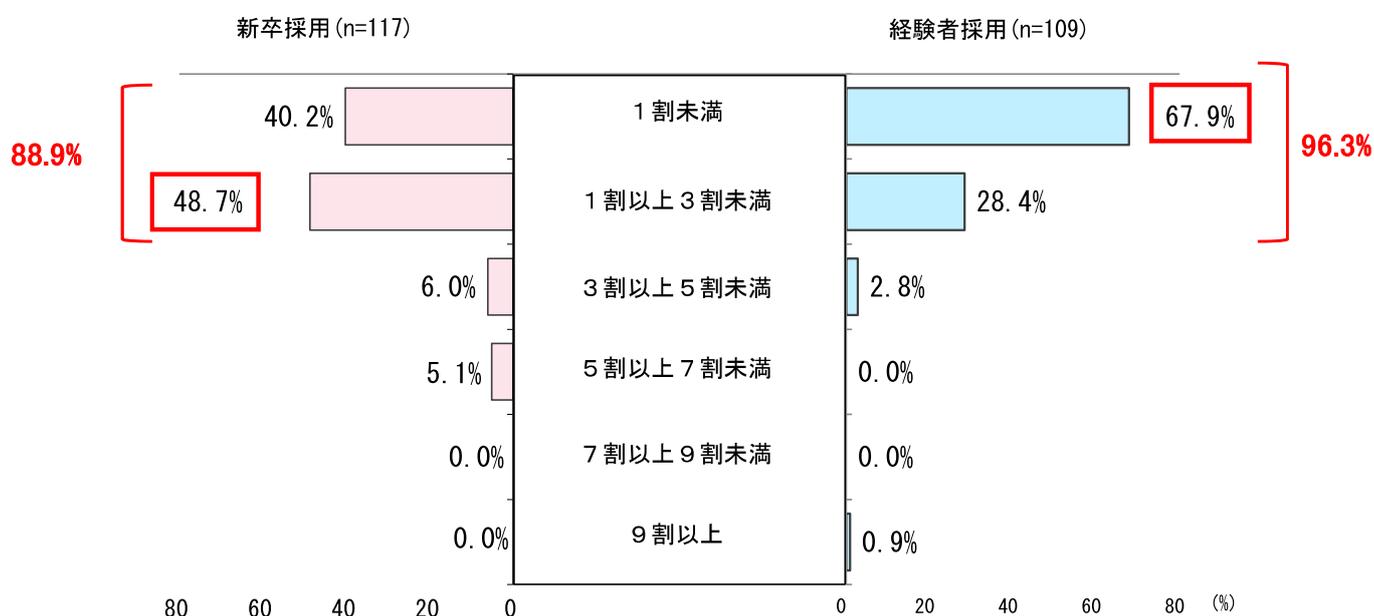
3

## Ⅱ. 女性理工系人材の育成・活躍促進

### 11. 理工系女性の採用状況(2022年度)

- 2022年度における大卒・大学院卒の採用人数全体に占める理工系女性の採用割合について、3割未満の企業が新卒採用（89%）、経験者採用（96%）ともに大多数。

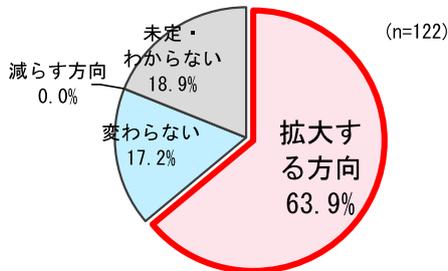
【大卒・大学院卒の採用人数全体に占める理工系女性の採用割合〔2022年度〕】



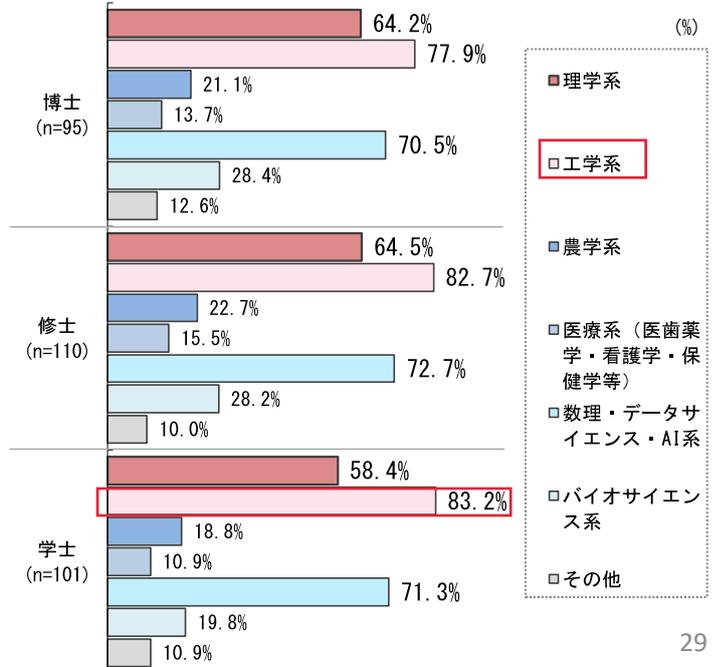
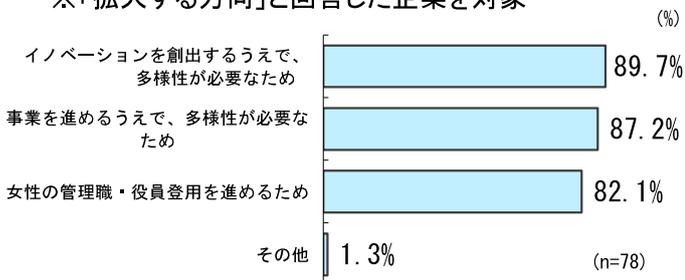
## 12. 今後5年程度先を見通した、理工系女性の採用方針

- 今後5年程度先を見通した、理工系女性の採用について、「拡大する方向」が64%(78社)。
- 「拡大する方向」の理由としては、「イノベーションを創出するうえで、多様性が必要なため」90%(70社)、「事業を進めるうえで、多様性が必要なため」87%(68社)、「女性の管理職・役員登用を進めるため」82%(64社)。
- 特に積極的に採用したい理工系女性の専攻分野としては、博士・修士・学士のすべてにおいて、「工学系」(8割前後)、「数理・データサイエンス・AI系」(約7割)、「理学系」(6割前後)の順に多い。

【今後5年程度先を見通した、理工系女性従業員の採用方針】【特に積極的に採用したい理工系女性の専攻分野】



【理工系女性の採用を拡大する理由】(複数回答)  
※「拡大する方向」と回答した企業を対象



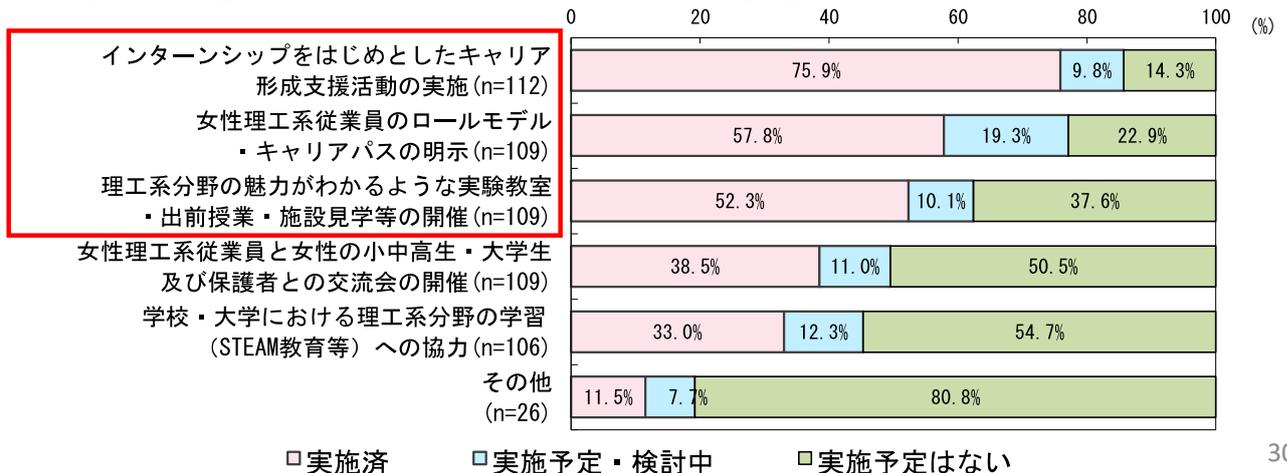
## 13. 理工系女性のロールモデルの発信、教育・人材育成面の取り組み

- キャリア教育や採用活用の観点から、理工系女性のロールモデルについて、過去2～3年程度の間で様々な媒体で「発信している」企業は60%(73社)。
- 理工系分野で活躍する女性の増加に向けて実施している教育・人材育成面の取り組みとして、「インターンシップをはじめとしたキャリア形成支援活動の実施」76%(85社)、「女性理工系従業員のロールモデル・キャリアパスの明示」58%(63社)、「理工系分野の魅力がわかるような実験教室・出前授業・施設見学等の開催」52%(57社)の順に多い。

【理工系女性のロールモデルの発信】



【理工系分野で活躍する女性の増加に向けた、教育・人材育成面の取り組み】(複数実施している場合を含む)

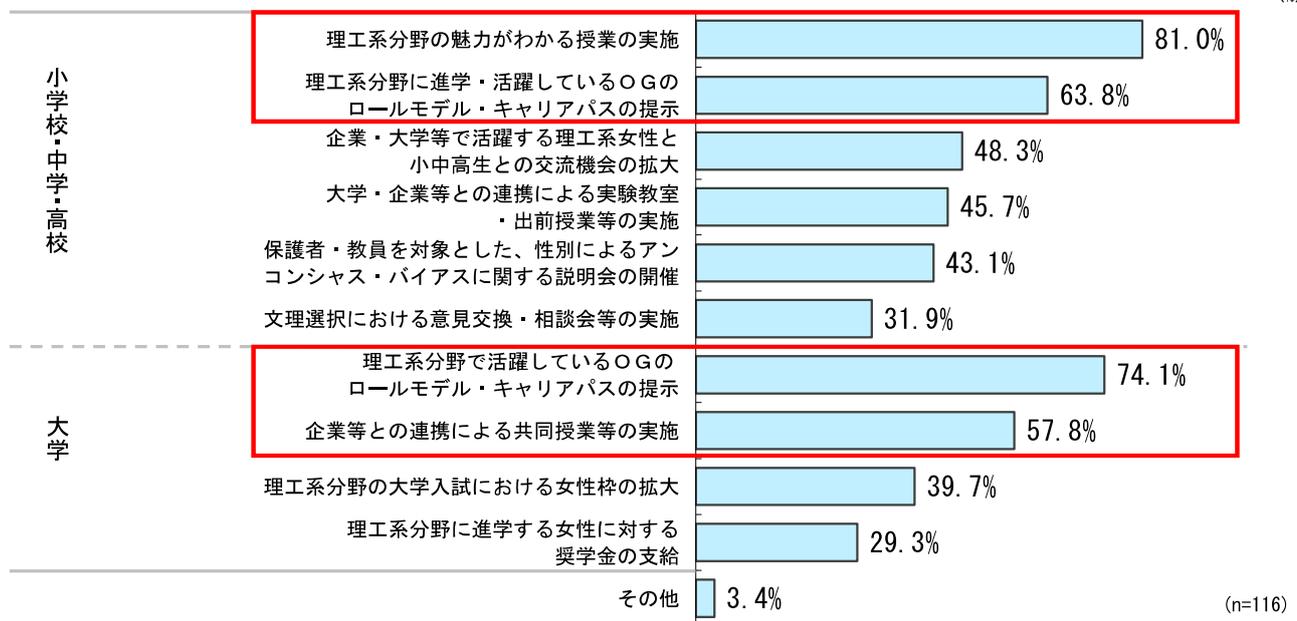


□実施済 □実施予定・検討中 □実施予定はない

## 14. 理工系分野で活躍する女性を増やす観点から、学校・大学に期待すること

- 理工系分野で活躍する女性を増やす観点から、学校・大学に期待することとして、小学校・中学・高校段階では、「理工系分野の魅力がわかる授業の実施」81%(94社)、「理工系に進学・活躍しているOGのロールモデル・キャリアパスの提示」64%(74社)の順に多い。
- 大学段階では、「理工系分野で活躍しているOGのロールモデル・キャリアパスの提示」74%(86社)、「企業等との連携による共同授業等の実施」58%(67社)の順に期待されている。

【理工系分野で活躍する女性を増やす観点から、学校・大学に期待すること】(複数回答) (%)



31

## 15. 理工系女性の育成・活躍に向けて、特に注力している取り組み・課題

### ■ 主に入社前の取り組み

#### 【女子中高生や大学生向けのセミナー、イベント】

- ・内閣府男女共同参画局が推進する「理工系女子応援ネットワーク」登録企業として内閣府・文科省・経団連共催「夏のリコチャレ」に協力。女子中高生を対象に、金融の仕組みに関する講義や、理工系学部出身女性社員との交流機会を提供している
- ・理工系女子学生を対象とした自社セミナー・工場見学会の実施
- ・理工系女子が企業で活躍するイメージを女子大学生が持ちづらいとの声に対応し、大学との連携を含めたイベント等で活躍する先輩社員の様子を伝えている

#### 【経済的支援】

- ・理工系女子学生を対象とした奨学金制度の運用
- ・理工系女性の育成に向けた、教育機会の提供や金銭的支援の実施

#### 【女性が活躍する姿の発信】

- ・女性採用を積極的に行っており、特に理系イベントでは女性社員との懇談等、女性の活躍する姿を見せるようにしている
- ・自社ホームページに第一線で活躍する女性社員の座談会の様子を掲載。うち1名は理工系の従業員。活躍する女性社員の姿を紹介し、理工系女性を含めた採用活動を加速させている
- ・一企業の取り組みに閉じず30% Club Japanに参画する企業等と連携し、理工系女子学生に企業でのキャリアや仕事の活躍の場等を発信
- ・理工系女性社員増員に向けて、リクルーターの増員・配置等を実施

#### 【ダイバーシティへの意識向上および環境整備】

- ・専攻分野としての理文や性別による差分を設けて採用管理は行っていないが、選考中の候補者から見たときに多様な人材がいることが認識できるように面接官の選定や媒体での発信の人選に注意を払っている
- ・ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン (DE&I) についての取り組みを紹介するとともに、制度やエンジニアの実際の働き方を紹介する
- ・今まで男性のみが配属されてきた現場においても、設備環境面や業務内容を見直すことで、女性が活躍できる職場を拡大している

### ■ 課題

- ・技術職の場合、機械系・電気電子系・情報系・物理系・化学系の専門5系統での採用を行っているが、系統別の女子学生の応募人数に偏りがある。大学における専攻分野に偏りがあるため、それを是正する取り組みを大学側でも検討してほしい

32

## 15. 理工系女性の育成・活躍に向けて、特に注力している取り組み・課題

### ■ 主に入社後の取り組み

#### 【キャリアパス】

- ・女性社員のキャリアパスの積み上げ、具体事例のモデルケース化

#### 【メンター、ネットワーキング、職場の環境整備】

- ・女性研究開発職向けのメンター制度
- ・リコチャレの開催を、社内の理工系女性のネットワーキングとしても機能させている
- ・技術系人材として採用した女性社員の製造部門への初期配属を増やしており、単一年度でも一つの事業所に複数名の女性を配属することで、相談相手を作りやすい環境をつくり、離職防止に取り組んでいる
- ・今まで男性のみが配属されてきた現場においても、設備環境面や業務内容を見直すことで、女性が活躍できる職場を拡大している

#### 【研修】

- ・外部の女性技術者向け研修への派遣
- ・研修等の育成における男女参加状況の配慮等、育成機会の公平性を意識している

#### 【アンコンシャスバイアスに関する教育研修】

- ・アンコンシャスバイアスについて全社員にe-learningを実施するとともに、上司向けと女性向けに個別研修を実施

#### 【働き方の工夫】

- ・育児と仕事の両立支援制度を充実させ、女性が復帰しやすい環境を整備（ベビーシッターサービスや認可外保育施設の利用補助、配偶者との同居支援制度、男性育休の取得推進等）
- ・スマートワーク制度（中抜け、フレックスタイム、テレワーク）

#### 【その他】

- ・特に女性専門クリニック等へのメンテナンス・保守に対してニーズが発生。直接診療行為を行うわけではなくても、女性専用クリニックに出入りするメンバーが女性であることは期待されている。そうしたニーズに応えるべく、エンジニアの育成に注力

### ■ 課題

- ・男性社員、女性社員を問わず、勤務地を含めた配置（転勤を含む）の在り方に課題感を持っており、検討を開始している

【全国版】

## 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

## 【将来予測 2022～2034年】

## ■ 18歳人口予測 P3～P8

- ・ 2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）
- ・ 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
- ・ 2022年比減少率が高いのは東北（80.9%）、減少数が大きいのは近畿（22,958人減）

## 【経過推移 2013年～2022年】

## ■ 進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P15

## 大学進学率（現役）

- ・ 2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）
- ・ 上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）※注
- ・ 進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

## 短期大学進学率（現役）

- ・ 2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 南関東（62.5）、2位 東海（63.2）、3位 近畿（65.6）※注
- ・ 進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

## 専門学校進学率（現役）

- ・ 2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）
- ・ 上昇が大きいのは、1位 東海（104.2）、2位 北関東（102.2）、3位 九州沖縄（102.1）。※注
- ・ 進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

## 都道府県別進学率（現役・2022年）

- ・ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

## 大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2013～2022年）

- ・ 2022年現役と過年度含の進学率の差は、大学は1.3ポイント（過年度含が高い）
- ・ 短期大学は差なし

注）※の（）内の数値は、2013年を100としたときの2022年の指数

## ■ 地元残留率の推移 P16～P24

- ・ 大学入学者の地元残留率は、2013年43.4%→2022年44.8%（1.4ポイント上昇）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率は、2013年68.8%→2022年71.8%（3.0ポイント上昇）
- ・ 大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.6%）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（93.1%）

## ■ 18歳人口減少率×地元残留率 P25・26

- ・ 大学入学者：都道府県別：2022→2034年
- ・ 短期大学入学者：都道府県別：2022→2034年

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルート リクルート進学総研  
<https://souken.shingakunet.com/>

# 分析・データについて

## ■分析・データについて

データ元：文部科学省「学校基本調査」

- ① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
  - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数 + 「義務教育学校卒業生数（H29年度より）」
  - ・ 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専修学校専門課程（専門学校））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。（浪人含）
- ⑥ 図表で利用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果で数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道：北海道  
 東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
 北関東：茨城、栃木、群馬  
 南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川  
 甲信越：新潟、山梨、長野  
 北陸：富山、石川、福井  
 東海：岐阜、静岡、愛知、三重  
 近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
 中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口  
 四国：徳島、香川、愛媛、高知  
 九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

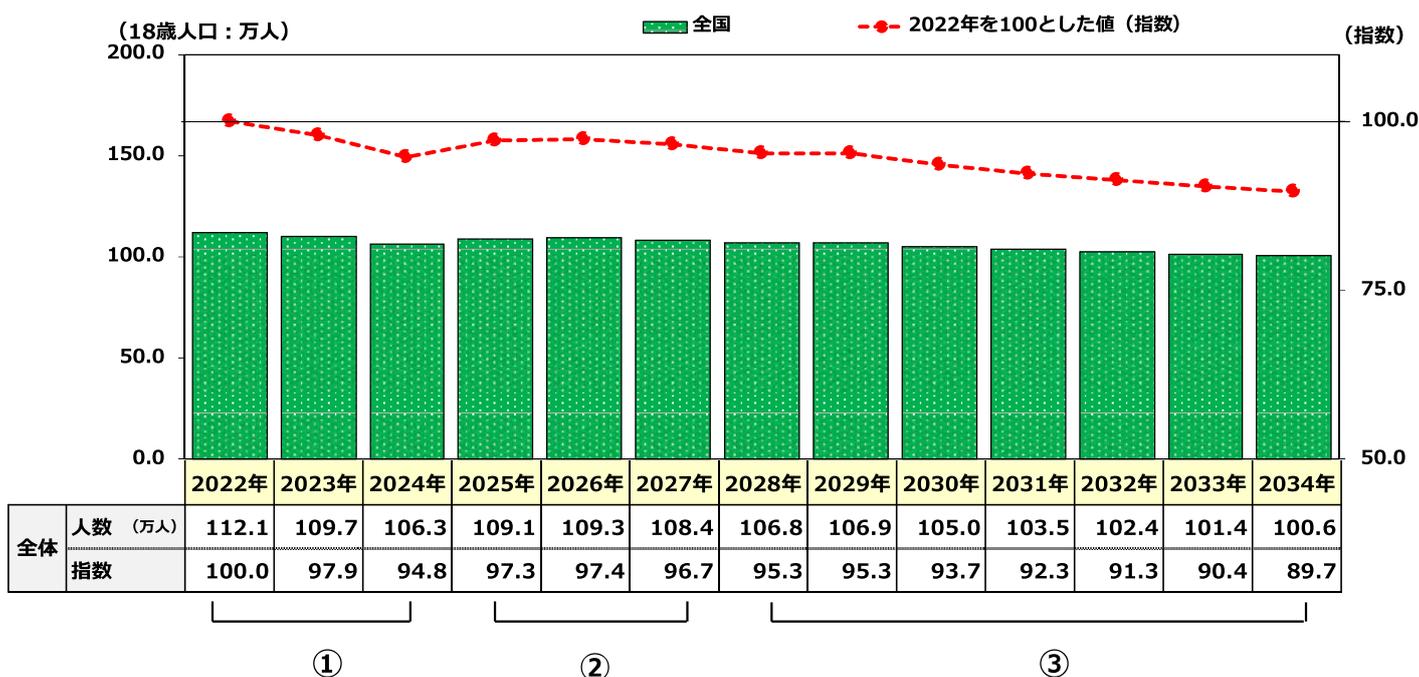
学校基本調査		18歳人口		3年前の中学・中等教育卒業生数
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2022	1,121,285	（平成31年）2019年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2023	1,097,416	（令和2年）2020年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2024	1,063,451	（令和3年）2021年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2025	1,090,562	（令和4年）2022年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2026	1,092,647	（令和4年）2022年 の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生+義務教育学校9年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2027	1,084,271	（令和4年）2022年 の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生+義務教育学校8年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2028	1,068,477	（令和4年）2022年 の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生+義務教育学校7年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2029	1,068,876	（令和4年）2022年 の小学校6年生+義務教育学校6年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2030	1,050,143	（令和4年）2022年 の小学校5年生+義務教育学校5年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2031	1,034,714	（令和4年）2022年 の小学校4年生+義務教育学校4年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2032	1,023,592	（令和4年）2022年 の小学校3年生+義務教育学校3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2033	1,013,581	（令和4年）2022年 の小学校2年生+義務教育学校2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2034	1,005,782	（令和4年）2022年 の小学校1年生+義務教育学校1年生の生徒数

# 18歳人口予測（全体：全国：2022～2034年）

## ■ 2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2022年～2024年：3年連続減少（112.1万人から106.3万人、5.8万人減少）。特に2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。
- ② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、2026年は109.3万人で横ばい、2027年は108.4万人と微減が続く。
- ③ 2028年～2034年：2028年は106.8万人と2027年108.4万人に対し再び1.6万人減少し、2034年は100.6万人となる。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測（男女別：全国：2022～2034年）

## ■男女共に12年間で約11%の減少

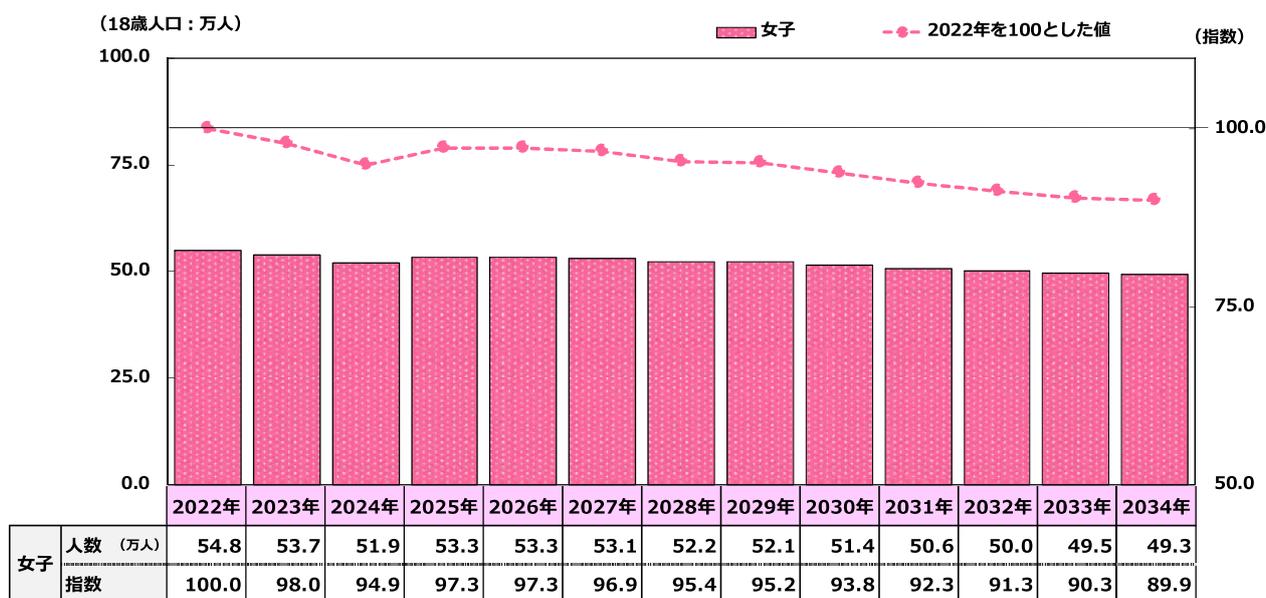
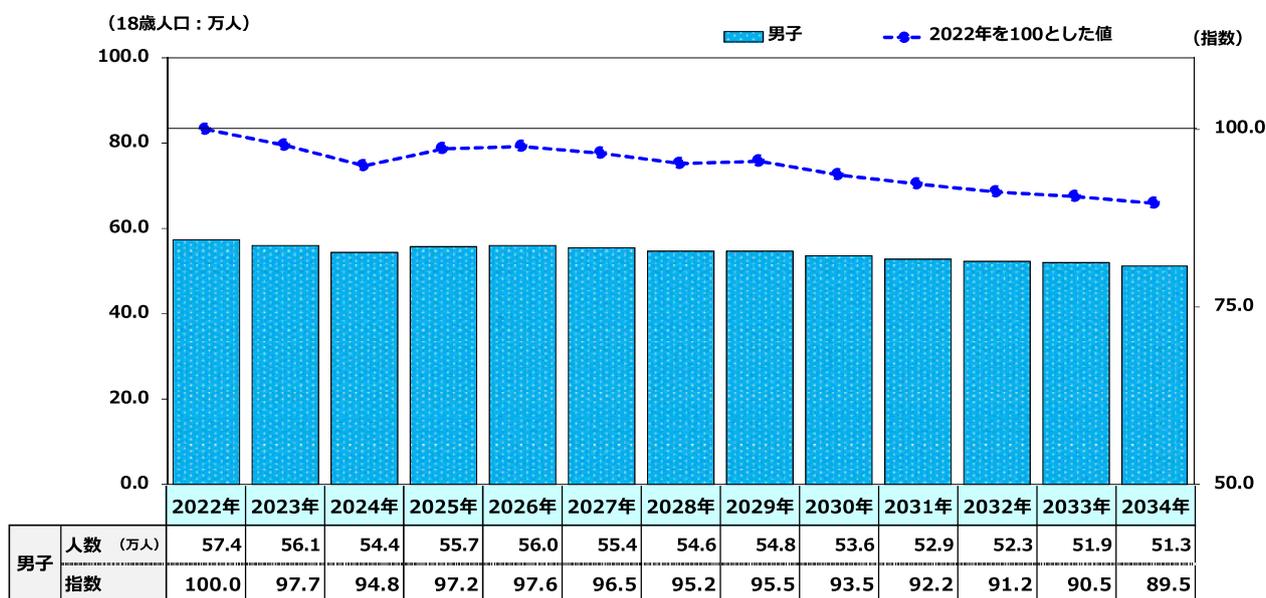
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

### 男子

- ・2022年57.4万人から2034年51.3万人、12年間で6.1万人減少。
- ・2025年、2026年で増加に転じるが、2027年から再び減少傾向となり2034年までに4.1万人減少している。

### 女子

- ・2022年54.8万人から2034年49.3万人、12年間で5.5万人減少。
- ・男子と同様2025年増加に転じ、2027年までほぼ横ばいが続くが、2028年から2034年にかけて2.9万人減少している。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034年）

■東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上  
 沖縄・東京・福岡の3県のみ増加する見込み

## ■都道府県別 18歳人口減少率（2022年-2034年）

全国	▲10.3
-20.0以下	
秋田	▲24.9
青森	▲23.7
岩手	▲22.4
群馬	▲21.4
富山	▲20.6
山形	▲20.1
-15.0以下	
愛媛	▲19.1
和歌山	▲19.1
奈良	▲18.8
福島	▲18.6
岐阜	▲18.2
長野	▲18.0
新潟	▲17.4
山梨	▲17.4
北海道	▲17.3
栃木	▲16.8
三重	▲16.5
高知	▲16.3
茨城	▲16.2
石川	▲15.5
静岡	▲15.4
-10.0以下	
福井	▲14.7
香川	▲14.6
山口	▲14.6
徳島	▲14.4
京都	▲13.3
長崎	▲12.5
鳥取	▲12.5
岡山	▲12.4
宮城	▲12.4
大阪	▲11.8
佐賀	▲11.3
兵庫	▲11.1
宮崎	▲10.4
大分	▲10.1
- 5.0以下	
広島	▲ 9.7
滋賀	▲ 8.5
鹿児島	▲ 8.3
千葉	▲ 7.5
埼玉	▲ 7.0
島根	▲ 7.0
愛知	▲ 6.9
神奈川	▲ 5.9
0.0以下	
熊本	▲ 4.6
0.0超	
福岡	0.2
東京	2.6
沖縄	5.3



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

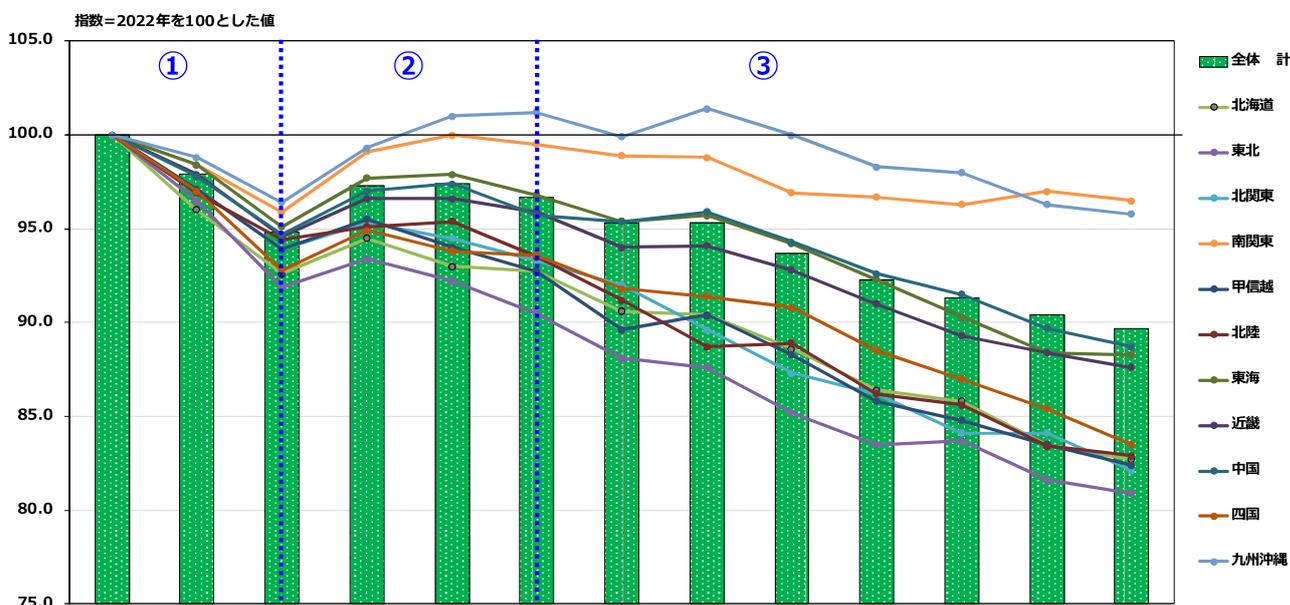
# 18歳人口予測（全体：エリア別：2022～2034年）

## ■減少率が高いのは東北（2022年比80.9%）、減少数が大きいのは近畿（22,958人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比80.9%）、2位 北関東（82.1%）、3位 甲信越（82.4%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（22,958人減）、2位 東海（16,427人減）、3位 東北（14,899人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（96.5%）、2位 九州沖縄（95.8%）、3位 中国（88.7%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2022～2024年：全国では約6万人減少、エリアも含め減少傾向になる時期
- ② 2024～2027年：全国で約3万人増加、人口が回復し、横ばいが続く時期
- ③ 2027～2034年：回復後さらに減少する時期

注) 減少率 = 2034年人数 ÷ 2022年人数で算出。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全体計	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7
北海道	人数	44,276	42,489	41,008	41,857	41,166	41,045	40,121	40,037	39,230	38,255	37,984	36,989	36,601
	指数	100.0	96.0	92.6	94.5	93.0	92.7	90.6	90.4	88.6	86.4	85.8	83.5	82.7
東北	人数	78,146	75,379	71,820	73,013	72,013	70,749	68,816	68,461	66,576	65,266	65,444	63,794	63,247
	指数	100.0	96.5	91.9	93.4	92.2	90.5	88.1	87.6	85.2	83.5	83.7	81.6	80.9
北関東	人数	63,720	61,863	59,826	60,700	60,209	59,436	58,597	57,094	55,597	54,919	53,598	53,611	52,331
	指数	100.0	97.1	93.9	95.3	94.5	93.3	92.0	89.6	87.3	86.2	84.1	84.1	82.1
南関東	人数	299,356	294,497	287,188	296,737	299,307	297,845	296,090	295,868	290,004	289,532	288,232	290,267	288,970
	指数	100.0	98.4	95.9	99.1	100.0	99.5	98.9	98.8	96.9	96.7	96.3	97.0	96.5
甲信越	人数	46,907	45,536	44,069	44,788	44,075	43,470	42,033	42,422	41,416	40,263	39,768	39,150	38,628
	指数	100.0	97.1	93.9	95.5	94.0	92.7	89.6	90.4	88.3	85.8	84.8	83.5	82.4
北陸	人数	27,545	26,692	26,002	26,197	26,268	25,761	25,131	24,428	24,501	23,757	23,588	22,974	22,842
	指数	100.0	96.9	94.4	95.1	95.4	93.5	91.2	88.7	88.9	86.2	85.6	83.4	82.9
東海	人数	140,510	138,309	133,555	137,302	137,529	136,069	134,013	134,491	132,337	129,727	126,930	124,204	124,083
	指数	100.0	98.4	95.1	97.7	97.9	96.8	95.4	95.7	94.2	92.3	90.3	88.4	88.3
近畿	人数	185,626	181,639	175,609	179,388	179,313	178,046	174,431	174,633	172,217	168,955	165,722	164,183	162,668
	指数	100.0	97.9	94.6	96.6	96.6	95.9	94.0	94.1	92.8	91.0	89.3	88.4	87.6
中国	人数	66,821	65,318	63,279	64,828	65,075	63,981	63,747	64,054	62,988	61,849	61,110	59,931	59,298
	指数	100.0	97.8	94.7	97.0	97.4	95.7	95.4	95.9	94.3	92.6	91.5	89.7	88.7
四国	人数	33,841	32,825	31,419	32,132	31,757	31,685	31,073	30,944	30,731	29,957	29,437	28,906	28,242
	指数	100.0	97.0	92.8	94.9	93.8	93.6	91.8	91.4	90.8	88.5	87.0	85.4	83.5
九州沖縄	人数	134,537	132,869	129,676	133,620	135,935	136,184	134,425	136,444	134,546	132,234	131,779	129,572	128,872
	指数	100.0	98.8	96.4	99.3	101.0	101.2	99.9	101.4	100.0	98.3	98.0	96.3	95.8

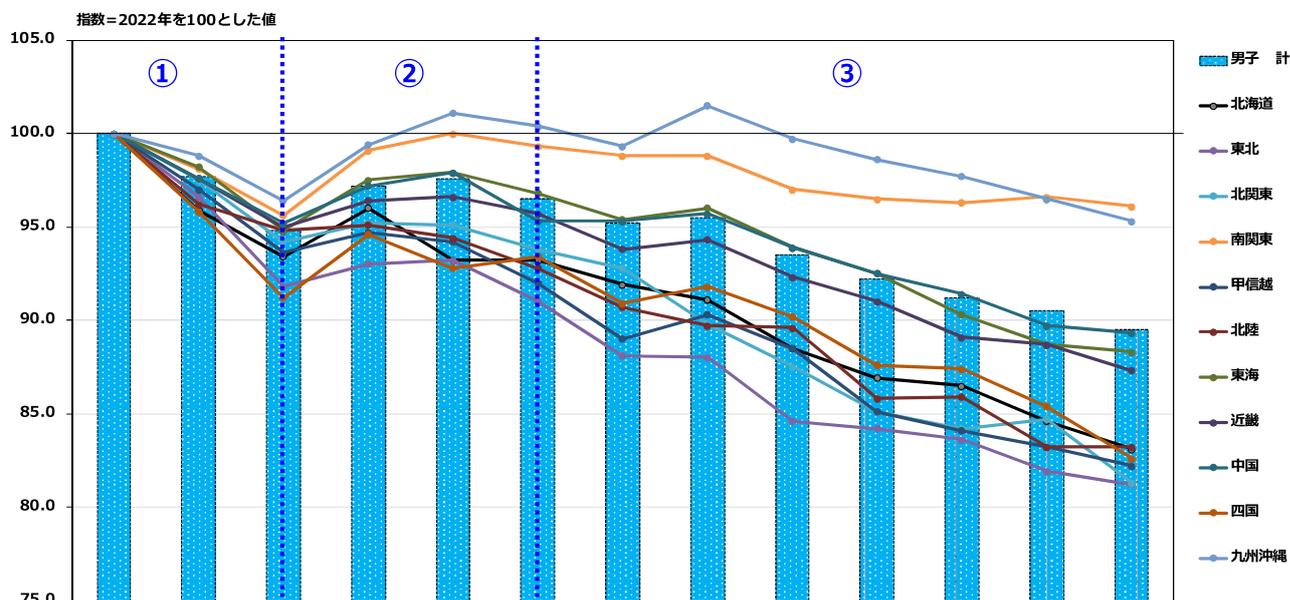
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測（男子：エリア別：2022～2034年）

## ■減少率が高いのは東北（2022年比81.2%）、減少数が多いのは近畿（12,076人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比81.2%）、2位 北関東（81.3%）、3位 甲信越（82.2%）。
- ・減少数が多いのは、1位 近畿（12,076人減）、2位 東海（8,386人減）、3位 東北（7,509人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（96.1%）、2位 九州沖縄（95.3%）、3位 中国（89.3%）。
- ・③期において2028～2034年の男子人口は、北海道（1,994人減）、東北（2,765人減）、北関東（3,727人減）、南関東（4,214人減）、甲信越（1,630人減）、北陸（1,064人減）、東海（5,097人減）、近畿（6,225人減）、中国（2,056人減）、四国（1,447人減）、九州沖縄（2,764人減）。

注) 減少率=2034年人数÷2022年人数で算出。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
男子 計	人数	573,645	560,512	543,958	557,468	559,645	553,618	546,175	547,736	536,306	528,975	523,331	518,983	513,192
	指数	100.0	97.7	94.8	97.2	97.6	96.5	95.2	95.5	93.5	92.2	91.2	90.5	89.5
北海道	人数	22,459	21,543	20,967	21,552	20,939	20,923	20,648	20,456	19,871	19,510	19,433	19,002	18,654
	指数	100.0	95.9	93.4	96.0	93.2	93.2	91.9	91.1	88.5	86.9	86.5	84.6	83.1
東北	人数	39,863	38,506	36,608	37,070	37,160	36,256	35,119	35,067	33,740	33,546	33,319	32,649	32,354
	指数	100.0	96.6	91.8	93.0	93.2	91.0	88.1	88.0	84.6	84.2	83.6	81.9	81.2
北関東	人数	32,586	31,764	30,693	31,034	30,976	30,579	30,228	29,256	28,504	27,739	27,432	27,610	26,501
	指数	100.0	97.5	94.2	95.2	95.1	93.8	92.8	89.8	87.5	85.1	84.2	84.7	81.3
南関東	人数	153,337	150,412	146,623	151,953	153,283	152,252	151,535	151,503	148,719	147,917	147,620	148,119	147,321
	指数	100.0	98.1	95.6	99.1	100.0	99.3	98.8	98.8	97.0	96.5	96.3	96.6	96.1
甲信越	人数	24,075	23,352	22,536	22,792	22,672	22,144	21,422	21,730	21,296	20,481	20,250	20,030	19,792
	指数	100.0	97.0	93.6	94.7	94.2	92.0	89.0	90.3	88.5	85.1	84.1	83.2	82.2
北陸	人数	14,101	13,561	13,369	13,405	13,317	13,090	12,795	12,647	12,640	12,094	12,113	11,727	11,731
	指数	100.0	96.2	94.8	95.1	94.4	92.8	90.7	89.7	89.6	85.8	85.9	83.2	83.2
東海	人数	71,901	70,626	68,190	70,079	70,414	69,589	68,612	69,029	67,521	66,544	64,908	63,745	63,515
	指数	100.0	98.2	94.8	97.5	97.9	96.8	95.4	96.0	93.9	92.5	90.3	88.7	88.3
近畿	人数	94,884	92,654	90,181	91,481	91,685	90,786	89,033	89,490	87,565	86,371	84,498	84,146	82,808
	指数	100.0	97.6	95.0	96.4	96.6	95.7	93.8	94.3	92.3	91.0	89.1	88.7	87.3
中国	人数	34,190	33,377	32,549	33,220	33,460	32,595	32,586	32,714	32,109	31,612	31,261	30,675	30,530
	指数	100.0	97.6	95.2	97.2	97.9	95.3	95.3	95.7	93.9	92.5	91.4	89.7	89.3
四国	人数	17,402	16,673	15,870	16,454	16,155	16,260	15,825	15,978	15,699	15,248	15,203	14,870	14,378
	指数	100.0	95.8	91.2	94.6	92.8	93.4	90.9	91.8	90.2	87.6	87.4	85.4	82.6
九州沖縄	人数	68,847	68,044	66,372	68,428	69,584	69,144	68,372	69,866	68,642	67,913	67,294	66,410	65,608
	指数	100.0	98.8	96.4	99.4	101.1	100.4	99.3	101.5	99.7	98.6	97.7	96.5	95.3

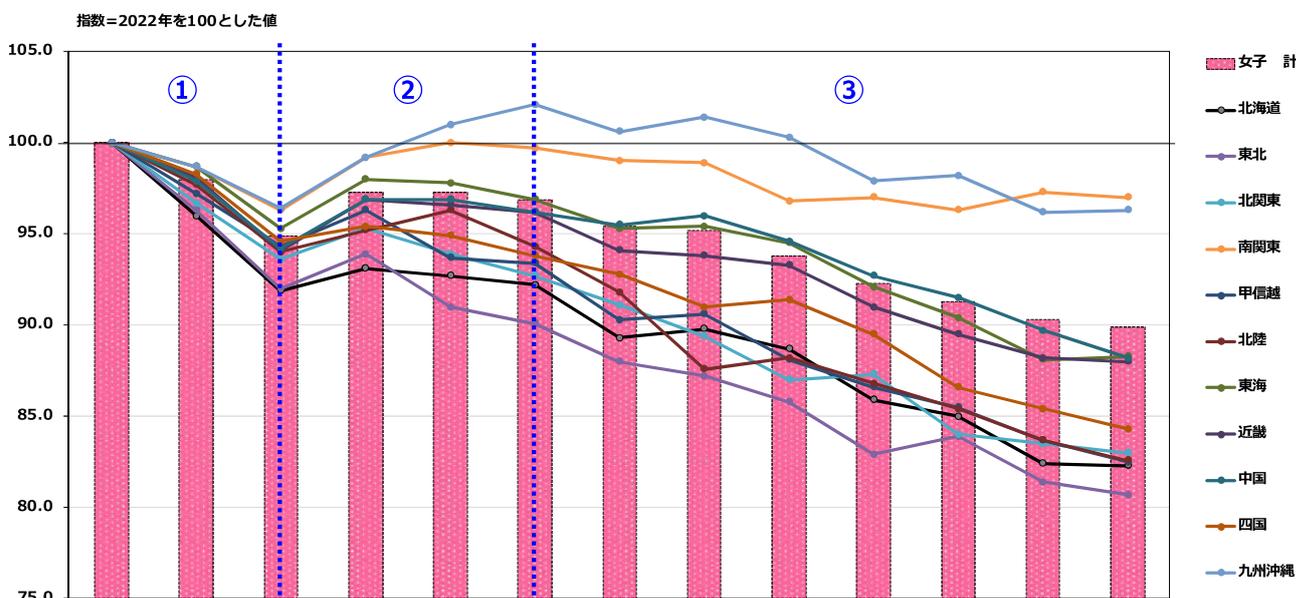
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測（女子：エリア別：2022～2034年）

## ■減少率が高いのは東北（2022年比80.7%）、減少数が大きいのは近畿（10,882人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比80.7%）、2位 北海道（82.3%）、3位 甲信越（82.5%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（10,882人減）、2位 東海（8,041人減）、3位 東北（7,390人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（97.0%）、2位 九州沖縄（96.3%）、3位 東海（88.3%）。
- ・③期において2028年～2034年の女子人口は、北海道（1,526人減）、東北（2,804人減）、北関東（2,539人減）、南関東（2,906人減）、甲信越（1,775人減）、北陸（1,225人減）、東海（4,833人減）、近畿（5,538人減）、中国（2,393人減）、四国（1,384人減）、九州沖縄（2,789人減）。

注）減少率=2034年人数÷2022年人数で算出。



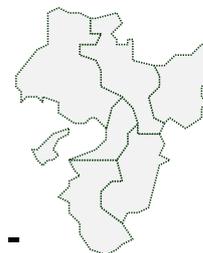
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
女子 計	人数	547,640	536,904	519,493	533,094	533,002	530,653	522,302	521,140	513,837	505,739	500,261	494,598	492,590
	指数	100.0	98.0	94.9	97.3	97.3	96.9	95.4	95.2	93.8	92.3	91.3	90.3	89.9
北海道	人数	21,817	20,946	20,041	20,305	20,227	20,122	19,473	19,581	19,359	18,745	18,551	17,987	17,947
	指数	100.0	96.0	91.9	93.1	92.7	92.2	89.3	89.8	88.7	85.9	85.0	82.4	82.3
東北	人数	38,283	36,873	35,212	35,943	34,853	34,493	33,697	33,394	32,836	31,720	32,125	31,145	30,893
	指数	100.0	96.3	92.0	93.9	91.0	90.1	88.0	87.2	85.8	82.9	83.9	81.4	80.7
北関東	人数	31,134	30,099	29,133	29,666	29,233	28,857	28,369	27,838	27,093	27,180	26,166	26,001	25,830
	指数	100.0	96.7	93.6	95.3	93.9	92.7	91.1	89.4	87.0	87.3	84.0	83.5	83.0
南関東	人数	146,019	144,085	140,565	144,784	146,024	145,593	144,555	144,365	141,285	141,615	140,612	142,148	141,649
	指数	100.0	98.7	96.3	99.2	100.0	99.7	99.0	98.9	96.8	97.0	96.3	97.3	97.0
甲信越	人数	22,832	22,184	21,533	21,996	21,403	21,326	20,611	20,692	20,120	19,782	19,518	19,120	18,836
	指数	100.0	97.2	94.3	96.3	93.7	93.4	90.3	90.6	88.1	86.6	85.5	83.7	82.5
北陸	人数	13,444	13,131	12,633	12,792	12,951	12,671	12,336	11,781	11,861	11,663	11,475	11,247	11,111
	指数	100.0	97.7	94.0	95.2	96.3	94.3	91.8	87.6	88.2	86.8	85.4	83.7	82.6
東海	人数	68,609	67,683	65,365	67,223	67,115	66,480	65,401	65,462	64,816	63,183	62,022	60,459	60,568
	指数	100.0	98.7	95.3	98.0	97.8	96.9	95.3	95.4	94.5	92.1	90.4	88.1	88.3
近畿	人数	90,742	88,985	85,428	87,907	87,628	87,260	85,398	85,143	84,652	82,584	81,224	80,037	79,860
	指数	100.0	98.1	94.1	96.9	96.6	96.2	94.1	93.8	93.3	91.0	89.5	88.2	88.0
中国	人数	32,631	31,941	30,730	31,608	31,615	31,386	31,161	31,340	30,879	30,237	29,849	29,256	28,768
	指数	100.0	97.9	94.2	96.9	96.9	96.2	95.5	96.0	94.6	92.7	91.5	89.7	88.2
四国	人数	16,439	16,152	15,549	15,678	15,602	15,425	15,248	14,966	15,032	14,709	14,234	14,036	13,864
	指数	100.0	98.3	94.6	95.4	94.9	93.8	92.8	91.0	91.4	89.5	86.6	85.4	84.3
九州沖縄	人数	65,690	64,825	63,304	65,192	66,351	67,040	66,053	66,578	65,904	64,321	64,485	63,162	63,264
	指数	100.0	98.7	96.4	99.2	101.0	102.1	100.6	101.4	100.3	97.9	98.2	96.2	96.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

## 近畿版

- 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県 -



### 【将来予測 2022～2034年】

#### ▶18歳人口予測 P2～P4

- ・ 2022年185,626人→2034年162,668人（22,958人減少）
- ・ 減少率が高いのは、和歌山県（2022年比較19.1%減少）
- ・ 減少数が多いのは、大阪府（2022年77,446人→2034年68,299人、9,147人減少）

### 【経過推移 2013～2022年】

#### ▶進学者数・進学率（現役）の推移 P5～P10

##### 進学者数

- ・ 大学は、2013年92,259人→2022年100,777人（8,518人増加）と、9.2%増加
- ・ 短期大学は、2013年10,843人→2022年6,515人（4,328人減少）と、39.9%減少
- ・ 専門学校は、2013年26,216人→2022年23,118人（3,098人減少）と、11.8%減少

##### 進学率（現役）

- ・ 大学は、2013年52.2%→2022年61.6%（9.4ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2013年6.1%→2022年4.0%（2.1ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2013年14.8%→2022年14.1%（0.7ポイント低下）

#### ▶地元残留率の推移 P11～P13

- ・ 大学は、2013年44.6%→2022年47.3%（2.7ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2013年67.1%→2022年69.5%（2.4ポイント上昇）

#### ▶近畿エリア概要（全体：府県別） P14～P16

##### ■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
  - ・ 18歳人口＝3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業生数
  - ・ 中学校卒業生数＝高校生＋フリーター＋就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す（年＝年度）。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業生数とは、高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）。
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数。
- ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
- ⑧ 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

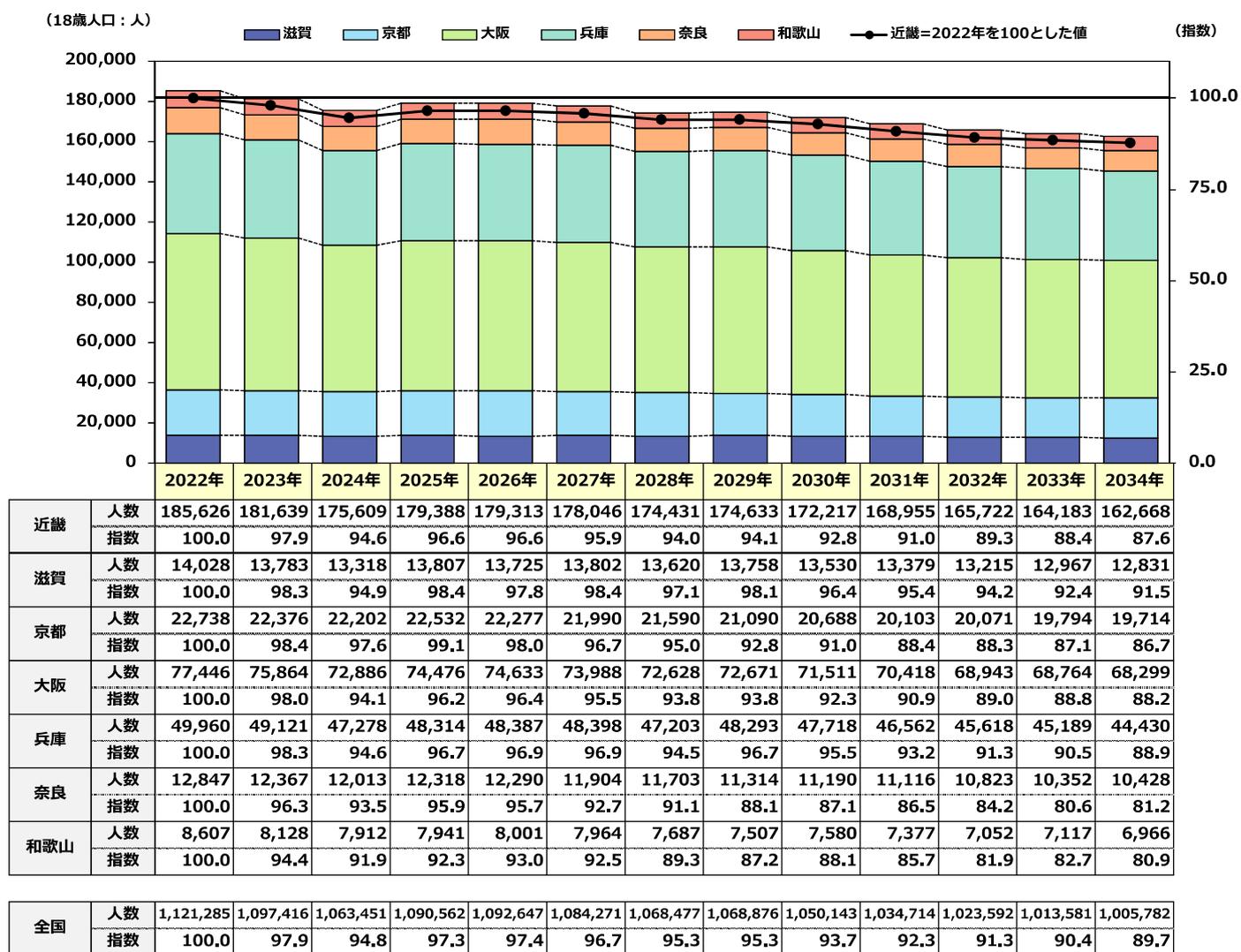
※専門学校＝専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルート リクルート進学総研  
<https://souken.shingakunet.com/>

# 18歳人口予測（全体：近畿：2022～2034年）

## ■ 2022年185,626人→2034年162,668人（22,958人減少）

- ・近畿エリアは22,958人・12.4%減少し、全国の減少率10.3%を2.1ポイント上回る。
- ・2024年に175,609人まで減少し、翌2025年に3,779人増加するがその後再び減少に転じ、2029年に微増するが、2030年以降は減少する。
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2022年比較19.1%減少）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2022年77,446人→2034年68,299人、9,147人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

# 18歳人口予測（女子：近畿：2022～2034年）

## ■ 2022年90,742人→2034年79,860人（10,882人減少）

- ・女子は10,882人・12.0%減少し、全国の減少率10.1%を1.9ポイント上回る。
- ・2024年に85,428人まで減少、翌2025年に2,479人増加した後、減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2022年比較18.7%減少）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2022年37,976人→2034年33,679人、4,297人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

兵庫県 大学進学率・進学者数（女子） 推計方法別の推計結果一覧

	18歳人口	進学率①	進学者数①	進学率②	進学者数②	進学率③	進学者数③	備考
2018年	26,309	0.550	14,474	0.550	14,474	0.550	14,474	
2019年	25,954	0.555	14,392	0.555	14,392	0.555	14,392	
2020年	25,435	0.558	14,201	0.558	14,201	0.558	14,201	
2021年	24,823	0.568	14,098	0.568	14,098	0.568	14,098	
2022年	24,269	0.587	14,239	0.587	14,239	0.587	14,239	
2023年	24,103	0.587	14,148	0.596	14,365	0.596	14,365	
2024年	22,981	0.587	13,490	0.606	13,926	0.606	13,926	
2025年	23,614	0.587	13,861	0.616	14,546	0.616	14,546	開設年度
2026年	23,502	0.587	13,796	0.626	14,712	0.626	14,712	
2027年	23,818	0.587	13,981	0.636	15,148	0.636	15,148	
2028年	23,104	0.587	13,562	0.646	14,925	0.646	14,925	完成年度
2029年	23,554	0.587	13,826	0.656	15,451	0.656	15,451	
2030年	23,425	0.587	13,750	0.659	15,437	0.666	15,601	
2031年	22,739	0.587	13,348	0.659	14,985	0.677	15,394	
2032年	22,536	0.587	13,229	0.659	14,851	0.688	15,505	
2033年	21,913	0.587	12,863	0.659	14,441	0.699	15,317	
2034年	21,714	0.587	12,746	0.659	14,310	0.710	15,417	開設から10年後
2034-2025	-1,900	0.000	-1,115	0.043	-237	0.094	871	開設10年間の差
2034/2025	92.0%	100.0%	92.0%	107.0%	98.4%	115.3%	106.0%	開設10年間の変動率

## 18歳人口の推計方法

■2023年～2034年 → 学校基本調査より、各都道府県の以下のデータを拾い上げる。

2023年：2020年の中学校及び義務教育学校卒業生数並びに中等教育学校前期課程修了者数（R2学校基本調査）

2024年：2021年の中学校及び義務教育学校卒業生数並びに中等教育学校前期課程修了者数（R3学校基本調査）

2025年：2022年の中学校及び義務教育学校卒業生数並びに中等教育学校前期課程修了者数（R4学校基本調査）

2026年：2022年の中学校及び中等教育学校前期課程の3年生並びに義務教育学校の9年生の数（R4学校基本調査）

2027年：2022年の中学校及び中等教育学校前期課程の2年生並びに義務教育学校の8年生の数（R4学校基本調査）

...

2034年：2022年の小学校及び義務教育学校の1年生の数（R4学校基本調査）

■（参考）2035年～ → 社人研の将来推計人口を基に推計。

手順①：「R5社人研推計」より、各年の「18歳人口・全国計」を拾い上げる。

具体的には、『表1-9(1) 男女年齢各歳別人口(総人口)：出生中位(死亡中位)推計』より、年齢が18である者の数を拾い上げる。

手順②：都道府県比率を求める。

ただし、都道府県ごとのデータは、「R5社人研推計」ではなく、「H30社人研推計」を用いることになる。

また、推計対象年が「5年ごと」であり、年齢も「5歳刻み」の区分のみしかないので、具体的には以下のとおり。

2035～2039年：「2035年・〇〇県・15～19歳」の数／「2035年・全国・15～19歳」の数

2040～2044年：「2040年・〇〇県・15～19歳」の数／「2040年・全国・15～19歳」の数

2045年～：「2045年・〇〇県・15～19歳」の数／「2045年・全国・15～19歳」の数

## 2023年度以降の進学率・進学者数の推計方法

シナリオ①：2022年度の進学率を据え置く

シナリオ②：文科省方式の準用

（2018-2022の各年の進学率に係る対前年度伸び率の平均値（単純）のまま、将来も伸び続けると想定。

ただし、男子は、2022年度の進学率+5ポイントを上限とし、女子は、男子の推計値を上限とする。）

シナリオ③：②から、上限の設定を除く

（2018-2022の各年の進学率に係る対前年度伸び率の平均値（単純）のまま、将来も伸び続けると想定。）

大阪府 大学進学率・進学者数（女子） 推計方法別の推計結果一覧

	18歳人口	進学率①	進学者数①	進学率②	進学者数②	進学率③	進学者数③	備考
2018年	41,006	0.519	21,278	0.519	21,278	0.519	21,278	
2019年	40,604	0.534	21,680	0.534	21,680	0.534	21,680	
2020年	39,590	0.542	21,441	0.542	21,441	0.542	21,441	
2021年	38,606	0.552	21,294	0.552	21,294	0.552	21,294	
2022年	37,866	0.577	21,830	0.577	21,830	0.577	21,830	
2023年	37,108	0.577	21,411	0.593	22,005	0.592	21,989	
2024年	35,489	0.577	20,477	0.609	21,613	0.608	21,598	
2025年	36,669	0.577	21,158	0.625	22,918	0.625	22,919	開設年度
2026年	36,520	0.577	21,072	0.642	23,446	0.641	23,442	
2027年	36,068	0.577	20,811	0.659	23,769	0.659	23,777	
2028年	35,694	0.577	20,595	0.677	24,165	0.677	24,165	完成年度
2029年	35,468	0.577	20,465	0.695	24,650	0.695	24,661	
2030年	35,112	0.577	20,260	0.703	24,684	0.714	25,072	
2031年	34,454	0.577	19,880	0.703	24,221	0.733	25,267	
2032年	33,710	0.577	19,451	0.703	23,698	0.753	25,389	
2033年	33,620	0.577	19,399	0.703	23,635	0.773	26,004	
2034年	33,679	0.577	19,433	0.703	23,676	0.794	26,753	開設から10年後
2034-2025	-2,990	0.000	-1,725	0.078	758	0.169	3,835	開設10年間の差
2034/2025	91.8%	100.0%	91.8%	112.5%	103.3%	127.0%	116.7%	開設10年間の変動率

18歳人口の推計方法

■2023年～2034年 → 学校基本調査より、各都道府県の以下のデータを拾い上げる。

2023年：2020年の中学校及び義務教育学校卒業生数並びに中等教育学校前期課程修了者数（R2学校基本調査）

2024年：2021年の中学校及び義務教育学校卒業生数並びに中等教育学校前期課程修了者数（R3学校基本調査）

2025年：2022年の中学校及び義務教育学校卒業生数並びに中等教育学校前期課程修了者数（R4学校基本調査）

2026年：2022年の中学校及び中等教育学校前期課程の3年生並びに義務教育学校の9年生の数（R4学校基本調査）

2027年：2022年の中学校及び中等教育学校前期課程の2年生並びに義務教育学校の8年生の数（R4学校基本調査）

...

2034年：2022年の小学校及び義務教育学校の1年生の数（R4学校基本調査）

■（参考）2035年～ → 社人研の将来推計人口を基に推計。

手順①：「R5社人研推計」より、各年の「18歳人口・全国計」を拾い上げる。

具体的には、『表1-9(1) 男女年齢各歳別人口(総人口):出生中位(死亡中位)推計』より、年齢が18である者の数を拾い上げる。

手順②：都道府県比率を求める。

ただし、都道府県ごとのデータは、「R5社人研推計」ではなく、「H30社人研推計」を用いることになる。

また、推計対象年が「5年ごと」であり、年齢も「5歳刻み」の区分のみしかないので、具体的には以下のとおり。

2035～2039年：「2035年・〇〇県・15～19歳」の数／「2035年・全国・15～19歳」の数

2040～2044年：「2040年・〇〇県・15～19歳」の数／「2040年・全国・15～19歳」の数

2045年～：「2045年・〇〇県・15～19歳」の数／「2045年・全国・15～19歳」の数

2023年度以降の進学率・進学者数の推計方法

シナリオ①：2022年度の進学率を据え置く

シナリオ②：文科省方式の準用

（2018-2022の各年の進学率に係る対前年度伸び率の平均値（単純）のまま、将来も伸び続けると想定。

ただし、男子は、2022年度の進学率+5ポイントを上限とし、女子は、男子の推計値を上限とする。）

シナリオ③：②から、上限の設定を除く

（2018-2022の各年の進学率に係る対前年度伸び率の平均値（単純）のまま、将来も伸び続けると想定。）

## 教育活動に関する連携協定校一覧（令和5年度現在）

No.	所在地	学校名	締結年月
1	奈良県	育英西中学校・高等学校	令和4年4月
2	岡山県	就実中学校・高等学校	令和4年7月
3	香川県	英明高等学校	令和5年4月
4	和歌山県	和歌山信愛中学校・高等学校	令和5年4月
5	奈良県	奈良育英中学校・高等学校	令和5年4月
6	石川県	北陸学院高等学校	令和5年6月
7	沖縄県	興南高等学校	令和5年6月
8	沖縄県	沖縄尚学高等学校	令和5年6月
9	石川県	星稜高等学校	令和5年7月

令和5年度生活環境学部生活環境学科  
出身高校の所在地県別入学者数

都道府県	入学者数（人）	割合	備考
兵庫県	79	46%	大学所在地、附属高校所在地
大阪府	49	29%	
奈良県	7	4%	連携協定高校所在地
京都府	4	2%	学外試験場設置
鳥取県	4	2%	学外試験場設置
山口県	4	2%	
香川県	3	2%	学外試験場設置、連携協定高校所在地
滋賀県	3	2%	
和歌山県	2	1%	学外試験場設置、連携協定高校所在地
徳島県	2	1%	
愛媛県	2	1%	学外試験場設置
福岡県	2	1%	学外試験場設置
北海道	1	1%	
茨城県	1	1%	
石川県	1	1%	学外試験場設置、連携協定高校所在地
福井県	1	1%	
静岡県	1	1%	
三重県	1	1%	
岡山県	1	1%	学外試験場設置、連携協定高校所在地
広島県	1	1%	学外試験場設置
高知県	1	1%	
沖縄県	1	1%	学外試験場設置、連携協定高校所在地
合計	171	100%	

<参考>

令和4年度

都道府県	入学者数（人）	割合
兵庫県	88	45%
大阪府	57	29%
奈良県	11	6%
その他	39	20%
合計	195	100%

令和3年度

都道府県	入学者数（人）	割合
兵庫県	76	45%
大阪府	47	28%
奈良県	14	8%
その他	31	18%
合計	168	100%

設置構想中									
2023年	2024年								
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
	認知獲得			興味惹起					
PR用キービジュアル&キャッチコピー完成★	MUKOJO ACTION 動画情報更新(1/22)・HPトップに掲載(予定)	新リビエール発行(2/19) 資料請求者に発送	PR動画完成・公開(3/20)★ ・HPトップ画面に掲載 ・HP特設サイトに掲載	PR動画サイネージ提出★ ・阪神梅田駅 ・西宮北口駅構内	・難波ガレリアビジョン	日経MOOK 「大学選びに迷ったら読む本」 記事掲載	記者会見 朝日教育会議 シンポジウム開催★	新聞広告 朝日新聞 高校野球別刷り紙面(全5段)	
MUKOJO ACTION 新ビジュアルに更新 ・HPバナー提出 ・HPニュース掲載	新聞広告(全国) 毎日新聞元旦特集(1/1) 全5段	新聞広告(関西) 読売新聞全15段広告 PR用キービジュアル	研究者動画完成・公開★ ・HP特設サイトに掲載	テレビCM★ PR動画	神戸まつり★ うちわ1000本に広告掲載	Tver広告 オープンキャンパス情報追加	Tver広告★ オープンキャンパス情報追加	シネアにPR動画提出★  Tver広告★ オープンキャンパス情報追加	
	毎日新聞地方版(1/12)  全15段モノクロ	リーフレット完成★  WebDM(リクルート)★	YouTube広告★  WebDM(リクルート)★	タイムラインムービー★ (スタディプラス)	YouTube広告	キャンパスガイド発行	神戸新聞 「兵庫の大学へ行く」	朝日放送 女子高校野球  日経STEAMシンポジウム★ 新学部ブース設置	
	プレスリリース発信(1/15) 新学部設置構想中	UNIVERS ADS 3月オープンキャンパス ターゲット広告 大阪・兵庫・奈良の高校 450校にターゲット	新聞広告(全国)★ 読売新聞全15段広告 PR用キービジュアル		WebDM(リクルート)★	リーフレットDM★	毎日新聞 「大学受験NOW」夏号 駿台模試会場配布(20万部)	PR動画サイネージ提出★ 難波ガレリアVision	
	スタディプラス★ ダイレクトリーチ 5000通(アプリ内)	特設サイト完成・公開 HPバナーから遷移	梅田地下街サイネージ広告 PRキービジュアル				各種看板・パネル情報更新 堀尾/甲子園/西北/奈良	新聞広告★ 朝日新聞全15段	
		中央公論表3 MUKOJO ACTION掲載	阪神電車内ポスター	阪神電車内ポスター			リーフレットDM★		

登録情報誌・Webに新学部情報掲載								
JS「進路徹底研究」 宅配：近畿6万9000部	スタディサプリforSCHOOL Web	マナビジョン(進研アド) 基本パッケージ フリー広告	スタディプラス 基本情報(アプリ内) アクティブユーザー 34万人	マイナビ パンフ取り寄せ号(表2) 冊子：3万部				Keiアドバンス 関西大学特集(女子特集号) 宅配：西日本2万部
JS 奨学金ガイドブック 冊子：1万部		Keiアドバンス スタートダッシュ号 宅配：1万5000部	大学発見ナビ(進研アド) 冊子：77000部	マイナビ進学ガイド 学校情報号 冊子：関西5万部 +Web				
JS 新学部情報掲載		Kei-Net(web) 「注目の大学」	マナビジョンBOOK(進研アド) 冊子：40万部	Keiアドバンス 新学部特集号 宅配：1万5000部	SOLUTION 冊子：6万部発行			
大学通信ランキングブック 冊子：全国20万部			JS パンフ図書館 (Web) JS 大学マップ 冊子：西日本6万部 JS「日本の学校」(Web) スタディサプリ進路 (Web) 大学通信 「君はどの大学を選ぶべきか」 冊子：全国32万部発行	バスナビ (Web)				
				進学辞典forSCHOOL				

開設						
2024年			2025年			
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	出願促進					
YouTube広告	ダイレクトリーチ★	ダイレクトリーチ★	ダイレクトリーチ★			
毎日新聞 「大学受験NOW」秋号 駿台模試会場配布(20万部)	WebDM★ 神戸新聞	WebDM★ 日経新聞	広域DM★ 神戸新聞	神戸新聞★ 共通テスト解答下広告		
ユニブレスに特集記事 冊子：2万部発行	文化祭でチラシ配布 タイアップイベント 学生課&広報室					
	タイムラインブランド ムービー★	タイムラインブランド ムービー★				
阪神電車内ポスター						
マナビジョン PERFECTBOOK			Keiアドバンス 年内入試特集号 宅配：西日本2万部			
Keiアドバンス 年内入試特集号 宅配：西日本2万部						

環境共生学部競合校分析

学部・学科	①教育内容	②入試方式	③学納金・奨学金		④取得資格	⑤就職支援	⑥立地
			学納金	給付型奨学金			
<p>武蔵川女子大学 環境共生学部 環境共生学科</p>	<p>複雑な要素からなる地球環境・自然環境に関わる諸課題に対して、独自に問題点や課題を見つけ出し、システム改善や技術開発の契機とする。幅広い視野・教養・科学的知見に支えられた分析思考力・豊かな経験知・多様な他者との共感力を活用し、それら諸課題を解決する計画立案力・実践力を備えた人材を養成する。</p>	—	<p>初年度納付金：1,614,700円</p>	<p>新1年生対象自宅外通学応援奨学金：年額20万円 卒業学年対象費与奨学金返還支援：年額上限30万円 武蔵川学院奨学：④授業料の40%相当額・⑥年額20万円 武蔵川学院創立80周年記念特別奨学：年額20万円 武蔵川学院鳴松会奨学：年額20万円 武蔵川学院女性活躍給付金：上限30万円・奨学金20万円 武蔵川学院オリンピック・パラリンピック選手育成支援 奨学金・褒賞金：支援金一律15万円・褒賞金30万円（五輪出場時）</p>	<p>中学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭一種免許（理科） 学芸員 危険物取扱者[甲種]受験資格 自然再生士補</p>	<p>担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：少人数制のキャリアス ポット講座、『わたしプロデュース！』キャ リアプラン講座・セミナーの実施。浜甲子 園キャンパスの学生向けに就職専門スタッ フを配置。 サテライトキャンパス：あり（東京）</p>	<p>浜甲子園キャンパス（兵庫県西宮市） 大阪駅から約30分</p>
<p>関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科</p>	<p>本学科では、DNAやタンパク質の構造・機能を理解し、それらの相互作用に基づく高次の生命現象について学習し、食品・医薬品開発や基礎研究、植物の育種などへ幅広く応用できる能力を身につけます。また、研究者・技術者に求められる高い倫理観を養うため、生命倫理に関する科目も配当し、多方面で活躍できる人材を育成します。チャレンジできる研究テーマの多くは、先端医療、遺伝子工学、地球環境保全、地球温暖化防止、食品安全などに直接または強く関連しています。</p>	<p>全学Ⅰ 3 教科型設問 2 全学Ⅱ 3 教科型設問 全学Ⅰ 3 教科型理科 1 全学Ⅱ 3 教科型理数重 共テ 前期 4 科目型 共テ 前期 4 科目型 共テ 併用 5 科目型語学力 共テ 併用 4 科目型数学力 共テ 併用 4 科目型数学理科 共テ 併用 5 科目型総合力 共テ 後期 公募制推薦 A O S D G s 型 A O 活動実績評価 S F 9 月募集</p>	<p>初年度納付金：1,780,000円</p>	<p>関西大学新入生給付奨学金：年額450,000円 関西大学学部給付奨学金：年額450,000円 橋田奨励金：年額500,000円 賛助企業等からの寄付金による奨学金：年額240,000円 関西大学文化・学術活動等奨励金：年額200,000円を上限 国際交流助成基金交換派遣留学奨学金：1学期間250,000円・2学期間500,000円 国際交流助成基金短期派遣留学奨学金：10,000円～120,000円 赤井・柳井・久井・野田奨学金給付奨学金：年額240,000円 関西大学校友会奨学給付奨学金：年額240,000円 私費外国人留学生入学前予約奨学金：入学年度、学部により異なる 私費外国人留学生奨学金：入学年度、学部により異なる スポーツ振興奨学・奨励金：年額上限300,000円 認定留学生に対する学費減免制度：授業料を全額減免 認定留学特別奨励金：日本学生支援機構による修学支援新制度の授業料減免額と同等額</p>	<p>中学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭一種免許（理科） 司書 司書教諭 学芸員 健康食品管理士受験資格 危険物取扱者[甲種]受験資格 中級・上級バイオ技術者受験資格 食品衛生管理者、監視員</p>	<p>担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：理工系学生への就職支援のため「キャリアセンター理工系事務室」を設置。 サテライトキャンパス：あり（東京・梅田）</p>	<p>千里山キャンパス（大阪府吹田市） 大阪駅から約30分</p>
<p>関西大学 環境都市工学部 エネルギー環境 ・化学工学科</p>	<p>やがて石油の供給不足が現実になるといわれ、地球環境の悪化も進行しています。これ以上の環境破壊を食い止め人類の持続的発展を維持するためには、今は異なる新しいエネルギー体系を構築することが求められています。深刻化する地球温暖化問題に対しては、二酸化炭素の排出を最小化して、低炭素社会を構築する必要があります。そのためには省エネルギーの推進と既存エネルギーの変換効率の飛躍的向上に加えて、太陽光、風力、バイオマス、廃棄物や水素などの新エネルギーを利用する技術開発を進めていくことが重要です。本学科では、省エネルギーや新エネルギー、環境修復、環境汚染防止など、エネルギーと環境を見据えた科目を配置。1年次から多くの実験・演習を課し、身に付けた実践的な知識・技術を生かして環境負荷の少ない新システムを構築できる人材を育成します。</p>	<p>全学Ⅰ 3 教科型設問 2 全学Ⅱ 3 教科型設問 全学Ⅰ 3 教科型理科 1 全学Ⅱ 3 教科型理数重 共テ 前期 共テ 併用 5 科目型語学力 共テ 併用 4 科目型数学理科 共テ 併用 5 科目型総合力 共テ 後期 公募制推薦 A O 活動実績評価 S F 9 月募集</p>	<p>初年度納付金：1,780,000円</p>	<p>同上</p>	<p>中学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭一種免許（工業） 司書 司書教諭 学芸員 毒物劇物取扱責任者 甲種消防設備士受験資格 危険物取扱者[甲種]受験資格</p>	<p>同上</p>	<p>千里山キャンパス（大阪府吹田市） 大阪駅から約30分</p>
<p>関西学院大学 生命環境学部 生物科学科</p>	<p>生物科学科では、多様な実験・演習、フィールドワークを通じて体験学習、また生命現象の情報科学的解析技術の習得などを通じて、生物の多様性と環境適応の機構を科学的に分析する能力を養います。生物機能の活用を通じて再生・共生型社会の構築に貢献するため、生命のしくみを理解するとともに、生命を分子レベルで分析・評価するための知識や技術を身につけます。</p>	<p>英数日程 金学部日程均等配点型 金学部数学理科重視型 共テ 1 月 5 科目英語・検定 共テ 1 月 7 科目型 共テ 1 月 5 科目型理科 1 科 共テ 1 月 5 科目型理科 2 科 共テ 併用日程数学 共テ 3 月 4 科目型 グローバル I スポーツ 学部特色 探究評価型</p>	<p>初年度納付金：1,751,000円</p>	<p>就学奨励奨学金：【理系学部】年額470,000円 経済支援奨学金：【理系学部】年額230,000円 産学合同育英奨学金：【理系学部】年額300,000円 ランパス支給奨学金：【理系学部】年額470,000円 中谷記念奨学金：年額150,000円 奨励奨学金：【理系学部】年額450,000円 同窓会奨学金：年額300,000円 クレセント奨学金：【理系学部】年額300,000円 利子補助奨学金：1年間の利子支払相当額 特別支給奨学金（給付制）：年額学費相当額の2分の1又は40万円のうち、いずれか少ない方 後援会奨学金（給付制）：年額学費相当額の2分の1又は40万円のうち、いずれか少ない方</p>	<p>中学校教諭一種免許(理科) 高等学校教諭一種免許(理科) 司書教諭 危険物取扱者[甲種]受験資格 学芸員</p>	<p>担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：理系学生のビジネスマインド醸成を目的に、学部1年生から将来のキャリア意識を醸成させる「BIZCAFE」を設置。24時間・365日質問対応できる学生向けチャットボットで進路や就職に関する学生の質問に対応。 サテライトキャンパス：あり（東京丸の内・大阪梅田）</p>	<p>上ヶ原キャンパス（兵庫県西宮市） 大阪駅から約45分</p>

学部・学科	①教育内容	②入試方式	③学納金・奨学金		④取得資格	⑤就職支援	⑥立地
			学納金	給付型奨学金			
近畿大学 農学部 応用生命化学科	応用生命化学は、人口の増加に伴うエネルギー危機や食糧危機、健康問題など、人類が地球規模で直面する諸問題を解決する鍵として注目を集める学問です。本学科では、生物の特性を生かした、さまざまな研究を展開しています。生命、資源、食糧、環境の4つの柱のもと、機能性食品の開発、微生物代謝物や未利用植物資源の活用、生活を豊かにする研究に取り組んでいます。また、最先端技術を駆使し、マツタケの人工栽培、農薬・医薬品などの、実社会に役立つモノづくりにも挑戦しています。実学志向の環境のもとで、生物を化学的視点から理解し、産業界で即戦力となる人材を育成します。	前期 A 日程 前期 B 日程 後期 共テ 前期 3 教科 3 科目型 共テ 前期 4 教科 4 科目型 共テ 前期 5 教科 5 科目型 共テ 中期 共テ 併用方式 A 日程 共テ 併用方式 B 日程 共テ 後期 共テ 併用方式後期 推薦 専高専門総合推薦	初年度納付金：1,716,500円	近畿大学入学前予約採用型給付奨学金：年額300,000円 近畿大学給付奨学金：年額300,000円	中学校教諭一種免許(理科) 高等学校教諭一種免許(理科) 高等学校教諭一種 (農業) 食品衛生管理者・監視員 危険物取扱者[甲種]受験資格 学芸員	担当部署：キャリアセンター、学生支援課(農学部) 特色ある取組み：「キャリアセンター」、「リエゾンセンター」、「学園校友部」、「社会連携推進センター」が連携した「オープンキャリア・フィールド」による就職支援体制を構築。 サテライトキャンパス：あり(東京)	奈良キャンパス(奈良県生駒市) 大阪駅から約90分
大阪工業大学 工学部 環境工学科	環境工学科では、人と自然との共生、循環型社会の構築を目指して、生活環境、地域環境、自然環境における有機的なつながりを理解し、環境の保全、修復及び資源循環をリードする人材を育成します。	前期 A 日程 前期 B 日程 後期 D 日程 共テ 前期 A C 日程 共テ 前期 B C 日程 共テ 前期 C 日程 共テ 後期 D C 日程 共テ 後期 C 日程 公募制推薦 女子特別推薦 普通科特別推薦 A O 専門高校特別推薦	初年度納付金：1,655,700円	特待生奨学金:年間授業料相当額 入試選抜奨学金:入学初年度の授業料の半額相当額 成績優秀奨学金・テラスキ奨学金:年間授業料の半額相当額 学園校友会奨学金基金奨学金:年額20,000～30,000円 特別奨学金:年額125,000円 副島奨学金:年額35,000円 泰山奨学金:年額310,000円 外国人留学生内奨学金:月額20,000円 外国人留学生授業料減免制度:年間授業料の20%相当額	中学校教諭一種免許(理科) 高等学校教諭一種免許(理科) 高等学校教諭一種免許(工業) 危険物取扱者[甲種]受験資格	担当部署：キャリア支援部 特色ある取組み：各学科に就職アドバイザーを配置。学生一人あたり約10回の面談を実施。 サテライトキャンパス：なし	大宮キャンパス(大阪市旭区) 大阪駅から約30分
甲南大学 理工学部 生物学科	生物学科では、基礎となる生命への理解を、遺伝子、タンパク質から細胞、個体、生態、進化に至る幅広い領域から深めます。	前期日程 3 教科型一般 前期 3 教科型外部英語 中期日程 3 教科型一般 中期 3 教科型外部英語 共テ 前期日程一般方式 共テ 前期日程外部英語活用 共テ 併用型前期日程 3 教科 公募推薦数学一般 公募推薦数学外部	初年度納付金：1,603,500円	甲南学園奨学金：月額25,000円 中川路奨学金：月額25,000円 甲南大学瀬川奨学金：月額30,000円 甲南大学平友奨学金：：月額20,000円 甲南大学旧制甲南高等学校奨学金：月額20,000円 甲南大学八木謙二「わがみちをすすめ」奨学金：月額45,000円 甲南大学父母の会奨学金：月額40,000円 甲南大学同窓会奨学金：月額20,000円 甲南大学「わがくるま星につなぐ」甲南の星奨学金：年額420,000円 甲南大学立野純三奨学金：：年額500,000円	中学校教諭一種免許(理科) 高等学校教諭一種免許(理科) 博物館学芸員	担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：、学生がもつ力を評価認定する「KONAN サーティファイブ」制度を設置。 サテライトキャンパス：あり(東京)	同本キャンパス(神戸市東灘区) 大阪駅から約30分

生活環境学部競合校分析

学部・学科	①教育内容	②入試方式	③学納金・奨学金		④取得資格	⑤就職支援	⑥立地
			学納金	給付制奨学金			
武蔵川女子大学 生活環境学部 生活環境学科	生活環境学部生活環境学科は、衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境としてとらえ、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成する	A 前期 2 科目型 A 前期 3 科目型 B 中期 2 科目型 C 後期 2 科目型 共テ D 3 教科型 公募制推薦前期 公募制推薦後期	初年度納付金：1,459,700円	新1年生対象自宅外通学応援奨学金：年額20万円 卒業学年対象貸与奨学金返還支援：年額上限30万円 武蔵川学院奨学：④授業料の40%相当額・⑥年額20万円 武蔵川学院創立80周年記念特別奨学：年額20万円 武蔵川学院鳴松会奨学：年額20万円 武蔵川学院女性活躍給付金：上限30万円・奨学金20万円 武蔵川学院オリピック・パラリンピック選手育成支援 奨学金・褒賞金：支援金一律15万円・褒賞金30万円（五輪出場時）	1・2級テクニカルアドバイザー 一級建築士受験資格 二級建築士受験資格 木造建築士受験資格 1・2級建築施工管理技士受験資格 インテリアプランナー登録資格 商業施設士補 中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭） 図書館司書 学校図書館司書教諭 博物館学芸員	担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：少人数制のキャリアサポート講座、『わたしプロジェクト！』キャリアアップ講座・セミナーの実施。 サテライトキャンパス：あり（東京）	中央キャンパス（兵庫県西宮市） 大阪駅から約30分
京都女子大学 家政学部 生活造形学科	「人間にとって快適な生活環境とは何か」をテーマとして、造形意匠学、アパレル造形学、空間造形学の3領域に関する専門的知識・理解を深め、4年間の学びを通して、情熱豊かで高雅な、凛とした品位ある女性人材の養成を目指します	前期 A 方式 前期 B 方式 後期 共テ 前期 3 教科型 共テ 前期 5 科目型 共テ 前期 C 方式 共テ 後期 3 教科型 公募型推薦基礎 公募型推薦総合 総合型	初年度納付金：1,435,000円	京都女子大学成績優秀奨学金：年額200,000円 京都女子大学奨学金：当該学期の授業料の全額相当額50,000円～300,000円 京都女子大学育友会奨学金：50,000円	1級テクニカルアドバイザー 一級建築士受験資格 二級建築士・木造建築士受験資格 インテリア設計士 商業施設士補 中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭） 図書館司書 学校図書館司書教諭 博物館学芸員	担当部署：進路・就職課、キャリア開発センター 特色ある取組み：コピー無料制度あり。 サテライトキャンパス：あり（大阪）	東山キャンパス（京都市東山区） 大阪駅から約60分
同志社女子大学 生活科学部 人間生活学科	被服・住居・家族・地域・心理・福祉など、多角的な視点から「くらし」にアプローチ。「真に豊かな生活」を創造する専門性と感性を養います。	前期日程 2 教科 前期日程 3 教科 後期日程 共テ 前期 3 教科型 共テ 前期 5 教科型 後期 3 教科型 A O 方式第 II 項 推薦 S	初年度納付金：1,428,000円	同志社女子大学奨学金：授業料相当額の1/2以内 同志社女子大学サポーターズ募金“ぶどうの樹”奨学金：授業料相当額の1/2以内 松下紀美子記念奨学金：授業料相当額の1/2以内 花谷明子記念奨学金：授業料相当額の1/2以内 同志社女子大学同窓会（Vineの会）奨学金：授業料相当額の1/2以内 同志社女子大学生活科学会奨学金：50,000円 同志社同窓会奨学金：150,000円 同志社同窓会ミス・デントン記念奨学金：100,000円 E.L.ヒバード記念奨学金：500,000円以内 同志社女子大学瀬山徳三・季乃記念海外留学奨励金：500,000円以内 同志社女子大学坂本武人・清音記念 外国人留学生奨学金：100,000円 五平さん奨学金：50,000円 立山奨学金：50,000円 坂本武人奨学金：50,000円 金玉羅奨学金：50,000円 新島八重記念奨学金：50,000円 内田郁子・淑子奨学金：50,000円 内田美智子奨学金：50,000円 篤志家奨学金：50,000円	中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭） 図書館司書 学校図書館司書教諭 博物館学芸員	担当部署：キャリア支援部 特色ある取組み：就職活動に係る交通費の一部補助 サテライトキャンパス：なし（ただし、法人内併設の同志社大学の東京・大阪キャンパスを利用可能）	今出川キャンパス（京都市上京区） 大阪駅から約60分
甲南女子大学 人間科学部 生活環境学科	暮らしの基本である衣・食・住を中心に、心身の健康を促進するスポーツやレクリエーション、自然との共生や社会など、幅広い領域を学習。生活・社会・自然の各方面から生活を科学的に研究します。多様な観点から生活をより良くするスキルを身につけることで、おしゃべりで快適なライフスタイルの実現をめざします。	I 日程・II 日程 III 日程 IV 日程 共テ I 日程 2 教科型 共テ I 日程 3 教科型 共テ II 日程 スポーツ推薦型 学校推薦型専願 I 学校推薦型専願 II 学校推薦型専願 III 学校推薦型併願 I 学校推薦型併願 II 学校推薦型併願 III 総合型	初年度納付金：1,405,700円	甲南女子大学奨学金：減免 甲南女子大学遠隔地出身学生奨励奨学金：一 甲南女子大学緊急特別奨学金：減免 甲南女子学園清友会（同窓会）奨学金：一 村尾育英会奨学金：一 山村育英会奨学金：一 甲南女子大学外国人留学生授業料減免	レクリエーション・インストラクター フードスペシャリスト 図書館司書 博物館学芸員 スポーツ・レクリエーション指導者 専門フードスペシャリスト	担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：『自分にとって1段階レベルが高い企業の内定を獲得する』ことを目標とした、4か月のプログラムを実施。 サテライトキャンパス：なし	キャンパス（兵庫県神戸市） 大阪駅から約30分
神戸女子大学 家政学部 家政学科	社会の変化にともなって、私たちの生活は豊かで便利になりました。その一方で、少子高齢化や情報化の進展、地球環境問題など生活課題は複雑・多様になっています。家政学科では、これら現代的な生活課題を解決するために、生活にかかわるさまざまな事象について教育研究を行っています。 将来の進路や興味・関心に合わせて、家政学全般を広く学ぶことも、衣と住に特化して学ぶこともできるように、被服デザイン科学コース、住空間コース、生活マネジメントコースの3コースを設置しています。生活を多角的に捉えて研究し、次世代に向けて新しい生活を提示・実践できる人材を育成していきます。	前期 B 3 科目型 前期 A 前期 B 前期 C 3 科目型 前期 C 後期 共テ 前期 共テ 後期 A 共テ 後期 B 公募制推薦前期 公募制推薦後期 A O 課題提出型 自己アピール	初年度納付金：1,445,000円	神戸女子大学優秀者応援奨学金：優秀者表彰型10万円・奨学生応援型30万円～50万円 神戸女子大学経済支援奨学金：採用年度の授業料及び教育・施設充実費の半額 神戸女子大学教育後援会育英奨学生奨学金（保証人の会）：前期20万円・後期20万円 青山会奨学金（同窓会）：4年生後期の授業料、教育・施設充実費相当額を給付	中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭） 商業施設士補 図書館司書 学校図書館司書教諭	担当部署：キャリアサポートセンター 特色ある取組み：毎週木曜日・金曜日を「就職ガイダンス」と位置付け、3年生4月より本格的にガイダンスを開始。 サテライトキャンパス：なし	須磨キャンパス（神戸市須磨区） 大阪駅から約60分

学部・学科	①教育内容	②入試方式	③学納金・奨学金		④取得資格	⑤就職支援	⑥立地
			学納金	給付制奨学金			
奈良女子大学 生活環境学部 文化情報学科	文化情報学科では、生活に関わる教育・研究を基盤として人文社会学と情報通信技術を文理横断的に活用し、社会的課題解決に取り組むとともに、新たな価値を創造する次世代を担う女性人材の養成を目的とします。	前後 学校推薦型共テ 探究力Q	初年度納付金：822,460円	廣岡奨学金：月額15,000円 育児奨学金：申請受付回ごとに20,000円を上限 なでしこ基金「修学支援奨学金」：1回67,000円（実際に支払うべき授業料の4分の1相当額） 広部奨学金：各学部及び人間文化総合科学研究科からの推薦者に各10,000円 一般社団法人佐保会奨学金：学部30,000円	中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭） 高等学校教諭一種免許状（情報） 学校図書館司書教諭 博物館学芸員 社会福祉主事(任用資格)	担当部署：学生生活課就職係 特色ある取組み：教員と事務職員が協力して就職活動を支援するために学生支援室 就職支援部門を設置して、就職支援行事の企画・実施を行うなど、就職活動を全学的に支援。 サテライトキャンパス：なし	キャンパス（奈良県奈良市） 大阪駅から約60分
奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科	住環境学は、安全・安心で、快適に生活することができ、自然環境とも共生できる住環境を総合的に創り上げていくことを目指した学問体系です。住まいのインテリアから建築、都市、地域にいたる広範な領域を対象に、生活者の視点に立った質の高い生活空間の計画・設計・管理するための技術を学びます。	前後 学校推薦型共テ 探究力Q	初年度納付金：822,460円	同上	中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭） 学校図書館司書教諭 博物館学芸員 社会福祉主事(任用資格) 一級建築士受験資格 二級建築士受験資格 1・2級建築施工管理技士受験資格 インテリアプランナー登録資格 商業施設士	同上	同上
関西学院大学 建築学部 建築学科	建築学部は、デザイン、マネジメント、工学、人文社会など幅広い視点から建築・都市を学ぶカリキュラムを通して、国際社会・地域社会で活躍する建築家、都市計画技術者、まちづくりリーダーの育成を図ります。	英数日程 全学部日程均等配点型 全学部数学理科重視型 共テ 1月5科目英語・検定 共テ 1月7科目型 共テ 1月5科目型理科1科 共テ 1月5科目型理科2科 共テ 併用日程数学 共テ 3月4科目型 グローバルI スポーツ 学部特色 探究評価型	初年度納付金：1,754,000円	就学奨励奨学金：【理系学部】年額470,000円 経済支援奨学金：【理系学部】年額230,000円 産学合同育英奨学金：【理系学部】年額300,000円 ランパス支給奨学金：【理系学部】年額470,000円 中谷記念奨学金：年額150,000円 奨励奨学金：【理系学部】年額450,000円 同窓会奨学金：年額300,000円 クレセント奨学金：【理系学部】年額300,000円 利子補助奨学金：1年間の利子支払相当額 特別支給奨学金（給付制）：年額学費相当額の2分の1又は40万円のうち、いずれか少ない方 後援会奨学金（給付制）：年額学費相当額の2分の1又は40万円のうち、いずれか少ない方	一級建築士受験資格 二級建築士・木造建築士受験資格 1・2級建築施工管理技士受験資格	担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：理工系学生への就職支援のため「キャリアセンター理工系事務室」を設置。 サテライトキャンパス：あり（東京・梅田）	神戸三田キャンパス（兵庫県三田市） 大阪駅から約60分
関西大学 環境都市工学部 建築学科	建築学は、私たちが最も身近な環境としての建物を対象としている学問であり、技術的な側面に限らず、社会的・文化的側面にも広がる領域を含んでいます。そこで本学科では、「災害に耐える建物の構造体としてのありかた」「都市や建物で快適に過ごすための環境」「建物が住む人に与える身体的・心理的問題」など、建築の専門知識はもちろん、人間心理や自然現象といった理系、文系分野の知識をバランスよく身につけることができるカリキュラムを用意し、これからの時代が求める、自然環境と共生し、豊かな生活を営むことができる空間をつくりあげる能力を育てます。	全学I 3教科型設問2 全学II 3教科型設問 全学I 3教科型理科1 全学II 3教科型理数重 共テ 前期4科目型 共テ 前期4科目型数理科型 共テ 併用5科目型語学力 共テ 併用4科目型数学力 共テ 併用5科目型総合力 共テ 後期 A O S D G s 型 A O 活動実績評価 S F 9月募集	初年度納付金：1,780,000円	関西大学新入生給付奨学金：【システム理工・環境都市工・化学生命工学部】年額450,000円 関西大学学部給付奨学金：【システム理工・環境都市工・化学生命工学部】年額450,000円 植田奨励金：年額500,000円 賛助企業等からの寄付金による奨学金：年額240,000円 関西大学文化・学術活動等奨励金：年額200,000円を上限 国際交流助成基金交換派遣留學奨学金：1学期間250,000円・2学期間500,000円 国際交流助成基金短期派遣留學奨学金：10,000円～120,000円 赤井・柳家・久井・野田奨学金給付奨学金：年額240,000円 関西大学校友会学部給付奨学金：年額240,000円 私費外国人留學生入学前予約奨学金：入学年度、学部により異なる 私費外国人留學生奨学金：入学年度、学部により異なる スポーツ振興奨学・奨励金：年額上限300,000円 認定留學生に対する学費減免制度：授業料を全額減免 認定留學特別援助金：日本学生支援機構による修学支援新制度の授業料減免額と同額	高等学校教諭一種免許状（工業） 図書館司書 学校図書館司書教諭 博物館学芸員 一級建築士受験資格 二級建築士受験資格 木造建築士受験資格 1・2級建築施工管理技士受験資格 建築施工管理技士受験資格 土木施工管理技士受験資格 造園施工管理技士受験資格 コンクリート診断士受験資格 甲種消防設備士	担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：理工系学生への就職支援のため「キャリアセンター理工系事務室」を設置。 サテライトキャンパス：あり（東京・梅田）	千里山キャンパス（大阪府吹田市） 大阪駅から約30分
近畿大学 建築学部 建築学科	建築学部では、理系の学生だけではなく、文系の学生にも対応した入試制度と教育プログラムを用意しています。専攻は興味に応じて3年次に選択します。文系でも建築に必要な数学・物理を無理なく学ぶことができ、製図やスケッチも基礎から身につけることができます。将来は、建築士や都市プランナー、インテリアデザイナーなど多彩に活躍できます。	前期A日程 前期B日程 後期 共テ 前期3教科4科目型 共テ 前期5教科7科目型 共テ 中期 共テ 併用方式A日程 共テ 併用方式B日程 共テ 後期 共テ 併用方式後期 推薦	初年度納付金：1,718,500円	近畿大学入学前予約採用給付奨学金：年額300,000円 近畿大学給付奨学金：年額300,000円	一級建築士受験資格 二級建築士受験資格 木造建築士受験資格 インテリアプランナー登録資格 1・2級建築施工管理技士受験資格	担当部署：キャリアセンター 特色ある取組み：建築学部独自の就職説明会を開催。「キャリアセンター」、「リエゾンセンター」、「学履校友部」、「社会連携推進センター」が連携した「オープンキャリア・フィールド」による就職支援体制を構築。 サテライトキャンパス：あり（東京）	東大阪キャンパス（大阪府東大阪市） 大阪駅から約45分

# 環境共生学部競合校の入学志願動向

【資料12】

【関西大学化学生命工学部生命・生物工学科】入試データ、事業報告書より抜粋。学部合計値、空欄不明

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	347	5,465		1,996	364	1.04
令和4年度	347	4,944		2,069	365	1.05
令和3年度	347	4,617		1,969	346	0.99

学科入定105

一般入試、共通テスト利用入試（併用・前期・後期）、AO入試、SF入試、公募制推薦入試、外国人学部留学生入試

【関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科】入試データ、事業報告書より抜粋。学部合計値、空欄不明

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	325	4,721		1,606	310	0.95
令和4年度	325	4,560		2,069	354	1.08
令和3年度	325	4,435		1,424	321	0.98

学科入定88

一般入試、共通テスト利用入試（併用・前期・後期）、AO入試、SF入試、公募制推薦入試、外国人学部留学生入試

【関西学院大学生命環境学部生物科学科】大学基礎データ2022より抜粋。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	61	1,073	728	426	63	1.03
令和4年度	61	1,142	702	456	62	1.01
令和3年度	61	933	480	357	66	1.08

一般入試（全学部日程、共通テスト併用日程）、共通テスト利用入試

総合型選抜（探求評価型入学試験、グローバル入学試験、学部特色入学試験、スポーツ選抜入学試験）

【近畿大学農学部応用生命化学科】

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	120	2,592	1,896	826	142	1.18
令和4年度	120	2,571	1,841	1,089	116	0.96
令和3年度	120	2,602	1,892	1,212	134	1.11

推薦入試、一般入試・前期（A・B）、一般入試・後期、

共通テスト利用方式（前期・中期・後期）、共通テスト併用方式（A・B・後期日程）

【大阪工業大学工学部環境工学科】事業報告書より抜粋。空欄不明

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	75	551	458	232		
令和4年度	75	429	388	232		
令和3年度	75	659	523	248		

公募制推薦入試、普通科高校特別推薦入試、専門高校特別推薦入試、

一般入試前期A日程、前期AC日程、前期B日程、前期BC日程、前期C日程、後期D日程、後期DC日程、後期C日程、AO入試  
社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試、編入学試験（3年次編入学）

学部全体

入学定員	入学者数	入学定員超過率
900	914	1.01
900	914	1.01
900	1001	1.11

【甲南大学理工学部生物学科】入試データ、事業報告書より抜粋

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	45	811	753	282	59	1.31
令和4年度	45	559	552	263	47	1.04
令和3年度	45	511	505	255	59	1.31

一般選抜（前期・中期）、共通テスト併用型（前期）、共通テスト利用型（前期）

公募制推薦入学試験、外国人留学生（正規留学生）入学試験、帰国生選抜入学試験、編入学試験

# 生活環境学部競合校の入学志願動向

【資料13】

【京都女子大学家政学部生活造形学科】大学情報の公表、入試データより。総合型選抜の受験者数不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	120	660	630	216	107	0.89
令和4年度	120	820	799	290	159	1.32
令和3年度	120	837	770	257	137	1.14

総合型選抜、公募型学校推薦選抜、帰国子女入学試験、共通テスト利用型選抜（前期・後期）  
社会人特別選抜、一般選抜（前期・後期）

【同志社女子大学生活科学部人間生活学科】大学情報公表より。受験者数不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	90	656	—	222	109	1.21
令和4年度	90	824	—	240	92	1.02
令和3年度	90	763	—	214	95	1.05

一般入試、AO入試、附属校推薦、指定校推薦、公募制推薦入試、社会人入試、留学生入試  
帰国生入試、その他推薦入試（同窓子女対象・協定校・教育連携校）

【甲南女子大学人間科学部生活環境学科】大学情報公表、自己点検評価書より。

R3.4の志願者数～合格者数は旺文社入試サイトより抜粋。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	80	509	484	215	84	1.05
令和4年度	80	636	428	334	83	1.03
令和3年度	80	648	551	294	90	1.12

総合型選抜、推薦型選抜（学校推薦型選抜・ファミリー推薦型選抜・スポーツ推薦型選抜）、  
一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、特別選抜（帰国子女・外国人留学生・社会人）

【神戸女子大学家政学部家政学科】大学情報公表、入試データより。R3志願者数～合格者数不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	80	279	206	92	58	0.72
令和4年度	80	375	320	138	50	0.62
令和3年度	80	—	—	—	91	1.13

公募制推薦入試（前期・中期・後期）、自己アピール入試（前期・後期）、  
一般入試（前期A・前期B・中期・後期）、大学入学共通テスト利用入試（前期・後期A/B  
英語外部検定試験利用入試（総合型・学校推薦型）

【奈良女子大学生活環境学部文化情報学科】学部合計値。HP入試統計調査より。R3不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	145	723	492	163	158	1.08
令和4年度	145	701	498	167	161	1.11
令和3年度	—	—	—	—	—	—

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入試、高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試

【関西学院大学建築学部建築学科】大学基礎データ2022より。受験者数不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	132	2,265	—	857	129	0.97
令和4年度	132	1,884	—	903	168	1.27
令和3年度	132	1,854	—	646	127	0.96

一般入試（全学部日程、共通テスト併用日程）、共通テスト利用入試  
総合型選抜（探求評価型入学試験・グローバル入学試験・学部特色入学試験・スポーツ選抜入学試験）

【関西大学環境都市工学部建築学科】入試データ、事業報告書より。学部合計値。受験者数不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	325	4,721	—	1,606	310	0.95
令和4年度	325	4,560	—	2,069	354	1.08
令和3年度	325	4,435	—	1,424	321	0.98

一般入試、共通テスト利用入試（併用・前期・後期）、AO入試、SF入試、公募制推薦入試、外国人学部留学生入試

【近畿大学建築学部建築学科】入試データより。共通テスト利用方式（前期・中期・後期）は受験者数不明。

年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率
令和5年度	280	8,733	7,579	1,341	312	1.11
令和4年度	280	9,948	8,676	1,513	308	1.10
令和3年度	280	9,386	8,265	1,328	298	1.06

推薦入試、一般入試・前期（A・B）、一般入試・後期、  
共通テスト利用方式（前期・中期・後期）、共通テスト併用方式（A・B・後期日程）

武庫川女子大学  
2025年度構想についての高校生アンケート調査

「環境共生学部 環境共生学科（仮称・設置構想中）」  
「生活環境学部 生活環境学科（定員増構想中）」  
に係る高校生アンケート調査

報告書

令和6年2月  
株式会社高等教育総合研究所

## 目 次

1. 高校生アンケート調査 概要	3
2. 調査実施高等学校等 一覧	4
3. 高校生アンケート調査 集計結果	5
4. 高校生アンケート調査 結果の要点	8
(添付資料)	
高校生アンケート調査用紙	11
「環境共生学部 環境共生学科(仮称)」リーフレット	13
「生活環境学部 生活環境学科」リーフレット	16

## 1. 高校生アンケート調査 概要

調査目的	令和7年(2025年)度に設置構想中の「武庫川女子大学 環境共生学部 環境共生学科(仮称)」(入学定員120名)と定員増構想中の「武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科」(入学定員165名→195名)における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	調査対象: 令和7年3月に高校卒業予定である高校2年生(令和5年度) 調査地域: 武庫川女子大学既設学部志願実績があり学生確保の基盤とする兵庫県・大阪府を中心に、「環境共生学部 環境共生学科(仮称)」・「生活環境学部 生活環境学科」においても志願者が見込まれる高校から協力を得た。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の基本情報(性別、居住地)</li> <li>・卒業後の希望進路</li> <li>・希望する大学等の設置者</li> <li>・興味のある学問分野</li> <li>・武庫川女子大学 環境共生学部 環境共生学科(仮称)・生活環境学部 生活環境学科 への興味・関心、受験・入学意向</li> </ul>
調査時期	令和5年12月～令和6年1月
調査方法	調査実施の了承が得られた高校に対しアンケート用紙を送付し、各校の教職員の監督のもと、高校において実施した。(紙方式・web方式での回答方法を案内し、いずれかで回答を依頼)
回収件数	有効回答数5,955件 ※本アンケートは男性も含めた7,635名が回答したが、問6以降は、問1の「女性」回答者5,955名のみで集計した。

## 2. 調査実施高等学校等一覧

※回答者数は女子のみ

番号	高校名	回答者数	番号	高校名	回答者数
1	星稜高等学校	264	26	兵庫県立芦屋高等学校	132
2	北陸学院高等学校	163	27	兵庫県立須磨友が丘高等学校	123
3	大阪府立北千里高等学校	73	28	兵庫県立川西緑台高等学校	22
4	大阪府立東高等学校	63	29	兵庫県立西宮高等学校	140
5	大阪府立阿倍野高等学校	18	30	兵庫県立龍野高等学校	99
6	大阪府立高槻北高等学校	59	31	兵庫県立三田祥雲館高等学校	87
7	大阪府立箕面高等学校	50	32	兵庫県立宝塚西高等学校	51
8	大阪府立桜塚高等学校	37	33	仁川学院高等学校	229
9	大阪府立清水谷高等学校	139	34	賢明学院高等学校	38
10	大阪府立花園高等学校	172	35	武庫川女子大学附属高等学校	237
11	箕面自由学園高等学校	88	36	甲南女子高等学校	21
12	上宮高等学校	19	37	親和女子高等学校	157
13	プール学院高等学校	157	38	小林聖心女子学院高等学校	73
14	宣真高等学校	272	39	奈良県立生駒高等学校	41
15	好文学園女子高等学校	146	40	奈良県立奈良北高等学校	147
16	兵庫県立小野高等学校	64	41	奈良県立橿原高等学校	125
17	兵庫県立御影高等学校	147	42	奈良県立桜井高等学校	125
18	兵庫県立星陵高等学校	352	43	奈良市立一条高等学校	126
19	兵庫県立夢野台高等学校	40	44	奈良育英高等学校	126
20	兵庫県立北須磨高等学校	122	45	育英西高等学校	76
21	兵庫県立明石城西高等学校	145	46	和歌山県立海南高等学校	96
22	兵庫県立姫路飾西高等学校	100	47	和歌山信愛高等学校	114
23	兵庫県立須磨東高等学校	118	48	就実高等学校	345
24	兵庫県立尼崎北高等学校	119	48	英明高等学校	140
25	兵庫県立鳴尾高等学校	27	50	沖縄尚学高等学校	131
総 計					5,955

### 3. 高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
1 女性	5,955	78.0%
2 男性	1,519	19.9%
3 答えたくない	144	1.9%
(無回答)	17	0.2%
合計	7,635	100.0%

問2以降は問1で「女性」と回答した5,955人を集計対象とした。

問2 あなたのお住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
1 兵庫県	2,524	42.4%
2 大阪府	1,408	23.6%
3 奈良県	772	13.0%
4 京都府	37	0.6%
5 滋賀県	3	0.1%
6 和歌山県	195	3.3%
7 その他	987	16.6%
(無回答)	29	0.5%
合計	5,955	100.0%

問3 卒業後の進路をどのように考えていますか。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答であるため、回答数は延べ。構成比(%)=各回答数÷回答者数(全回答者7,635人)

選択肢	件数	構成比
1 大学	5,371	90.2%
2 短期大学	306	5.1%
3 専門職大学	546	9.2%
4 専門職短期大学	45	0.8%
5 専門学校	696	11.7%
6 就職	135	2.3%
7 その他	27	0.5%

問4【問3で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」を選択の方対象】  
志望する大学などの設置者の希望を選択してください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答であるため、回答数は延べ。構成比(%)=各回答数÷回答者数(回答対象者5,582人)

選択肢	件数	構成比
1 私立	3,806	68.2%
2 公立	2,038	36.5%
3 国立	1,884	33.8%

問5 あなたが興味のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答であるため、回答数は延べ。構成比(%)＝各回答数÷回答者数(全回答者7,635人)

選択肢		件数	構成比
1	環境学	374	6.3%
2	機械工学	102	1.7%
3	電気通信工学	81	1.4%
4	土木建築工学	273	4.6%
5	工学その他	143	2.4%
6	家政学	262	4.4%
7	被服学	206	3.5%
8	住居学	204	3.4%
9	食物学	416	7.0%
10	家政その他	37	0.6%
11	文学	777	13.0%
12	史学	254	4.3%
13	哲学	228	3.8%
14	心理学	1,081	18.2%
15	人文科学その他	133	2.2%
16	法学・政治学	452	7.6%
17	商学・経済学	910	15.3%
18	社会学	569	9.6%
19	社会科学その他	105	1.8%
20	数学	82	1.4%
21	物理学	67	1.1%
22	化学	178	3.0%
23	生物	372	6.2%
24	地学	53	0.9%
25	理学その他	214	3.6%
26	農学	191	3.2%
27	農芸化学	50	0.8%
28	獣医学畜産学	124	2.1%
29	農学その他	38	0.6%
30	医学	282	4.7%
31	歯学	132	2.2%
32	薬学	423	7.1%
33	看護学	859	14.4%
34	その他医療	325	5.5%
35	商船学	11	0.2%
36	教育学	804	13.5%
37	学校教育課程	230	3.9%
38	教育その他	120	2.0%
39	美術	352	5.9%
40	デザイン	631	10.6%
41	音楽	351	5.9%
42	芸術その他	233	3.9%
43	教養学	91	1.5%
44	総合科学	61	1.0%
45	国際関係学	676	11.4%
46	人間関係科学	216	3.6%
47	その他	298	5.0%

問6以降は、武庫川女子大学「環境共生学部 環境共生学科（仮称・設置構想中）」「生活環境学部 生活環境学科」各リーフレットを確認の上、回答を求めた。

問6 武庫川女子大学が2025年度に設置の「環境共生学部 環境共生学科（仮称）」または入学定員増予定の「生活環境学部 環境学科」のうち、あなたが興味のあるものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		件数	構成比
1	環境共生学部 環境共生学科	425	7.1%
2	生活環境学部 生活環境学科	737	12.4%
3	興味のあるものはない	4,501	75.6%
	（無回答）	292	4.9%
合計		5,955	100.0%

問7【問6で「環境共生学部 環境共生学科」または「生活環境学部 生活環境学科」を選択した方対象】あなたは問6で興味があるとされた武庫川女子大学の学科を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）  
※本学実施予定の全入試方式を対象とします。

選択肢		件数	構成比
1	第一志望として受験する	62	5.3%
2	第二志望として受験する	70	6.0%
3	第三志望以降として受験する	260	22.4%
4	受験しない	765	65.8%
	（無回答）	5	0.4%
合計		1,162	100.0%

問8【問7で「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択した方対象】あなたが問7で受験するとされた武庫川女子大学の学科に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢		件数	構成比
1	入学したい	100	25.5%
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	265	67.6%
3	入学しない	18	4.6%
	（無回答）	9	2.3%
合計		392	100.0%

問9【問6で「興味のあるものはない」または問7で「受験しない」を選択した方対象】武庫川女子大学が2025年度に設置または入学定員増を構想中の学科について、問6で興味のあるものはない、または興味はあるとしながら問7で受験しないとした理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答であるため、回答数は延べ。構成比（%）＝各回答数÷回答者数（回答対象者5,266人）

選択肢		件数	構成比
1	武庫川女子大学「環境共生学部 環境共生学科（仮称）」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	110	2.1%
2	武庫川女子大学「生活環境学部 生活環境学科」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	99	1.9%
3	武庫川女子大学の他の学科に興味があるから	410	7.8%
4	もっと興味・関心のある分野があるから	2,315	44.0%
5	国公立大学進学を希望しているから	1,196	22.7%
6	他の私立大学進学を希望しているから	1,321	25.1%
7	進路は未定だから	728	13.8%
8	通学に時間がかかりそうだから	304	5.8%
9	卒業後の進路がイメージできないから	252	4.8%
10	女子大学に進学したくないから	1,004	19.1%
11	学費が高いから	444	8.4%
12	その他	371	7.0%

#### 4. 高校生アンケート調査 結果の要点

##### 要点1) 武庫川女子大学 環境共生学部 環境共生学科(仮称)への受験・入学意向

「環境共生学部 環境共生学科（仮称）」に興味を持つ425名のうち、144名より受験意向が示された（第一志望～第三志望以下）。その上で合格した場合、予定する入学定員120名を上回る131名より「環境共生学部 環境共生学科（仮称）」への入学意向が示される結果となった。

##### 問7（受験意向）の結果

第一志望として受験する	25名	5.9%	144名	33.9%
第二志望として受験する	23名	5.4%		
第三志望以降として受験する	96名	22.6%		
合計			425名	100.0%

##### 問8（入学意向）の結果

入学したい	35名	24.3%	131名	91.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	96名	66.7%		
合計			144名	100.0%

